

令和3年度

決算に係る主要な施策の成果説明書

長崎県北松浦郡佐々町

目 次

○ 概 要

地方財政計画	1
本町の決算の概要	1
一般会計	
・町税決算状況	4
・給与費明細書	5
・歳入歳出款別決算状況	7
・歳入歳出款別決算比較	9
・歳出目的別節計決算額	13
・投資事業一覧	14
・歳出性質別決算額	19
・地方債現在高の状況	20
・地方消費税が充てられる社会保障施策に要する経費	21
・決算状況（決算カード）	22
・歳入一般財源等の推移	24
・普通会計における性質別決算額の推移（歳入）	25
・普通会計における性質別決算額の推移（歳出）	26
・基金現在高の推移	27
・基金の状況	28
・地方債現在高の推移	29
・地方債発行額に占める臨時財政対策債の割合等	30
・類似団体との比較による財政状況比較分析表（普通会計決算）	31
・実質赤字比率	36
・連結実質赤字比率	37
・実質公債費比率	38
・実質公債費比率における（分子）の構造	39
・将来負担比率	40
・将来負担比率における（分子）の構造	41
・標準財政規模の推移	42
・類似団体の主要財政指標（人口順）	43
・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	44

特別会計

(1) 国民健康保険事業	52
(2) 介護保険事業	53
(3) 後期高齢者医療事業	57
(4) 国民健康保険診療所事業	58
(5) 農業集落排水事業	58

○ まちづくり基本目標に基づく施策の成果

【総括】

基本目標 1 「医療・福祉」が充実したやさしいまち	59
基本目標 2 「教育・文化」で輝くまち	60
基本目標 3 「生活・安全」を大切にするまち	62
基本目標 4 「自然・環境」を守り続けるまち	64
基本目標 5 「産業・観光」でにぎわうまち	65
基本目標 6 「行政・財政」が持続可能なまち	67
基本目標 7 「情報共有・協働」のみんなのまち	68

目次

事業名	担当課	ページ
遊休町有地の活用	総務課	71
職員の人材育成、組織力の向上	総務課	75
人権問題・男女共同参画の啓発	総務課	79
公共施設等の有効活用と適正管理	総務課	81
行政情報の適切な管理から情報公開・共有	総務課	85
行政情報の適切な管理から情報公開・共有	総務課	87
地域見守り・防犯活動の推進	総務課	89
公共施設等の有効活用と適正管理	総務課	91
町内会の活動の周知、加入促進	総務課	93
交通安全対策の推進	総務課	95
行政サービスの利便性の向上	総務課	99
行政と地域の対話、地域の課題の共有	総務課	103
防災・減災対策推進事業	総務課	107
地域の災害対応力の強化	総務課	111
自主防災組織育成強化事業	総務課	115
防災・減災対策の推進	総務課	119
機能的かつ効率的な組織づくり	総務課	121
まちなか町有地活用事業	総務課	127
事務の効率化	総務課	129
公共施設等の有効活用と適正管理	庁舎建設室	131
適正な賦課徴収と納税意識の啓発	税財政課	133
資金運用による歳入の確保	税財政課	141
効果的な予算の編成及び運用	税財政課	143
公共施設等の有効活用と適正管理	税財政課	145
経常経費の削減と補助金などの見直し	税財政課	147
行政サービスの利便性の向上	住民福祉課	149
行政サービスの利便性の向上	住民福祉課	151
人権を尊重し、あらゆる差別のない社会の実現	住民福祉課	155
障壁（バリア）の少ないまちづくり（地域生活支援事業）	住民福祉課	157
高齢者地域福祉推進事業（地域まるごとサロン事業）	住民福祉課	159
障壁（バリア）の少ないまちづくり（障害者医療費給付事業）	住民福祉課	161
障壁（バリア）の少ないまちづくり（障害児通所給付事業）	住民福祉課	163
子育て世帯への負担軽減事業（福祉医療助成事業）	住民福祉課	165
いきいき百歳体操事業（高齢者外出支援タクシー助成事業）	住民福祉課	167
育児支援事業（放課後児童健全育成事業）	住民福祉課	171
子育て世帯への負担軽減事業（誕生祝金）	住民福祉課	175
育児支援事業（病後児保育事業）	住民福祉課	177
育児支援事業（保育所等開所時間延長促進事業）	住民福祉課	179
育児支援事業（施設型給付費（保育施設））	住民福祉課	181

事業名	担当課	ページ
子育て世帯への負担軽減事業（保育料軽減事業）	住民福祉課	185
介護予防ボランティアポイント事業（介護保険事業）	住民福祉課	187
緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進	保険環境課	191
ごみ減量化・資源化の推進	保険環境課	193
省エネルギー活動の推進	保険環境課	195
緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進	保険環境課	197
健康推進事業【再掲】	保険環境課	201
緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進	保険環境課	203
適切な施設の維持管理	保険環境課	205
適切な施設の維持管理	保険環境課	207
適切な施設の維持管理	保険環境課	209
不法投棄対策の充実	保険環境課	211
国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率向上対策（国民健康保険）	保険環境課	213
医療費の適正化対策(国民健康保険)	保険環境課	219
国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率向上対策（後期高齢）	保険環境課	221
医療費の適正化対策(後期高齢)	保険環境課	225
地域まるごとサロン事業	多世代包括支援センター	227
共生社会の実現に向けた広報・啓発	多世代包括支援センター	229
障壁（バリア）の少ないまちづくり（障害者自立支援給付事業）	多世代包括支援センター	231
社会資源の整備	多世代包括支援センター	233
公共施設等の有効活用と適正管理	多世代包括支援センター	235
育児支援事業（地域子育て支援拠点事業）	多世代包括支援センター	239
育児支援事業（乳幼児一時預かり事業）	多世代包括支援センター	241
障がい児通所サービスを通じた療育の促進	多世代包括支援センター	243
医療体制の情報発信	多世代包括支援センター	245
食生活改善活動への支援	多世代包括支援センター	247
安心できる医療体制づくり	多世代包括支援センター	249
感染症予防の充実	多世代包括支援センター	251
公共施設等の有効活用と適正管理	多世代包括支援センター	255
育児支援事業	多世代包括支援センター	257
母と子の健康づくりに係る健診等の実施	多世代包括支援センター	259
母と子の健康づくりに係る健診等の実施	多世代包括支援センター	261
妊娠・出産、虐待などの相談体制の強化	多世代包括支援センター	265
子育て支援事業等の周知・広報	多世代包括支援センター	267
健康推進事業	多世代包括支援センター	269
子どもから高齢者に至るまでの生活習慣予防対策	多世代包括支援センター	271
健康づくりの啓発	多世代包括支援センター	275
健康づくりの啓発	多世代包括支援センター	277
感染症予防の充実	多世代包括支援センター	279
感染症予防の充実	多世代包括支援センター	281

事業名	担当課	ページ
医療費の適正化対策(国民健康保険)	多世代包括支援センター	283
糖尿病性腎臓病重症化予防事業	多世代包括支援センター	285
医療費の適正化対策(後期高齢)	多世代包括支援センター	287
町立診療所サービス充実事業	多世代包括支援センター	289
公共施設等の有効活用と適正管理	多世代包括支援センター	291
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(介護予防・生活支援サービス事業)	多世代包括支援センター	293
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(介護予防ケアマネジメント事業)	多世代包括支援センター	295
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(一般介護予防事業)	多世代包括支援センター	297
いきいき百歳体操事業	多世代包括支援センター	299
介護予防ボランティアポイント事業	多世代包括支援センター	301
元気カフェ・ぷらっと支援事業	多世代包括支援センター	303
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(介護予防・高齢者保健事業)	多世代包括支援センター	305
地域づくり講演会	多世代包括支援センター	307
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(包括的支援事業)	多世代包括支援センター	309
避難行動要支援者の避難対策	多世代包括支援センター	311
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(介護予防・生活支援サービス事業)	多世代包括支援センター	313
高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる(介護予防ケアマネジメント事業)	多世代包括支援センター	315
まちなかにふさわしい都市機能の強化	企画商工課	317
行政情報の迅速な発信	企画商工課	319
地域公共交通事業者支援事業	企画商工課	321
地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト(移住推進事業)	企画商工課	323
地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト(移住推進事業)(地方創生推進交付金事業)	企画商工課	325
若者の出会いと交流の場の提供	企画商工課	327
まちづくり応援事業	企画商工課	329
大学等との連携による協働のまちづくりの推進	企画商工課	331
安全で快適な都市空間の創出	企画商工課	333
企業誘致受入適地の確保	企画商工課	335
首都圏からの移住者に対する支援	企画商工課	337
行政評価システムの確立	企画商工課	339
広域連携による行政サービスの向上	企画商工課	341
広聴機会の充実	企画商工課	343
町政への町民参画・協働機会の確保	企画商工課	345
町民によるまちづくり活動への支援	企画商工課	347
新型コロナウイルス感染症拡大防止	企画商工課	349
公共施設等の有効活用と適正管理	企画商工課	351
起業・創業支援事業	企画商工課	353
地元中小企業支援事業	企画商工課	355
商工会との連携を強化した、商工業の活性化	企画商工課	357
消費生活対策(消費生活相談、情報提供)の推進	企画商工課	359
起業・創業の相談しやすい環境を整え、潜在化している希望者の掘り起こし	企画商工課	361

事業名	担当課	ページ
地域資源ネットワークを活かした商店街の活性化	企画商工課	363
通年型観光イベント事業	企画商工課	365
観光情報発信事業	企画商工課	367
佐々川を中心とした観光や交流イベントの情報発信・交流拠点整備事業	企画商工課	369
資源を活かした観光地づくり	企画商工課	371
観光情報の発信	企画商工課	373
空き店舗再生事業	企画商工課	375
身近な公園維持管理事業	建設課	377
広域的道路ネットワーク構築事業	建設課	379
快適で確実に地域をつなぐ道づくり	建設課	381
安心の住まいづくり	建設課	383
災害に強い安全で安心を守る道づくり	建設課	385
防災・減災対策の推進	建設課	389
都市機能の強化	建設課	393
誰もが快適に利用しやすい公園づくり	建設課	395
公営住宅の適正な維持管理	建設課	399
防災・減災対策の推進	建設課	407
新規就農支援事業	農林水産課	411
地域集落営農推進事業	農林水産課	413
意欲ある多様な担い手の育成支援	農林水産課	415
農業生産環境の整備	農林水産課	417
防災・減災対策の推進	農林水産課	419
農業体験施設・皿山農産物直売所活性化事業	農林水産課	423
農地確保支援事業	農林水産課	427
森林の保全	農林水産課	429
防災・減災対策の推進	農林水産課	433
消費者・市場に対応した農産物のブランド化と販路拡大	農林水産課	437
農産品を通じた交流の拡大	農林水産課	439
水道施設の強靱化	水道課	441
公共施設等の有効活用と適正管理	水道課	443
水の安定供給	水道課	445
健全な経営の確立	水道課	449
公共施設等の有効活用と適正管理	水道課	451
健全な経営の確立	水道課	455
し尿等前処理施設の整備稼働	水道課	459
公共下水道・水洗化の推進	水道課	461
資金運用による歳入の確保	出納室	465
特別支援教育の充実	教育委員会	469
学習内容や生徒指導の充実	教育委員会	471
ふるさと教育の充実	教育委員会	473

事業名	担当課	ページ
児童・生徒の心のケア体制の整備	教育委員会	475
保護者の経済的負担軽減	教育委員会	477
特色ある学校づくり	教育委員会	479
保育所等、小学校、中学校の連携	教育委員会	481
さざっ子学力アップ事業	教育委員会	483
適切な学校施設の維持・管理	教育委員会	485
小中学校キャリア教育推進事業	教育委員会	497
青少年健全育成活動の支援	教育委員会	499
生涯学習機会や大学などと連携した内容の充実と支援	教育委員会	501
各種講座を通じた指導者・ティーチャーの養成	教育委員会	503
郷土史学習講座の開催	教育委員会	505
文化財の保存と活用	教育委員会	507
町民主体の文化芸術活動への支援	教育委員会	509
人権教育の推進	教育委員会	511
地域コミュニティ団体への支援	教育委員会	513
生涯現役講座運営事業	教育委員会	515
施設機能の充実	教育委員会	517
地域コミュニティ活性化に伴う研修機会の充実	教育委員会	523
地域交流センターの利用促進	教育委員会	525
文化会館の利用促進	教育委員会	527
読書活動の充実	教育委員会	529
子どもたちが芸術文化にふれあう機会の提供	教育委員会	531
地域教育力を担う人材の育成	教育委員会	533
総合型地域スポーツクラブの育成	教育委員会	535
体育文化振興基金の活用	教育委員会	537
佐々っ子応援団推進事業	教育委員会	539
総合スポーツまちづくり振興事業	教育委員会	541
スポーツ少年団・体育協会活動の育成・支援	教育委員会	543
体育施設の適切な維持管理	教育委員会	545
町民に開かれた議会	議会事務局	549
効果的な予算の編成及び運用	監査	551

概 要

地方財政計画

令和3年度の地方財政計画は、歳出面においては、地方団体が行政サービスを安定的に提供しつつ、地域社会のデジタル化や防災・減災、国土強靱化、地方創生の推進、地域社会の維持・再生等に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行う一方、国の取組と基調を合わせた歳出改革を行うこととされました。

また、歳入面においては、新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅な減収となる中、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、令和2年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、令和3年度の地方財政計画の規模は、1.0%減、89兆8,060億円となりました。

本町の決算の概要

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年とは異なる決算となりましたが、地域経済の活性化と町民生活支援のために新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した各種事業を実施しました。

令和3年度一般会計決算額は、歳入総額15.6%減の82億3,601万円、歳出総額16.0%減の78億7,378万円、翌年度へ繰り越すべき財源2,245万円を除く実質収支額は22.7%増の3億3,978万円になりました。

歳入総額減の主な要因は、国庫支出金の減(36.3%減の17億7,190万円)、繰入金金の減(80.6%減の3億6,429万円)などです。

歳出総額減の主な要因は、総務費の減(68.1%減の7億1,159万円)、災害復旧費の減(86.8%減の4,083万円)などです。

繰越額は、公園施設長寿命化事業や3年災災害復旧事業、新型コロナウイルス関連事業である住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業など合計15事業の総額1億9,047万円となりました。

また、町の借金である一般会計の地方債残高は、2,715 万円増の 42 億 5,570 万円に、町の貯金である一般会計の基金現在高は、4 億 5,302 万円増の 55 億 7,114 万円になりました。

決算における主な指標として、財政構造の弾力性を測定する経常収支比率は、補助費等や物件費などの経常経費充当一般財源が増加しましたが、普通交付税や臨時財政対策債などの歳入一般財源が経常経費充当一般財源を大きく上回る増加があったことから 24.2 ポイント減の 80.3%になりました。

また、町の財政健全化を示す比率として、実質公債費比率（3 か年平均）は、普通会計元利償還金の増があったものの、標準財政規模についても増となったことなどから、8.7%と増減はなく、その他、実質赤字比率（△8.6%）、連結実質赤字比率（△34.0%）、将来負担比率（△96.2%）、資金不足比率（水道事業会計△276.2%、公共下水道事業会計△3.7%）は、数値に赤字の要素がないため、負の値になりました。

令和 3 年度の主な事業としては、普通建設事業において、保育所等施設整備事業費補助金、大新田排水機場補修、第 4 分団消防詰所建替工事や佐々駅舎改修工事、口石小学校普通教室増設（多目的室改修）工事などを行いました。

役場庁舎の建設については、令和 2 年度から引き続き地質調査、基本設計・実施設計を実施しました。

佐々クリーンセンターについては、施設機能を適切かつ経済的に維持することを目的とした施設の長寿命化工事を発注するための基幹的設備改良工事発注支援業務を行いました。

このほか、千本公園の施設更新（遊具及び四阿の改修）の公園長寿命化工事、小浦駅前公園整備工事、市瀬第 2 団地や牧崎団地の屋根外壁改修工事の町営住宅整備改修工事設計業務、橋梁長寿命化対策工事、町道・農道・林道路肩伐採工事など、社会基盤・インフラ等の整備更新も実施しました。

ソフト事業では、第 3 次佐々町男女共同参画計画の策定、佐々町公共施設等総合管理計画の改訂、地域デイサービスを発展させた地域まるごとサロン事業

や、管内における病児・病後児保育施設の相互利用を可能とした西九州させば広域都市圏による連携事業、産後も安心して子育てができる支援体制の確立を目的とした産後ケア事業など、多様化する住民の生活スタイルや需要に合わせたサービスの提供に向けた事業を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した飲食関連事業者等支援給付金、営業時間短縮要請協力金、飲食店応援給付金、学生応援給付金などの交付金・給付金事業や子育て世帯への保育料軽減事業、行政手続きにおけるぴったりサービス事業、各種証明書コンビニ交付事業などコロナ関連事業として計 28 事業を行いました。

このほか、高校生までの福祉医療費助成事業や小中学校における学力向上対策事業など、福祉・子育て施策も継続して実施しています。

令和 3 年度は、「第 7 次佐々町総合計画」の初年度となりました。「暮らしたいちばん！住むなら さぎ～みんなが輝き、みんなで創るまち～」の実現に向け、計画的かつ着実に事業の推進を図り、町民の方が「住んでよかった」、「これからも住み続けたい」と思っていただけのような、さらには町外の方から「住んでみたい」と思っていただけのようなまちづくりを進めた結果、令和 2 年国勢調査人口（確定値）は、13,912 人となり、前回の平成 27 年国勢調査結果と比べて、286 人増加するなど、これまでのまちづくり成果が多くの皆さまから評価され定住人口の増加に繋がりました。

令和3年度 佐々町一般会計町税決算状況

(歳入)

(単位：円)

款	別	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	増減額	予算に対する 増減率	比較 対調定%	決算額 構成比%
1 町民税		732,912,000	771,016,591	753,478,259	2,027,000	15,511,332	20,566,259	97.73		47.0
	現年度課税分	729,000,000	752,118,772	748,882,777	0	3,235,995	19,882,777	99.57		46.7
	滞納繰越分	3,912,000	18,897,819	4,595,482	2,027,000	12,275,337	683,482	24.32		0.3
2 固定資産税		659,456,000	683,415,087	672,214,101	1,141,315	10,074,171	12,758,101	98.36		42.0
	現年度課税分	654,000,000	669,167,900	666,297,500	0	2,870,400	12,297,500	99.57		41.6
	滞納繰越分	5,214,000	14,004,787	(注) 5,674,201	1,141,315	7,203,771	460,201	40.52		0.4
	国有資産等所在 市町村交付金及び納付金	242,000	242,400	242,400	0	0	400	100.00		0.0
3 軽自動車税		53,208,000	54,394,212	53,546,700	35,800	811,712	338,700	98.44		3.3
	環境性能割 現年度課税分	1,600,000	1,804,600	1,804,600	0	0	204,600	100.00		0.1
	現年度課税分	51,493,000	51,734,100	51,614,000	0	120,100	121,000	99.77		3.2
	滞納繰越分	115,000	855,512	128,100	35,800	691,612	13,100	14.97		0.0
4 町たばこ税		111,000,000	123,302,775	123,302,775	0	0	12,302,775	100.00		7.7
	現年度課税分	111,000,000	123,302,775	123,302,775	0	0	12,302,775	100.00		7.7
小計	現年度課税分	1,547,335,000	1,598,370,547	1,592,144,052	0	6,226,495	44,809,052	99.61		99.3
	滞納繰越分	9,241,000	33,758,118	10,397,783	3,204,115	20,170,720	1,156,783	30.80		0.7
合計		1,556,576,000	1,632,128,665	1,602,541,835	3,204,115	26,397,215	45,965,835	98.19		100.0

(注) 収入済額には過設納金還付未済額14,500円を含む

給 与 費 明 細 書

【会計年度任用職員以外の職員】

(単位:千円)

区分	職員数		給料	報酬	職員手当等										計	共済費	合計	
	特別職	一般職			管理職手当	扶養手当	通勤手当	時間外手当	期末手当	勤労手当	住居手当	児童手当	その他	退手負担金				小計
1 議会費	10	3	28,762	10,003	623	139	170	537	12,191	1,722	0	0	0	0	15,382	54,147	12,560	66,707
議会費(特別職)	10	0	28,762	0	0	0	0	0	9,854	0	0	0	0	0	9,854	38,616	9,424	48,040
議会費(一般職)	0	3	0	10,003	623	139	170	537	2,337	1,722	0	0	0	5,528	15,531	3,136	18,667	
2 総務費	2	32	7,327	118,032	2,621	3,440	1,035	18,515	29,134	16,623	2,691	7,075	24	59,404	265,921	36,835	302,756	
総務管理費(特別職)	2	0	526	16,050	0	0	0	0	5,674	0	0	0	0	6,485	12,159	28,735	2,957	31,692
総務管理費(一般職)	0	22	0	71,039	2,206	1,707	698	6,277	16,631	12,035	1,204	7,075	0	52,919	100,752	171,791	23,293	195,084
徴収費	0	7	0	21,485	415	1,470	253	1,900	4,855	3,399	890	0	0	13,182	34,667	7,404	42,071	
戸籍住民基本台帳費	0	3	0	9,458	0	263	84	1,788	1,974	1,189	597	0	0	5,895	15,353	3,181	18,534	
選挙費	0	0	4,409	0	0	0	0	8,550	0	0	0	0	24	8,574	12,983	0	12,983	
統計調査費	0	0	467	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	467	0	467	
監査委員費	0	0	1,925	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,925	0	1,925	
3 民生費	0	18	891	61,220	1,378	1,134	660	4,881	13,736	9,993	1,126	0	0	32,908	95,019	19,802	114,821	
社会福祉費	0	10	596	30,644	1,005	714	285	3,401	7,180	5,260	846	0	0	18,691	49,931	10,132	60,063	
児童福祉費	0	8	295	30,576	373	420	375	1,480	6,556	4,733	280	0	0	14,217	45,088	9,670	54,758	
衛生費	0	16	22	55,315	1,845	1,209	441	8,068	13,014	9,290	1,459	0	0	35,326	90,663	17,471	108,134	
保健衛生費	0	13	22	44,599	1,410	854	307	7,563	10,614	7,584	983	0	0	29,315	73,936	14,071	88,007	
清掃費	0	3	0	10,716	435	355	134	505	2,400	1,706	476	0	0	6,011	16,727	3,400	20,127	
5 労働費	0	0	0	408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	408	61	469	
労働諸費	0	0	0	408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	408	61	469	
6 農林水産業費	0	6	4,483	23,831	1,391	796	66	2,338	5,807	4,101	654	0	0	15,153	43,467	7,978	51,445	
農業費	0	6	4,483	23,831	1,391	796	66	2,338	5,807	4,101	654	0	0	15,153	43,467	7,978	51,445	
7 商工費	0	1	0	4,737	0	0	0	1,794	1,008	751	249	0	0	3,802	8,539	1,636	10,175	
商工費	0	1	0	4,737	0	0	0	1,794	1,008	751	249	0	0	3,802	8,539	1,636	10,175	
8 土木費	0	10	211	34,116	968	1,373	415	2,528	8,411	6,052	780	0	0	20,527	54,854	11,277	66,131	
土木管理費	0	9	0	31,123	968	1,373	295	2,288	7,743	5,554	780	0	0	19,001	50,124	10,351	60,475	
道路橋梁費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
都市計画費	0	0	146	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	0	146	
住宅費	0	1	65	2,993	0	0	120	240	668	498	0	0	0	1,526	4,584	926	5,510	
9 消防費	0	0	9,397	0	0	0	0	1,792	0	0	0	0	16	1,808	11,205	0	11,205	
消防費	0	0	9,397	0	0	0	0	1,792	0	0	0	0	16	1,808	11,205	0	11,205	
10 教育費	1	9	3,133	35,981	653	718	38	3,289	9,005	4,717	1,009	0	0	19,429	58,543	11,297	69,840	
教育総務費(特別職)	1	0	767	6,900	0	0	0	0	2,408	0	0	0	0	2,408	10,075	1,930	12,005	
教育総務費(一般職)	0	3	0	11,644	653	160	25	1,045	2,767	2,043	224	0	0	6,917	18,561	3,876	22,437	
小学校費	0	1	1,275	3,178	0	240	0	0	741	514	324	0	0	1,819	6,272	1,087	7,359	
中学校費	0	0	605	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	605	0	0	605	
社会教育費	0	5	146	14,259	0	318	13	2,244	3,089	2,160	461	0	0	8,285	22,690	4,404	27,094	
保健体育費	0	0	340	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	340	0	0	340	
11 災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	164	0	0	0	0	0	164	164	0	164	
農林水産施設災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	66	0	0	0	0	0	66	66	0	66	
公共土木施設災害復旧費	0	0	0	0	0	0	0	98	0	0	0	0	0	98	98	0	98	
合計	13	95	54,226	343,643	9,479	8,809	2,825	43,906	92,306	53,249	7,988	7,075	40	59,404	682,930	118,917	801,847	

※共済費には社会保険料を含む

給 与 費 明 細 書

(単位:千円)

【会計年度任用職員】

区分	職員数		報酬	給料	職員手当等										計	共済費	合計				
	特別職	一般職			管理職手当	扶養手当	通勤手当	時間外手当	期末手当	勤劬手当	住居手当	児童手当	その他	退手負担金				小計			
1 議会費		1	888	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,075	0	1,075	
議会費(特別職)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議会費(一般職)		1	888	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,075	0	1,075	
2 総務費		35	15,313	3,784	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,359	3,690	26,049	
総務管理費(特別職)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務管理費(一般職)		6	5,000	3,784	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,707	2,150	12,857	
徴税費		7	5,172	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,860	855	6,715	
戸籍住民基本台帳費		3	3,912	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,563	685	5,248	
選挙費		19	1,229	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,229	0	1,229	
統計調査費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
監査委員費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 民生費		36	29,112	28,220	0	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68,819	11,744	80,563	
社会福祉費		7	5,665	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,629	963	7,592	
児童福祉費		29	23,447	28,220	0	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62,190	10,781	72,971	
衛生費		40	16,949	17,905	0	311	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,651	4,734	45,385	
保健衛生費		27	13,554	3,508	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19,481	2,437	21,918	
清掃費		13	3,395	14,397	0	214	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,170	2,297	23,467	
5 労働費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
労働諸費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 農林水産業費		8	4,162	8,265	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,212	2,201	17,413	
農業費		8	4,162	8,265	0	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,212	2,201	17,413	
商工費		4	2,926	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,437	393	3,830	
商工費		4	2,926	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,437	393	3,830	
8 土木費		12	3,791	16,073	0	173	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,857	3,507	27,364	
土木管理費		3	3,791	3,060	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,981	1,136	9,117	
道路橋梁費		9	0	13,013	0	88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,876	2,371	18,247	
都市計画費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住宅費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9 消防費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
消防費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10 教育費		78	47,155	22,996	0	303	217	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84,005	9,806	93,811	
教育総務費(特別職)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育総務費(一般職)		3	3,944	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,486	615	5,101	
小学校費		28	10,972	13,524	0	125	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,361	4,263	33,624	
中学校費		15	5,300	7,732	0	150	107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,645	2,257	17,902	
社会教育費		16	20,693	1,130	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,246	2,281	28,527	
保健体育費		16	6,246	610	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,267	390	8,657	
11 災害復旧費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
農林水産施設災害復旧費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
公共土木施設災害復旧費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		214	120,296	97,243	0	1,099	217	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	259,415	36,075	295,490	

※共済費には社会保険料を含む

令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出款別決算状況

(歳入)

(単位：円)

款別	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算に対する増減額	比較%		決算額構成比%
							対予算	対調定	
1 町税	1,556,576,000	1,632,128,665	(注1) 1,602,541,835	3,204,115	26,397,215	45,965,835	103.0	98.2	19.5
2 地方譲与税	54,036,000	57,009,000	57,009,000	0	0	2,973,000	105.5	100.0	0.7
3 利子割交付金	600,000	771,000	771,000	0	0	171,000	128.5	100.0	0.0
4 配当割交付金	2,000,000	5,855,000	5,855,000	0	0	3,855,000	292.8	100.0	0.1
5 株式等譲渡所得割交付金	1,000,000	7,391,000	7,391,000	0	0	6,391,000	739.1	100.0	0.1
6 法人事業税交付金	55,400,000	62,539,000	62,539,000	0	0	7,139,000	112.9	100.0	0.8
7 地方消費税交付金	328,000,000	324,301,000	324,301,000	0	0	△ 3,699,000	98.9	100.0	3.9
8 環境性能割交付金	2,000,000	2,853,000	2,853,000	0	0	853,000	142.7	100.0	0.0
9 地方特例交付金	47,764,000	47,862,000	47,862,000	0	0	98,000	100.2	100.0	0.6
10 地方交付税	1,855,249,000	1,871,477,000	1,871,477,000	0	0	16,228,000	100.9	100.0	22.7
11 交通安全対策特別交付金	1,500,000	1,420,000	1,420,000	0	0	△ 80,000	94.7	100.0	0.0
12 分担金及び負担金	53,886,000	48,129,565	46,283,165	92,100	1,754,300	△ 7,602,835	85.9	96.2	0.6
13 使用料及び手数料	199,724,000	215,843,507	(注2) 203,155,137	0	12,688,470	3,431,137	101.7	94.1	2.5
14 国庫支出金	1,880,162,000	1,841,601,026	1,771,895,459	0	69,705,567	△ 108,266,541	94.2	96.2	21.5
15 県支出金	819,992,000	779,022,504	763,377,327	0	15,645,177	△ 56,614,673	93.1	98.0	9.3
16 財産収入	27,808,000	28,772,249	28,772,249	0	0	964,249	103.5	100.0	0.3
17 寄附金	14,529,000	15,588,137	15,588,137	0	0	1,059,137	107.3	100.0	0.2
18 繰入金	365,623,000	364,290,474	364,290,474	0	0	△ 1,332,526	99.6	100.0	4.4
19 繰越金	389,383,071	389,384,050	389,384,050	0	0	979	100.0	100.0	4.7
20 諸収入	130,694,000	129,751,858	129,751,858	0	0	△ 942,142	99.3	100.0	1.6
21 町債	633,300,000	620,700,000	539,500,000	0	81,200,000	△ 93,800,000	85.2	86.9	6.5
合計	8,419,226,071	8,446,690,035	8,236,017,691	3,296,215	207,390,729	△ 183,208,380	97.8	97.5	100.0

(注1) 収入済額には過誤納金還付未済額14,500円を含む

(注2) 収入済額には過誤納金還付未済額100円を含む

令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出款別決算状況

(歳出)

(単位：円)

款別	予算現額	支出額		不用額	比較 対予算%	決算額 構成比%
		うち予備費充用額	支出済額			
1 議会費	72,375,000	0	72,201,533	0	99.8	0.9
2 総務費	742,065,000	0	711,588,075	2,706,000	95.9	9.0
3 民生費	2,722,298,500	0	2,585,994,853	40,475,567	95.0	32.8
4 衛生費	900,841,545	0	829,184,019	0	92.0	10.5
5 労働費	470,000	0	469,090	0	99.8	0.0
6 農林水産業費	376,696,000	0	354,850,961	4,200,000	94.2	4.5
7 商工費	379,890,966	0	319,766,129	5,484,896	84.2	4.1
8 土木費	896,370,000	0	785,914,604	93,000,000	87.7	10.0
9 消防費	249,872,698	128,698	242,539,779	0	97.1	3.1
10 教育費	653,658,860	0	587,795,613	12,000,000	89.9	7.5
11 災害復旧費	78,652,920	3,922,720	40,830,276	32,600,000	51.9	0.5
12 公債費	525,808,000	0	525,383,864	0	99.9	6.7
13 諸支出金	817,274,000	0	817,265,468	0	100.0	10.4
14 予備費	2,952,582	△ 4,051,418	0	0	0.0	0.0
合計	8,419,226,071	0	7,873,784,264	190,466,463	93.5	100.0

令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出款別決算比較表

(歳入)

(単位：円)

款別	年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算に対する増減額	比較		決算額構成比%
								対予算	%対調定	
1 町税	2年度	1,488,858,000	1,561,058,690	1,524,053,936	3,005,765	33,998,989	35,195,936	102.4	97.6	15.6
	3年度	1,556,576,000	1,632,128,665	(注1) 1,602,541,835	3,204,115	26,397,215	45,965,835	103.0	98.2	19.5
	2年度	54,036,000	56,085,000	56,085,000	0	0	2,049,000	103.8	100.0	0.6
2 地方譲与税	3年度	54,036,000	57,009,000	57,009,000	0	0	2,973,000	105.5	100.0	0.7
	2年度	700,000	925,000	925,000	0	0	225,000	132.1	100.0	0.0
3 利子割交付金	3年度	600,000	771,000	771,000	0	0	171,000	128.5	100.0	0.0
	2年度	2,000,000	3,325,000	3,325,000	0	0	1,325,000	166.3	100.0	0.0
4 配当割交付金	3年度	2,000,000	5,855,000	5,855,000	0	0	3,855,000	292.8	100.0	0.1
	2年度	1,000,000	4,272,000	4,272,000	0	0	3,272,000	427.2	100.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	3年度	1,000,000	7,391,000	7,391,000	0	0	6,391,000	739.1	100.0	0.1
	2年度	19,000,000	24,895,000	24,895,000	0	0	5,895,000	131.0	100.0	0.3
6 法人事業税交付金	3年度	55,400,000	62,539,000	62,539,000	0	0	7,139,000	112.9	100.0	0.8
	2年度	292,578,000	292,578,000	292,578,000	0	0	0	100.0	100.0	3.0
7 地方消費税交付金	3年度	328,000,000	324,301,000	324,301,000	0	0	△ 3,699,000	98.9	100.0	3.9
	2年度	3,075,000	2,994,000	2,994,000	0	0	△ 81,000	97.4	100.0	0.0
8 環境性能割交付金	3年度	2,000,000	2,853,000	2,853,000	0	0	853,000	142.7	100.0	0.0
	2年度	17,055,000	17,055,000	17,055,000	0	0	0	100.0	100.0	0.2
9 地方特例交付金	3年度	47,764,000	47,862,000	47,862,000	0	0	98,000	100.2	100.0	0.6
	2年度	1,124,396,000	1,136,034,000	1,136,034,000	0	0	11,638,000	101.0	100.0	11.6
10 地方交付税	3年度	1,855,249,000	1,871,477,000	1,871,477,000	0	0	16,228,000	100.9	100.0	22.7
	2年度	1,500,000	1,808,000	1,808,000	0	0	308,000	120.5	100.0	0.0
11 交通安全対策特別交付金	3年度	1,500,000	1,420,000	1,420,000	0	0	△ 80,000	94.7	100.0	0.0
	2年度	57,716,000	56,859,183	54,842,983	0	2,016,200	△ 2,873,017	95.0	96.5	0.6
12 分担金及び負担金	3年度	53,886,000	48,129,565	46,283,165	92,100	1,754,300	△ 7,602,835	85.9	96.2	0.6

令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出款別決算比較表

(歳入)

(単位：円)

款別	年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算に対する増減額	比較		決算額構成比%
								対予算	%対調定	
13 使用料及び手数料	2年度	198,773,000	218,726,755	204,913,965	0	13,812,790	6,140,965	103.1	93.7	2.1
	3年度	199,724,000	215,843,507	(注2) 203,155,137	0	12,688,470	3,431,137	101.7	94.1	2.5
	2年度	3,185,130,000	3,178,036,403	2,781,069,403	0	396,967,000	△ 404,060,597	87.3	87.5	28.5
14 国庫支出金	3年度	1,880,162,000	1,841,601,026	1,771,895,459	0	69,705,567	△ 108,266,541	94.2	96.2	21.5
	2年度	681,162,000	654,661,534	598,975,534	0	55,686,000	△ 82,186,466	87.9	91.5	6.1
	3年度	819,992,000	779,022,504	763,377,327	0	15,645,177	△ 56,614,673	93.1	98.0	9.3
16 財産収入	2年度	21,916,000	23,964,156	23,964,156	0	0	2,048,156	109.3	100.0	0.3
	3年度	27,808,000	28,772,249	28,772,249	0	0	964,249	103.5	100.0	0.3
	2年度	8,371,000	8,990,000	8,990,000	0	0	619,000	107.4	100.0	0.1
17 寄附金	3年度	14,529,000	15,588,137	15,588,137	0	0	1,059,137	107.3	100.0	0.2
	2年度	1,884,515,000	1,880,053,814	1,880,053,814	0	0	△ 4,461,186	99.8	100.0	19.3
	3年度	365,623,000	364,290,474	364,290,474	0	0	△ 1,332,526	99.6	100.0	4.4
19 繰越金	2年度	411,309,000	411,309,838	411,309,838	0	0	838	100.0	100.0	4.2
	3年度	389,383,071	389,384,050	389,384,050	0	0	979	100.0	100.0	4.7
	2年度	213,809,000	251,017,619	251,017,619	0	0	37,208,619	117.4	100.0	2.6
20 諸収入	3年度	130,694,000	129,751,858	129,751,858	0	0	△ 942,142	99.3	100.0	1.6
	2年度	619,500,000	592,400,000	481,100,000	0	111,300,000	△ 138,400,000	77.7	81.2	4.9
	3年度	633,300,000	620,700,000	539,500,000	0	81,200,000	△ 93,800,000	85.2	86.9	6.5
22 自動車取得税交付金	2年度	1,000	1,268	1,268	0	0	682,650	126.8	100.0	0.0
	3年度	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	2年度	10,286,400,000	10,377,050,260	9,760,263,516	3,005,765	613,780,979	△ 526,136,484	94.9	94.1	100.0
合計	3年度	8,419,226,071	8,446,690,035	8,236,017,691	3,296,215	207,390,729	△ 183,208,380	97.8	97.5	100.0

(注1) 収入済額には過誤納金還付未済額14,500円を含む

(注2) 収入済額には過誤納金還付未済額100円を含む

令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出款別決算比較表

(歳出)

(単位：円)

款別	年度	予算現額	うち予備費充用額		支出額		不用額	比較 対予算%	決算額 構成比%
					支出済額	翌年度繰越額			
1 議会費	2年度	72,000,000	0	0	71,694,289	0	305,711	99.6	0.8
	3年度	72,375,000	0	0	72,201,533	0	173,467	99.8	0.9
2 総務費	2年度	2,269,354,000	0	0	2,229,141,632	18,110,000	22,102,368	98.2	23.8
	3年度	742,065,000	0	0	711,588,075	2,706,000	27,770,925	95.9	9.0
3 民生費	2年度	2,186,405,000	265,000	0	1,873,705,382	247,647,500	65,052,118	85.7	20.0
	3年度	2,722,298,500	0	0	2,585,994,853	40,475,567	95,828,080	95.0	32.8
4 衛生費	2年度	835,746,000	0	0	728,880,748	92,001,545	14,863,707	87.2	7.8
	3年度	900,841,545	0	0	829,184,019	0	71,657,526	92.0	10.5
5 労働費	2年度	3,415,000	0	0	3,151,617	0	263,383	92.3	0.0
	3年度	470,000	0	0	469,090	0	910	99.8	0.0
6 農林水産業費	2年度	351,427,000	0	0	270,470,435	69,664,000	11,292,565	77.0	2.9
	3年度	376,696,000	0	0	354,850,961	4,200,000	17,645,039	94.2	4.5
7 商工費	2年度	385,119,000	0	0	283,786,243	71,937,966	29,394,791	73.7	3.0
	3年度	379,890,966	0	0	319,766,129	5,484,896	54,639,941	84.2	4.1
8 土木費	2年度	938,310,000	0	0	836,888,203	88,800,000	12,621,797	89.2	8.9
	3年度	896,370,000	0	0	785,914,604	93,000,000	17,455,396	87.7	10.0

令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出款別決算比較表

(単位：円)

(歳出)

款別	年度	予算現額		支出額		不用額	比較 対予算%	決算額 構成比%
		うち予備費充用額	支出済額	翌年度繰越額				
9 消防費	2年度	296,925,213	898,213	250,610,438	39,300,000	7,014,775	84.4	2.7
	3年度	249,872,698	128,698	242,539,779	0	7,332,919	97.1	3.1
10 教育費	2年度	912,677,600	452,600	830,101,432	20,931,860	61,644,308	91.0	8.8
	3年度	653,658,860	0	587,795,613	12,000,000	53,863,247	89.9	7.5
11 災害復旧費	2年度	343,184,900	11,867,900	308,703,851	29,319,200	5,161,849	90.0	3.3
	3年度	78,652,920	3,922,720	40,830,276	32,600,000	5,222,644	51.9	0.5
12 公債費	2年度	507,044,000	0	506,613,152	0	430,848	99.9	5.4
	3年度	525,808,000	0	525,383,864	0	424,136	99.9	6.7
13 諸支出金	2年度	1,177,140,000	0	1,177,132,044	0	7,956	100.0	12.6
	3年度	817,274,000	0	817,265,468	0	8,532	100.0	10.4
14 予備費	2年度	7,652,287	△ 13,483,713	0	0	7,652,287	0.0	0.0
	3年度	2,952,582	△ 4,051,418	0	0	2,952,582	0.0	0.0
合計	2年度	10,286,400,000	0	9,370,879,466	677,712,071	237,808,463	91.1	100.0
	3年度	8,419,226,071	0	7,873,784,264	190,466,463	354,975,344	93.5	100.0

令和3年度 目的別節計決算額一覽表

(単位：千円)

款	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	合計
節	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	合計
1 報酬	29,650	22,640	30,004	16,970	0	8,646	2,926	4,002	9,397	50,287	0	0	0	174,522
2 給料	10,003	121,816	89,440	73,220	408	32,096	4,737	50,189	0	58,977	0	0	0	440,886
3 職員手当等	15,570	143,823	44,394	41,124	0	17,938	4,312	24,521	1,808	33,284	164	0	0	326,938
4 共済費	12,560	43,392	31,545	22,206	61	10,178	2,030	14,784	0	21,103	0	0	0	157,859
5 災害補償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 恩給及び退職年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 報償費	0	20,045	141	25,768	0	3,860	149,191	0	226	1,343	0	0	0	200,574
8 旅費	1,033	1,586	598	481	0	427	87	69	1,651	959	28	0	0	6,919
9 交際費	80	209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289
10 需用費	847	21,950	31,622	127,266	0	196,349	4,507	22,589	4,428	79,300	62	0	0	488,920
11 役務費	38	27,781	4,196	10,344	0	725	163	3,285	1,102	13,477	0	0	0	61,111
12 委託料	1,252	164,262	68,952	280,701	0	21,218	3,029	69,446	442	42,194	6,600	0	0	658,096
13 使用料及び賃借料	15	69,387	1,747	6,798	0	1,147	167	2,480	912	45,910	0	0	0	128,563
14 工事請負費	0	1,585	5,302	0	0	4,977	36,498	205,086	31,426	36,105	33,976	0	0	354,955
15 原材料費	0	0	6	66	0	1,271	0	1,807	17	222	0	0	0	3,389
16 公有財産購入費	0	0	0	0	0	0	0	264	0	0	0	0	0	264
17 備品購入費	0	5,603	3,134	5,561	0	131	0	593	3,551	34,306	0	0	0	52,879
18 負担金補助及び交付金	1,153	34,457	1,295,393	162,740	0	55,340	62,119	386,700	187,498	153,457	0	0	0	2,338,857
19 扶助費	0	0	714,959	5,063	0	0	0	0	0	16,633	0	0	0	736,655
20 貸付金	0	0	0	0	0	446	50,000	0	0	0	0	0	0	50,446
21 補償補填及び賠償金	0	87	548	0	0	0	0	0	0	137	0	0	0	772
22 償還金利子及び割引料	0	32,940	0	0	0	0	0	0	0	59	0	525,384	0	558,383
23 投資及び出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 積立金	0	0	0	0	0	14	0	0	0	30	0	0	817,265	817,309
25 寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 公課費	0	25	0	16	0	88	0	100	82	13	0	0	0	324
27 繰出金	0	0	264,014	50,860	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314,874
合計	72,201	711,588	2,585,995	829,184	469	354,851	319,766	785,915	242,540	587,796	40,830	525,384	817,265	7,873,784

(投資事業)

(単位：千円)

事業名	決算額	財源			内			訳
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
(一) 普通建設事業	1,046,729	299,577	144,322	259,500	152,140	191,190		
(1) 補助事業	617,991	299,577	144,322	114,000	32,437	27,655		
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	4,341	1,243	1,302	0	0	1,796		
ごみ処理施設基幹の設備改良工事発注支援業務委託料	14,850	4,950	0	8,900	0	1,000		
ながさき鳥獣被害防止総合対策事業費補助金	1,603	0	1,595	0	0	8		
大新田排水機場補修	138,797	0	97,152	37,400	0	4,245		
大新田排水機場補修設計業務委託料	6,013	0	4,208	1,600	0	205		
ため池劣化状況評価業務委託料	1,200	0	1,200	0	0	0		
林道点検診断業務委託料(林道橋)	2,972	0	1,486	0	0	1,486		
佐々駅舎改修工事	35,000	17,500	0	15,700	0	1,800		
住宅性能向上リフォーム支援事業補助金	1,588	794	0	0	0	794		
老朽危険空家等解体除却支援補助金	1,200	600	0	0	0	600		
橋梁長寿命化対策(古川橋他3橋補修)工事詳細設計業務委託料	15,000	8,250	0	6,000	0	750		
都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定支援業務委託料	2,214	1,107	0	0	0	1,107		
牧崎団地(新C棟)アスベスト分析調査業務委託料	190	180	0	10	0	0		
牧崎団地(新C棟)屋根外壁改修工事設計業務委託料	2,860	2,250	0	610	0	0		
佐々南集会所屋根外壁改修工事設計業務委託料	1,485	990	0	495	0	0		
市瀬第2団地(ABCD棟)外壁改修工事設計業務委託料	6,160	5,433	0	649	0	78		
市瀬第2団地アスベスト分析調査業務委託料	496	360	0	136	0	0		
トイレ改修工事(佐々中学校)	8,378	2,692	0	3,900	0	1,786		
役場庁舎備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)(繰越明許)	3,520	3,520	0	0	0	0		
保育所等施設整備事業費補助金(繰越明許)	245,597	218,308	0	0	27,289	0		
大新田排水機場補修(繰越明許)	50,450	0	35,308	13,600	1,542	0		
ため池ハザードマップ作成業務委託料(繰越明許)	2,077	0	2,071	0	6	0		
橋梁長寿命化対策工事(繰越明許)	21,000	11,550	0	9,000	450	0		
道路橋定期点検業務委託料(繰越明許)	7,000	3,850	0	0	3,150	0		
公園施設長寿命化(千本公園整備)工事(繰越明許)	32,000	16,000	0	16,000	0	0		
支弁人件費	12,000	0	0	0	0	12,000		

(投資事業)

(単位：千円)

事業名	決算額	源			内		訳
		財	源	内	内	訳	
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
(2) 単独事業	422,610	0	0	140,200	118,875	163,535	
防犯灯設置補助金	769	0	0	0	0	769	
町内会集会所改修工事	153	0	0	0	76	77	
町有地防草シート設置工事	442	0	0	0	0	442	
交通安全施設(カーブミラー)修繕	198	0	0	0	0	198	
交通安全施設工事	990	0	0	0	0	990	
松浦鉄道施設整備事業補助金	7,129	0	0	0	0	7,129	
次期ネットワーク・サーバーシステム設計業務委託料	3,740	0	0	0	0	3,740	
庁舎建設工事基本設計・実施設計業務委託料	71,400	0	0	41,700	29,700	0	
庁舎建設工事地質調査業務委託料	2,702	0	0	2,000	702	0	
庁舎建設工事オフィス環境整備業務委託料	715	0	0	0	715	0	
庁舎建設事業費(普通旅費)	14	0	0	0	0	14	
建築確認申請手数料	229	0	0	0	229	0	
開発行為許可申請手数料	200	0	0	0	200	0	
町内会有線放送施設費助成金	209	0	0	0	0	209	
高齢者小規模住宅改修助成事業補助金	390	0	0	0	251	139	
総合福祉センター外灯設置工事	792	0	0	0	0	792	
複合遊具更新工事	4,510	0	0	0	0	4,510	
健康相談センター公用車購入費	2,377	0	0	0	0	2,377	
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	1,899	0	0	0	0	1,899	
塵芥処理費修繕料	53,370	0	0	0	53,000	370	
ごみ処理施設修繕設計業務委託料	1,870	0	0	0	0	1,870	
持続的生産強化対策事業補助金	2,575	0	0	0	0	2,575	
有害鳥獣被害防止対策事業費(報償費・委託料・需用費等)	4,272	0	0	0	0	4,272	
大新田排水機場補修	826	0	0	0	0	826	
大新田排水機場補修設計業務委託料	15	0	0	0	0	15	
ため池劣化状況評価業務委託料	131	0	0	0	0	131	
市瀬地区排水路改修工事	2,431	0	0	2,400	0	31	
林道点検診断業務委託料(林道橋)	163	0	0	0	0	163	
林道木場神田線路肩伐採工事	154	0	0	0	0	154	

(投資事業)

(単位：千円)

事業名	決算額	財源			内訳			訳
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
林道大茂市瀬線他2路線路肩伐採工事	2,393	0	0	0	0	0	2,393	
古川岳展望台修繕料	1,135	0	0	0	0	0	1,135	
佐々駅舎改修工事(地方創生推進交付金事業)	1,498	0	0	0	0	0	1,498	
住宅性能向上リフォーム支援事業補助金	177	0	0	0	0	0	177	
町道路面清掃業務委託料	413	0	0	0	0	0	413	
道路台帳補正整備業務委託料	1,045	0	0	0	0	0	1,045	
登記用地積測量図作成等業務委託料	1,466	0	0	0	0	0	1,466	
町道改良工事調査測量設計業務委託料	14,409	0	0	2,100	11,188	0	1,121	
町道木場線舗装補修工事	4,686	0	0	4,200	0	0	486	
町道小春露切橋線舗装補修工事	2,563	0	0	2,300	0	0	263	
町道鴨川線舗装補修工事	14,748	0	0	13,300	0	0	1,448	
町道里千本公園線舗装補修工事	9,152	0	0	8,200	0	0	952	
町道美渡世越線舗装補修工事(1工区)	5,688	0	0	5,100	500	0	88	
町道木場線(迎木場地区)路肩改良工事(3工区)	9,885	0	0	0	0	0	9,885	
舗装補修(6路線)	3,967	0	0	0	0	0	3,967	
側溝補修(5路線)	4,705	0	0	0	0	0	4,705	
町道末永線暗渠排水管・污水管移設工事	19,661	0	0	0	0	0	19,661	
町道江里大茂線・木場線路肩伐採工事	3,542	0	0	0	0	0	3,542	
町道高野炭鉱線・栗林角山線路肩伐採工事	2,982	0	0	0	0	0	2,982	
橋梁長寿命化対策(古川橋他3橋補修)工事詳細設計業務委託料	263	0	0	0	0	0	263	
道路新設改良費用・市町橋梁維持管理システム運用使用料	174	0	0	0	0	0	174	
町道高陵町線防草シート設置工事	1,531	0	0	0	0	0	1,531	
交通安全施設整備工事	7,754	0	0	0	0	0	7,754	
町道改良用地費	264	0	0	0	0	0	264	
江里川伐採浚渫工事(2工区)	1,331	0	0	1,320	0	0	11	
高岩川支流伐採浚渫工事(1工区)	3,082	0	0	3,070	0	0	12	
木場川伐採浚渫工事(2工区)	2,423	0	0	2,410	0	0	13	
小浦排水路(水道地区)転落防護柵設置工事	136	0	0	0	0	0	136	
都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定支援業務委託料	3,408	0	0	0	0	0	3,408	

(投資事業)

(単位：千円)

事業名	決算額	財源			内			訳
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
建築確認申請等手数料	21	0	0	0	0	0	21	
桜樹勢回復業務委託料	2,639	0	0	0	0	0	2,639	
小浦駅前公園公衆トイレアスベスト分析調査業務委託料	131	0	0	0	0	0	131	
小浦駅前公園園路整備工事(立木伐採及び植栽)	3,291	0	0	0	0	0	3,291	
小浦駅前公園公衆トイレ新築工事	23,171	0	0	0	0	0	23,171	
小浦中央公園防護柵設置工事	605	0	0	0	0	0	605	
公園施設長寿命化(千本公園整備)工事	991	0	0	0	0	0	991	
牧崎団地(新C棟)遠隔式水道メーター更新工事	1,353	0	0	0	0	0	1,353	
神田団地(AB棟)遠隔式水道メーター更新工事	1,595	0	0	0	0	0	1,595	
第4分団消防詰所完了検査手数料	23	0	0	0	0	0	23	
第5分団消防詰所建替に伴う不動産鑑定評価業務委託料	270	0	0	0	0	0	270	
第4分団消防詰所建替に伴うプレハブ借上料	204	0	0	0	0	0	204	
第4分団消防詰所建替に伴う借地料	39	0	0	0	0	0	39	
第4分団消防詰所建替に伴う重機借上料	20	0	0	0	0	0	20	
消火栓修繕負担金	595	0	0	0	0	0	595	
防火水槽修繕負担金	508	0	0	0	0	0	508	
消火栓新設負担金	882	0	0	0	0	0	882	
口石小学校管理用修繕(砂場枠修繕・プールろ過装置修繕)	1,733	0	0	0	0	0	1,733	
校舎外庇等設置工事(口石小学校)	53	0	0	0	0	0	53	
校内樹木剪定・伐採工事(口石小学校)	3,786	0	0	0	0	0	3,786	
教室増設(多目的室改修)工事(口石小学校)	17,215	0	0	0	16,000	0	1,215	
佐々中学校管理用修繕(プールろ過装置ポンプモーター交換修繕)	434	0	0	0	0	0	434	
佐々中学校放送設備改修工事実施設計業務委託料	445	0	0	0	0	0	445	
佐々中学校放送設備改修工事	1,749	0	0	0	0	0	1,749	
公民館調理実習室エアコン取替工事	1,529	0	0	0	0	0	1,529	
サン・ピレッジさざ多目的グラウンドコイントイマー取替修繕	880	0	0	0	0	0	880	
町民体育館外壁改修工事実施設計業務委託料	2,398	0	0	0	0	0	2,398	
町民体育館アスベスト分析調査業務委託料	490	0	0	0	0	0	490	
道路橋定期点検業務委託料(繰越明許)	348	0	0	0	348	0	0	

(投資事業)

(単位：千円)

事業名	決算額	財源				内		訳
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
橋梁寿命化対策工事(繰越明許)	485	0	0	0	485	0	0	
河川等改良工事(繰越明許)	20,760	0	0	20,700	60	0	0	
公園施設長寿命化(千本公園整備)工事(繰越明許)	2,000	0	0	0	2,000	0	0	
第4分団消防詰所建替工事(繰越明許)	31,426	0	0	31,400	26	0	0	
公民館外壁補修工事(繰越明許)	1,437	0	0	0	1,437	0	0	
サン・ピレッジさざ屋根補修工事(繰越明許)	1,650	0	0	0	1,650	0	0	
南部地区体育館屋根補修工事(繰越明許)	308	0	0	0	308	0	0	
支弁人件費	8,000	0	0	0	0	0	8,000	
(3) 国直轄事業負担金	0	0	0	0	0	0	0	
(4) 県営事業負担金	6,128	0	0	5,300	828	0	0	
農村地域防災減災事業負担金(ため池整備)(繰越明許)	6,128	0	0	5,300	828	0	0	
(5) 同級他団体施行事業負担金	0	0	0	0	0	0	0	
(二) 災害復旧事業	40,994	10,562	3,747	10,500	3,147	13,038	0	
(1) 補助事業	23,359	10,562	3,747	6,000	3,050	0	0	
2年災農地災害復旧工事(繰越明許)	3,531	0	2,078	0	1,453	0	0	
2年災農業用施設災害復旧工事(繰越明許)	1,782	0	1,669	0	113	0	0	
2年災公共土木施設災害復旧工事(繰越明許)	18,046	10,562	0	6,000	1,484	0	0	
(2) 単独事業	17,635	0	0	4,500	97	13,038	0	
2年災公共土木施設災害復旧工事(繰越明許)	897	0	0	800	97	0	0	
農地等災害復旧事業(時間外勤務手当・普通旅費・消耗品費・食糧費)	254	0	0	0	0	254	0	
3年災農業用施設災害復旧工事測量設計業務委託料	1,723	0	0	700	0	1,023	0	
3年災農地災害復旧工事測量設計業務委託料	1,115	0	0	0	0	1,115	0	
3年災公共土木施設災害復旧工事測量設計業務委託料	3,762	0	0	3,000	0	762	0	
3年災公共土木施設災害応急復旧工事	9,720	0	0	0	0	9,720	0	
支弁人件費	164	0	0	0	0	164	0	
合 計	1,087,723	310,139	148,069	270,000	155,287	204,228	0	

令和3年度地方財政状況調査から抜粋

性 質 別 歳 出

(単位：千円)

区 分	決算額	構成比 %	財 源 内 訳							繰越金	町債	一般財源
			国庫支出金	県支出金	使用料 手数料	分担金 負担金 寄附金	財産収入	繰入金	諸収入			
(一) 消費的経費	4,919,397	62.5	1,387,225	530,615	95,933	43,935	8,615	184,820	33,471	2,038	0	2,632,745
1 人件費	1,036,517	13.2	158,638	38,318	20,775	2	1,668	0	2,859	0	0	814,257
2 物件費	907,707	11.5	112,101	25,445	60,490	12,971	6,709	0	29,220	2,038	0	658,733
3 維持補修費	34,538	0.4	0	0	12,912	176	162	0	47	0	0	21,241
4 扶助費	1,794,198	22.8	957,102	297,347	456	25,583	0	0	233	0	0	513,477
5 補助費等	1,146,437	14.6	159,384	169,505	1,300	5,203	76	184,820	1,112	0	0	625,037
(二) 投資的経費	1,087,723	13.8	310,139	148,069	0	1,197	0	101,297	11,188	41,605	270,000	204,228
1 普通建設事業	1,046,729	13.3	299,577	144,322	0	842	0	101,297	11,188	38,813	259,500	191,190
イ 補助事業	617,991	7.8	299,577	144,322	0	0	0	0	0	32,437	114,000	27,655
ロ 単独事業	422,610	5.4	0	0	0	76	0	101,297	11,188	6,314	140,200	163,535
ハ 国庫事業負担金	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニ 県営事業負担金	6,128	0.1	0	0	0	766	0	0	0	62	5,300	0
ホ 同級他団体施行事業負担金	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 災害復旧事業	40,994	0.5	10,562	3,747	0	355	0	0	0	2,792	10,500	13,038
イ 補助事業	23,359	0.3	10,562	3,747	0	355	0	0	0	2,695	6,000	0
ロ 単独事業	17,635	0.2	0	0	0	0	0	0	0	97	4,500	13,038
3 失業対策事業	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ 補助事業	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ 単独事業	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(三) 公債費	525,384	6.7	0	0	39,458	0	0	0	0	0	0	485,926
(四) 積立金	817,045	10.4	0	0	0	8,874	6,477	0	0	0	0	801,694
(五) 投資及び出資金	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(六) 貸付金	50,446	0.6	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	446
(七) 繰出金	473,789	6.0	19,653	68,378	0	0	264	0	0	0	0	385,494
合 計	7,873,784	100.0	1,717,017	747,062	135,391	54,006	15,356	286,117	94,659	43,643	270,000	4,510,533

令和3年度地方財政状況調査から抜粋

※構成比については、四捨五入の関係上、計が一致しない場合がある。

地 方 債 現 在 高 の 状 況

(単位：千円)

区分	2年度末 現在高	3年度 発行額	3年度元利償還金			3年度末 現在高
			元金償還額	利子償還額	計	
1 公共事業等債	343,712	3,400	41,617	797	42,414	305,495
2 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	29,033	30,300	2,279	2	2,281	57,054
3 公営住宅建設事業債	251,935	1,900	38,985	473	39,458	214,850
4 災害復旧事業債	59,468	15,200	6,658	57	6,715	68,010
5 (旧) 緊急防災・減災事業債	107,934	0	26,378	1,087	27,465	81,556
6 学校教育施設等整備事業債	273,779	3,900	26,344	2,237	28,581	251,335
7 一般廃棄物処理事業債	0	7,400	0	0	0	7,400
8 一般補助施設整備等事業債	135,425	68,300	22,055	1,319	23,374	181,670
9 一般単独事業債	547,274	140,200	78,268	2,084	80,352	609,206
うち防災対策事業債	17,612	0	5,577	41	5,618	12,035
うち地方道路等整備事業債	146,519	0	40,607	1,631	42,238	105,912
うち(新) 緊急防災・減災事業債	307,963	31,400	25,193	358	25,551	314,170
うち公共施設等適正管理推進事業債	46,280	78,900	2,916	46	2,962	122,264
うち緊急自然災害防止対策事業債	23,000	23,100	3,385	1	3,386	42,715
うち緊急浚渫推進事業債	5,900	6,800	590	7	597	12,110
10 財源対策債	290,468	4,100	36,575	1,112	37,687	257,993
11 減収補填債	20,100	0	1,005	0	1,005	19,095
12 減税補填債	19,725	0	6,197	39	6,236	13,528
13 臨時財政対策債	2,149,695	264,800	225,987	3,829	229,816	2,188,508
普通会計小計(1~13)	4,228,548	539,500	512,348	13,036	525,384	4,255,700
14 農業集落排水事業(下水道債) ※	90,212	0	0	0	0	0
特別会計合計(14)	90,212	0	0	0	0	0
普通会計小計+特別会計合計(1~14)	4,318,760	539,500	512,348	13,036	525,384	4,255,700
15 水道事業会計	527,906	121,600	60,750	5,999	66,749	588,756
16 公共下水道事業会計(下水道債)	3,936,073	39,200	366,289	66,516	432,805	3,699,196
全会計合計(1~16)	8,782,739	700,300	939,387	85,551	1,024,938	8,543,652

※令和3年度から特別会計(農業集落排水事業)の地方債は公共下水道事業会計に統合されました。

地方消費税（社会保障財源化分）が充てられる社会保障施策に要する経費

平成26年4月から消費税率が5%から8%に、令和元年10月から8%から10%に引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の社会保障財源化分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和3年度佐々町一般会計決算における社会保障施策経費については以下のとおりです。

地方消費税交付金（社会保障財源化分）	178,004 千円
社会保障施策に要する経費（決算額）	1,645,663 千円
社会保障施策に要する一般財源等	813,737 千円

(千円)

社会保障施策に要する経費	令和3年度 決算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	その他 特定財源	一般財源等	うち消費税 引き上げ分
1. 社会福祉	1,212,385	430,446	276,952	36,503	468,484	102,481
子ども・子育て支援	836,609	284,671	181,199	36,270	334,469	73,165
福祉医療費	71,513	0	22,865	233	48,415	10,591
障害者自立支援給付費	272,000	136,000	68,000	0	68,000	14,875
障害者医療給付費	16,380	7,893	3,947	0	4,540	993
障害者日常生活用具給付等助成	3,765	1,882	941	0	942	206
高齢者外出支援タクシー利用助成	11,883	0	0	0	11,883	2,600
心身障害者福祉タクシー利用助成	235	0	0	0	235	51
成年後見人費用助成	0	0	0	0	0	0
2. 社会保険	263,301	19,653	41,712	0	201,936	44,173
介護保険特別会計繰出金	180,420	8,770	4,385	0	167,265	36,589
国民健康保険特別会計繰出金	82,881	10,883	37,327	0	34,671	7,584
3. 保健衛生	169,977	0	26,660	0	143,317	31,350
後期高齢者医療療養給付費負担金	125,635	0	0	0	125,635	27,482
後期高齢者医療特別会計繰出金	44,342	0	26,660	0	17,682	3,868
4. 合計	1,645,663	450,099	345,324	36,503	813,737	178,004

令和3年度決算状況

都道府県名	長崎県	コード番号	423912	市町村類型	Ⅲ-2
		ふりがな	さざちよう	3年度交付税	種地
		市町名	佐々町	種地区分	Ⅱ-3

人口		面積	人口密度	人口集中地区	産業構造					
国調	2年	13,912 人	32.26 km ²	431.25 人/km ²	-	区 分	第1次	第2次	第3次	
	27年	13,626 人				就業人口	2年	316 人	1,760 人	4,626 人
	22年	13,599 人					国調	4.7 %	26.3 %	69.0 %
	増減率	2.1 % 0.2 %				市町村の沿革(合併状況)			27年	350 人
住民基本台帳	R4.3.31	13,965 人	昭和16年1月1日町制施行 佐々町			国調	5.4 %	24.8 %	69.8 %	
	R3.3.31	14,000 人								

区分	令和3年度	令和2年度	区分	指標等	指定団体等の状況
1 歳入総額 A	8,236,017 千円	9,760,263 千円	基準財政需要額	3,290,037 千円	・ 財政再建
2 歳出総額 B	7,873,784	9,370,879	基準財政収入額	1,514,788 千円	・ 不交付
3 歳入歳出差引額 A-B C	362,233	389,384	標準財政規模	3,942,742 千円	・ 低開発
4 翌年度に繰り越すべき財源 D	22,452	112,390	財政力指数	0.550	・ 農工
5 実質収支 C-D E	ア 339,781	イ 276,994	経常収支比率	※(85.8) %	・ 産炭
実質収支比率	8.62 %	7.36 %	公債費負担比率	10.0 %	・ 法適過疎
6 単年度収支 F	ア-イ 62,787	16,286	〈財政健全化指標〉	%	・ 県単過疎
7 積立金 G	305,239	309,615	実質赤字比率	△ 8.6 %	・ 離島 (全域・一部)
8 繰上償還金 H	0	0	連結実質赤字比率	△ 34.0 %	・ 辺地 ○
9 積立金とりくずし額 I	78,020	689,723	実質公債費比率	8.7 %	・ (全域(一部))
10 実質単年度収支 F+G+H-I J	290,006	△ 363,822	将来負担比率	△ 96.2 %	・ 半島地域 ○
収益事業収入額	0	0	積立金現在高	5,239,652 千円	・ テクノ
徴税費率	3.8 %	4.9 %	内訳		・ 事務の共同処理の状況
			財調基金	869,864	・ 消防 ○
			減債基金	637,436	・ ごみ処理
			その他	3,732,352	・ し尿処理
			地方債現在高	4,255,700 千円	・ 介護保険
			債務負担行為額	599,761 千円	・ 小学校関係
					・ 中学校関係
					・ 山林関係
					・ 火葬場
					・ 税務事務
					・ その他(後期高齢者保険、議員公務災害、退職手当、非常勤公務災害、消防公務災害、消防退職報償、公立学校医等公務災害、交通災害共済、建物災害・自動車損害共済)

一般職員等(普通会計)				特別職員		
区分	職員数 A	給料月額 B	一人当り支給月額 B/A	区分	改定実施年月日	給料(報酬)月額
一般職員	85 人	25,169 千円	296,100 円	市町長	H27.10.1	750 千円
うち技能労務職員	2	535	267,600	副市町長	H27.10.1	605
教育公務員				教育長	H27.10.1	575
消防職員				議会議長	H15.4.1	310 (1人)
臨時職員				議会副議長	H15.4.1	249 (1人)
				議会議員	H15.4.1	226 (8人)
合計	85	25,169	296,500			

公営事業等の状況	事業名	法適用の有無	収支額	普通会計からの繰入額	事業名	法適用の有無	収支額	普通会計からの繰入額
			千円	千円			千円	千円
	水道事業	(有)・無	△ 90,881		中央卸売市場事業	有・無		
	病院事業	有・無			駐車場事業	有・無		
	観光施設事業	有・無			交通災害共済事業	有・無		
	下水道事業	(有)・無	△ 234,025	383,291	老人保健事業	有・無		
	国民健康保険事業	有(無)	25,135	98,291	農業集落排水事業	有(無)	2,292	
	介護保険(保険勘定)	有(無)	31,124	200,197	後期高齢者医療事業	有(無)	258	37,067
	“(介護サービス勘定)	有(無)	570	713	国民健康保険(直診)	有(無)	1,735	6,519

※「経常収支比率」欄の上段()は、臨時財政対策債を計算式の分母から除いた比率

令和3年度決算状況

Table with 13 columns: 都道府県名, 長崎県, 市町名, 佐々町, 類型, III-2, 歳入, 性質別歳出, 經常収支. Includes sub-headers for '歳入' (Total Revenue: 4,872,766) and '性質別歳出' (Total Expenditure: 4,510,533). Detailed breakdown of taxes (e.g., 地方交付税, 固定資産税) and expenditures (e.g., 一般会計, 建設費, 人件費) is provided.

Table showing '歳入' (Revenue) details with columns: 区分, 決算額, 構成比, 増減率, 税. Sub-headers include '地方交付税', '内訳', '普通', '特別', '地方特例交付金', '小計', '交通安全交付金', '国庫支出金', '財産収入', '地方債', '合計'.

Table showing '目的別歳出' (Expenditure by Purpose) details with columns: 区分, 決算額, 構成比, 増減率, 基準税額×100/75, 超過課税分収入済額. Sub-headers include '普通税', '固定資産税', '軽自動車税', '法定外普通税', '国民健康保険税', '合計'.

Table showing '適用税率の状況' (Situation of Applicable Tax Rates) with columns: 市町村民税, 均等割, 標準税率に對する比率, 市町村民税, 均等割, 法人税割. Includes a list of rates for different income levels (e.g., 50千円, 120千円).

Table showing '性質別歳出' (Expenditure by Nature) details with columns: 区分, 決算額, 構成比, 増減率, 税. Sub-headers include '人件費', '物件費', '維持補修費', '扶助費', '補助費等', '元利償還金', '一時借入金利息', '積立金', '投出資金・貸付金', '繰出金', '前年度繰上充用金', '小計', '投資的経費', 'うち人件費', '普通建設事業費', '補助', '単独', '営事業負担金', '災害復旧事業費', '失業対策事業費', '合計'.

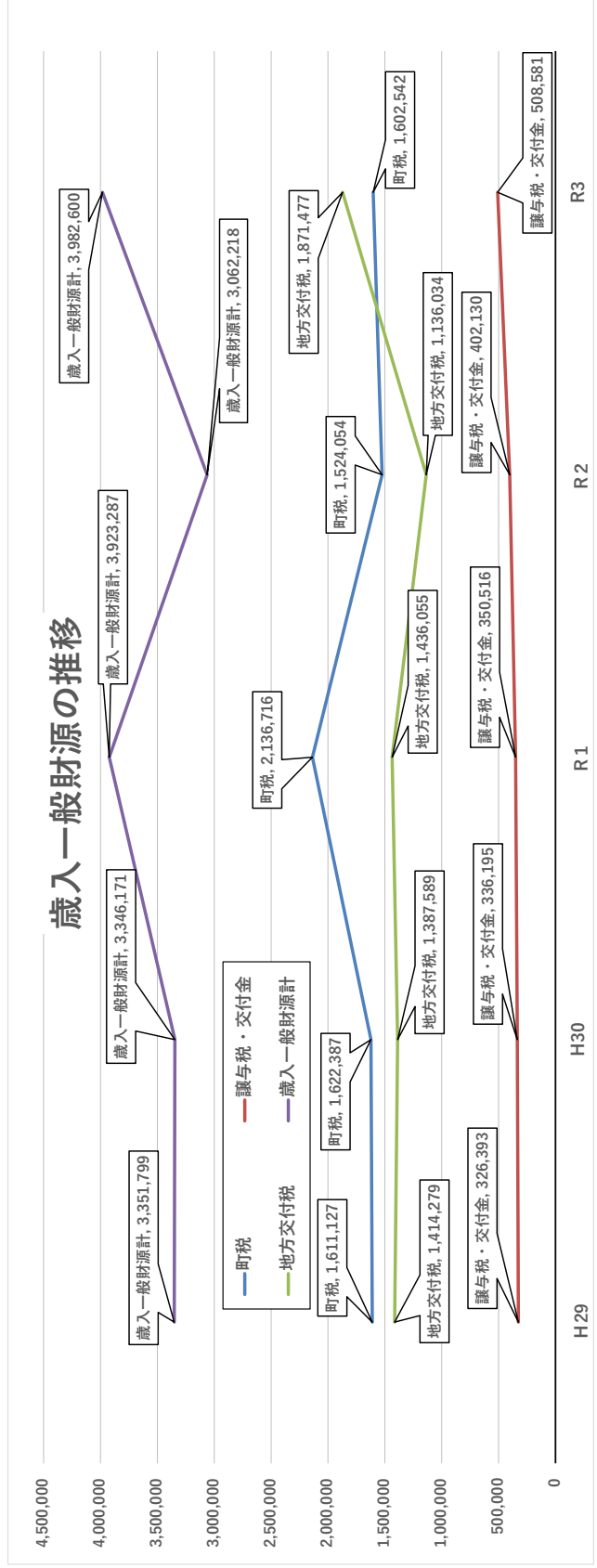
Table showing '目的別歳出' (Expenditure by Purpose) details with columns: 区分, 決算額, 構成比, 増減率. Sub-headers include '議会費', '総務費', '民生費', '衛生費', '労働費', '農林水産業費', '商工費', '土木費', '消防費', '教育費', '災害復旧費', '公債費', '諸支出金', '前年度繰上充用金', '合計'.

Table showing '徵収率' (Collection Rate) details with columns: 区分, 現年課税分, 滞納繰越分, 合計. Includes rows for '市町村民税', '固定資産税', '市町村民税の計', and '国民健康保険税'.

歳入一般財源等の推移 (H29~R3)

(単位：千円)

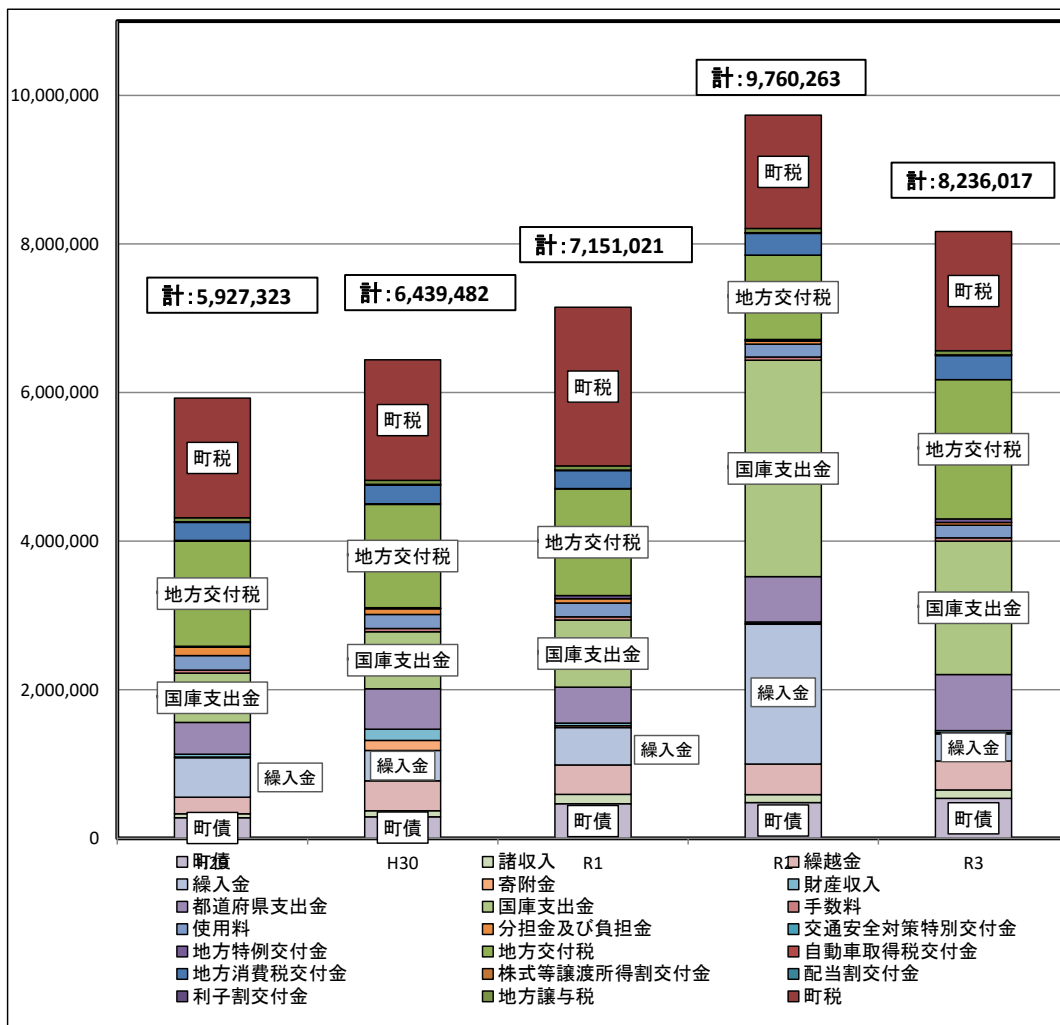
	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2	R3-H29	AVG.
町税	1,611,127	1,622,387	2,136,716	1,524,054	1,602,542	78,488	△ 8,885	1,699,365
地方譲与税	52,332	52,996	54,644	56,085	57,009	924	4,677	54,613
利子割交付金	2,368	2,208	829	925	771	△ 154	△ 1,597	1,420
配当割交付金	4,290	3,037	3,795	3,325	5,855	2,530	1,565	4,060
株式等譲渡所得割交付金	4,424	3,115	2,085	4,272	7,391	3,119	2,967	4,257
地方消費税交付金	242,019	251,366	242,104	292,578	324,301	31,723	82,282	270,474
自動車取得税交付金	9,982	10,811	5,583	1	0	△ 1	△ 9,982	5,275
自動車税環境性能割交付金			1,213	2,994	2,853	△ 141	2,853	2,353
法人事業税交付金			24,895	24,895	62,539	37,644	62,539	43,717
地方特例交付金	10,978	12,662	40,263	17,055	47,862	30,807	36,884	25,764
地方交付税	1,414,279	1,387,589	1,436,055	1,136,034	1,871,477	735,443	457,198	1,449,087
うち普通交付税	1,335,439	1,304,024	1,348,487	1,044,396	1,775,249	730,853	439,810	1,361,519
うち特別交付税	78,840	83,565	87,568	91,638	96,228	4,590	17,388	87,568
歳入一般財源計	3,351,799	3,346,171	3,923,287	3,062,218	3,982,600	920,382	630,801	3,533,215
臨時財政対策債	189,300	186,700	154,100	122,800	264,800	142,000	75,500	183,540
減収補てん債				20,100				
歳入一般財源+臨時財政対策債+減収補てん債	3,541,099	3,532,871	4,077,387	3,205,118	4,247,400	1,042,282	706,301	3,720,775
標準財政規模	3,411,459	3,404,289	3,468,419	3,761,459	3,942,742	181,283	531,283	3,597,674
歳入一般財源+臨時財政対策債-標準財政規模	129,640	128,582	608,968	△ 556,341	304,658	860,999	175,018	123,101



普通会計における性質別決算額の推移（歳入）

単位：千円

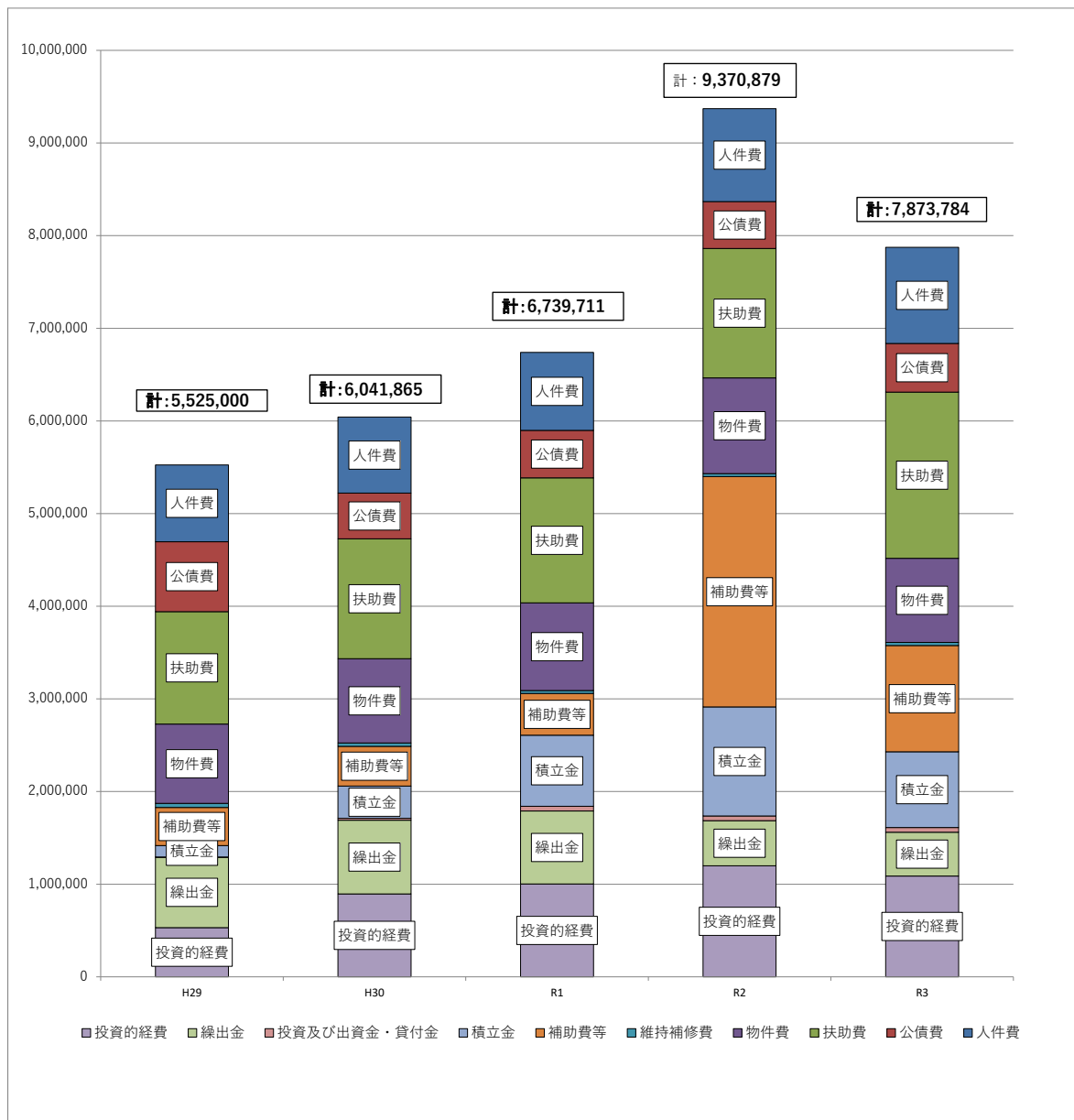
区分	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
町税	1,611,127	1,622,387	2,136,716	1,524,054	1,602,542	78,488
地方譲与税	52,332	52,996	54,644	56,085	57,009	924
利子割交付金	2,368	2,208	829	925	771	△ 154
配当割交付金	4,290	3,037	3,795	3,325	5,855	2,530
株式等譲渡所得割交付金	4,424	3,115	2,085	4,272	7,391	3,119
地方消費税交付金	242,019	251,366	242,104	292,578	324,301	31,723
自動車取得税交付金	9,982	10,811	5,583	1	0	△ 1
自動車税環境性能割交付金			1,213	2,994	2,853	△ 141
法人事業税交付金				24,895	62,539	37,644
地方特例交付金	10,978	12,662	40,263	17,055	47,862	30,807
地方交付税	1,414,279	1,387,589	1,436,055	1,136,034	1,871,477	735,443
交通安全対策特別交付金	1,644	1,677	1,685	1,808	1,420	△ 388
分担金及び負担金	113,698	77,548	58,584	44,418	38,718	△ 5,700
使用料	194,150	188,370	184,254	171,925	168,247	△ 3,678
手数料	42,040	43,962	44,631	44,847	44,136	△ 711
国庫支出金	663,792	767,876	903,060	2,912,164	1,794,350	△ 1,117,814
都道府県支出金	428,798	544,546	485,552	608,528	756,101	147,573
財産収入	35,615	152,011	34,721	23,964	28,772	4,808
寄附金	10,287	135,115	23,407	8,990	15,588	6,598
繰入金	530,654	407,229	503,032	1,880,054	364,291	△ 1,515,763
繰越金	224,906	402,323	397,617	411,310	389,384	△ 21,926
諸収入	51,840	82,754	126,291	108,937	112,910	3,973
町債	278,100	289,900	464,900	481,100	539,500	58,400
合計	5,927,323	6,439,482	7,151,021	9,760,263	8,236,017	△ 1,524,246



普通会計における性質別決算額の推移（歳出）

単位：千円

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
人件費	828,144	821,215	840,494	1,002,833	1,036,517	33,684
公債費	754,446	492,662	513,522	506,613	525,384	18,771
扶助費	1,214,446	1,294,357	1,348,611	1,396,005	1,794,198	398,193
物件費	855,845	909,100	947,125	1,034,095	907,707	△ 126,388
維持補修費	44,408	36,151	31,621	31,583	34,538	2,955
補助費等	410,420	429,794	450,371	2,486,699	1,146,437	△ 1,340,262
積立金	124,297	348,088	767,415	1,176,896	817,045	△ 359,851
投資及び出資金・貸付金	760	20,647	50,596	50,550	50,446	△ 104
繰出金	760,765	794,389	787,936	487,183	473,789	△ 13,394
投資的経費	531,469	895,462	1,002,020	1,198,422	1,087,723	△ 110,699
歳出合計	5,525,000	6,041,865	6,739,711	9,370,879	7,873,784	△ 1,497,095

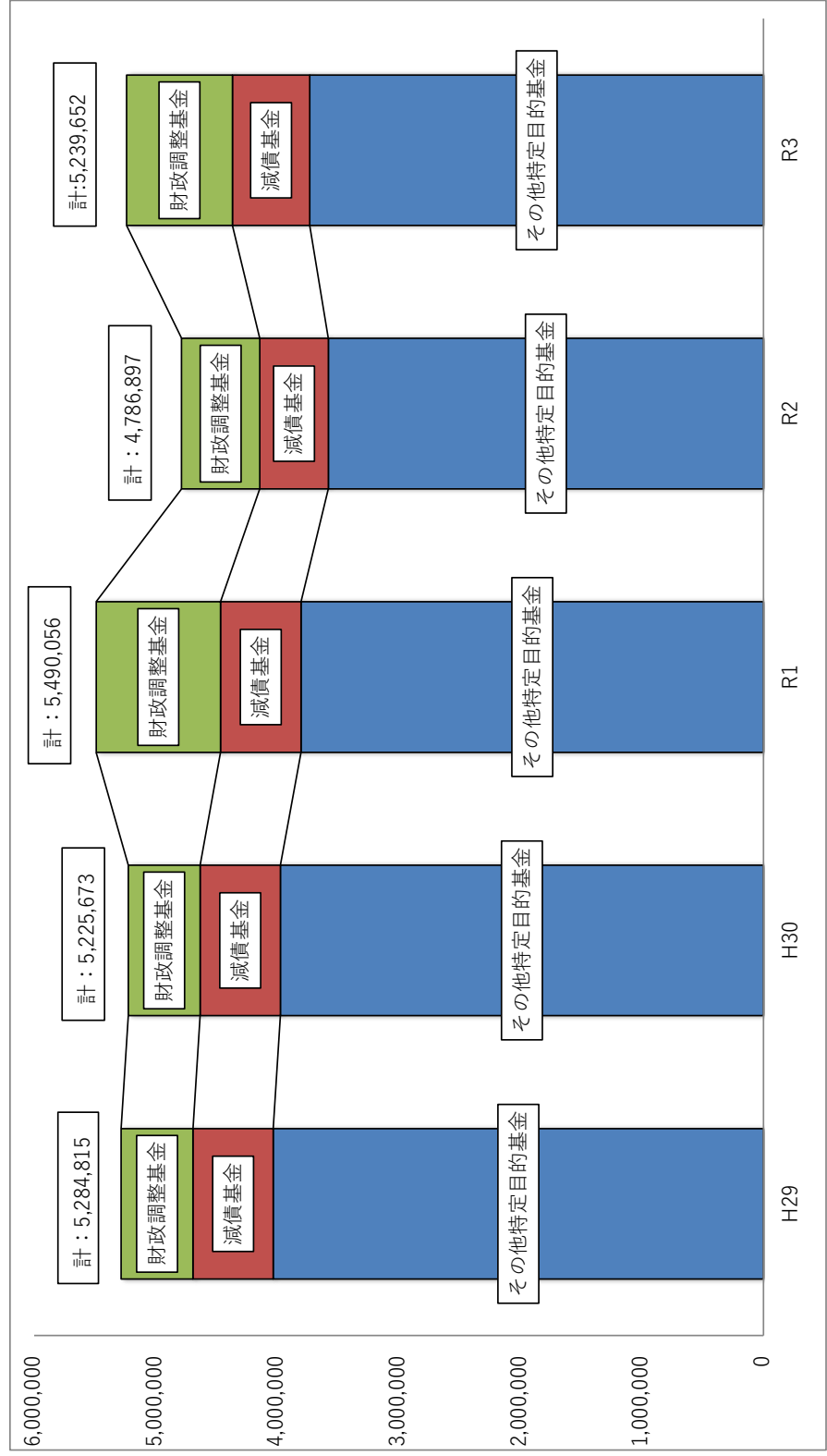


基金現在高の推移

単位：千円

	H29	H30	R1	R2	R3	R3- R2
財政調整基金	591,723	590,477	1,022,754	642,645	869,864	227,219
減債基金	659,717	660,638	663,208	564,098	637,436	73,338
その他特定目的基金	4,033,375	3,974,558	3,804,094	3,580,154	3,732,352	152,198
計	5,284,815	5,225,673	5,490,056	4,786,897	5,239,652	452,755

※土地開発基金除く



基金の状況

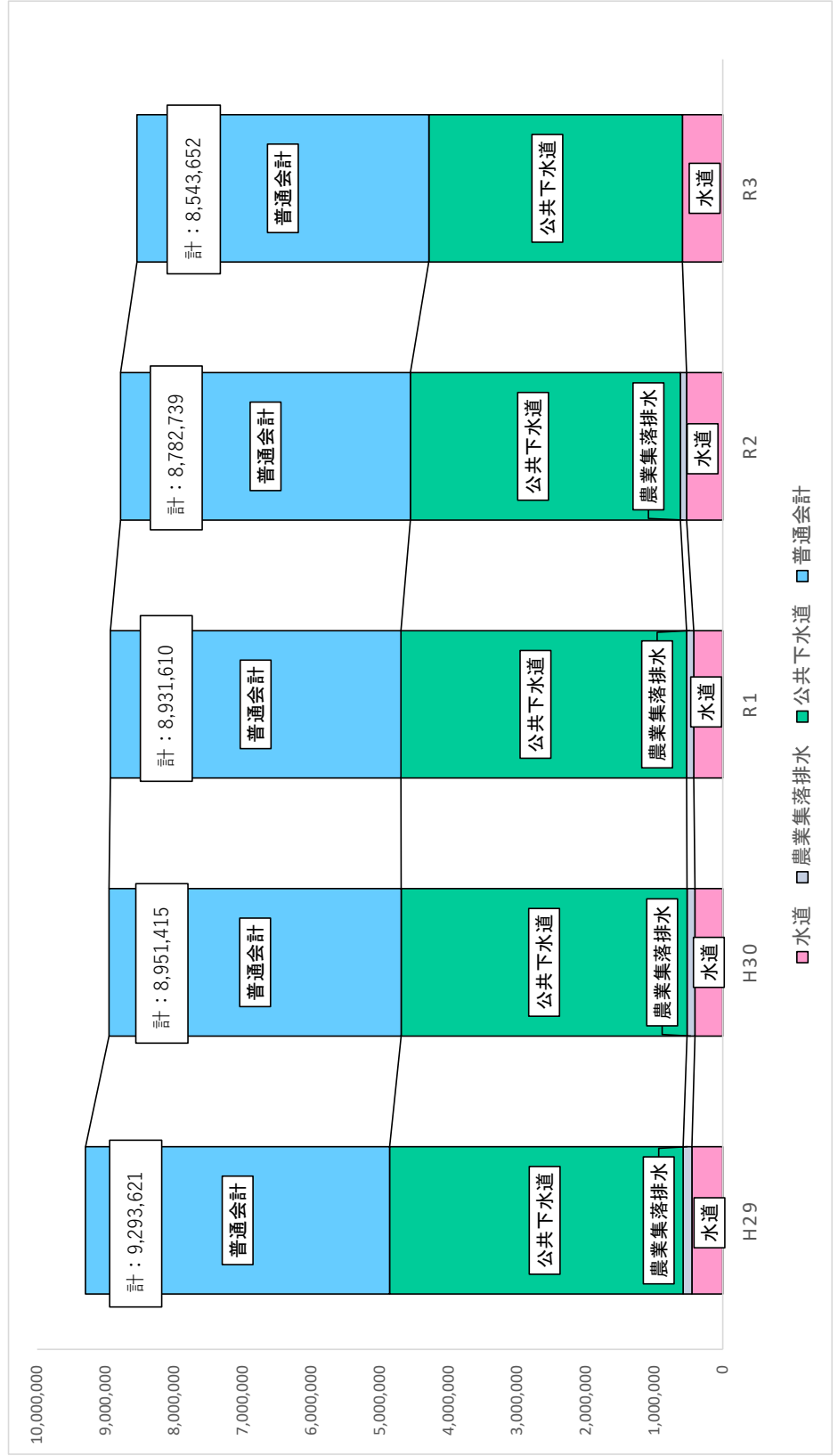
単位：円

	基金区分	令和2年度末		令和3年度中		令和3年度末		令和3年度中増減高内訳		取崩し
		残高	増減高	増減高	残高	基金積立金	基金利子積立金			
1	財政調整基金	642,645,491	227,218,453	869,863,944	304,369,000	869,453	78,020,000			
2	土地開発基金	331,221,322	264,053	331,485,375		264,053				
3	減債基金	564,097,705	73,338,184	637,435,889	72,575,000	763,184				
4	● 下水道整備基金	289,868,471	25,101,171	314,969,642	208,000,000	392,171	183,291,000			
5	● 体育文化振興基金	21,851,885	△ 1,653,252	20,198,633		29,564	1,682,816			
6	● ★ 地域福祉基金	185,270,463	0	185,270,463		250,658	250,658			
7	● 地域振興基金	188,203,404	254,626	188,458,030		254,626				
8	● 協働のまちづくり促進基金	102,790,859	139,069	102,929,928		139,069				
9	● ふるさと応援基金	77,426,872	△ 6,163,597	71,263,275	9,731,650	104,753	16,000,000			
10	● 水資源開発基金	22,806,174	30,856	22,837,030		30,856				
11	● ふるさと水と土保全対策基金	10,628,039	14,379	10,642,418		14,379				
12	● 公共施設整備基金	1,950,564,118	148,638,974	2,099,203,092	199,000,000	2,638,974	53,000,000			
13	● 庁舎整備基金	654,876,627	△ 30,659,999	624,216,628		886,001	31,546,000			
14	● 森林環境譲与税基金	5,936,387	4,044,032	9,980,419	4,036,000	8,032				
15	● 環境整備協力費基金	69,930,995	12,451,988	82,382,983		94,611	500,000			
	● 一般会計小計(1~15)	5,118,118,812	453,018,937	5,571,137,749	810,569,027	6,740,384	364,290,474			
	● うち特定目的基金(4~15)	3,580,154,294	152,198,247	3,732,352,541	433,625,027	4,843,694	286,270,474			
	● ★ うち果実運用型基金(6)	185,270,463	0	185,270,463	0	250,658	250,658			
	● 一般会計小計から土地開発基金を除く	4,786,897,490	452,754,884	5,239,652,374	810,569,027	6,476,331	364,290,474			
16	町内会公民館建設基金	10,000,000	0	10,000,000						
17	奨学資金貸付基金	12,773,000	0	12,773,000						
18	高齢療養費及び高齢介護サービス費資金貸付基金	3,000,000	0	3,000,000						
19	町内会集会所建設基金	20,000,000	0	20,000,000						
	● 定額運用基金小計(16~19)	45,773,000	0	45,773,000	0	0	0			
20	国民健康保険財政調整基金	122,451,140	△ 806,566	121,644,574	16,416,000	2,434	17,225,000			
21	国民健康保険診療所財政調整基金	44,890,869	△ 1,994,108	42,896,761	691,000	892	2,686,000			
22	介護保険財政調整基金	131,813,159	2,661,621	134,474,780	22,659,000	2,621	20,000,000			
	● 特別会計小計(20~22)	299,155,168	△ 139,053	299,016,115	39,766,000	5,947	39,911,000			
	● 合計(1~22)	5,463,046,980	452,879,884	5,915,926,864	850,335,027	6,746,331	404,201,474			

地方債現在高の推移

単位：千円

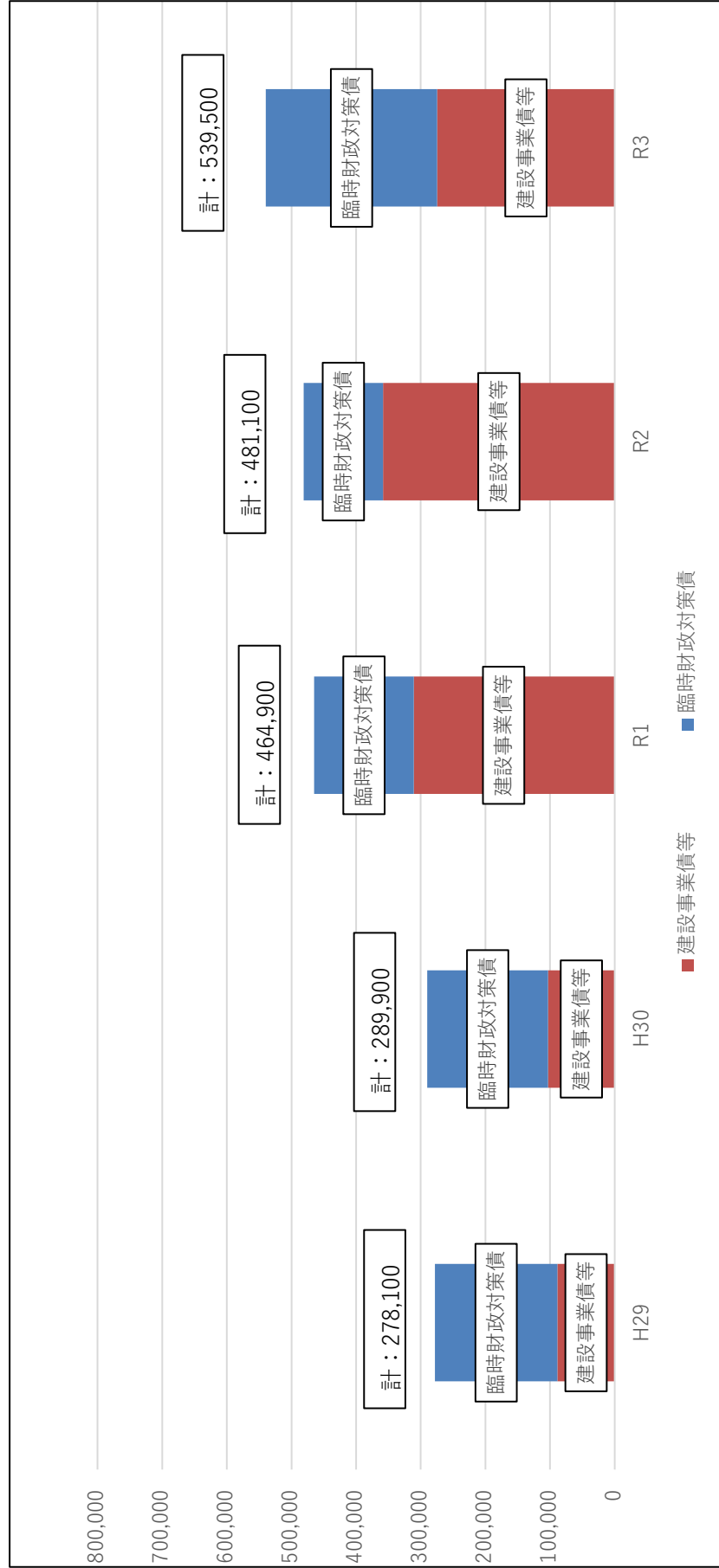
	H29	H30	R1	R2	R3	R3 - R2
普通会計	4,435,338	4,261,640	4,236,807	4,228,548	4,255,700	27,152
公共下水道	4,281,032	4,168,641	4,167,052	3,936,073	3,699,196	△ 236,877
農業集落排水	128,596	116,099	103,307	90,212	0	△ 90,212
水道	448,655	405,035	424,444	527,906	588,756	60,850
計	9,293,621	8,951,415	8,931,610	8,782,739	8,543,652	△ 239,087



地方債発行額に占める臨時財政対策債の割合等

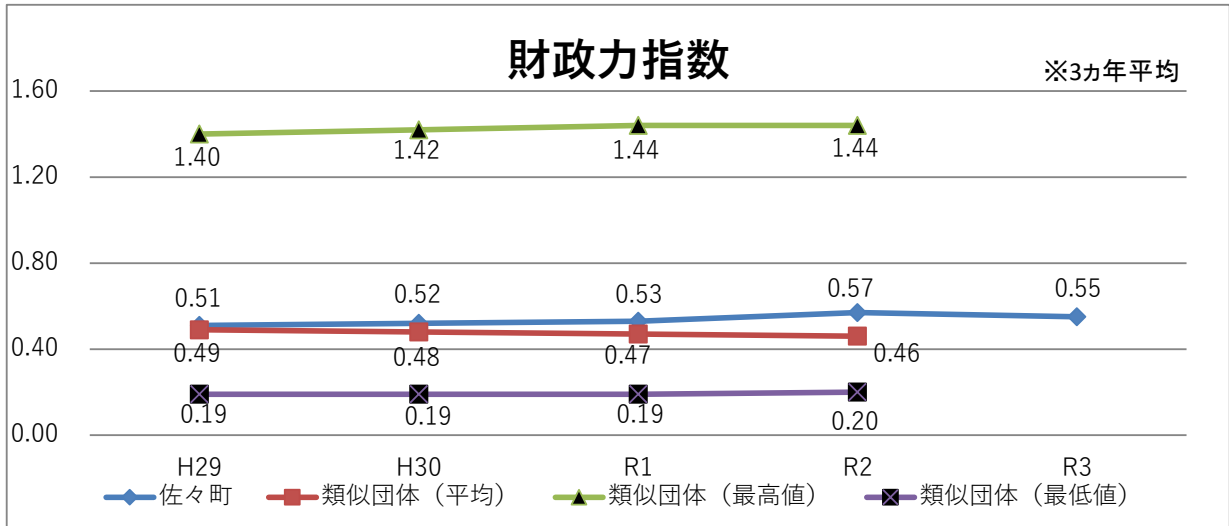
単位：千円

	H29	H30	R1	R2	R3	R3- R2	主なもの
臨時財政対策債	189,300	186,700	154,100	122,800	264,800	142,000	
建設事業債等	88,800	103,200	310,800	358,300	274,700	△ 83,600	市町村役場機能緊急保全事業 43,700 農業水路等長寿命化・防災減災事業 39,000
地方債 計	278,100	289,900	464,900	481,100	539,500	58,400	
臨時財政対策債の割合	68.1%	64.4%	33.1%	25.5%	49.1%		

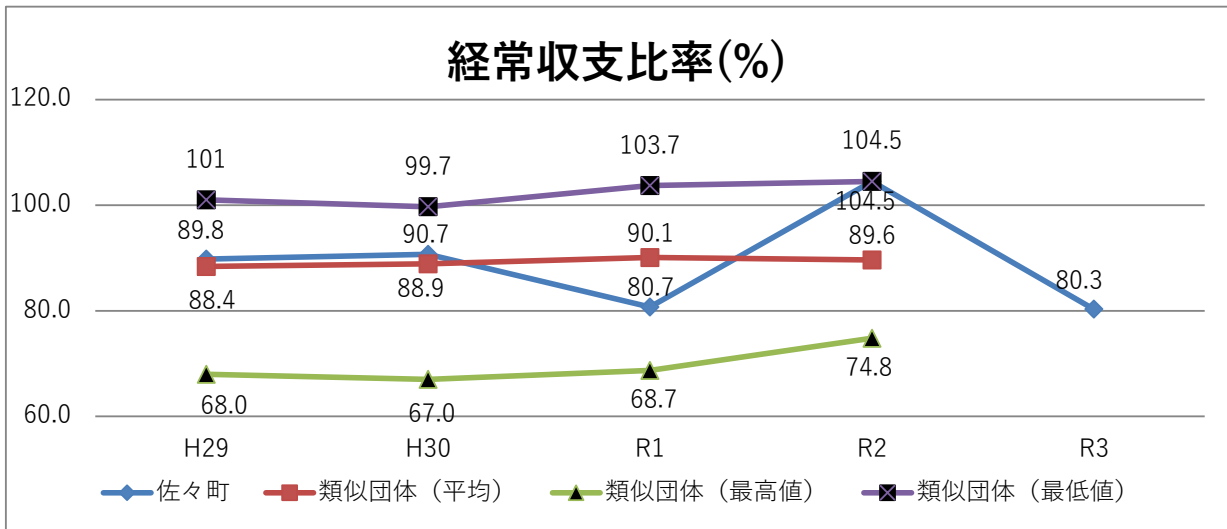


類似団体との比較による財政状況比較分析表（普通会計決算）

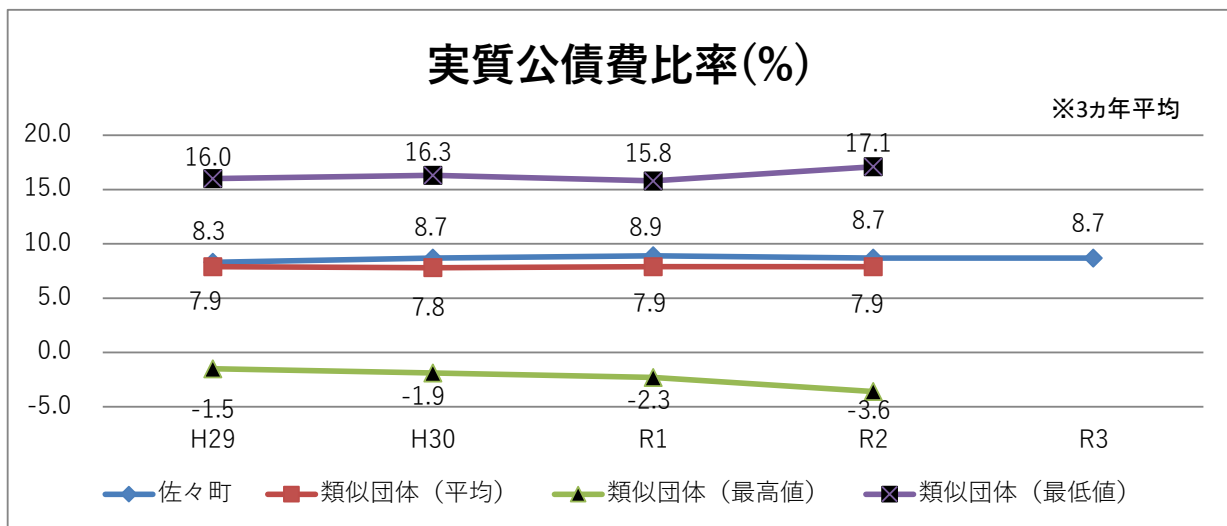
R2の類似団体内の順位 14/63

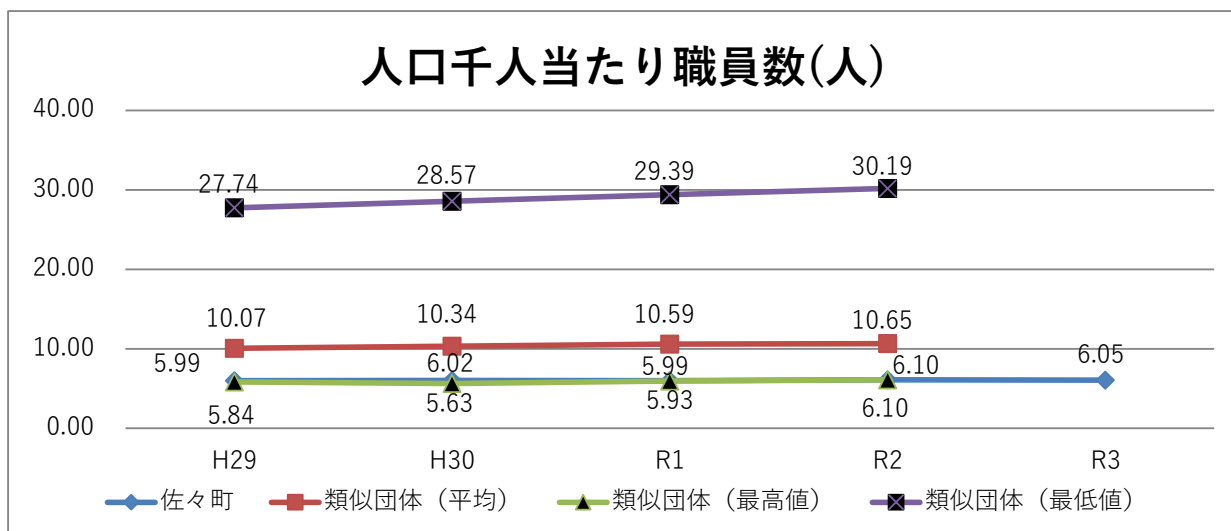
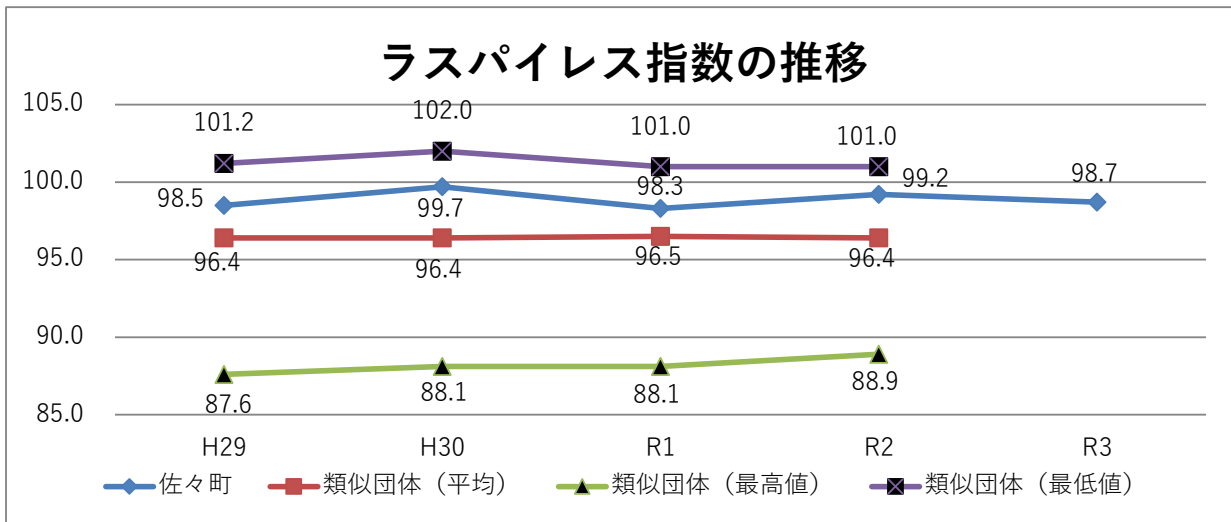
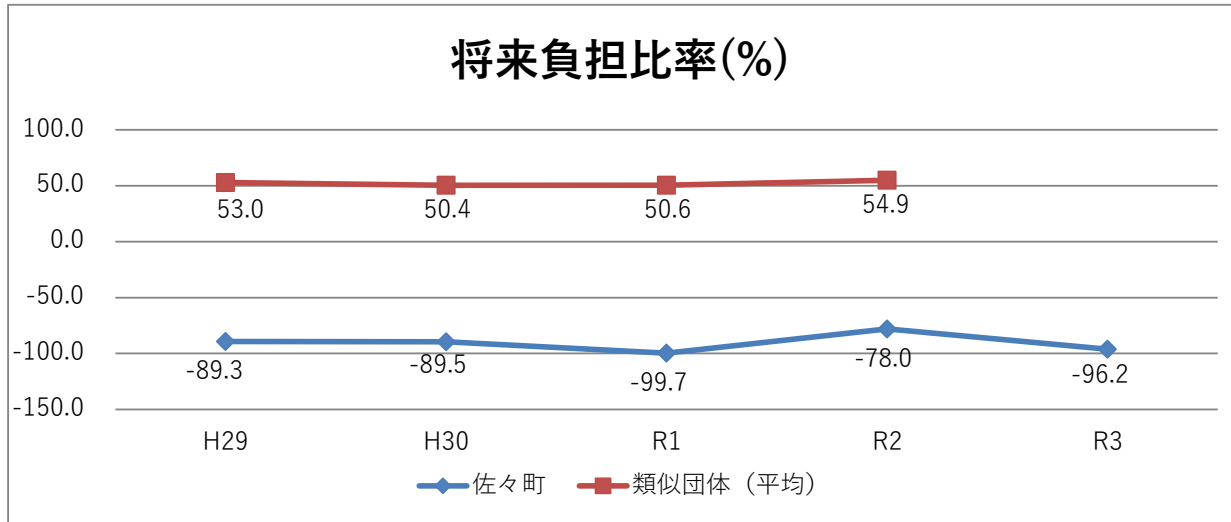


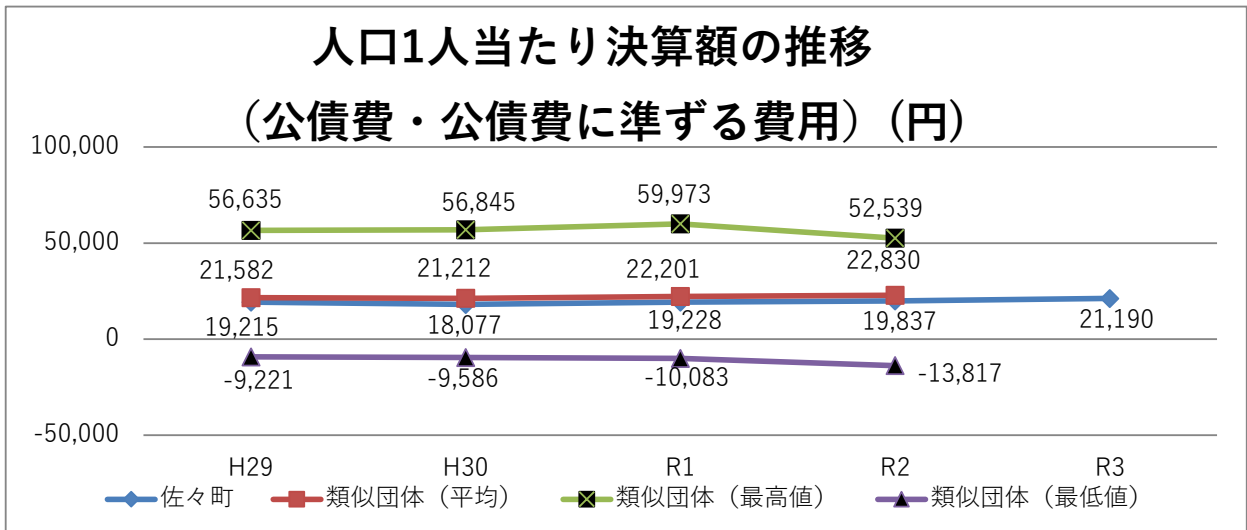
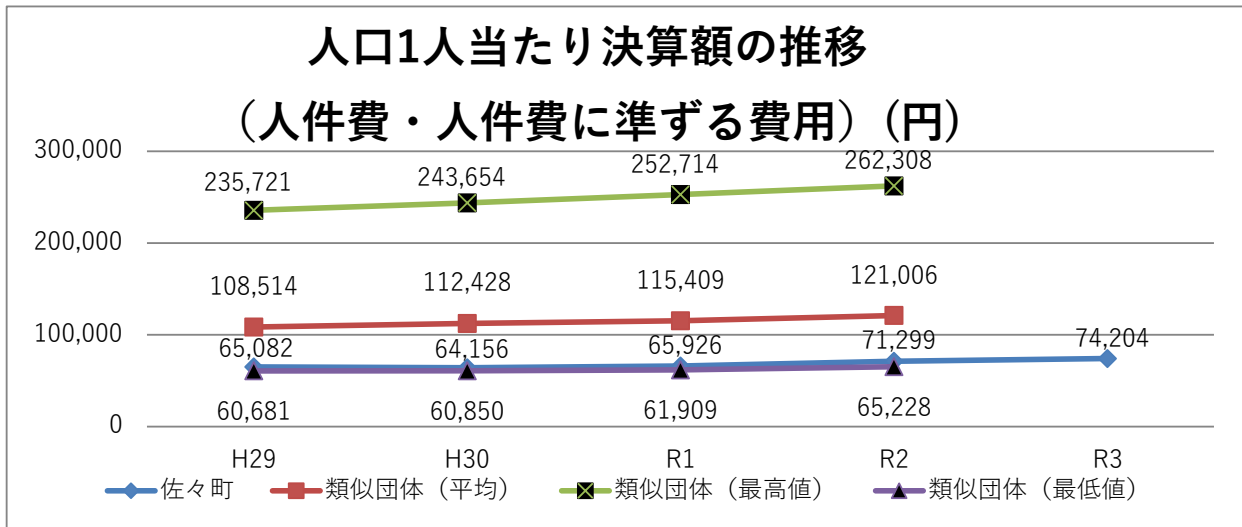
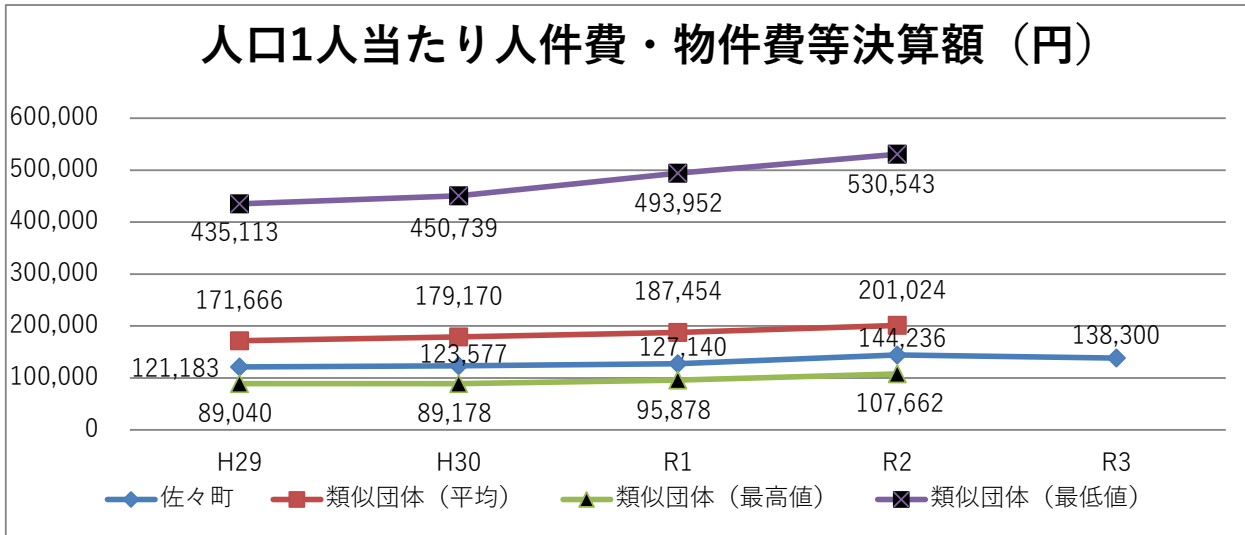
R2の類似団体内の順位 63/63



R2の類似団体内の順位 40/63

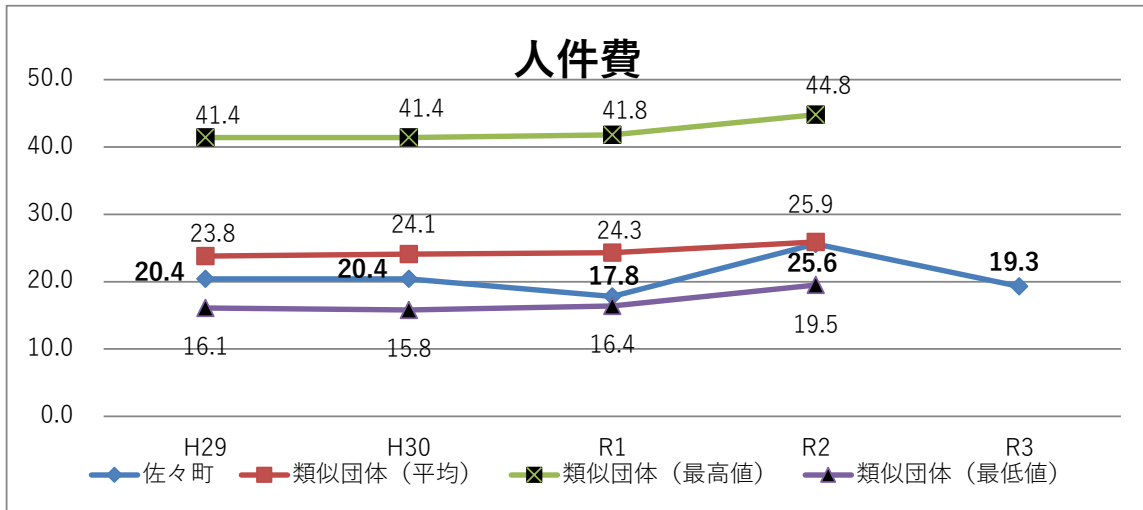




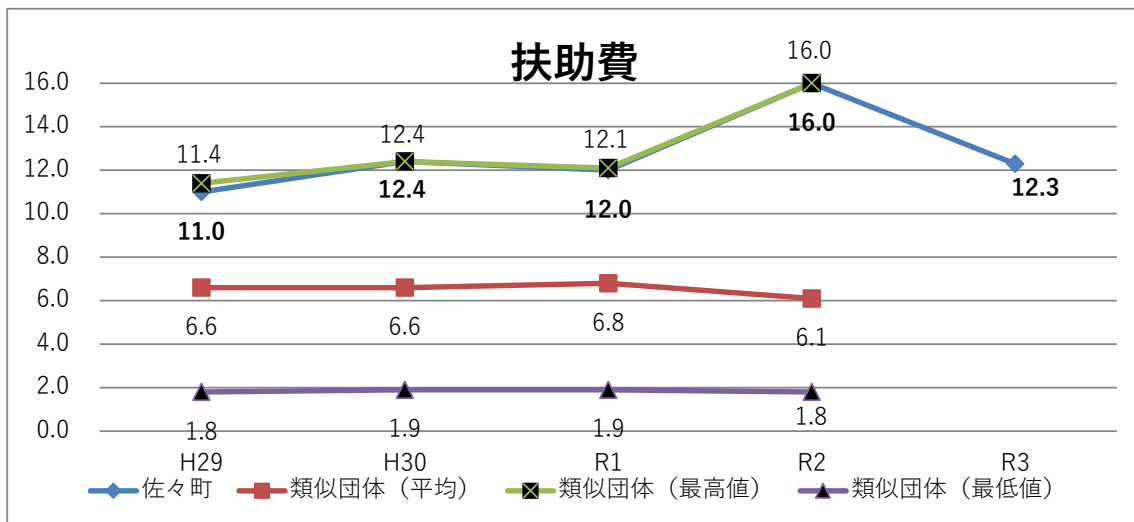


類似団体との比較による財政状況比較分析表（普通会計決算）
 【性質別による経常収支比率の分析】

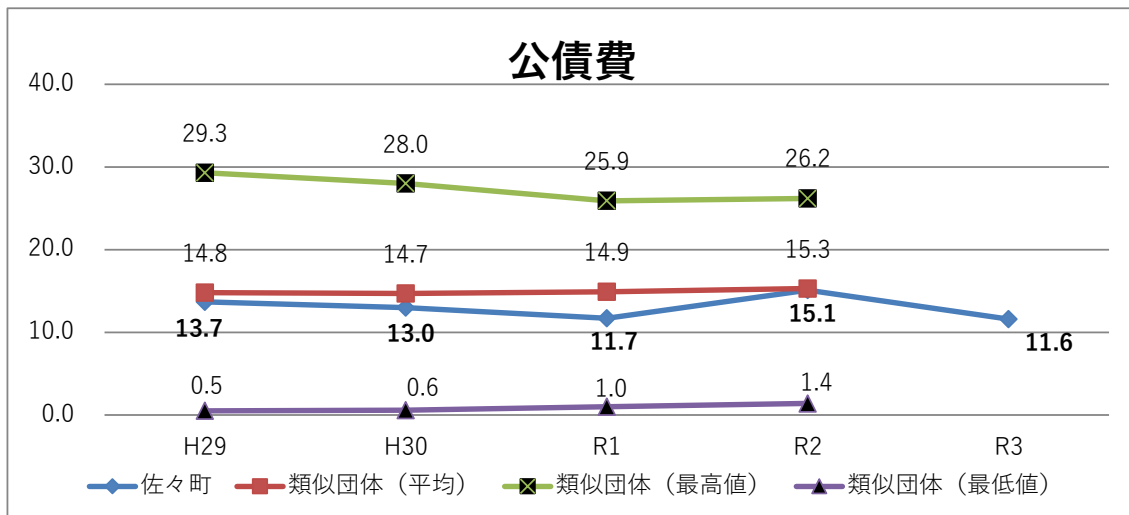
R2の類似団体内の順位 33/63

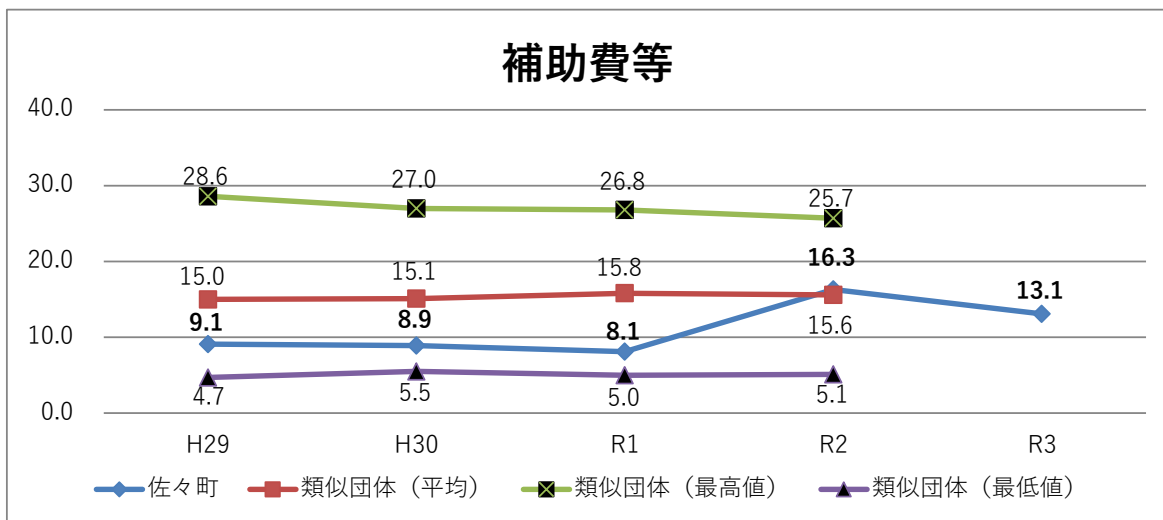
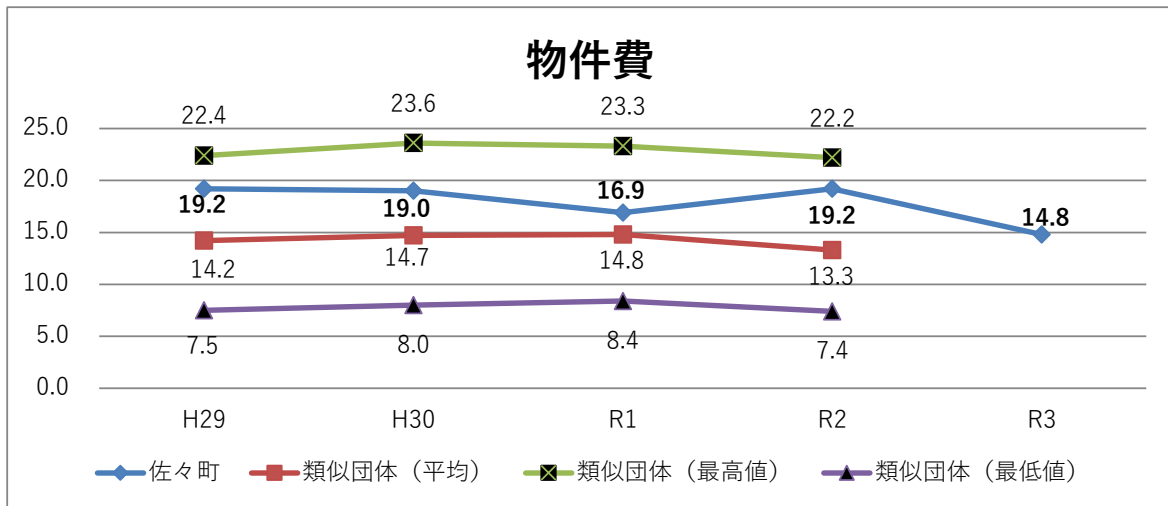


R2の類似団体内の順位 63/63



R2の類似団体内の順位 35/63

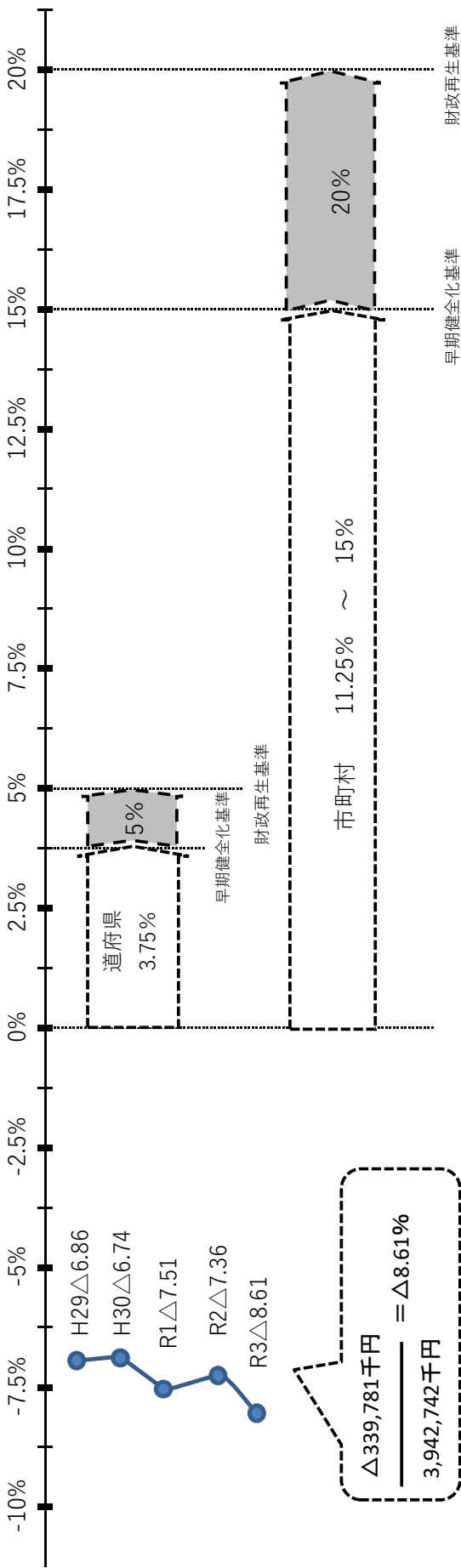




○実質赤字比率

単位：%

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
実質赤字比率	-6.86	-6.74	-7.51	-7.36	-8.61	-1.25



※実質赤字比率とは、「標準財政規模に対する、歳入総額から歳出総額を差し引いた額の割合」。

黒字の場合は、「△」の表示となる。

(1)早期健全化基準とは

市町村については、財政規模に応じて11.25~15%と設定されている。(県は、3.75%)

※標準財政規模が、50億円以下の市町村(佐々町が該当)については、15%が適用される。

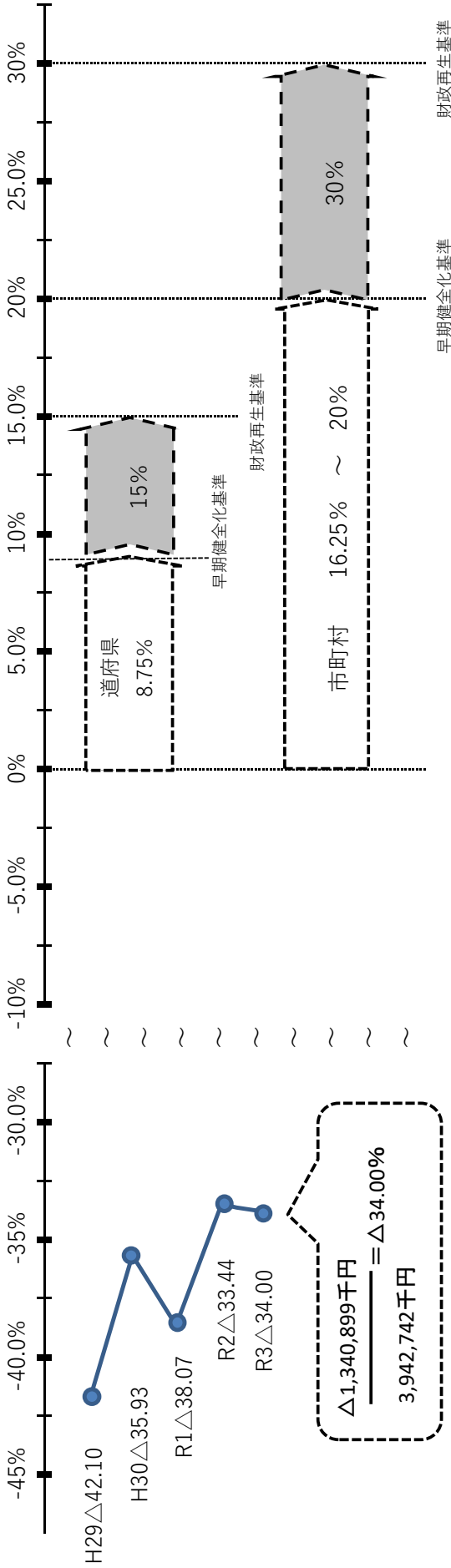
(2)財政再生基準とは

市町村は、財政規模に関わらず20%とされている。

○連結実質赤字比率

単位：％

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
連結実質赤字比率	-42.10	-35.93	-38.07	-33.44	-34.00	-0.56



※連結実質赤字比率とは、「標準財政規模に対する全ての会計の実質赤字額の割合」。

黒字の場合は、「△」の表示となる。

(1)早期健全化基準とは

市町村については、財政規模に応じて16.25～20%と設定されている。（県は、8.75%）

※標準財政規模が、50億円以下の市町村（佐々町が該当）については、20%が適用される。

ただし、実質赤字比率の早期健全化基準の15%に公営企業会計等の健全化等を踏まえて、連結実質赤字比率の早期健全化基準は5%加算し、20%と設定されている。いわゆる企業会計等の健全化対応期間ということになる。

(2)財政再生基準とは

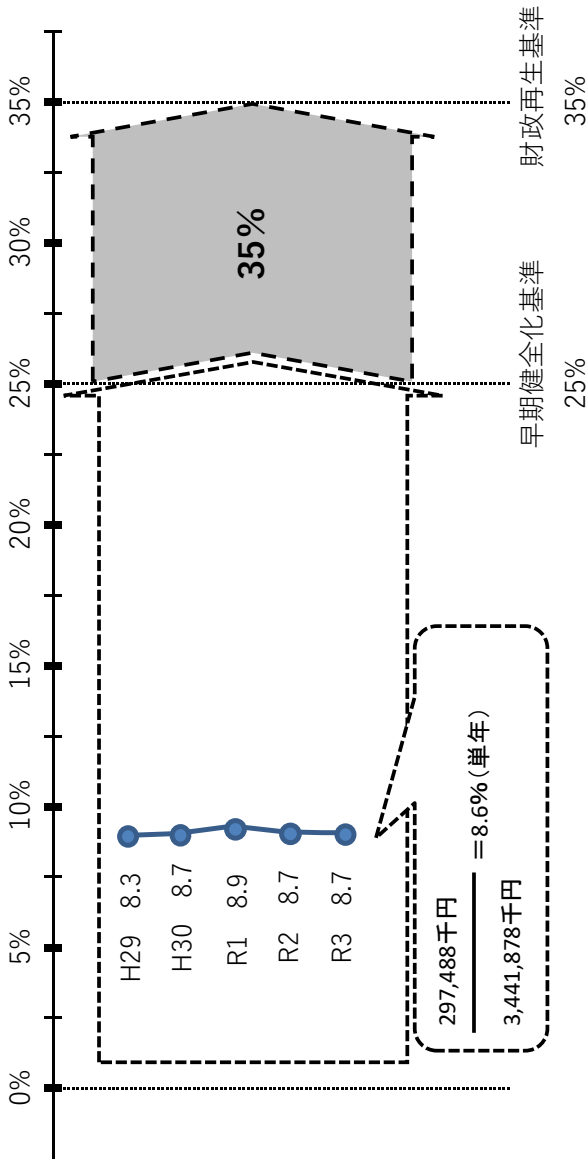
市町村は、財政規模に関わらず30%とされている。これは、早期健全化基準と同様の考え方で、実質赤字比率に10%加算してある。

○実質公債費比率

単位：％

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
実質公債費比率	8.3	8.7	8.9	8.7	8.7	0.0

※3カ年平均の数値



※実質公債費比率とは、「標準財政規模から普通交付税「基準財政需要額」に算入された元利償還金などを除いた額に対して、実際に償還した元利償還金や準元利償還金から特定財源と分母の普通交付税に算入された額の合計額を差し引いた額の割合」。

この計算式で、18%未満であれば地方債は総務大臣と県知事の同意となっているが、18%以上となると許可制となり、「公債費負担適正化計画」の提出が求められる。

(1)早期健全化基準とは

市町村については、25%以上になると一般単独事業債の起債が制限される。

(2)財政再生基準とは

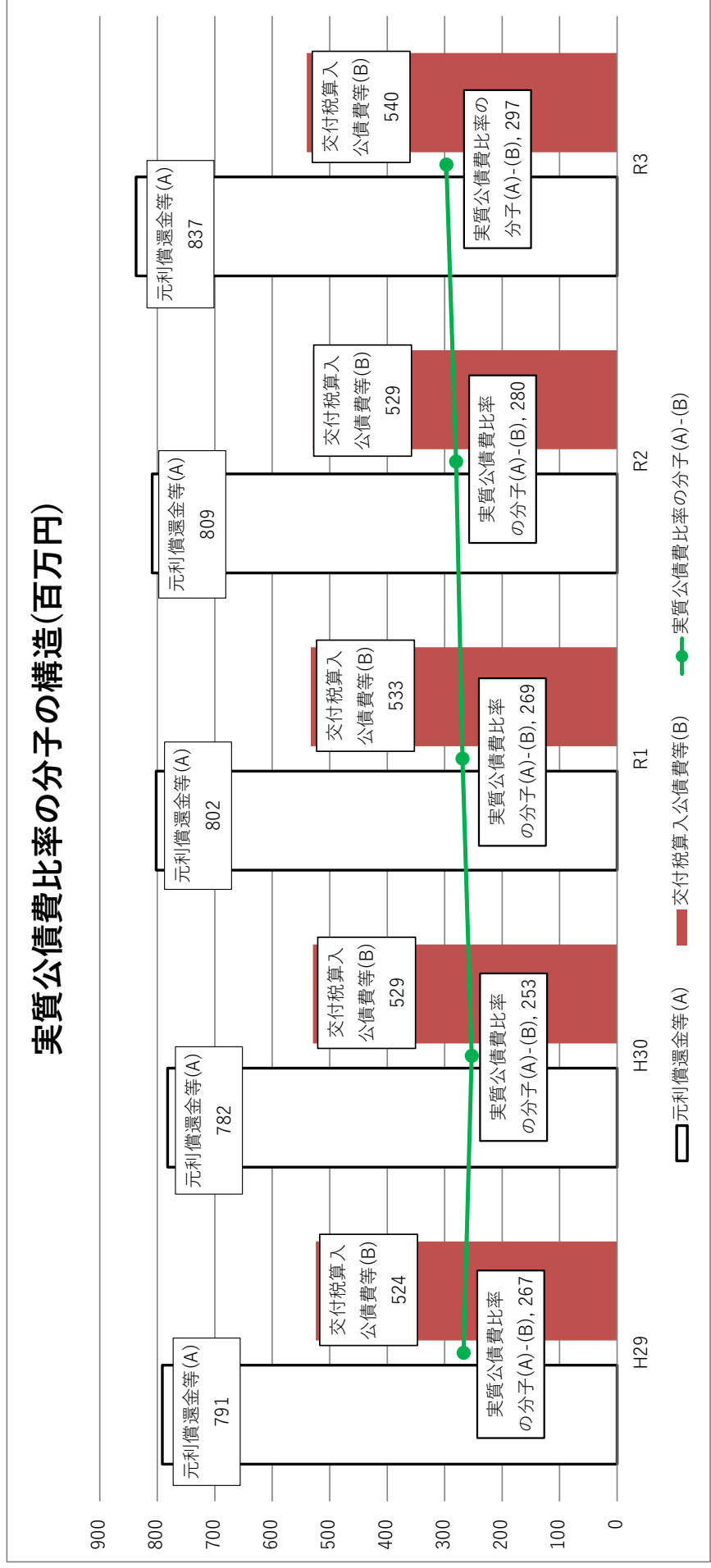
都道府県・市町村ともに、地方債・許可制度において、公共事業等が制限される35%となっている。

○実質公債費比率における(分子)の構造

単位：百万円

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
元利償還金等(A)	791	782	802	809	837	28
元利償還金	519	493	514	507	525	18
減債基金積立不足算定額						
満期一括償還地方債に係る年度割相当額						
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	272	289	288	302	312	10
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等						
債務負担行為に基づく支出額						
交付税算入公債費等(B)	524	529	533	529	540	11
実質公債費比率の分子(A)-(B)	267	253	269	280	297	17

実質公債費比率の分子の構造(百万円)

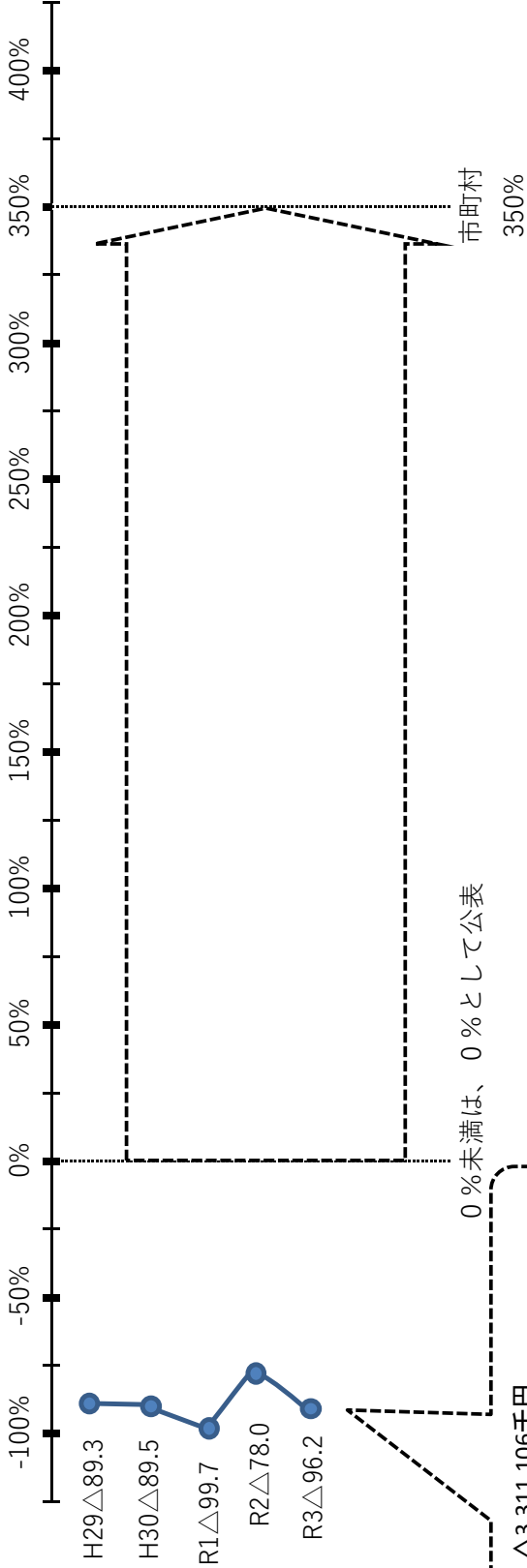


○将来負担比率

単位：％

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
将来負担比率	-89.3	-89.5	-99.7	-78.0	-96.2	-18.2

※早期健全化基準



※将来負担比率とは、自治体の一般会計がある可能性が及ぶる将来負担額を算出し、その額から基金や普通交付税に算入される公債費などを差し引いた額が分子となる。分母は標準財政規模となるが、分子で算出した普通交付税に算入される公債費等を差し引くことになる。

こうして算出された数値は、一般会計が背負っている借金が標準的な年間収入の何年分であることを表すことになる。

(1)早期健全化基準とは

市町村については350%、都道府県・政令市は400%となっている。

※将来負担比率が350%という場合、標準財政規模の3.5倍の負債があるという見方になる。

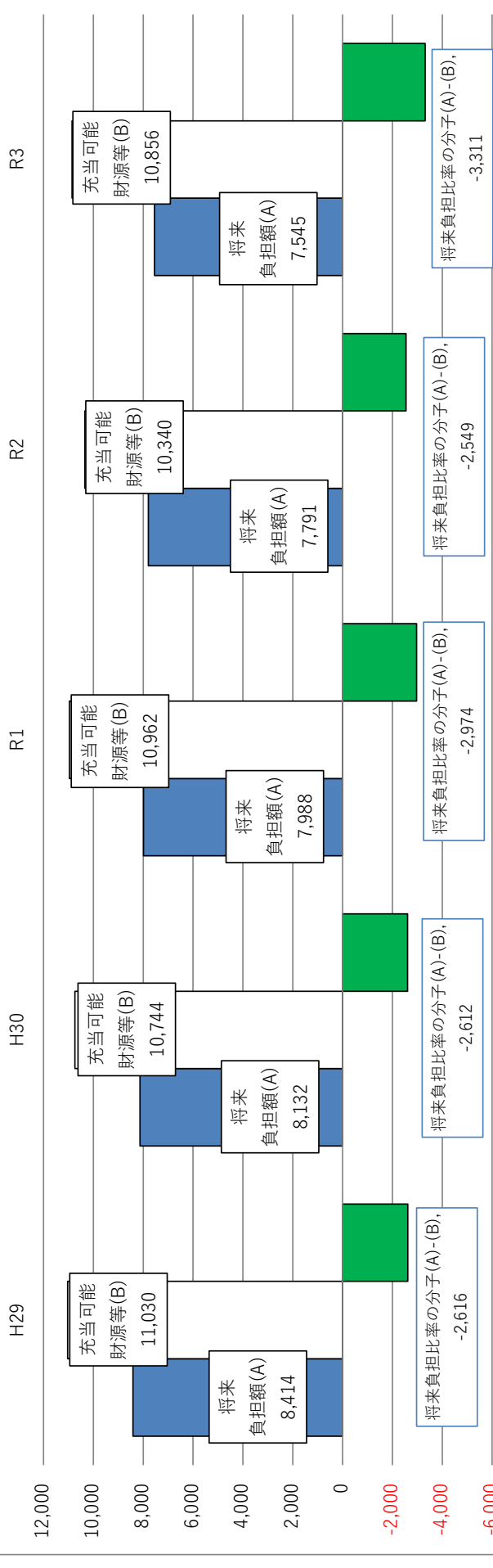
(佐々町の場合、標準財政規模が35億程度あり、うち普通交付税に算入される公債費等を除くと概ね30億程度であるから、その3.5倍

○将来負担比率における(分子)の構造

単位：百万円

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
将来負担額(A)	8,414	8,132	7,988	7,791	7,545	-246
一般会計等に係る地方債の現在高	4,435	4,262	4,237	4,229	4,256	27
債務負担行為に基づく支出予定額						
公営企業債等繰入見込額	3,285	3,170	3,073	2,884	2,611	-273
組合等負担等見込額						
退職手当負担見込額	690	696	675	675	675	0
設立法人等の負債額等負担見込額	4	4	3	3	3	0
連結実質赤字額						
組合等連結実質赤字負担見込額						
充当可能財源等(B)	11,030	10,744	10,962	10,340	10,856	516
充当可能基金	5,840	5,835	6,081	5,327	5,779	452
充当可能特定財源	154	138	197	252	215	-37
基準財政需要額算入見込額	5,036	4,771	4,684	4,761	4,862	101
将来負担比率の分子(A)-(B)	-2,616	-2,612	-2,974	-2,549	-3,311	-762

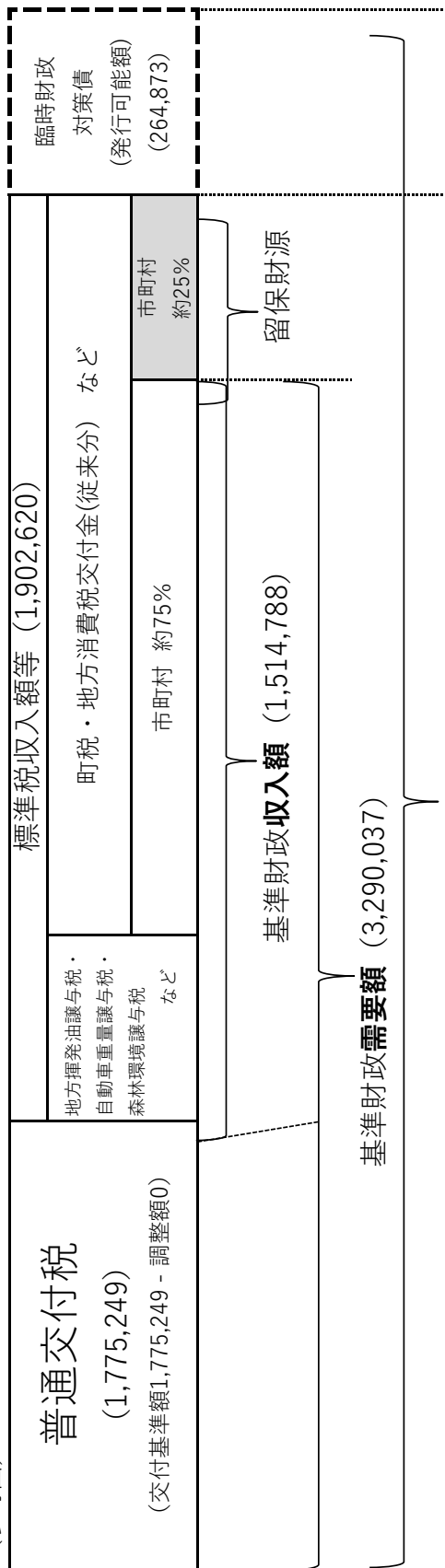
将来負担比率における分子の構造(百万円)



■ 将来負担額(A) □ 充当可能財源等(B) ■ 将来負担比率の分子(A)-(B)

標準財政規模の推移

(参考図)



単位：千円

	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
標準財政規模 ①	3,411,459	3,404,289	3,468,419	3,761,459	3,942,742	181,283
歳入一般財源 + 臨時財政対策債 ②	3,541,099	3,532,871	4,077,387	3,185,018	4,247,400	1,062,382
経常一般財源(歳入) + 臨時財政対策債 ③	3,491,135	3,477,881	4,016,583	3,119,707	4,175,235	1,055,528
差引額 (②-①)	129,640	128,582	608,968	△ 576,441	304,658	881,099
差引額 (③-①)	79,676	73,592	548,164	△ 641,752	232,493	874,245
歳入一般財源	3,351,799	3,346,171	3,923,287	3,062,218	3,982,600	920,382
経常一般財源(歳入)	3,301,835	3,291,181	3,862,483	2,996,907	3,910,435	913,528
臨時財政対策債	189,300	186,700	154,100	122,800	264,800	142,000

※標準財政規模とは、「標準税収入額等」に「普通交付税」「臨時財政対策債発行可能額」を足したものの。

※歳入一般財源 = 地方税 + 地方譲与税 + 利子割・配当割交付金 + 株式等譲渡所得割交付金 + 法人事業税交付金
+ 地方消費税交付金 + 環境性能割交付金 + 地方特例交付金 + 地方交付税 (普通+特別)

※経常一般財源(歳入)は、決算統計の「05表」より。

令和2年度 全国町村類似団体の主要財政指標（人口順）

Nº	都道府県名	団体名	R2国勢調査人口	財政力指数	順位 (高い方から)	経常収支比率	順位 (低い方から)	実質公債費比率	順位 (低い方から)	将来負担比率	順位 (低い方から)	ラスパイルズ指数	順位 (低い方から)
1	和歌山県	串本町	14,959	0.26	60	93.3	50	11.0	53	84.8	30	93.8	11
2	大阪府	岬町	14,741	0.51	21	94.9	56	10.6	50	109.9	33	96.2	24
3	山梨県	市川三郷町	14,700	0.33	43	97.3	58	10.5	49	133.8	36	96.2	24
4	千葉県	九十九里町	14,639	0.46	26	83.7	7	7.4	31	57.2	27	101.0	63
5	三重県	紀北町	14,604	0.28	55	91.6	40	6.5	25	20.5	11	97.4	41
6	茨城県	美浦村	14,602	0.69	7	90.7	37	6.1	20	92.2	32	99.1	52
7	徳島県	松茂町	14,583	0.88	3	79.7	4	▲ 3.6	1	-	-	93.7	10
8	山口県	田布施町	14,483	0.47	25	93.2	49	11.1	54	47.0	22	97.2	37
9	大分県	玖珠町	14,386	0.37	36	93.7	53	2.9	5	-	-	100.7	61
10	鹿児島県	肝付町	14,227	0.29	53	92.2	45	6.1	20	-	-	96.9	34
11	山梨県	富士川町	14,219	0.36	38	88.3	25	12.3	57	55.3	25	97.5	42
12	群馬県	榛東村	14,216	0.56	15	92.8	46	9.3	44	-	-	96.1	23
13	和歌山県	那智勝浦町	14,137	0.33	43	97.8	59	7.6	33	26.9	16	97.9	48
14	福井県	若狭町	14,003	0.33	43	87.6	22	15.3	61	81.9	29	91.5	2
15	長崎県	佐々町	13,912	0.57	14	104.5	63	8.7	40	-	-	99.2	55
16	兵庫県	上郡町	13,879	0.53	18	92.9	48	17.1	63	164.8	39	96.2	24
17	香川県	小豆島町	13,870	0.31	49	93.5	51	6.3	23	-	-	94.8	15
18	福岡県	大木町	13,820	0.52	20	85.1	12	8.0	37	-	-	100.3	59
19	千葉県	長生村	13,803	0.54	17	84.3	8	9.1	43	44.8	19	100.3	59
20	徳島県	東みよし町	13,622	0.31	49	91.9	43	7.2	30	-	-	98.2	50
21	埼玉県	鳩山町	13,560	0.59	11	90.7	37	10.6	50	119.2	34	95.9	21
22	福島県	猪苗代町	13,552	0.39	30	89.5	32	10.7	52	46.8	21	97.2	37
23	福岡県	芦屋町	13,545	0.37	36	94.2	54	1.6	4	-	-	96.5	28
24	沖縄県	嘉手納町	13,521	0.62	9	74.8	1	▲ 1.1	3	-	-	96.7	31
25	島根県	隠岐の島町	13,433	0.20	63	89.0	30	9.8	46	131.8	35	99.1	52
26	長崎県	川棚町	13,377	0.39	30	83.0	6	6.0	19	20.9	12	96.9	34
27	宮城県	松島町	13,323	0.46	26	93.5	51	7.0	29	13.1	6	92.4	7
28	徳島県	板野町	13,042	0.49	23	90.0	36	5.8	18	18.3	8	96.8	32
29	大阪府	太子町	13,009	0.51	21	99.3	60	6.2	22	-	-	97.8	46
30	福岡県	桂川町	12,878	0.42	28	96.2	57	3.3	6	6.7	3	98.8	51
31	香川県	土庄町	12,846	0.36	38	91.4	39	8.0	37	46.6	20	94.2	13
32	広島県	坂町	12,582	0.73	5	85.8	15	3.3	6	-	-	94.2	13
33	沖縄県	本部町	12,530	0.35	40	94.6	55	10.1	47	25.7	15	94.1	12
34	青森県	野辺地町	12,374	0.39	30	99.9	61	7.6	33	21.7	13	95.5	20
35	岡山県	早島町	12,368	0.73	5	91.8	41	6.6	27	-	-	96.6	30
36	高知県	佐川町	12,323	0.34	42	87.8	23	3.5	9	-	-	91.9	5
37	山口県	平生町	11,914	0.42	28	88.8	29	12.5	58	136.6	37	96.2	24
38	千葉県	一宮町	11,897	0.56	15	88.3	25	5.7	17	23.3	14	99.3	56
39	鹿児島県	屋久島町	11,858	0.24	61	89.2	31	13.1	59	8.5	4	97.5	42
40	北海道	岩内町	11,648	0.32	47	88.4	27	15.5	62	138.3	38	96.5	28
41	静岡県	東伊豆町	11,488	0.62	9	84.3	8	4.9	14	56.3	26	93.2	8
42	神奈川県	箱根町	11,293	1.44	1	100.8	62	10.4	48	88.1	31	100.2	58
43	和歌山県	湯浅町	11,122	0.35	40	86.1	18	9.7	45	-	-	93.2	8
44	埼玉県	越生町	11,029	0.53	18	92.8	46	4.1	10	20.4	10	95.9	21
45	三重県	朝日町	11,021	0.84	4	85.3	14	7.5	32	10.2	5	100.7	61
46	岡山県	里庄町	10,950	0.58	13	85.2	13	7.6	33	-	-	94.8	15
47	沖縄県	恩納村	10,869	0.59	11	78.3	3	4.8	13	-	-	97.2	37
48	神奈川県	松田町	10,836	0.65	8	86.7	20	5.5	16	49.2	23	98.0	49
49	沖縄県	金武町	10,806	0.39	30	86.0	17	4.4	12	-	-	97.5	42
50	鳥取県	岩美町	10,799	0.27	58	84.4	11	11.1	54	28.2	17	94.8	15
51	鳥取県	伯耆町	10,696	0.30	51	88.4	27	7.7	36	-	-	95.0	18
52	山梨県	身延町	10,663	0.28	55	77.0	2	▲ 2.4	2	-	-	95.4	19
53	兵庫県	神河町	10,616	0.39	30	91.8	41	14.4	60	73.5	28	97.7	45
54	長野県	木曾町	10,584	0.28	55	86.3	19	5.2	15	-	-	96.8	32
55	北海道	上富良野町	10,348	0.30	51	88.1	24	6.5	25	36.8	18	97.8	46
56	福井県	高浜町	10,326	1.03	2	89.7	34	8.1	39	-	-	92.1	6
57	鳥取県	南部町	10,323	0.27	58	92.1	44	11.4	56	19.9	9	91.8	4
58	三重県	紀宝町	10,321	0.29	53	89.8	35	8.7	40	5.4	1	97.3	40
59	千葉県	白子町	10,305	0.48	24	84.3	8	4.3	11	16.4	7	99.1	52
60	福岡県	香春町	10,191	0.33	43	89.5	32	3.3	6	-	-	97.1	36
61	鹿児島県	徳之島町	10,147	0.24	61	87.3	21	6.6	27	-	-	88.9	1
62	熊本県	甲佐町	10,132	0.32	47	85.9	16	6.3	23	53.1	24	91.7	3
63	北海道	東神楽町	10,127	0.39	30	81.6	5	8.9	42	6.2	2	99.8	57
全国町村類似団体(単純)平均			12,476	0.46		89.47		7.5		54.9		96.4	

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳								
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金	3年度実績 (2年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源
1	公共施設での感染拡大防止のための 対策物品購入事業	2,583,260	2,583,260	0	2,383,260	2,383,260	0	R2完了	一般管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	2,070,295				2,070,295	0	2,070,295
									福祉センター施設 管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	193,683				193,683	0	193,683
									児童福祉施設費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	206,890		200,000		6,890	0	6,890
									健康相談センター 施設管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	60,637				60,637	0	60,637
									塵芥処理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	35,475				35,475	0	35,475
									診療所費	診療所特別会計繰出金(新型コロナウイル ス感染症対策事業分)	16,280				16,280	0	16,280
2	避難所等での感染拡大防止のための 対策物品購入事業	2,769,087	2,769,087	0	2,769,087	2,769,087	0	R2完了	災害対策費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	289,797				289,797	0	289,797
									災害対策費	避難所用備品(新型コロナウイルス感染症 対策事業分)	2,479,290				2,479,290	0	2,479,290
3	医療機関における感染防止対策事業	4,234,142	4,234,142	0	4,234,142	4,234,142	0	R2完了	予防費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	4,234,142				4,234,142	0	4,234,142
4	飲食店事業者緊急支援給付金事業	13,807,590	13,807,590	0	13,807,590	13,807,590	0	R2完了	商工業振興費	口座振込手数料(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	7,590				7,590	0	7,590
									商工業振興費	飲食店事業者緊急支援給付金(新型コロ ナウイルス感染症対策事業分)	13,800,000				13,800,000	0	13,800,000
5	事業者支援給付金事業	56,482,888	56,482,888	0	56,482,888	56,482,888	0	R2完了	農業振興費	口座振込手数料(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	2,640				2,640	0	2,640
									農業振興費	事業者支援給付金(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	4,800,000				4,800,000	0	4,800,000
									商工業振興費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム2 名分)(新型コロナウイルス感染症対策事業 分)	452,088				452,088	0	452,088
									商工業振興費	口座振込手数料(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	28,160				28,160	0	28,160
									商工業振興費	事業者支援給付金(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	51,200,000				51,200,000	0	51,200,000
6	学校保健特別対策事業費補助金	2,935,020	2,935,020	0	2,700,020	2,700,020	0	R2完了	佐々小学校管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	831,930		69,000		762,930	0	762,930
									口石小学校管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	1,203,070		98,000		1,105,070	0	1,105,070
									学校管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	900,020		68,000		832,020	0	832,020
7	GIGAスクール構想に係る1人1台端 未導入事業	13,299,220	13,299,220	0	13,299,220	13,299,220	0	R2完了	佐々小学校教育振 興費	学習用ソフト使用料(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)	3,567,520				3,567,520	0	3,567,520
									口石小学校教育振 興費	学習用ソフト使用料(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)	4,943,400				4,943,400	0	4,943,400
									教育振興費	学習用ソフト使用料(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)	4,788,300				4,788,300	0	4,788,300
8	GIGAスクール構想に係る1人1台端 未導入事業	26,093,380	26,093,380	0	26,093,380	26,093,380	0	R2完了	佐々小学校教育振 興費	児童及び教師用ノートパソコン(タブレッ ト)	7,705,220				7,705,220	0	7,705,220
									口石小学校教育振 興費	児童及び教師用ノートパソコン(タブレッ ト)	11,471,060				11,471,060	0	11,471,060
									教育振興費	生徒及び教師用ノートパソコン(タブレッ ト)	6,917,100				6,917,100	0	6,917,100

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳									
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金	3年度実績 (2年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源	臨時交付金 充当額
9	GIGAスクール構想に係る1人1台端末導入事業	197,775	197,775	0	197,775	197,775	0	R2完了		佐々小学校教育振興費	消耗品費(モバイルルーター)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	61,530				61,530	0	61,530
										口石小学校教育振興費	消耗品費(モバイルルーター)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	61,530				61,530	0	61,530
										教育振興費	消耗品費(モバイルルーター)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	74,715				74,715	0	74,715
10	GIGAスクール構想に係る1人1台端末導入事業	15,903,818	15,903,818	0	15,903,818	15,903,818	0	R2完了		佐々小学校教育振興費	ノートパソコン(タブレット)初期設定業務委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	4,685,152				4,685,152	0	4,685,152
										口石小学校教育振興費	ノートパソコン(タブレット)初期設定業務委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	6,461,985				6,461,985	0	6,461,985
										教育振興費	ノートパソコン(タブレット)初期設定業務委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	4,756,681				4,756,681	0	4,756,681
11	GIGAスクール構想に係る1人1台端末導入事業	169,355	169,355	0	169,355	169,355	0	R2完了		佐々小学校管理費	休日学校管理業務委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	94,600				94,600	0	94,600
										口石小学校管理費	休日学校管理業務委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	74,755				74,755	0	74,755
12	GIGAスクール構想に係る1人1台端末導入事業	3,772,600	3,772,600	0	3,772,600	3,772,600	0	R2完了		佐々小学校管理費	LAN配線改修工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	979,200				979,200	0	979,200
										口石小学校管理費	LAN配線改修工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,548,800				1,548,800	0	1,548,800
										学校管理費	LAN配線改修工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,244,600				1,244,600	0	1,244,600
13	プレミアム付商品券事業	73,905,181	73,905,181	0	73,695,354	73,382,648	312,706	R2完了		プレミアム付商品券事業費	時間外勤務手当	209,827				209,827	0	0
										プレミアム付商品券事業費	消耗品費	65,181				65,181	0	65,181
										プレミアム付商品券事業費	印刷製本費	221,149				221,149	0	221,149
										プレミアム付商品券事業費	通信運搬費	2,577,121				2,577,121	0	2,577,121
										プレミアム付商品券事業費	プレミアム付商品券発行業務委託料	10,963,703				10,963,703	0	10,963,703
										プレミアム付商品券事業費	プレミアム付商品券事業費補助金	59,868,200				59,868,200	0	59,868,200
14	公共施設での感染拡大防止のための対策物品購入事業	2,167,440	2,167,440	0	2,167,440	2,167,440	0	R2完了		一般管理費	庁舎備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,083,720				1,083,720	0	1,083,720
										福祉センター施設管理費	福祉センター備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	361,240				361,240	0	361,240
										健康相談センター施設管理費	健康相談センター備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	180,620				180,620	0	180,620
										診療所費	診療所特別会計繰出金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	180,620				180,620	0	180,620
										公民館費	館内備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	180,620				180,620	0	180,620
										図書館費	館内備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	180,620				180,620	0	180,620

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳									
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金	3年度実績 (2年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源	臨時交付金 充当額
15	新生児特別定額給付金事業	12,874,014	12,073,134	800,880	6,824,014	6,423,000	401,014	R3完了		新生児特別定額給付金事業費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム1名分)	118,404				118,404	0	118,404
										新生児特別定額給付金事業費	消耗品費	611,632				611,632	0	611,632
										新生児特別定額給付金事業費	印刷製本費	3,238				3,238	0	3,238
										新生児特別定額給付金事業費	通信運搬費	27,320				27,320	0	27,320
									78	新生児特別定額給付金事業費	口座振込手数料	12,540	880			12,540	880	13,420
									78	新生児特別定額給付金事業費	新生児特別定額給付金	11,300,000	800,000	5,650,000	400,000	5,650,000	400,000	6,050,000
16	自主運営避難所(町内会運営避難所)での感染拡大対策事業	9,632,200	9,632,200	0	9,632,200	9,632,200	0	R2完了		災害対策費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	942,970				942,970	0	942,970
										災害対策費	避難所用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	8,689,230				8,689,230	0	8,689,230
17	ウェブ会議環境構築事業	1,768,800	1,768,800	0	1,768,800	1,768,800	0	R2完了		電子計算費	LAN配線手数料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	270,600				270,600	0	270,600
										電子計算費	Web会議システム構築業務委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	194,700				194,700	0	194,700
										電子計算費	Web会議システムソフト使用料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	284,460				284,460	0	284,460
										電子計算費	Web会議システム用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,019,040				1,019,040	0	1,019,040
18	公共施設手洗い自動水栓化事業	26,216,020	26,216,020	0	26,216,020	26,216,020	0	R2完了		財産管理費	町内会集会所等自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	2,894,100				2,894,100	0	2,894,100
										福祉センター施設管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,609,988				1,609,988	0	1,609,988
										児童福祉施設費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,496,000				1,496,000	0	1,496,000
										健康相談センター施設管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	495,608				495,608	0	495,608
										清掃総務費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	476,630				476,630	0	476,630
										診療所費	診療所特別会計繰出金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	151,604				151,604	0	151,604
										農業体験施設管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	401,391				401,391	0	401,391
										公園管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,426,589				1,426,589	0	1,426,589
										住宅管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	219,890				219,890	0	219,890
										佐々小学校管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	4,482,500				4,482,500	0	4,482,500
										口石小学校管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	5,237,100				5,237,100	0	5,237,100
										学校管理費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	4,005,100				4,005,100	0	4,005,100
	公民館費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	753,223				753,223	0	753,223									
	公民館費	町内会公民館増改築助成金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	239,520				239,520	0	239,520									

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳									
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金	3年度実績 (2年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源	臨時交付金 充当額
										地域交流センター 費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	273,897				273,897	0	273,897
										文化会館費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	795,159				795,159	0	795,159
										体育施設費	自動水栓取付工事(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	1,257,721				1,257,721	0	1,257,721
19	投票所での感染防止対策事業	6,773,850	6,773,850	0	6,773,850	6,773,850	0	R2完了		選挙管理委員会費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	402,050				402,050	0	402,050
20	公共交通事業者持続化支援金	4,900,000	4,900,000	0	4,900,000	4,900,000	0	R2完了		企画費	公共交通事業者持続化支援金(新型コロナ ウイルス感染症対策事業分)	4,900,000				4,900,000	0	4,900,000
21	税申告会場での感染防止対策事業	536,835	536,835	0	536,835	536,835	0	R2完了		賦課徴収費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	106,835				106,835	0	106,835
										賦課徴収費	申告受付用備品(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	430,000				430,000	0	430,000
22	各種証明書コンビニ交付事業	9,460,000	0	9,460,000	9,460,000	0	9,460,000	R3完了	78	電子計算費	証明書等コンビニ交付システム構築業務委 託料(新型コロナウイルス感染症対策事業 分)		9,460,000			0	9,460,000	9,460,000
23	新型コロナ禍におけるフレイル予防 (移動支援) 事業	246,958	246,958	0	246,958	246,958	0	R2完了		老人福祉費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	8,778				8,778	0	8,778
										老人福祉費	新型コロナ禍におけるフレイル予防(移動 支援)業務委託料(新型コロナウイルス感 染症対策事業分)	238,180				238,180	0	238,180
24	子ども・子育て支援交付金	723,407	723,407	0	241,407	241,407	0	R2完了		児童福祉総務費	放課後児童健全育成事業運営委託料(学童 保育:新型コロナウイルス感染症対策事業 分)	723,407		482,000		241,407	0	241,407
25	新しい生活様式普及啓発事業	533,380	533,380	0	533,380	533,380	0	R2完了		予防費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	333,380				333,380	0	333,380
										予防費	手洗い動画作成業務委託料(新型コロナウ イルス感染症対策事業分)	200,000				200,000	0	200,000
26	母子保健・歯科保健事業での感染防 止対策事業	32,130	32,130	0	32,130	32,130	0	R2完了		母子保健事業費	通信運搬費(新型コロナウイルス感染症対 策事業分)	17,640				17,640	0	17,640
										歯科保健事業費	通信運搬費(新型コロナウイルス感染症対 策事業分)	14,490				14,490	0	14,490
27	町立診療所での感染防止対策事業	198,000	198,000	0	198,000	198,000	0	R2完了		診療所費	診療所特別会計繰出金(新型コロナウイル ス感染症対策事業分)	198,000				198,000	0	198,000
28	コロナ禍におけるインフルエンザワ クチン臨時接種事業	8,426,215	8,426,215	0	8,426,215	8,426,215	0	R2完了		予防費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	48,027				48,027	0	48,027
										予防費	通信運搬費(新型コロナウイルス感染症対 策事業分)	487,872				487,872	0	487,872
										予防費	予防接種業務委託料(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)	6,977,246				6,977,246	0	6,977,246
										予防費	扶助費(新型コロナウイルス感染症対策事 業分)	913,070				913,070	0	913,070
29	緊急雇用創出事業	2,711,222	2,711,222	0	2,711,222	2,711,222	0	R2完了		緊急雇用創出事業 費	会計年度任用職給(現業職パートタイム)	1,635,798				1,635,798	0	1,635,798
										緊急雇用創出事業 費	会計年度任用職通勤手当(現業職パート タイム)	47,730				47,730	0	47,730
										緊急雇用創出事業 費	会計年度任用職期末手当(現業職パート タイム)	48,570				48,570	0	48,570
										緊急雇用創出事業 費	会計年度任用職社会保険料(現業職パート タイム)	255,957				255,957	0	255,957
										緊急雇用創出事業 費	普通旅費	4,600				4,600	0	4,600

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳									
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金	3年度実績 (2年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源	臨時交付金 充当額
										緊急雇用創出事業費	消耗品費	73,732				73,732	0	73,732
										緊急雇用創出事業費	燃料費	27,835				27,835	0	27,835
										緊急雇用創出事業費	車借上料	605,000				605,000	0	605,000
										緊急雇用創出事業費	刈払機取扱作業者講習負担金	12,000				12,000	0	12,000
30	ガイドライン遵守店舗ステッカー配布事業	88,880	88,880	0	88,880	88,880	0	R2完了		商工業振興費	印刷製本費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	88,880				88,880	0	88,880
31	教育委員会所管施設での感染防止対策事業	2,098,078	2,098,078	0	2,098,078	2,098,078	0	R2完了		公民館費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	289,943				289,943	0	289,943
										公民館費	換気扇設置工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	149,600				149,600	0	149,600
										地域交流センター費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	35,222				35,222	0	35,222
										文化会館費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	152,218				152,218	0	152,218
										図書館費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	286,065				286,065	0	286,065
										図書館費	館内備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,067,000				1,067,000	0	1,067,000
										体育施設費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	118,030				118,030	0	118,030
32	小中学校施設管理事業	254,696	254,696	0	254,696	254,696	0	R2完了		佐々小学校管理費	光熱水費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	78,493				78,493	0	78,493
										口石小学校管理費	光熱水費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	102,715				102,715	0	102,715
										学校管理費	光熱水費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	73,488				73,488	0	73,488
33	小中学校会計年度任用職員人件費	1,275,414	1,275,414	0	1,275,414	1,275,414	0	R2完了		佐々小学校管理費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	196,668				196,668	0	196,668
										佐々小学校管理費	会計年度任用職給(現業職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	152,269				152,269	0	152,269
										佐々小学校管理費	会計年度任用職社会保険料(行政職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	15,928				15,928	0	15,928
										佐々小学校管理費	会計年度任用職社会保険料(現業職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	8,184				8,184	0	8,184
										口石小学校管理費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	232,440				232,440	0	232,440
										口石小学校管理費	会計年度任用職給(現業職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	245,537				245,537	0	245,537
										口石小学校管理費	社会保険料(行政職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	21,050				21,050	0	21,050
										口石小学校管理費	社会保険料(現業職パートタイム)(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	21,781				21,781	0	21,781

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳										
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金	3年度実績 (2年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源	臨時交付金 充当額	
34	学校保健特別対策事業費補助金	8,543,245	4,849,495	3,693,750	4,274,245	2,404,000	1,870,245	R3完了	176	佐々小学校管理費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,491,520	587,700	745,000	295,000	746,520	292,700	1,039,220	
									174	佐々小学校管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		466,942		233,000	0	233,942	233,942	
									176	口石小学校管理費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,902,485	717,520	951,000	358,000	951,485	359,520	1,311,005	
									176	口石小学校管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		782,098		391,000	0	391,098	391,098	
									182	学校管理費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,455,490	551,880	727,000	275,000	728,490	276,880	1,005,370	
									182	学校管理費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		587,610		294,000	0	293,610	293,610	
35	学校での感染拡大防止のための対策物品購入事業	7,386,500	0	7,386,500	7,386,500	0	7,386,500	R3完了	176	佐々小学校管理費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		1,998,700			0	1,998,700	1,998,700	
									176	口石小学校管理費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		2,693,900			0	2,693,900	2,693,900	
									182	学校管理費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		2,693,900			0	2,693,900	2,693,900	
36	公共施設での感染拡大防止のための対策物品購入事業	991,100	0	991,100	991,100	0	991,100	R3完了	194	公民館費	館内備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		461,450			0	461,450	461,450	
									194	地域交流センター費	館内備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		529,650			0	529,650	529,650	
37	公共施設での感染拡大防止のための対策物品購入事業	38,500	38,500	0	38,500	38,500	0	R2完了		会計管理費	出納室用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	38,500				38,500	0	38,500	
38	保育士等児童福祉施設従業者への慰労金支給事業	8,300,000	8,300,000	0	8,300,000	8,300,000	0	R2完了		児童福祉総務費	保育施設等従業者慰労金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	8,300,000				8,300,000	0	8,300,000	
39	びったりサービス事業	1,040,600	0	1,040,600	1,040,600	0	1,040,600	R3完了	78	電子計算費	ソフトメンテナンス委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		1,040,600			0	1,040,600	1,040,600	
40	福祉センター感染防止事業	1,490,500	0	1,490,500	1,490,500	0	1,490,500	R3完了	98	福祉センター施設管理費	福祉センター備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		1,490,500			0	1,490,500	1,490,500	
41	障害者総合支援事業費補助金	1,517	1,517	0	378	378	0	R2完了		児童福祉総務費	障害児通所給付費	1,517		1,139		378	0	378	
42	自宅待機世帯生活支援事業	454,724	0	454,724	454,724	0	454,724	R3完了	118	保健衛生総務費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		454,724			0	454,724	454,724	
43	後期高齢者医療療養給付費負担金	293,000	293,000	0	293,000	293,000	0	R2完了		後期高齢者医療費	後期高齢者医療療養給付費負担金	293,000				293,000	0	293,000	
44	後期高齢者医療療養給付費負担金	179,000	179,000	0	179,000	179,000	0	R2完了		後期高齢者医療費	後期高齢者医療療養給付費負担金	179,000				179,000	0	179,000	
45	自主運営避難所(町内会運営避難所)での感染拡大防止のための対策物品購入事業	2,640,000	0	2,640,000	2,640,000	0	2,640,000	R3完了	160	災害対策費	備品購入費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)		2,640,000			0	2,640,000	2,640,000	
46	投票所での感染拡大防止のための対策物品購入事業	50,000	50,000	0	50,000	50,000	0	R2完了		選挙管理委員会費	投票所用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	6,421,800				6,421,800	0	6,421,800	

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和2年度繰越分)

(単位:円)

No	事業名	事業費		うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳										
		計	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	計	2年度実績 交付金		3年度実績 (2年度繰越) 交付金	決算書 頁	科目	説明	2年度実績 事業費	3年度実績 (2年度繰越) 事業費	2年度実績 特定財源	3年度実績 (2年度繰越) 特定財源	2年度実績 一般財源	3年度実績 (2年度繰越) 一般財源	臨時交付金 充当額
47	庁舎での感染拡大防止のための対策 物品購入事業	3,520,000	0	3,520,000	3,520,000	0	3,520,000	R3完了	78	一般管理費	庁舎備品(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)		3,520,000			0	3,520,000	3,520,000
48	サーバ室での感染拡大防止のための 対策物品購入事業	198,000	0	198,000	198,000	0	198,000	R3完了	78	電子計算費	電算室備品(新型コロナウイルス感染症対 策事業分)		198,000			0	198,000	198,000
49	飲食関連事業者等支援給付金事業	40,913,420	8,414,125	32,499,295	31,903,420	6,439,000	25,464,420	R3完了	138	農業振興費	口座振込手数料(新型コロナウイルス感染 症対策事業分)		1,100		1,000	0	100	100
									138	農業振興費	事業継続支援給付金(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)		2,600,000		629,000	0	1,971,000	1,971,000
									144	商工総務費	時間外勤務手当(新型コロナウイルス感染 症対策事業分)		258,182			0	258,182	258,182
									146	商工業振興費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム2 名分)(新型コロナウイルス感染症対策事業 分)	112,125	323,733	73,000	289,000	39,125	34,733	73,858
										商工業振興費	会計年度任用職通勤費用弁償(行政職パー トタイム)(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	2,000		2,000		0	0	0
									146	商工業振興費	口座振込手数料(新型コロナウイルス感染 症対策事業分)		16,280		16,000	0	280	280
									146	商工業振興費	事業継続支援給付金(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)	8,300,000	29,300,000	1,900,000	6,100,000	6,400,000	23,200,000	29,600,000
50	営業時間短縮要請協力金	50,326,594	50,326,594	0	5,037,394	5,037,394	0	R2完了		商工業振興費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム1 名分)(新型コロナウイルス感染症対策事業 分)	85,664			80,200	5,464	0	5,464
										商工業振興費	営業時間短縮協力金(新型コロナウイルス 感染症対策事業分)	50,160,000		45,144,000		5,016,000	0	5,016,000
										商工業振興費	会計年度任用職通勤費用弁償(行政職パー トタイム)(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	2,000		2,000		0	0	0
										商工業振興費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)	72,000		63,000		9,000	0	9,000
										商工業振興費	口座振込手数料(新型コロナウイルス感染 症対策事業分)	6,930				6,930	0	6,930
51	申告期限延長対応事業	291,420	291,420	0	291,420	291,420	0	R2完了		賦課徴収費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム 1名分)(新型コロナウイルス感染症対策事 業分)	247,572				247,572	0	247,572
										賦課徴収費	会計年度任用職時間外勤務報酬(行政職 パートタイム)(新型コロナウイルス感染症 対策事業分)	43,848				43,848	0	43,848
52	PCR検査費助成事業	2,218,539	13,455	2,205,084	2,216,539	13,000	2,203,539	R3完了	118	保健衛生総務費	会計年度任用職報酬(行政職パートタイム1 名分)(新型コロナウイルス感染症対策事業 分)	13,455	199,134			13,455	199,134	212,589
									118	保健衛生総務費	会計年度任用職社会保険料(行政職パー トタイム)(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)		33,700			0	33,700	33,700
									118	保健衛生総務費	会計年度任用職通勤費用弁償(行政職パー トタイム)(新型コロナウイルス感染症対策 事業分)		4,000			0	4,000	2,000
									120	保健衛生総務費	PCR検査費助成(新型コロナウイルス感染 症対策事業分)		1,968,250			0	1,968,250	1,968,250
合計		435,947,514	369,567,081	66,380,433	370,199,348	312,766,000	57,433,348			合計		369,567,081	66,380,433	56,255,339	9,281,000	313,311,742	57,099,433	370,199,348

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(令和3年度分)

(単位：円)

No	事業名	事業費			うち、臨時交付金充当			備考	事業費内訳						
		計	3年度実績 事業費	4年度見込 (3年度繰越) 事業費	計	3年度実績 交付金	4年度見込 (3年度繰越) 交付金		決算書 頁	科目	説明	3年度実績 事業費	3年度実績 特定財源	3年度実績 一般財源	臨時交付金 充当額
1	GIGAスクール構想に係る1人1台端末導入事業	1,157,878	1,157,878	0	1,136,000	1,136,000	0	完了	162	事務局費	持ち帰り学習用インターネット通信料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	1,157,878	0	1,157,878	1,136,000
2	GIGAスクール構想に係る1人1台端末導入事業	1,238,094	1,238,094	0	1,215,000	1,215,000	0	完了	168	佐々小学校教育振興費	フィルタリングソフト使用料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	365,486	0	365,486	359,000
									174	口石小学校教育振興費	フィルタリングソフト使用料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	510,378	0	510,378	501,000
									180	教育振興費	フィルタリングソフト使用料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	362,230	0	362,230	355,000
3	学生応援給付金事業	29,946,894	29,946,894	0	28,143,000	28,143,000	0	完了	162	事務局費	会計年度任用職報酬	226,044	0	226,044	222,000
									162	事務局費	会計年度任用職社会保険料	16,850	0	16,850	16,000
									162	事務局費	会計年度任用職通勤費用弁償	4,000	0	4,000	4,000
									164	事務局費	学生応援給付金	29,700,000	0	29,700,000	27,901,000
4	子育て世帯への保育料軽減事業	48,715,520	48,715,520	0	45,258,000	45,258,000	0	完了	104	児童福祉施設費	暮らしを守る子育て世帯への保育料軽減事業補助金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	48,715,520	0	48,715,520	45,258,000
5	子ども・子育て支援事業	300,000	300,000	0	98,000	98,000	0	完了	182	幼稚園費	幼稚園型一時預かり事業補助金(新型コロナウイルス国3次補正対応分)	300,000	200,000	100,000	98,000
6	子ども・子育て支援事業	70,440	70,440	0	27,000	27,000	0	完了	114	母子保健事業費	子育て世代支援事業用消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	54,264	42,000	12,264	12,000
									114	母子保健事業費	子育て世代支援事業用医薬材料費(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	16,176	1,000	15,176	15,000
7	子ども・子育て支援事業	876,446	876,446	0	289,000	289,000	0	完了	100	児童福祉総務費	佐々町子育て支援事業委託料(新型コロナウイルス感染症対策特別措置分)	76,446	50,000	26,446	26,000
									104	児童福祉施設費	病後児保育事業委託料(新型コロナウイルス感染症対策特別措置分)	300,000	200,000	100,000	98,000
									104	児童福祉施設費	延長保育事業補助金(新型コロナウイルス感染症対策特別措置分)	500,000	332,000	168,000	165,000
8	新型コロナウイルス感染症対策推進の飲食店支援給付金	6,100,000	6,100,000	0	3,804,000	3,804,000	0	完了	142	商工業振興費	新型コロナウイルス感染症対策推進の飲食店支援給付金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	6,100,000	0	6,100,000	3,804,000
9	飲食店応援給付金	2,200,000	2,200,000	0	1,372,000	1,372,000	0	完了	142	商工業振興費	飲食店応援給付金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	2,200,000	0	2,200,000	1,372,000
10	事業継続支援給付金	500,000	500,000	0	187,000	187,000	0	完了	130	農業振興費	事業継続支援給付金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	500,000	200,000	300,000	187,000
11	事業継続支援給付金	11,570,000	11,570,000	0	4,967,000	4,967,000	0	完了	142	商工業振興費	事業継続支援給付金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	11,570,000	3,605,000	7,965,000	4,967,000
12	公共交通事業者支援金	4,390,000	4,390,000	0	2,738,000	2,738,000	0	完了	70	企画費	公共交通事業者持続化支援金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	4,390,000	0	4,390,000	2,738,000
13	保育対策総合支援事業費補助金	1,499,982	1,499,982	0	644,000	644,000	0	完了	102	児童福祉施設費	消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策支援事業分)	342,982	171,000	171,982	147,000
									104	児童福祉施設費	保育所備品(新型コロナウイルス感染症対策支援事業分)	157,000	78,000	79,000	68,000
									104	児童福祉施設費	佐々町新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金	1,000,000	500,000	500,000	429,000
14	営業時間短縮要請協力金	39,423,000	39,423,000	0	3,381,000	3,381,000	0	完了	140	商工業振興費	営業時間短縮要請協力金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	39,423,000	35,480,000	3,943,000	3,381,000
15	営業時間短縮要請協力金	47,271,000	45,570,000	1,701,000	4,009,000	3,838,000	171,000	繰越	140	商工業振興費	営業時間短縮要請協力金(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	45,570,000	41,013,000	4,557,000	3,838,000
合計		195,259,254	193,558,254	1,701,000	97,268,000	97,097,000	171,000				合計	193,558,254	81,872,000	111,686,254	97,097,000

佐々町国民健康保険特別会計決算説明書

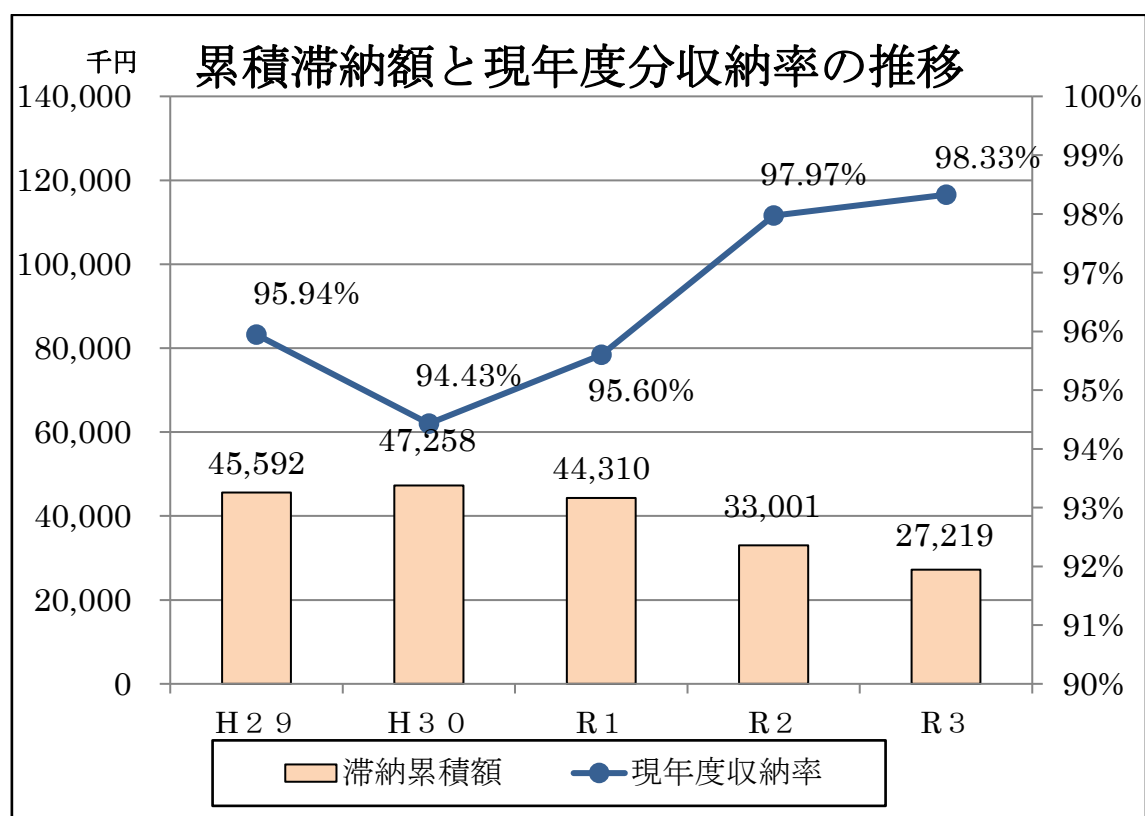
国民健康保険制度は、県と市町が保険者となり、県が財政運営の責任主体として決定した国民健康保険事業費納付金を市町が県へ納付し、給付に必要な金額を県から交付を受ける仕組みとなっています。

国民健康保険の被保険者数については、令和 2 年度と比較して 15 人減の 2,789 人（対町人口加入割合 20.0%）となっています。

保険給付費については、総額で 1,072,819 千円と、令和 2 年度と比較して 65,650 千円の増となっております。

国民健康保険財政の主たる財源である保険税の収納率については、現年度分 98.33 %（前年度比 0.36 ポイント増）、滞納繰越分 22.83%（前年度比 8.72 ポイント減）となっています。

なお、累積滞納額は令和 3 年度末現在で 27,219 千円（前年度比 5,782 千円減）となっています（下図参照）。



保険税の収納強化対策として、財産の差押などの滞納処分を実施したほか、事情により保険税が納付できない滞納者に対しては分割納付による対応や短期被保険者証・資格証明書の交付を行い、接触機会の確保に努めました。

特定健診については、集団健診、個別健診を実施し、あわせて、受診勧奨通知や電話勧奨を行い、特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上に努めました。また、特定健診を受診された方に奨励品として500円分の商品券を交付しました。

保健事業については、人工透析への移行を防止することを目的とした糖尿病性腎臓病重症化予防事業において、医療機関と連携した栄養指導等を行い、また、データヘルス計画に基づき、生活習慣病予防に着目した栄養指導・運動指導などの個別保健事業等を実施し、医療費の抑制に取り組みました。

歳入は、保険税242,152千円、県支出金1,119,745千円などで、合計1,496,764千円となりました。

歳出は、保険給付費1,072,819千円、国民健康保険事業費納付金351,532千円などで、合計1,471,629千円となり、実質収支額は25,135千円となりました。

なお、令和3年度は2,131千円（78件）を不納欠損処分しています。

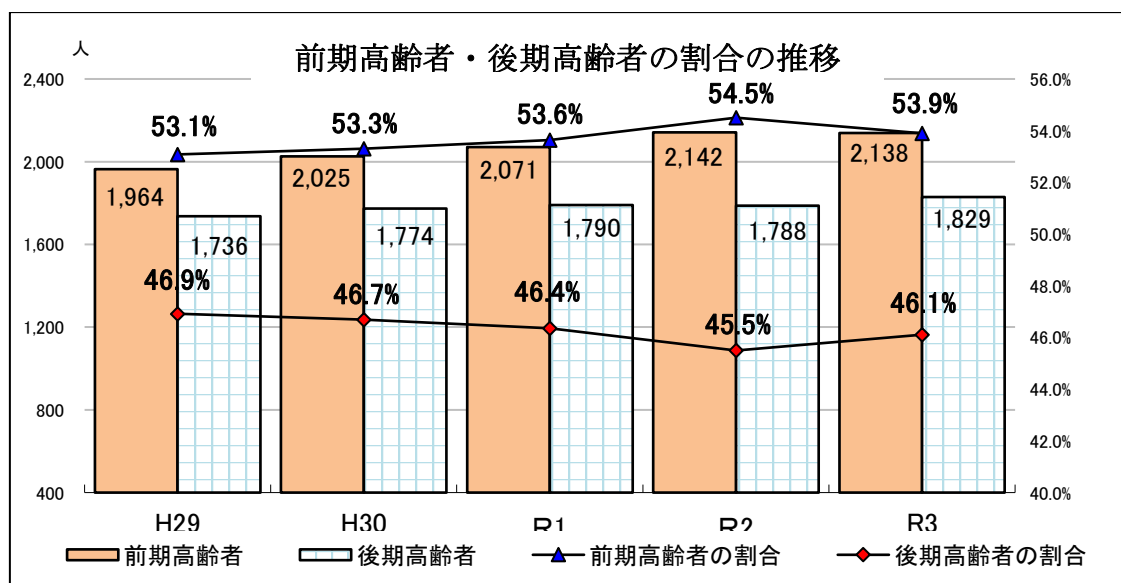
佐々町介護保険特別会計決算説明書

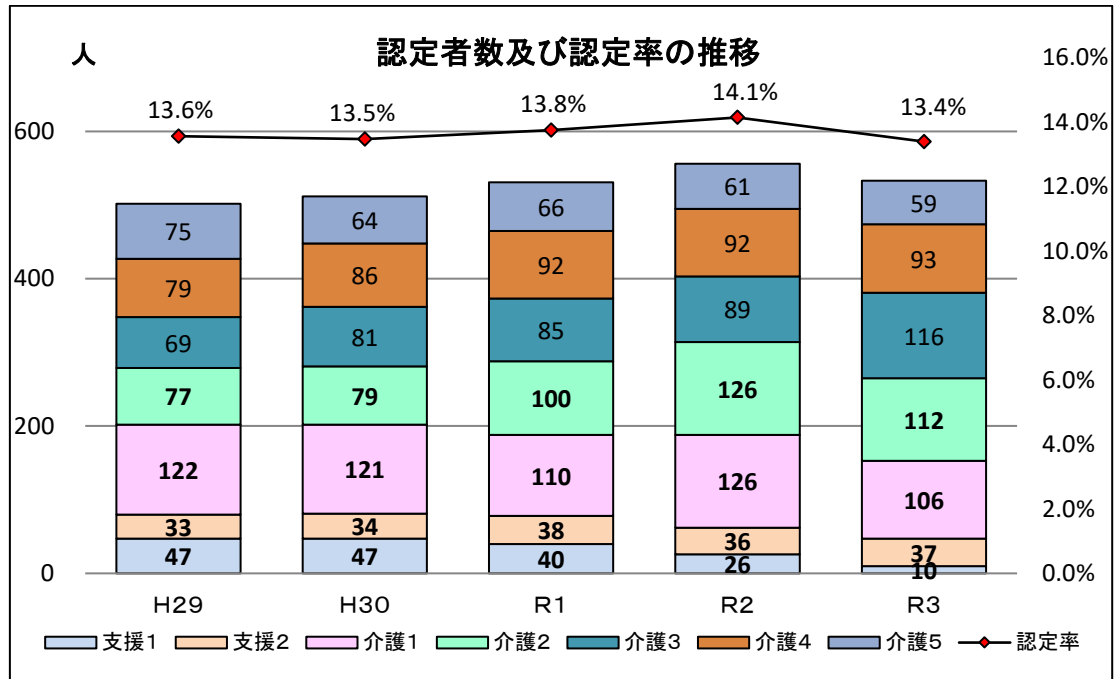
【保険事業勘定】

令和3年度は第8期介護保険事業計画の初年度でした。

令和3年度末の65歳以上の高齢者数は、住民基本台帳で3,972人（前年度末比較40人、1.02%の増）、第1号被保険者数は3,967人（同比較37人、1.01%の増）となっており、高齢化率は28.4%（同比較0.3ポイントの増）となっています。

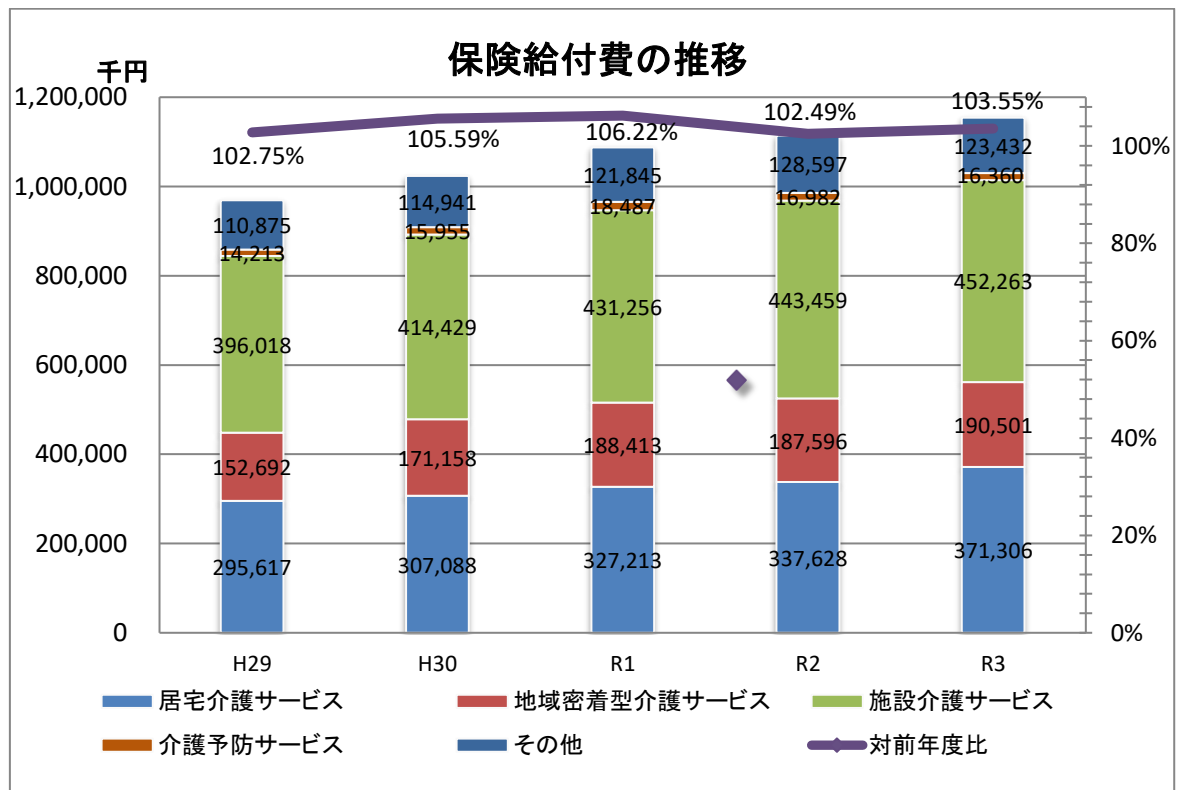
介護認定者数は533人（同比較△23人、4.1%の減）で、介護認定率は13.4%（同比較0.7ポイントの減）となっており、全国平均の18.7%を下回っている状況です。





介護サービスに係る給付費総額については、1,153,861千円（前年度比較 39,599千円、3.55%の増）となっており、増加した主な給付費は、居宅介護サービス給付費となっています。

増加した居宅介護サービス給付費の主な内容としては、訪問介護や訪問看護、訪問リハビリテーションなど、在宅生活継続のために必要なサービスの給付が伸びています。コロナ禍による影響も考えられますが、施設介護サービス給付費や地域密着型サービスの伸びは大きくありませんでした。



地域包括支援センターにおいては、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるための医療・介護・介護予防・住まい・生活支援など、様々なサービスが切れ目なく提供される「地域包括ケア」の充実に向け、介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みました。

介護予防事業の取り組みとしては、要支援1・2レベルの方の通いの場として、町内の通所介護事業所に委託し通所型A（延べ人数204人）を、民間事業所に委託し通所型C（個別運動教室）（延べ人数278人）を実施しました。また、各地域においては、介護予防の効果がある「いきいき百歳体操」（令和3年度新規立ち上げ地区が3地区、町内全体の実施地区28地区、参加実人数399人）が自主活動として取り組むことができるよう、立ち上げ支援・継続支援を行いました。令和2年度より取り組んでいる高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において、令和3年度より作業療法士を雇用し、個別的支援や通いの場等への集団的支援を展開しました。また、管理栄養士・薬剤師・歯科衛生士等の専門職と連携しながら、低栄養予防・口腔機能低下防止・服薬指導・糖尿病性腎症重症化予防・健康状態不明者対策を実施しました。

地域づくりに関する学びの場として、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の一環として腎臓内科専門医による講演会「CKD ～あなたの腎臓は大丈夫ですか？～」を、西九州させば広域都市圏連携事業（在宅医療・介護連携推進）の一環として僧侶によるオンライン研修会「地域で看取り看取られる ～心穏やかに生き逝くために～」の2回を開催し、延べ60人の参加がありました。

包括的支援事業については、多様な日常生活に必要な地域における支援体制の充実・強化を行うため、生活支援コーディネーターや地区担当制を通して、高齢者の社会参加および生活支援・介護予防の推進に取り組みました。また、認知症支援の取り組みとして、認知症地域支援推進員および地区担当者と、町立診療所もの忘れ外来とが連携して、認知症の疑いのある方への早期対応、適切な支援に努めました。また、佐々中学校における認知症サポーター養成講座を開催し、若年層への認知症の理解への普及啓発と地域づくりについての講話を行いました。

地域ネットワーク情報交換会については、例年は全町内会を1年かけてまわる目標としていましたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため全ての町内会を回ることが難しく、32町内会中26地区での開催となりました。高齢者だけでなく多世代にわたる世帯の状況確認や、避難行動要支援者についての情報交換を行い、地域住民とともに地域課題の共有や地域の強みを再確認しました。地域住民の様々な声を直接聞くことにより、官民一体となった地域づくりへの意識を高めることにつながりました。

また、医療・介護事業所等との連携や情報交換を図るために、地域支援連絡会議を年10回開催し、高齢者支援の体制づくりを強化しました。内3回は多職種連携研修会として開催しました。

地域ケア会議については、専門職と連携しながら年10回（要介護認定者25人）の個別事例を検討し、個々の利用者の状況に応じた自立支援型ケアマネジメント支援や関係

機関の連携強化を図りました。また、給付適正化事業として、居宅初回プランの点検(149件)を行いました。

権利擁護の推進として、高齢者の尊厳ある生活を保持するために、成年後見制度に関する啓発及び個別相談・対応について関係機関と協働で実施しました。

また、高齢者虐待等への取組みとして、広報誌による啓発及び7件の個別相談の対応を行いながら、虐待リスクの軽減に向け、各事業や関係機関と連携し継続的な対応を行いました。

ボランティア支援として、通いの場や生活支援で活躍されるボランティア53人に対して佐々町介護予防ボランティアポイントを交付し、ボランティア活動推進に取り組みました。

〔歳入〕

① 保険料	251,423 千円
② 介護給付費負担金（施設分：国 15%， 県 17.5%）	186,184 千円
③ 介護給付費負担金（その他分：国 20%， 県 12.5%）	203,566 千円
④ 介護給付費交付金（支払基金 27%）	313,708 千円
⑤ 一般会計繰入金（町負担金 12.5%， 認定事務費等）	180,420 千円
⑥ 基金繰入金	20,000 千円
⑦ 他会計繰入金	9,412 千円
⑧ 財政調整交付金（4.02%）	46,216 千円
⑨ 地域支援事業交付金等	25,657 千円
⑩ その他（繰越金等）	34,240 千円
合計	1,270,826 千円

〔歳出〕

① 介護（予防）給付費	1,153,861 千円
② 認定事務費	10,911 千円
③ 地域支援事業費	37,890 千円
④ 介護給付費国庫、県負担金等返還金	11,261 千円
⑤ 介護保険財政調整基金積立金	22,662 千円
⑥ その他（一般管理費等）	3,117 千円
合計	1,239,702 千円

実質収支額 31,124 千円

【サービス事業勘定】

地域包括支援センターにおいては、介護保険認定審査会で要支援1・2に認定された方に対して、延べ456件の介護予防支援（ケアプラン作成）を行いました。

在宅において、心身の状態などに応じた適切なサービスが提供されるように、利用者などの希望を勘案してケアプランを作成し、地域とのつながりを基本とした社会資源の有効活用を図りながらサービス事業者と連携して介護予防支援に努めました。

〔歳入〕

① 予防給付費	2,045 千円
② 一般会計繰入金	713 千円
③ 繰越金、雑入	882 千円
合計	3,641 千円

〔歳出〕

① 包括的支援事業費	3,071 千円
合計	3,071 千円

実質収支額 570 千円

佐々町後期高齢者医療特別会計決算説明書

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者の医療を国民全体で公平に支える制度として、長崎県後期高齢者医療広域連合が主体となり、県下市町と事務を分担して行っています。

歳入は、後期高齢者医療保険料 110,123 千円、一般会計繰入金 44,341 千円などで、合計 168,420 千円となりました。

歳出は、総務費 1,334 千円、後期高齢者医療広域連合納付金 152,763 千円などで、合計 168,162 千円となり、実質収支額は 258 千円となりました。

なお、令和3年度末の後期高齢者医療被保険者数は 1,793 人で、令和3年度の保険料収納率は 99.55%となっています。

佐々町国民健康保険診療所特別会計決算説明書

診療については、毎週月曜日に長崎大学病院の医師等4名による「もの忘れ外来」を実施しております。町内外の医療機関や地域包括支援センターとの連携により、相互に情報を共有しつつ家族支援に取り組み、認知症の早期発見・重症化抑止に努めました。

また、令和4年4月からの小児発達専門外来開設に向けて、長崎県立こども医療福祉センターとの協議や、発達検査用具等の備品購入を行いました。

受診者数については、開所日46日に対し623人で、前年度より99人の増となりました（令和2年度524人）。

歳入については、診療収入2,133千円、診断書料等手数料174千円、一般会計繰入金（普通交付税措置分）6,519千円、前年度繰越金1,381千円などで、合計13,762千円になりました。

歳出については、施設管理費10,946千円、医業費389千円、財政調整基金積立692千円で、合計12,027千円になりました。

以上の結果、実質収支額は1,735千円になりました。

佐々町農業集落排水事業特別会計決算説明書

農業集落排水事業については、令和3年4月1日に角山地区、令和3年8月1日に志方地区を公共下水道事業へ統合し、事業を廃止しています。

令和3年度については、志方地区を下水道へ統合するまでの間の事業となります。

〔歳入〕

受益者加入金18千円、農業集落排水使用料等527千円及び繰越金2,018千円、合計2,563千円になりました。

〔歳出〕

志方地区の維持管理費等271千円となりました。

以上の結果、歳入合計2,563千円、歳出合計271千円となり、差額の2,292千円は令和4年度において公共下水道事業会計へ引き継ぎます。

○ まちづくりの基本目標に基づく施策の成果

【総括】

令和3年度は「第7次総合計画」（令和3年度～令和12年度）に掲げたまちづくりの将来像「暮らしたいちばん！住むなら さざ～みんなが輝き、みんなで創るまち～」を実現するため、総合計画に掲げている次の7つの基本目標を推進しました。

基本目標1. 「医療・福祉」が充実したやさしいまち

基本目標2. 「教育・文化」で輝くまち

基本目標3. 「生活・安全」を大切にするまち

基本目標4. 「自然・環境」を守り続けるまち

基本目標5. 「産業・観光」でにぎわうまち

基本目標6. 「行政・財政」が持続可能なまち

基本目標7. 「情報共有・協働」のみんなのまち

基本目標1. 「医療・福祉」が充実したやさしいまち

担当課：住民福祉課、保険環境課、多世代包括支援センター

住民一人ひとりが自分や家族の健康に関心を向け、日常生活の中で継続的に生活習慣の改善に取り組むことができるよう、健康相談や健康教育を行い、食習慣の見直しや運動習慣の普及、生活習慣病の発症や重症化予防のための健康づくりについて支援を行いました。

町立診療所では、「もの忘れ外来」の診療を行い、隣接する地域包括支援センターや地域医療機関と連携し、認知症の早期発見と早期治療に努めました。

子育て世帯への負担軽減事業として、令和元年10月から保育料無償化が実施されておりますが、無償化対象児童以外の保育料を国基準より低く設定し、保護者の保育料負担を軽減しました。

高齢者支援においては、心身機能の維持・向上及び社会参加を目的として、福祉センターの基幹型サロンである「元気カフェ・ぷらっと」や各地区集会所で実施する地域型サロンにより、活動を始める際の立上げ支援や活動を継続するための運動の指導、その他の介

護予防の取組紹介などを実施しました。

障がい者支援においては、障害者（児）福祉サービス事業所と関係機関がつながって、障がい者・児のさまざまな状況に向き合い、一人ひとりの課題や地域課題の解決を図りました。また、地域で生活するうえでの障壁（バリア）をソフト面で軽減することを目的として、コミュニケーション支援（手話通訳者の派遣）や日常生活用具給付を行いました。

社会保障の充実化を図るため、特定健診事業や特定保健指導等を行うとともに、国民健康保険税や後期高齢者医療保険料の徴収率を向上させ、納税に対する公平性に努めました。また、生活困窮者も含めた住民全員が気軽に相談ができるように困りごと相談事業を佐々町社会福祉協議会への委託により実施しました。

基本目標 1. の成果としましては、感染症の発症や重症化を防ぐため、各種予防接種を実施することで、感染症の発症や重症化を防ぐことに繋がっていると評価します。今後も各種予防接種事業は継続して事業を実施する必要があり、また、新型コロナウイルスワクチン接種事業については、国の 4 回目接種の実施と合わせて、事業を拡大し、感染拡大防止対策を実施していく必要があると判断します。

保育料軽減については、無償化に加え国基準より低い保育料に設定したことにより、保護者の負担軽減を行うことができました。また、福祉医療については、高校生までの医療費を助成することで、子育て世帯の医療費の負担軽減を行うことができたと考えています。

コロナ禍により地域デイサービスの開催頻度が減少しています。高齢者以外を巻き込んだ地域まるごとサロンの展開にどの町内会も躊躇している状況があります。今後、各町内会の状況に合わせながら、地域共生への取り組みを進めていく必要があると判断します。

基本目標 2. 「教育・文化」で輝くまち

担当課：教育委員会

さざっ子学力アップ事業として、2名のALTを配置（委託）し、小・中学校において教職員と連携して授業に取り組みました。

小中学校キャリア教育推進事業として、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的として、小学校では町内の公共機関やスーパーマーケット等の見学を行い、中学校では町内の各事業所で職場体験学習を実施しました。

「佐々町子ども読書活動推進計画」に基づいて、町立図書館と学校や保育所などとの連携を高め、子どもの成長段階に応じて、読書に親しむ機会を創出するため、図書ボランティアによる読み聞かせや土曜学習プログラムを開催しました。

生涯にわたって学ぶことができる機会を創出するため、明生大学、さざんか教室、あひる学級とそれぞれのライフステージに応じた学習機会の提供に努めました。

スポーツ振興においては、子どもの頃から健やかな心身を育成し、スポーツを通した町民の健康増進とまちの活力を創出するため、スポーツ少年団や体育協会など各種スポーツ団体に対する支援を行いました。また、体育文化の振興に寄与するため、体育文化振興基金を活用し、スポーツ・文化の各種大会に出場する選手への派遣費などに対して助成を行いました。

文化振興においては、伝統行事や文化的事業をはじめ、町民や地域が主体的に行う芸術・文化活動を支援するため、佐々町文化協会に対し活動を支援するための助成を行いました。また、郷土史学習講座を教育委員会主催特別講座として開催し、郷土学習の機会の提供に努めました。

芸術文化事業として、長崎県青少年劇場を開催するなど次世代を担う子どもたちに対し、小中学生を対象に舞台芸術の鑑賞や文化体験の場を設け、数多くの芸術・文化にふれあう機会を提供しました。また、西九州させば広域都市圏における連携事業として島瀬美術センターで美術展覧会が開催され、中学生へ無料招待券の配布を行いました。

基本目標2. の成果としましては、ICT機器を活用した授業支援を行うことにより、児童生徒の「主体的・対話的」で「深い学び」に繋がる授業づくりの支援ができました。また、生徒指導についても佐々町3校共同研究の取り組みによって充実を図ることができました。今後も継続して関係機関と連携し、生徒指導の充実を図っていきたいと考えます。

スポーツについては、新型コロナウイルス感染症の影響で大会の中止や活動の縮小があり、成果指標のジョギングフェスティバルの参加者数と体育施設利用者数は達成できませ

んでした。今後も、感染症対策を図りながら、各団体と協力し事業を進めていきます。

芸術文化については、次世代を担う小中学生に対して芸術鑑賞の機会を設けることができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、自主文化事業は開催することができませんでした。今後、感染症対策を十分に取りながら、多くの子どもや町民の方々に芸術に触れる場を提供できるよう努めます。

基本目標 3. 「生活・安全」を大切にすまち

担当課：総務課、多世代包括支援センター、企画商工課、建設課、農林水産課、水道課

公園施設の維持管理においては、公園施設長寿命化計画に基づき、千本公園の遊具及び四阿を改修したほか、小浦駅前公園の公衆トイレ新築工事や園路整備を行いました。また、公園など町有地を清掃活動されるボランティアの愛護団体に対し、軍手や草刈機替え刃などの消耗品等を支給し活動を支援しました。

道路の維持管理においては、町道改良工事調査測量設計業務委託や橋梁長寿命化対策（古川橋他 3 橋補修）工事詳細設計業務委託を実施し、たわみ量調査や測量設計、橋梁の予防保全補修の詳細設計を行いました。また、町道改良維持補修工事として町道の舗装補修工事や側溝補修工事、路肩伐採などを行いました。

住宅関連事業においては、住宅のバリアフリー化など住宅性能の向上を伴う改修工事に対し住宅性能向上リフォーム支援事業補助金を、良好な住環境の維持のため老朽危険空家等の解体除却費に対し老朽危険空家等解体除却支援補助金を補助しました。

公営住宅の維持管理においては、団地内公園の草刈り及び遊具点検を実施し、佐々町公営住宅等長寿命化計画に基づき、アスベスト分析調査や屋根外壁改修工事設計業務を行い適切な維持管理に努めました。

まちなかにふさわしい都市機能の強化として、まちの中心にふさわしい機能の充実を図るため 2022 年～2041 年の 20 年間の計画期間における都市計画の方針を定めた都市計画マスタープランを策定しました。

公共下水道事業においては、供用開始後 20 年以上が経過し、建物や機器等の老朽化が

進んでいることからストックマネジメント計画に基づき、施設内の設備更新工事に向けた実施設計を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響による業務進捗遅延のため繰越事業となりました。また、し尿及び浄化槽汚泥の安定した処理を行うため、し尿等前処理施設の建設に向けて、基本設計等の業務委託を行いました。

農業集落排水事業においては、効率的な維持管理及び経費の削減を目的として、令和3年4月1日から角山地区、令和3年8月1日から志方地区の農業集落排水を公共下水道に接続・統合しました。

合併処理浄化槽事業においては、生活排水による公共用水の水質汚濁を防止するとともに、町民の生活環境及び自然環境の保全を図るため、合併処理浄化槽設置整備事業費補助金及び合併処理浄化槽維持管理費補助金を補助しました。

水道事業においては、佐々町水道事業新水道ビジョン及び佐々町水道事業更新計画に基づき、浄水場及び配水池の整備工事（5件）を、老朽化した配水管の更新工事（7件）を行いました。また、近年頻発する異常気象に備え、風水害等による停電発生を想定し、水道施設の電気設備等の早期復旧を図るため、町内に事業所を有する電気事事業者と災害協定を締結しました。

交通安全対策においては、安心・安全のまちづくり推進のため、春（8回）と秋（7回）の交通安全運動期間中に啓発と併せて毎朝、通学路を見回るパトロールを実施しました。また、夜間の犯罪発生等を防止するため、13町内会69灯（新設4灯、修繕等65灯）の防犯灯設置費用に対して助成を行いました。

防災・減災対策においては、災害時の応援体制構築のため、関係機関との災害協定の締結を行いました（保険環境課2件、水道課3件、総務課1件）。また、地域防災計画について、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に位置している要配慮者利用施設の更新（4→43箇所）を行いました。

基本目標3. の成果としましては、安全で安心な道路の維持のため国庫補助事業を活用した橋梁定期点検、補修工事を今後も継続して実施していく必要があると考えます。

公共下水道事業においては、農業集落施設を統合し、施設の効率的な運用を図ることができました。し尿等前処理施設建設については、契約方式の切り替えを行い、事業費の抑

制について見通しをつけることができました。また、契約方式の切り替えに伴う発注仕様書作成業務を委託し、建設に向けた準備を進めることができました。今後は事業者の選定業務と1日でも早い供用開始に向け取り組んでいきたいと考えます。

水道事業においては、災害協定を締結することにより、近年の異常気象による非常時に対応した対策をとることができました。また、料金改定を含めた具体的な収支計画が作成できていないことから、施設の老朽化更新対策等の投資的事業の計画的な実施と合わせて、財政基盤の安定化を目指していくこととします。

交通安全対策として、今後も児童生徒の通学路危険箇所点検を警察・PTAとの連携のもと進めていきます。また、防犯対策として、防犯灯設置補助金の活用を推進し、防犯灯のLED化に努めます。

基本目標4. 「自然・環境」を守り続けるまち

担当課：保険環境課

緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進として、佐々町保健環境自治連合会と合同で、花いっぱい運動事業を展開し花苗や菜の花の植栽を行いました。また、皿山公園において、佐々町保健環境自治連合会と共催で、環境美化を目的とした町民ボランティアによる清掃活動に取り組みました。

ごみ減量化・資源化の推進として、資源ごみ回収補助金や生ごみ処理機器購入補助金を補助しました。

省エネルギー活動の推進においては、CO2排出量を削減する取組として、日常の移動手段である車の利用について、マイカーの利用自粛、エコドライブの実践を推進する県下一斉スマートムーブウィークへの取組を実施しました。また、西九州させば広域都市圏による連携事業として、地球温暖化防止に対する意識啓発を図るため、親子でエコチャレンジ事業を実施しました。

不法投棄対策においては、佐々町保健環境自治連合会と合同で、不法投棄の恐れがある箇所に対し、不法投棄を警告する看板の設置を行うとともに、江迎警察署及び県北保健所

と合同で、山林等の不法投棄の恐れがある箇所不法投棄防止パトロールを行いました。

ごみ処理施設の維持管理においては、ごみ処理を安定的に行うため、損傷が著しい箇所を優先的かつ計画的に補修を行いました。また、施設の長寿命化総合計画に基づき、循環型社会形成推進交付金を活用し、令和4年度の基幹的設備改良工事の発注に向け、発注仕様書の作成等の発注支援業務を実施しました。

基本目標4.の成果としましては、佐々川沿いを活かしたウォーキング、健康イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止しましたが、今後も継続して実施する必要があると判断します。

ごみの減量化・資源化について、指標である町民1人1日あたりのごみの排出量の達成状況は、令和3年度で968g/日と目標値(963g/日)に近づいたものの達成はできませんでしたが、令和2年度(991g/日)と比較すると減少しました。引き続きごみ減量化・資源化の推進に取り組んでいきたいと考えます。

ごみ処理施設について、適切な施設の維持管理を行うことで、施設の健全性の維持が図られ、安定的なごみを行うことができています。今後も安定的なごみ処理を行うために、老朽化したごみ処理施設の基幹的設備改良工事を進めていきます。

基本目標5.「産業・観光」でにぎわうまち

担当課：企画商工課、農林水産課

農業生産環境の整備においては、農作業支援者育成・サポート体制構築事業として、認定農業者の賛同者で組織された「さざんか農援隊」の農作業支援者を雇用することにより、農業経営の改善促進と雇用の拡大を図りました。また、農林商工業振興事業費補助金(持続的生産強化対策事業)を助成することにより、製茶工場に省エネルギー機械(ボイラー等)を導入し、品質の向上と低コスト化を図り、茶生産者の所得向上を図りました。

佐々町和牛振興対策事業により、経営頭数の維持及び規模拡大のため、優良系統牛への更新・増頭を図る助成などを行いました。また、平戸口中央家畜市場運営協議会において、

生産者及び関係機関と連携し、販売の強化活動を行いました。

起業・創業者の掘り起こしについて、佐々町商工会と共催したサザンフェスおさんぽマルシェを開催し、起業を検討している方に多く出店していただくことにより潜在している起業者の掘り起こしに努めました。

商店街の活性化においては、河津桜・シロウオまつりをはじめ、シロウオ漁体験やおもてなしフェアスタンプラリーを開催し、商店街の魅力アップ、地域住民との連携強化を図りました。また、このような事業は佐々町商工会を通じて展開されるため、佐々町商工会へ補助金を補助しています。

町内飲食店に対する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策においては、県内の飲食店に営業時間短縮要請が発令され、大きなダメージを受けていた事業者を対象に事業継続支援給付金や営業時間短縮要請協力金、飲食店応援給付金などの給付金事業を実施しました。

観光情報発信事業においては、地域創生推進交付金事業を活用し、佐々町観光協会に企画立案等を行うコーディネーターを2名配置し、情報発信活動やフォトコンテストの開催、オリジナル商品の開発など佐々町の魅力を発信する活動を実施しました。

移住推進事業においてはながさき移住サポートセンターや西九州させば移住サポートプラザと連携し、移住相談会の実施や周遊型ワーケーションガイドブックの製作を行い佐々町の魅力発信に努めました。また、西九州させば広域都市圏の連携事業により婚活イベントセミナーを開催しました。

基本目標5. の成果としましては、有害鳥獣対策として捕獲・防護・棲み分けの3対策を行い、耕作放棄地の抑制に努め、農作物等の被害防止対策に取り組みました。また、製茶工場に省エネルギー機械（ボイラー等）を導入し、環境保全に努めました。

起業希望者の掘り起こしも兼ねたイベントとして開催している「サザンフェスおさんぽマルシェ」も4回目となり、年々定着してきました。参加者から起業に至った事業者はまだありませんが、今後も佐々町商工会と協力して継続していきます。

移住定住については、今年度から相談会への参加が予約制となっており、佐々町への予約が他市町と比べ少ないため、佐々町へ興味を持っていただけるよう、PRなどの発信強化に努めたいと考えます。また、令和4年度には長崎県婚活サポートセンターと連携した

婚活システム（お見合いシステム）を導入し、佐々町でも登録・閲覧ができるようにすることで、佐々町民の結婚機運を高めていきたいと考えています。

基本目標 6. 「行政・財政」が持続可能なまち

担当課：総務課、庁舎建設室、税財政課、住民福祉課、多世代包括支援センター、
企画商工課、水道課、出納室、監査

効率的・機能的な組織編成による事業推進体制の強化、職員及び職場の活性化を目的として、各課のヒアリングを通して組織体制の見直しを行い、令和4年度からの機構改革に取り組みました。また、人事評価制度を導入し、職員の能力や意欲の向上を図るとともに、公平かつ公正な人事管理、人材育成への活用を推進し、組織力の向上及び質の高い行政サービスの実現に努めました。

税収の確保においては、滞納者の実態調査や財産調査により、滞納者の担税力の把握に努め、担税力がある長期滞納者や高額滞納者を中心に分割納付による収納促進を図るとともに、財産の差押えなどに取り組みました。一方、担税力がない、または乏しいと判断される滞納事案については、滞納処分の執行停止手続きを行い、新たに発生した滞納者に対しては、早期に催告し、滞納額を累積させないように努めました。

資金運用においては、佐々町資金管理方針に基づき、安全性及び流動性を確保したうえで、効率性を追求し運用収益の最大化を図るため、基金の一部により債券運用を行い歳入の確保に努めました。

監査においては、年間計画に基づき、代表監査委員及び議選監査委員それぞれの視点で効果的に監査が行われました。全庁的に事務事業の改善につながるよう、必要に応じて指摘等がなされ、改善すべき点がないか検討しながら、各監査を実施していきます。

公共施設等の有効活用と適正管理においては、新庁舎建設の発注に向け庁舎建設工事基本設計・実施設計を行い、詳細をまとめた実施設計図書を完成させました。また、設計に必要な地質調査や新庁舎での什器類の配置などをまとめた基本レイアウト図や備品リストを作成しました。

基本目標 6. の成果としましては、行政手続のオンライン化のために必要な環境構築を行いました。今後は、これらの手段を用いて、さまざまな手続きにおいて電子申請を可能にすることにより、住民サービスの向上及び業務の改善を進めるためにも、目標設定を行う必要があると感じます。

経常経費においては、扶助費や人件費の費用抑制は困難であると考えため、物件費や補助費などの見直しに努め、経常経費の抑制に努めます。

資金運用については、新型コロナウイルス感染症やウクライナ問題等により社会情勢は日々変化し、資金運用を行う上で難しい状況ではありますが、今後も引き続き佐々町資金管理方針に基づき適切に運用を行い歳入の確保に努めます。

基本目標 7. 「情報共有・協働」のみんなのまち

担当課：総務課、住民福祉課、企画商工課、教育委員会、議会事務局

行政情報を迅速に発信するため、LINE や YouTube の SNS の運用をはじめ、町のホームページや NBC データ放送を活用し、各種行政情報等の発信を行いました。また、広報紙作成業者を公募型プロポーザルにより決定し、住民が読みやすく興味を持っていただけるよう冊子の一新に取り組みました。

なお、佐々町議会においても、議会だよりの発行や LINE、町のホームページや NBC データ放送を活用し、議会の内容をわかりやすく効果的に伝えるよう努めました。

人権問題・男女共同参画の啓発においては、人権標語コンクールや人権啓発パレードの実施、特設人権相談所の開設などを行い、また、第 3 次佐々町男女共同参画計画の策定や啓発ポスターの掲示など男女共同参画に関する理解が深まるよう努めました。

地域コミュニティを活性化させるため、町内会連絡協議会の研修に対する補助や町内会子ども会事業説明会を開催しました。また、その活動を支援するため、各町内会子ども会や婦人会及び公民館運営に対する助成を行いました。

まちづくり応援事業において、企業版ふるさと納税を導入し、令和 3 年 12 月から募集

を開始しました。また、ふるさと納税の運営委託業者の見直しを行い、ユーザー心理を掴むようなポータルサイトの作り込み（リニューアル）を行いました。

町政への町民参画や協働機会の創出として、各種計画におけるパブリックコメントを実施しました。

基本目標7. の成果としましては、公式 LINE の導入により、迅速で広範囲の人に情報発信できており、併せてホームページのアクセス数も増えてきています。しかし、LINE においては登録している年代層に偏りがあるため、広範囲の年代にわたって情報伝達ができる仕組みの検討が必要と考えます。

地域コミュニティへの助成は、佐々町の子どもを育み、婦人会、公民館活動を支援するものです。成果指標の子ども会加入率が下がった理由は定かではありませんが、生活スタイルや価値観が多様化するなか、子ども会の魅力を感じられないと思っている家庭が増加してきていることが要因ではないかと思えます。これからも地域コミュニティに対して支援を行い活発な地域づくりに努めます。

【このページは空白です】

事業番号	6 - 2 - 6		担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	遊休町有地の活用						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	佐々町町有地利活用検討委員会設置要綱					項	1 総務管理費
個別計画	佐々町町有地利活用基本方針					目	3 財産管理費

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・将来的に町の利活用計画がなく、保有する必要のない町有地については、積極的に売却を行い、民間等での活用を推進します。 ・将来的な利用計画がある場合であっても、当分の間、供用予定のない土地や売却が困難な土地については、短期貸付等を行い、有効活用を図ります。</p> <p>【事業概要】 ○町有地利活用事業（歳入決算額4,795,965円） 佐々町町有地利活用基本方針に基づき、貸付けにより利活用を行うと区分した土地等において、民間への貸付けを行いました。 また、未利用となっている遊休町有地について、それぞれ利活用方法の整理を行いました。</p> <p>※長期貸付：18件 1,290,075円</p> <p>※短期貸付：11件 3,505,890円 主な短期貸付…西九州自動車道四車線化工事に伴う土砂仮置き場として（NEXCO西日本佐世保工事事務所）1,541,420円</p> <p>※町有地管理費用：町有地除草等業務委託 3件 242,420円、町有地防草シート設置工事 1件 442,200円 等</p>

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,568,734	4,326,980	738,224	594,580
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源		2,518,211	738,224	486,000
	地方債				
	一般財源	1,568,734	1,808,769	0	108,580

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
大規模な土地短期貸付により、平年より大幅に収入が上がっているが一時的なものである。引き続き、方針に沿って貸付等による有効活用を図りたい。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-2-6 遊休町有地の活用」に関連する工事請負費【財産管理費】(決算書P.66)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
14	工事請負費	町有地防草シート設置工事	町道広高陵町線・町有地防草シート設置工事 (総務課分)	町有地 (松瀬集会所法面) 分 工事延長 L=45.0m 防草シート工 A=80.0m ²	442,200
説明 計				442,200	

「6-2-6 遊休町有地の活用」に関連する委託料【財産管理費】(決算書P.66)

節	説明	委託名	決算額 (円)
12	町有地除草等業務委託料	さざん花団地法面除草業務委託	136,045
		旧臼ノ浦線除草作業委託	83,030
		駐車場生垣選定作業委託	23,345
説明 計			242,420
節	説明	委託名	決算額 (円)
12	町有地不動産鑑定評価業務委託料	旧国鉄臼ノ浦線跡地不動産鑑定評価業務委託	195,800
説明 計			195,800

【このページは空白です】

事業番号	6 - 1 - 2		担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	職員の人材育成、組織力の向上						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	1 一般管理費		

1 事業内容

【行動指針】
 ・ 職員の能力及び意欲の向上を図り、職員の人材育成、組織力を向上するため、人事評価や職員研修事業を実施します。

【事業概要】
 ○ 人事評価事業（決算額 819,500円）
 職員の能力および意欲の向上を図るとともに、公平かつ公正な人事管理、人材育成への活用を推進し、組織力の向上および質の高い行政サービスを実現することを目的として、人事評価を実施しました。

○ 職員研修事業（決算額 438,300円）
 人材育成の一環として、職員の専門性の研鑽および必要な知識習得のため、長崎県市町職員研修センター主催の職員研修や内部研修を実施しました。

・ 長崎県市町職員研修センター主催（決算額 268,300円）
 新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの開催が多かったものの、研修は継続して実施しました。

・ 内部研修（決算額 170,000円）
 文書管理を見直し、庁舎全体の文書削減、管理方法の改善を目的として、行政文書管理研修を実施しました。

<長崎県市町職員研修センター主催>

研修名	出席者数	研修形態	
		集合	オンライン
階層別研修	26人	8回	3回
契約実務研修	6人	0回	1回
税務関係研修	6人	0回	4回
会計関係研修	11人	0回	2回
その他研修	18人	0回	7回
計	67人	8回	17回

<内部研修>

研修名	対象者	出席者数
行政文書管理研修	全職員	76人
ストレスチェック集団分析結果活用研修	管理職	11人
計		87人

○ 福利厚生（決算額 1,821,990円）
 職員の体と心の健康を維持するため、健康診断及びストレスチェックを実施しました。

○ 各種委員会の実施（決算額 118,200円）
 公正で開かれた民主的な町政、公正の確保透明性の向上等を図るため、下記の委員会を実施しました。
 政治倫理委員会（1回）、入札監視委員会（1回）、固定資産評価審査委員会（2回）

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	4,587,618	3,112,277	3,197,990	4,859,000	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	217,756	0	0	73,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	4,369,862	3,112,277	3,197,990	4,786,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している		3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input type="checkbox"/> 効率的である		
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
目標を達成したため、引き続き、職員の人材育成、組織力の向上に向けた取組を実施したいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-1-2 職員の人材育成、組織力の向上」に関連する委託料【一般管理費】(決算書P.62)

節	説明	委託名	決算額 (円)	
12	委託料	職員研修委託料	長崎県市町村振興協会ニーズ研修委託料	170,000
説明 計			170,000	

【このページは空白です】

事業番号	7 - 2 - 2		担当課	総務課	担当班	総務班
事業名	人権問題・男女共同参画の啓発					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			会計	一般会計
	戦略目標	すべての町民が尊重され、生きがいのある社会をつくる			款	2 総務費
法令根拠条例等	男女共同参画社会基本法			項	1 総務管理費	
個別計画	第2次佐々町男女共同参画計画			目	1 一般管理費	

1 事業内容

【行動指針】

・男女共同参画啓発コラムの広報紙掲載、町民文化祭等における啓発ブースの設置、男女共同参画に関する研修会の開催などにより、男女共同参画に関する周知啓発を行います。
 ・配偶者・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等、あらゆる男女の人権尊重に関する問題の対応として、相談窓口の周知を行います。

【事業概要】

○男女共同参画推進事業（決算額 2,416,900円）

- ・第3次佐々町男女共同参画計画の策定（決算額 2,368,300円）
 第2次佐々町男女共同参画計画が令和3年度で最終年度を迎えるため、次期計画の策定に取り組みました。
- ・男女共同参画推進懇話会の実施（決算額 48,600円）
 各種団体の代表などで構成する「佐々町男女共同参画推進懇話会」を設置し、男女共同参画社会形成促進を図るための施策について広く意見を聴取し、男女共同参画の企画・推進を図りました。
 また、次期計画策定に関する意見交換を行いました。
- ・男女共同参画の啓発（町費負担なし）
 男女共同参画に関する理解が深まるよう、啓発コラムの広報紙掲載（片面1/2に9回掲載）や各種相談窓口の周知に取り組みました。
 また、「男女共同参画週間」や「女性に対する暴力をなくす運動」など多様な機会を活用し、啓発ポスターの掲示やパンフレットの設置など、効果的な普及啓発を図りました。

【女性に対する暴力をなくす運動 啓発の様子】



2 コスト（単位：円）

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	48,600	54,000	2,416,900	130,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	48,600	54,000	2,416,900

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	人権啓発事業の実施数【累】	4事業	事業	目標	-	-	-	-	5	80%
				実績	4	-	-	-	-	
成果	男女共同参画啓発ブースの 来場者数【単】	908人/年	人	目標	1,000/年	1,000/年	1,000/年	1,000/年	1,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	社会教育講座における人権講話 の受講者数（1講座平均）【単】	45人	人	目標	50	50	50	50	50	50%
				実績	25	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な 対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段 はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
新型コロナウイルス感染症の影響で、町民文化祭が中止となり、男女共同参画の啓発ブースを設置することができなかつたため、町民の新しい生活様式にあった啓発を行っていきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	総務課	担当班	総務班
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款
法令根拠条例等	-			予算科目	項	1 総務管理費
個別計画	-				目	1 一般管理費

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

○役場庁舎の適正な管理（決算額10,251,071円）

新庁舎建設を控え、現庁舎については必要な修繕等を行いました。また、R4別館解体に向け、教育委員会及び農業委員会の事務室を役場庁舎2階に移設しました。

[円]

節	内容	金額		比較 (B)-(A)
		R2(A)	R3(B)	
需用費(燃料費)	非常用発電装置燃料、 庁舎ガス代 (R2光熱水費→R3燃料費)	40,990	47,927	6,937
需用費(光熱水費)	庁舎電気料金、水道料金	3,628,675	3,982,683	354,008
需用費(修繕)	エアコン修繕、非常用発電装置盤修繕、電気工作物修繕、エレベーター修繕等	1,892,871	1,130,360	△ 762,511
役務費	建物災害共済保険料、電力監視、害虫駆除等 ※1	284,127	882,128	598,001
委託料	電話交換機設備保守、機械警備、電気工作物保安、消防設備点検、高架水槽、清掃点検、エレベーター保守、自動ドア点検、空調機点検、防鳩等	4,268,000	4,255,900	△ 12,100
原材料費		26,103	0	△ 26,103
合計		10,140,766	10,298,998	158,232

※ 別館取壊しに伴う教育委員会・農業委員会の電話移設手数料 550,000円

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	10,471,292	10,140,766	10,298,998	10,482,350
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	10,471,292	10,140,766	10,298,998

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
<input type="checkbox"/> 妥当である			
<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある			
<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
現庁舎の管理は、安全に使用できるよう保守、点検を行っています。今後の改修等は修繕など必要最低限とします。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する備品購入費【非常備消防費】（決算書P.156）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17	備品購入費	消防関係備品 消防ホース（65mm×20m）14本 消防ホース（65mm×5m）1本	458,260
17	備品購入費	消防関係備品 消防団分団用手持ちLEDライト 6台	79,200
17	備品購入費	消防関係備品 トランシーバー 1台	30,800
17	備品購入費	消防関係備品 信号ラッパ 2本	83,600
説明 計			651,860

「3-8-◆2 自主防災組織育成強化事業」に関する備品購入費【災害対策費】（決算書P.160）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17	備品購入費 備品購入費（新型コロナウイルス感染症対策事業分）（繰越明許）	避難所用低濃度オゾン発生装置 20台	3,520,000
説明 計			3,520,000

「6-1-4 行政サービスの利便性の向上」に関する備品購入費【電子計算費】（決算書P.78）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17	備品購入費 電算室備品（新型コロナウイルス感染症対策事業分）（繰越明許）	低濃度オゾン発生装置 2台	198,000
説明 計			198,000

「6-2-5 公共施設等の有効活用と適正管理」に関する備品購入費【一般管理費】（決算書P.78）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17	備品購入費 庁舎備品（新型コロナウイルス感染症対策事業分）（繰越明許）	業務用加湿空気清浄機 2台	3,520,000
説明 計			3,520,000

【このページは空白です】

事業番号	7 - 1 - 1		担当課	総務課	担当班	総務班		
事業名	行政情報の適切な管理から情報公開・共有							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	情報を適切に管理し、積極的な公開・共有化を進める				款	2	総務費
法令根拠条例等	-				項	1	総務管理費	
個別計画	-				目	1	一般管理費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・行政情報の適切な管理として、公文書の適正な整理、保管、保存を行い、情報公開について迅速に対応し、情報共有を行います。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○公文書の適正な管理（決算額 550,336円） 行政情報の適切な管理を行うため、ファイリング方式の見直しに向けて行政文書管理研修を実施しました。 また、文書管理システムを用い、統一的な文書管理を行いました。 ※行政文書管理研修（長崎県市町村行政振興協議会によるニーズ研修） 委託料 60,000円 ※文書管理システム システム保守料 490,336円（再掲）</p> <p>○情報公開請求への対応（町費負担なし） 情報公開請求に対しては、文書不存在の理由がなければ積極的に開示を行いました。 ※公文書公開請求：請求 22件（うち公開 16件、非公開 1件、不存在 5件）</p> <p>○個人情報保護への取組（町費負担なし） ルールに基づき個人情報の収集や管理、利用を行い、町民の個人情報の保護を行いました。</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		485,878	490,336	550,336	490,336
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	485,878	490,336	550,336	490,336

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町ホームページアクセス件数【単】	340,639件/年	件	目標	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	125%
				実績	563,424	-	-	-	-	
成果	SNS（LINE）フォロワー数【累】	-	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,519	-	-	-	-	
成果	メール配信登録件数【累】	464件	件	目標	-	-	-	-	700	93%
				実績	649	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>新庁舎への移転に向け、文書整理に取り組むべくファイリングシステムの導入に取り掛かりました。業務の見直しにもつながると考えられますので、令和5年度中の完全実施を目標とします。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 1 - 1		担当課	選挙管理委員会	担当班				
事業名	行政情報の適切な管理から情報公開・共有								
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	1	一般会計	
	戦略目標	情報を適切に管理し、積極的な公開・共有化を進める				款	2	総務費	
法令根拠条例等	-						項	4	選挙費
個別計画	-						目	3	町長選挙・町議会議員一般選挙費 他

1 事業内容

【行動指針】
 ・行政情報の適切な管理として、公文書の適正な整理、保管、保存を行い、情報公開について迅速に対応し、情報共有を行います。

【事業概要】

○適正な選挙執行（決算額26,998,257円）
 町長選挙・町議会議員一般選挙（令和3年6月20日）、衆議院議員総選挙（令和3年10月31日）、県知事選挙（令和4年2月20日）が執行され、適正な選挙を執行しました。

選挙名	執行経費		投票率	
	今回	前回	今回	前回
町長選挙・町議会議員一般選挙	13,292,918円	7,589,395円	60.88%	64.85%（町長）
				64.84%（町議）
衆議院議員総選挙	7,142,503円	6,290,505円	54.65%	54.94%
県知事選挙	6,562,836円	6,051,777円	45.19%	35.70%

※ 前回選挙は3選挙とも平成29年に執行

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	11,066,783	0	26,998,257	8,178,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	10,940,430		13,705,339
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	126,353	0	13,292,918

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町ホームページアクセス件数【単】	340,639件/年	件	目標	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	125%
				実績	563,424	-	-	-	-	
成果	SNS（LINE）フォロワー数【累】	-	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,519	-	-	-	-	
成果	メール配信登録件数【累】	464件	件	目標	-	-	-	-	700	93%
				実績	649	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) ・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) ・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) ・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) ・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか) 	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) ・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) ・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
各選挙とも問題なく執行ができましたが、投票率が年々下がってきているので、対策が必要です。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 7 - 1			担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	地域見守り・防犯活動の推進							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすま				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	犯罪や交通事故から町民を守る					款	2 総務費
法令根拠条例等	-				項	1	一般管理費	
個別計画	佐々町交通安全計画				目	10	安心・安全のまちづくり推進協議会費 他	

1 事業内容

【行動指針】

- ・ 町民活動団体、学校、警察、防犯協会、行政などが連携して、地域社会全体で、児童生徒を見守り、育てる取組を実施します。
- ・ 児童生徒の通学路における危険箇所を調査・点検し、改善していきます。また、町内パトロールを行うなど町民が犯罪に巻き込まれないよう環境整備に取り組みます。
- ・ 夜間に路上で発生する犯罪等を防止するため、町内会等が行う防犯灯の設置や維持管理を支援し、犯罪が起きない環境整備に取り組みます。

【事業概要】

○安心・安全のまちづくり推進事業

- ・ 関係機関との連携（決算額209,000円）
防犯等に係る活動を行われている長崎県防犯協会、長崎犯罪被害者支援センター及び江迎地区防犯協会連合会の活動に対し、負担金の支出を行いました。
- ・ 児童生徒の通学路における危険箇所の点検
総務課、教育委員会、建設課及び関係機関（小学校、中学校、県北振興局、防犯リーダー、江迎警察署、交通安全母の会、小学校PTA、中学校PTA）と連携し、児童生徒の通学路における交通安全的観点と防犯的観点の両方からみる危険箇所の点検を行いました。
- ・ 町内防犯パトロールの実施
春（8回）と秋（7回）の交通安全運動期間中に啓発と併せて毎朝、通学路を見回るパトロールを実施しました。

○防犯灯整備事業（決算額2,018,582円）

- ・ 町内会防犯灯への新設補助、維持管理（電灯料）補助の実施（決算額2,018,582円）
夜間の犯罪発生等を防止するため、13町内会69灯(新設4灯、修繕等65灯)の防犯灯設置費用に対して768,800円の助成を行いました。

【町内会毎の防犯灯数※（）内は新設数】

千本	27	口石	16(1)	神田	13	市瀬	3(1)	水道	2	江里	1	佐々南	1
浜迎	1	北	1	里山	1	木場	1	里	1(1)	古川	1(1)		

また、維持管理補助として防犯灯電灯料に対し、1,249,782円の助成を行いました。

【防犯灯の種類別灯数／全757灯】

LED防犯灯	680
その他の防犯灯	77

※令和4年3月末時点

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,888,106	2,028,766	2,227,582	2,123,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	1,888,106	2,028,766	2,227,582

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	町内巡回回数（年間）【単】	10回/年	回	目標	30/年	30/年	30/年	30/年	30/年	50%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	交通安全講習会参加人数【単】	20人/年	人	目標	50/年	50/年	50/年	50/年	50/年	100%
				実績	50	-	-	-	-	
活動	地域防犯点検（危険箇所調査）【単】	0回/年	回	目標	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	100%
				実績	2	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業根拠の再確認（住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） 意図の適切性（住民のニーズに対して、意図が適切であるか） 自治体関与の必要性（自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか） 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	2
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 意図の達成度（評価指標や意図をどの程度達成しているか） 対象の適切性（意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） 手段の適切性（意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか） 	<input type="checkbox"/> 妥当である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化（業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） 投入コストの適切性（投入するコストは適正か、削減の余地はないか） 財源確保の適切性（受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか） 	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
		<input type="checkbox"/> 適切である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
<p>児童生徒の通学路危険箇所点検については、教育委員会、建設課との連携のもと交通安全、防犯の観点から今後も進めていきます。</p> <p>町内巡回については、期間的、早朝のみだけでなく、幅広く行う必要があります。</p> <p>防犯灯補助金については、今後も防犯灯のLED化を進めていきます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	佐々町町内会集会所個別施設計画			目	1 一般管理費		

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

○町内会集会所環境整備事業（決算額2,003,357円）

町内の地域コミュニティ活動を支援するため、町内会の要望に基づいて集会所の修繕、工事などを行いました。

[円]

節	内容	金額		比較 (B)-(A)
		R2(A)	R3(B)	
需用費(修繕)	北町内会カーテン、エアコン 神田町内会畳表替 里町内会網戸張替、間仕切、床板節、軒樋 木場町内会エアコン 口石町内会エアコンタイマー、エアコン 真申町内会便所フラッシュバルブ ※1 木場町内会浄化槽プロアモーター 真申町内会浄化槽プロアモーター ※2	660,498	647,548	△ 12,950
役務費	建物災害共済保険料(25箇所)、浄化槽法定点検(4箇所)	974,693	975,627	934
委託料	浄化槽管理業務(4箇所)、白蟻防除(松瀬町内会)	491,700	227,282	△ 264,418
工事請負費	口石町内会エアコン設置 ※1	9,236,100 ※3	152,900	△ 9,083,200
原材料費		112,800	0	△ 112,800
合計		11,475,791	2,003,357	△ 9,472,434

※1 規則に基づく地元負担金あり 修繕30/100、附帯設備工事50/100

※2 地元負担金なし

※3 公共施設自動水栓化工事(新型コロナウイルス感染症対策事業分) 2,894,100円、
真申町内会集会所外壁改修工事 2,357,300円、市瀬町内会集会所外壁改修工事 3,410,000円 等

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	5,674,479	11,475,791	2,003,357	4,378,627	
財源	国庫支出金		2,812,000		
	県支出金				
	その他特定財源	1,161,000	2,101,000	258,000	486,000
	地方債				
	一般財源	4,513,479	6,562,791	1,745,357	3,892,627

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
町内会集会所の改修や修繕については、受益者負担の割合の検討が必要と感 じます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 3 - 2		担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	町内会の活動の周知、加入促進						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	身近な課題を解決する地域コミュニティを育てる				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	1 一般管理費		

1 事業内容

【行動指針】

・町内会活動について再認識するため、パンフレット等を作成し、転入者や未加入者への周知啓発を行い、積極的な活動に繋がっていきます。

【事業概要】

○町内会長連絡協議会研修事業（決算額50,000円）

・町内会連絡協議会の研修に対する補助

地域コミュニティの形成の核となる町内会長や町内会役員ほか地域の方を対象に、学校法人立花高等学校校長の齋藤真人氏を招聘し、町内会における一人ひとりの多様性を受け入れた地域共生社会、ダイバーシティの取り組みに資することを目的とした研修事業の補助を行いました（参加人数50名）。

・住民福祉課窓口での加入促進資料の配布（町費負担なし）

町内会の活動内容、加入手続きに関するチラシを作成し、役場窓口での周知・啓発、転入者に対して、町内会への加入促進を行いました。

【研修会の様子】



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		150,000	0	50,000	320,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	150,000		50,000	320,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町内会加入率【単】	73%	%	目標	78	78	78	78	78	91%
				実績	71	-	-	-	-	
成果	子ども会加入率（小学生）【単】	90%	%	目標	95	95	95	95	95	89%
				実績	85	-	-	-	-	
成果	ボランティア団体数【累】	15団体	団体	目標	-	-	-	-	20	75%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	町内会公民館活動の取組種類（各町内会平均）【単】	10種類	種類	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	80%
				実績	8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
町内会加入率は年々、減少傾向をみせているため、行政として町内会への加入促進に繋がる支援を行う必要があります。 研修事業補助金については、町内会連絡協議会のニーズを捉え、地域コミュニティの強化に資する支援を行っていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 7 - 2		担当課	総務課 建設課	担当班	交通安全班 技術担当班	
事業名	交通安全対策の推進						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	犯罪や交通事故から町民を守る				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 一般管理費		
個別計画	第11次佐々町交通安全計画			目	4 交通安全対策費		

1 事業内容

【行動指針】

- 交通安全教室や講習会の開催などを通して、幼児・児童から高齢者まで世代に応じた交通安全教育に取り組みます。
- 交通事故発生危険箇所等への歩道、児童通学路の安全整備、ガードレール、カーブミラーの設置など、交通安全設備を整備します。
- 運転免許自主返納者への支援を実施します。

【事業概要】

○交通安全対策事業（決算額1,483,000円）

- カーブミラーの新設、修繕（決算額1,188,000円）
町内会からの要望を精査し、交通安全対策として新設3基、建て直し1基、支柱の取替1基、ミラーの増設1基及び支柱撤去2基を行いました。

- 交通安全運動の実施、交通安全母の会との連携、交通安全教室の実施（決算額295,000円）

年間4回の交通安全運動を中心に、交通安全母の会との連携を図りながら、交通事故防止、交通安全の啓発に努めました。なお、交通安全母の会に運営費の一部を助成しています。

また、交通安全指導員1名を配置し、町内保育園及び認定こども園の園児を対象に交通安全教室を開催しました。

【開催回数及び参加児童数】

実施箇所	回数	参加児童数（延べ）
第2保育所	6回	280名
さざなみ保育園	7回	205名
佐々神田保育園	6回	507名
佐々青い実幼児園	0回	0名

※新型コロナウイルスの影響により、開催なし

【交通安全教室の様子】



- 佐々町交通安全計画の改定

令和2年度で第10次佐々町交通安全計画の計画期間が終了したため、令和3年度から令和7年度までの計画として第11次佐々町交通安全計画を策定しました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費	1,179,400	1,150,800	1,483,000	2,200,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	1,179,400	1,150,800	1,483,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	町内巡回回数（年間）【単】	10回/年	回	目標	30/年	30/年	30/年	30/年	30/年	50%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	交通安全講習会参加人数【単】	20人/年	人	目標	50/年	50/年	50/年	50/年	50/年	100%
				実績	50	-	-	-	-	
活動	地域防犯点検（危険箇所調査）【単】	0回/年	回	目標	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	100%
				実績	2	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
カーブミラーの設置、修繕については、町内会の要望に基づき適宜行いました。交通安全母の会運営費については適正に処理をされ、交通事故防止啓発を行われています。町内4か所ある保育施設において、1か所が新型コロナウイルスの影響により、交通安全教室が行えませんでしたので、講師派遣が困難な時の教育を考えていく必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-7-2 交通安全対策の推進」に関する工事請負費【交通安全対策費】(決算書P.68)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14	工事請負費	交通安全施設(道路反射鏡)工事	道路反射鏡新設 N=2基	407,000
14	工事請負費	交通安全施設(道路反射鏡)工事(その2)	道路反射鏡新設 N=1基 道路反射鏡建替 N=1基 道路反射鏡撤去 N=2基	583,000
説明 計				990,000

【このページは空白です】

事業番号	6 - 1 - 4		担当課	総務課 住民福祉課	担当班	総務班 住民班	
事業名	行政サービスの利便性の向上						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	8 電子計算費 他		

1 事業内容

【行動指針】
 ・「新しい生活様式」にも対応しつつ、町民の利便性を向上させるため、行政手続きのオンライン化や電子処理化に取り組めます。
 ・マイナンバーカードの普及に取り組めます。
 ・各種業務システムを安定的に稼働させ、国の基準に基づいたセキュリティの高いネットワーク通信環境を維持します。

【事業概要】
 ○電子計算システム整備事業（決算額 101,276,768円）
 町民サービスの提供に不可欠である各種電算システムを適切に管理運用するため、保守管理、ソフトウェア改修等を行いました。

<経常経費>（決算額 54,853円）
 普通旅費 2,300円、消耗品費 22,793円、機器廃棄処分委託料 29,760円、
 電算室環境整備（R2線） 198,000円（電算室・サーバ室用低濃度オゾン発生装置）【コロナ地方創生交付金】

<総合行政システム>（決算額 72,421,708円）
 ※管理運用 ASPサービス利用料 32,016,600円（一般会計分50業務）等
 ※システム改修 法改正に伴う改修 7,735,200円（番号制度に関する改修等12件）
 コロナ関連 4,164,600円（臨時特別給付金、ワクチン接種体制確保対応等）
 その他改修 710,600円（選挙入場券改修、機構改革対応、財務会計改修等）
 ※コンビニ交付導入（R2線再掲） システム改修 9,460,000円【コロナ地方創生交付金】
 ※ぴったりサービス導入（R2線再掲）システム改修 770,000円、接続 270,600円【コロナ地方創生交付金】

<ファイルサーバ・ネットワーク>（決算額 17,825,596円）
 ※管理運用 通信運搬費 3,613,836円、機器保守委託料 3,383,336円、システム保守委託料 1,452,000円、
 機器リース料 5,385,132円 等

【主な増減理由】
 ※新庁舎移転に係る次期ネットワーク・サーバシステム設計業務委託 3,740,000円
 新庁舎建設事業の実施設計に必要な次期ネットワーク関係機器等の構成を整理しました。

<全庁型地図情報システム>（決算額 3,962,726円）
 ※管理運用 ASPサービス利用料 3,696,000円、データ更新手数料 110,000円 等

<文書管理システム>（決算額 490,336円）
 ※管理運用 システム保守委託料 490,336円

<グループウェア>（決算額 681,765円）
 ※管理運用 機器保守委託料 39,600円、システム保守委託料 627,000円 等

<セキュリティ>（決算額 5,641,161円）
 ※管理運用 通信運搬費 122,643円、セキュリティ強化関係機器保守委託料 2,945,932円、
 セキュリティクラウド参加負担金 1,458,161円 等

【主な増減理由】
 ※次期長崎県自治体情報セキュリティクラウド接続環境移行業務委託 836,000円
 高度なセキュリティ体制を維持するため、長崎県が構築した新たな長崎県自治体情報セキュリティクラウドへ接続できるよう環境を構築しました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	86,742,981	96,662,705	101,276,768	109,736,000
財源	国庫支出金	4,451,000	19,341,000	19,886,600
	県支出金			99,000
	その他特定財源	272,000	270,000	66,000
	地方債			
	一般財源	82,019,981	77,051,705	81,225,168
				95,532,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
行政手続のオンライン化のために必要な環境構築を行いました。今後は、これらの手段を用いて、さまざまな手続きにおいて電子申請を可能にすることにより、住民サービスの向上及び業務の改善を進めるためにも、目標設定を行う必要があると感じます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-1-4 行政サービスの利便性の向上」に関連する委託料【電子計算費】（決算書P.72）

節	説明	委託内容	決算額（円）	
12	委託料	機器保守料	総合行政システム関係	3,056,900
			ファイルサーバ・ネットワーク関係	3,383,336
			グループウェア関係	39,600
			セキュリティ関係	2,945,932
説明 計			9,425,768	
節	説明	委託内容	決算額（円）	
12	委託料	システム保守料	ファイルサーバ・ネットワーク関係	1,452,000
			文書管理システム関係	490,336
			グループウェア関係	627,000
説明 計			2,569,336	
節	説明	委託内容	決算額（円）	
12	委託料	ソフトメンテナンス委託料	総合行政システム関係	12,610,400
			GIS関係	110,000
			セキュリティ関係	836,000
説明 計			13,556,400	
節	説明	委託内容	決算額（円）	
12	委託料	ソフトメンテナンス委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分) (繰越明許)	ぴったりサービス導入事業	1,040,600
説明 計			1,040,600	
節	説明	委託内容	決算額（円）	
12	委託料	証明書等コンビニ交付システム委託料(新型コロナウイルス感染症対策事業分)(繰越明許)	証明書等コンビニ交付システム導入事業	9,460,000
説明 計			9,460,000	

「6-1-4 行政サービスの利便性の向上」に関連する備品購入費【電子計算費】（決算書P.78）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）	
17	備品購入費	電算室備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)(繰越明許)	低濃度オゾン発生装置 2台	198,000
説明 計			198,000	

【このページは空白です】

事業番号	7 - 3 - 1		担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	行政と地域の対話、地域の課題の共有						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	身近な課題を解決する地域コミュニティを育てる				款	2 総務費
法令根拠条例等	佐々町町内会集会所の設置に関する規則、佐々町町内会有線放送施設費助成金交付規則			項	1 総務管理費		
個別計画	佐々町町内会集会所個別施設計画			目	3 財産管理費 他		

1 事業内容

【行動指針】

・町内会長会や懇談会など、様々な対話を通じて、町内会と行政が地域の課題を共有し、一体となって課題解決に取り組みます。

【事業概要】

○町内会有線放送施設への助成（決算額 209,220円）

町内会が整備する有線放送施設について、7件の助成を行いました。

木場町内会 2件、江里町内会 2件、市瀬町内会 1件、口石町内会 1件、 浜迎町内会 1件

【江里町内会 スピーカーの設置】

【木場町内会 支柱、線の設置】



○町内会町会の実施

32町内会の会長と行政の連携を図るため、年4回の会議を実施しました。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		214,553	659,147	209,220	420,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	214,553	659,147	209,220	420,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町内会加入率【単】	73%	%	目標	78	78	78	78	78	91%
				実績	71	-	-	-	-	
成果	子ども会加入率（小学生）【単】	90%	%	目標	95	95	95	95	95	89%
				実績	85	-	-	-	-	
成果	ボランティア団体数【累】	15団体	団体	目標	-	-	-	-	20	75%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	町内会公民館活動の取組種類（各町内会平均）【単】	10種類	種類	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	80%
				実績	8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
町内会管理の有線放送助成については、町内会ごとの新設、修繕申請に基づき、適宜行いました。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「7-3-1 行政と地域の対話、地域の課題の共有」に関連する工事請負費【財産管理費】(決算書P.66)

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)	
14	工事請負費	町内会集会所改修工事	口石町内会集会所エアコン設置工事	エアコン設置工事(N=1)一式	152,900
説明 計				152,900	

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - ◆1			担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	防災・減災対策推進事業							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる					款	9 消防費
法令根拠条例等	災害対策基本法、消防組織法				項	1 消防費		
個別計画	佐々町地域防災計画				目	1 常備消防費 他		

1 事業内容

【行動指針】

- まちの防災力を向上し、災害時に的確に行動ができるための「防災・減災対策」を実施します。

【事業概要】

○常備・非常備消防整備事業（決算額204,398,657円）

- 常備消防及び救急体制の構築のため、事務委託負担金を支出しました。（決算額176,702,000円）
- 災害対応力強化のため消防ホース15本、信号ラッパ2本、分団用LEDライト6台、本部用トランシーバー2台の購入を行いました。（決算額651,860円）
- 消防団と常備消防の消火連携体制構築のため、佐々小学校付近(第1分団管轄)で火災想定訓練を実施いたしました。例年3回の訓練実施の予定ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により1回のみ開催にとどまりました。
- 消防団の自主的な活動を支援するため、消防団に運営費補助金を交付しました。また、免許種別により消防車の運転が出来ない団員3名に中型免許取得補助金(補助率1/2 上限100,000円)を交付しました。（決算額2,515,418円）

○災害対策整備事業（決算額4,075,222円）

- 大規模災害に備え、災害用備蓄の購入を行いました。（決算額926,627円）

<購入品及び数量>

簡易トイレ	2,000個	備蓄用毛布	140枚	レトルトごはん	600食	保存水(500ml)	1,272本
液体ミルク	120本	非常用生理用品	300枚	子供用おむつ	484枚	大人用おむつ	168枚

- 災害時の応援体制構築のため、各関係課において関係機関と協定の締結を行いました。

<協定先及び協定内容>

長崎県環境保全協会・長崎県環境整備事業協同組合	保険環境課	5月27日	災害廃棄物の処理等に関する協定
長崎県産業資源循環協会	保険環境課	1月18日	災害廃棄物の処理等に関する協定
(株)セイホウ電設	水道課	6月1日	災害時における水道施設電気設備等の復旧等に関する協定
日本下水道協会	水道課	10月1日	災害時の下水道施設の維持、修繕に関する協定
公益社団法人日本下水道管路管理業協会	水道課	10月1日	災害時の下水道管路の復旧支援協力に関する協定
町内郵便局	総務課	9月22日	日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定

- 地域防災計画について、浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に位置している要配慮者利用施設の更新(4→43箇所)を行いました。また、法改正に合わせた文言修正、人口などの行政情報及び気象情報の統計数値等の年度更新など所要の改訂を行いました。
- 町内会長、議員参加型の避難所開設訓練(1回)や大学生、小学生への防災講話(2回)など町民などへの防災・減災に係る啓発を行いました。（決算額15,120円）

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	218,135,196	250,610,438	208,473,879	243,874,000	
財源	国庫支出金	0	13,026,000	0	
	県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	1,383,729	253,128	1,335,743	1,438,000
	地方債	0	0	0	13,400,000
	一般財源	216,751,467	237,331,310	207,138,136	226,897,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
新型コロナウイルスの影響により、住民を参集しての活動が制限されました。引き続き、新型コロナウイルスの影響でも進めていけるような方策を検討しながら災害発生時にしっかりと対応できる基盤づくりを行っていく必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">現状維持</div> ・ 見直し ・ 廃止

「3-8-◆1 防災・減災対策の推進」に関する備品購入費【非常備消防費】（決算書P.156）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17	備品購入費	消防ホース（65mm×20m）14本 消防ホース（65mm×5m）1本	458,260
17	備品購入費	消防団分団用手持ちLEDライト 6台	79,200
17	備品購入費	トランシーバー 1台	30,800
17	備品購入費	信号ラッパ 2本	83,600
説明 計			651,860

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - 2			担当課	総務課	担当班	総務班
事業名	地域の災害対応力の強化						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にするまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる				款	9 消防費
法令根拠条例等	災害対策基本法、消防組織法			項	1 消防費		
個別計画	佐々町地域防災計画			目	4 災害対策費 他		

1 事業内容

【行動指針】

- ・地域防災力の根幹となる自主防災組織を育成するため、出前講座等の防災講演会を実施するとともに、防災訓練を実現します。
- ・消防施設の計画的な更新を行います。また、団員確保のため団員が活動しやすい環境整備を行います。
- ・地域の消防団等と連携し、自主防災組織の活動の活性化や活動内容を充実します。
- ・避難所に多くの方が集中すると、新型コロナウイルスの感染が広がるリスクがあり、災害時の避難行動に「新しい生活様式」を取り入れる必要があります。新型コロナウイルス感染症に対応した物資の確保や避難所運営職員への研修など、避難所の感染防止対策を進めます。

【事業概要】

○常備・非常備消防整備事業（決算額204,398,657円）【再掲】

- ・消防団の自主的な活動を支援するため、消防団に運営費補助金を交付しました。また、免許種別により消防車の運転が出来ない団員3名に中型免許取得補助金(補助率1/2 上限100,000円)を交付しました。(決算額2,515,418円)
- ・令和5年度実施予定の消防第5分団消防詰所建替えに伴い、収用交渉予定地の不動産鑑定を実施しました。(決算額269,500円)

・消防団員の活動に係る処遇改善を目的として、火災等の出勤報酬の見直しを行いました。

【見直しの内容】

火災等出勤	2,300円/回	→	火災等出勤	2,300円～8,000円	※出勤時間により
会議出席	2,300円/回		会議出席	2,300円/回	

○常備・非常備消防整備事業《R2繰越分》（決算額31,425,900円）

- ・令和2年度からの繰越工事として、第4分団消防詰所を建設しました。

【建替後の第4分団詰所】



○災害対策整備事業（決算額4,075,222円）【再掲】

- ・自主防災組織の育成と活性化を図るため12月5日に神田、さざん花町内会にて、地域、警察、消防署、消防団合同による防災訓練（避難誘導・避難所運営訓練や関係機関による各種訓練、特殊車両の展示等）を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、2か所での開催予定が1か所のみとなりました。また、住民向けの防災講話についても新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。(決算額58,222円)

○災害対策整備事業《R2繰越分》（決算額2,640,000円）【再掲】

- ・令和2年度からの繰越事業として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して低濃度オゾン発生装置を購入し、沖田、牟田原町内会を除く30町内会に貸与を行いました。(決算額2,640,000円)

2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		218,135,196	250,610,438	242,539,779	243,874,000
財源	国庫支出金	0	13,026,000	2,640,000	2,139,000
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,383,729	2,219,156	1,335,743	1,438,000
	地方債	0	14,500,000	31,400,000	13,400,000
	一般財源	216,751,467	220,865,282	207,164,036	226,897,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	33%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
新型コロナウイルスの影響により、住民を参集しての活動が制限されました。引き続き、新型コロナウイルスの影響でも進めていけるような方策を検討しながら災害発生時にしっかりと対応できる基盤づくりを行っていく必要があると考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-8-2 地域の災害対応力の強化」に関する工事請負費【消防施設費】(決算書P.158)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14	工事請負費	第4分団消防詰所建替工事(繰越明許)	第4分団消防詰所の新築	31,425,900
説明 計				31,425,900

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - ◆2		担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	自主防災組織育成強化事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			会計	一般会計	
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる			予算科目	款	9 消防費
法令根拠条例等	災害対策基本法			項	1	消防費	
個別計画	佐々町地域防災計画			目	4	災害対策費 他	

1 事業内容

【行動指針】

・実効性のある防災活動、災害時における迅速な応急対応ができるように、町内会での防災訓練を通して、自主防災組織の育成強化を行います。

【事業概要】

○災害対策整備事業（決算額4,075,222円）【再掲】

・自主防災組織の育成と活性化を図るため12月5日に神田、さざん花町内会にて、地域、警察、消防署、消防団合同による防災訓練（避難誘導・避難所運営訓練や関係機関による各種訓練、特殊車両の展示等）を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、2か所での開催予定が1か所のみとなりました。また、住民向けの防災講話についても新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。（決算額58,222円）
 ・西九州させば広域都市圏連携事業佐世保市が開催する各種研修会の負担金を支出しました。本年度はTV会議で1回の開催があり、災害時の初動対応等の研修に総務課・建設課職員が参加しました。（決算額23,000円）

○災害対策整備事業《R2線越分》（決算額2,640,000円）

・令和2年度からの線越事業として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して低濃度オゾン発生装置を購入し、沖田、牟田原町内会を除く30町内会に貸与を行いました。（決算額2,640,000円）

【防災訓練実施の様子】（左上：避難誘導訓練、左下：煙体験、右上：救急救命訓練、右下：緊急車両展示）



2 コスト （単位：円）

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		13,016,642	41,013,014	6,715,222	7,310,000
財源	国庫支出金	0	12,401,000	2,640,000	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,129,823	1,966,028	1,070,279	1,200,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	11,886,819	26,645,986	3,004,943	6,110,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	防災訓練の実施組織数 【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	33%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
新型コロナウイルスの影響により、住民を参集しての活動が制限されました。引き続き、新型コロナウイルスの影響でも進めていけるような方策を検討しながら災害発生時にしっかりと対応できる基盤づくりを行っていく必要があると考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

「3-8-◆2 自主防災組織育成強化事業」に関する備品購入費【災害対策費】（決算書P.160）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17 備品購入費	備品購入費（新型コロナウイルス感染症対策事業分）（繰越明許）	避難所用低濃度オゾン発生装置 20台	3,520,000
説明 計			3,520,000

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - 1		担当課	総務課	担当班	総務班
事業名	防災・減災対策の推進					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			会計	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる			款	9 消防費
法令根拠条例等	災害対策基本法、消防組織法			項	1 消防費	
個別計画	佐々町地域防災計画			目	4 災害対策費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・ハザードマップを活用した危険個所の周知等、災害に対する知識の普及と情報発信を行います。
- ・災害への事前の備えとして、防災備蓄品の整備、民間機関等との災害時における応援協定の充実に取り組みます。

【事業概要】

○災害対策整備事業（決算額4,075,222円）【再掲】

- ・出水期における広報紙への記事掲載やホームページへのハザードマップの掲載、避難所開設訓練における町内会長や議会議員の方への災害対応の知識の普及などを行いました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般町民の方への防災講話の開催はできませんでした。（決算額15,120円）
- ・各種警報が発令された際や災害の恐れがある際に、災害警戒本部及び避難所の設置を行いました。令和3年度は災害警戒本部を6回設置し、避難所開設を3回行いました。（決算額1,456,706円）

避難所開設の状況

設置箇所	避難世帯	避難者数	避難所設置日時等
佐々町公民館	12世帯	15人	8月8日～9日（台風9号）、8月12日～15日（大雨）、9月16日～18日（大雨）

- ・関係機関との協定締結
災害時の応援体制構築のため、各関係課において関係機関と協定の締結を行いました。

<協定先及び協定内容>

協定先	担当課	締結日	協定内容
長崎県環境保全協会・長崎県環境整備事業協同組合	保険環境課	5月27日	災害廃棄物の処理等の協力に関する協定
長崎県産業資源循環協会	保険環境課	1月18日	災害廃棄物の処理等の協力に関する協定
(株)セイホウ電設	水道課	10月1日	災害時における水道施設電気設備等の復旧等に関する協定
日本下水道協会	水道課	10月1日	災害時の下水道施設の維持、修繕に関する協定
公益社団法人日本下水道管路管理業協会	水道課	10月1日	災害時の下水道管路の復旧支援協力に関する協定
町内郵便局	総務課	9月22日	日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定

- ・西九州させば広域都市圏連携事業佐世保市が開催する各種研修会の負担金を支出しました。本年度はTV会議で1回の開催があり、災害時の初動対応等の研修に総務課・建設課職員が参加しました。（決算額23,000円）

【町内郵便局との協定締結】



【避難所開設訓練実施の様子(地域交流センター)】



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		13,016,642	41,013,014	4,075,222	7,310,000
財源	国庫支出金	0	12,401,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,129,823	1,966,028	1,070,279	1,200,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	11,886,819	26,645,986	3,004,943	6,110,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	33%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
新型コロナウイルスの影響により、住民を参集しての活動が制限されました。引き続き、新型コロナウイルスの影響でも進めていけるような方策を検討しながら災害発生時にしっかりと対応できる基盤づくりを行っていく必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 1 - 1			担当課	総務課	担当班	総務班	
事業名	機能的かつ効率的な組織づくり							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち				予 算 科 目	会計	
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う					款	
法令根拠条例等	-				項			
個別計画	-				目			

1 事業内容

【行動指針】

・現状や未来を見据えた行政サービスに対応できる組織を編成し、職員の定員管理を行います。また、近年の雇用条件の変化を見据え、正規職員だけでなく、定年延長、再任用雇用、非常勤職員の雇用を含めた全体的な組織づくりを行います。

【事業概要】

○人件費（決算額 1,097,337,473円）

令和3年度の一般会計人件費は1,097,337千円であり、一般会計総支出額における人件費の割合は13.9%でした。

(1) 会計年度任用職以外の職員

- ・民間給与との較差、人事院勧告及び県人事委員会の内容を考慮した上で、国の法改正に準じて手当の改正を行いました。※ 令和3年度における手当については、影響なし
- ・給与の増要因としては、3回の選挙等による時間外勤務手当が主な要因となっており、経常分の時間外勤務手当については前年度比5,655千円の増で、時間外勤務申請の厳格化（令和3年12月～）、オリンピックにおける聖火リレーの対応等が主な要因となっております。

(2) 会計年度任用職

- ・民間給与との較差、人事院勧告及び県人事委員会の内容を考慮した上で、国の方針に準じて給料および手当の改正を行いました。
- ・給与の増要因としては、前年度より引き続き任用となった職員について、6月における期末手当の在職月数が増（令和2年6月：30% → 令和3年6月：100%）となったことが主な要因となっております。

<一般会計 人件費決算額>

(単位：千円)

人件費			人件費内訳（委員報酬および共済費を除く）				
総額	一般会計総支出額に占める割合	前年度比	職員区分	報酬・給料		給与	
				総額	前年度比	総額	前年度比
1,097,337	13.9%	2.7% 増	会計年度任用職以外の職員	372,405	0.4% 減	657,466	1.3% 増
			会計年度任用職	217,539	1.8% 増	259,415	6.9% 増
			計	589,944	0.4% 増	916,881	2.8% 増

(3) ラスパイレス指数（令和3年4月1日現在）

国家公務員と地方公務員の給料を比較するラスパイレス指数については、98.7%（前年比 Δ0.5%）となり、適正な職員の給与水準の確保に努めました。

○組織体制の見直し

効率的・機能的な組織編成による事業推進体制の強化、職員及び職場の活性化を目的として、各課のヒアリングを通して組織体制の見直しを行い、令和4年度からの機構改革に取り組みました。

<機構改革>

(1) 組織の新設

- ・庁舎建設室
令和4年度からの本格的な新庁舎建設を進めるにあたり、庁舎建設室を設置
- ・多世代包括支援センター
人と地域がつながり、誰もが生きがいや役割を持ち、支え合う「地域共生社会」の実現に向けて、本町の地域福祉まるごと相談窓口として、多世代包括支援センターを設置

(2) 組織体制の変更

- 【変更前】 企画財政課（企画班・財政班）、税務課（税務班・収納班）
産業経済課（農政班・商工観光班）
- 【変更後】 企画商工課（企画班・商工観光班）、税財政課（財政班・税務班・収納班）
農林水産課（農林水産班）

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	928,147,486	1,068,215,757	1,097,337,473	1,121,918,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

1 事業内容

正規職・再任用職に係る人件費

①令和3年度

(単位:人、千円)

区分	一般会計	介護会計	下水道会計	水道会計	全会計
職員数	93	2	2	6	103
給料	320,693	6,740	8,329	21,250	357,012
管理職手当	9,479	0	0	623	10,102
扶養手当	8,809	0	276	786	9,871
通勤手当	2,825	24	44	111	3,004
時間外勤務手当 (給料に係るもの)	28,877	113	734	915	30,639
期末手当	74,370	1,471	1,328	3,348	80,517
勤勉手当	53,249	1,096	966	2,429	57,740
住居手当	7,968	0	0	966	8,934
児童手当	7,075	0	120	660	7,855
管理職員特別勤務手当	40	0	0	0	40
退職手当組合負担金	52,919	890	1,102	2,805	57,716
共済組合負担金	103,725	1,942	2,553	6,582	114,802
地方公務員災害補償基金	678	0	34	51	763
計	670,707	12,276	15,486	40,526	738,995

②令和2年度

区分	一般会計	介護会計	下水道会計	水道会計	全会計
職員数	92	3	2	6	103
給料	321,999	10,795	8,221	20,902	361,917
管理職手当	10,472	0	0	623	11,095
扶養手当	9,766	0	218	738	10,722
通勤手当	2,994	24	44	119	3,181
時間外勤務手当 (給料に係るもの)	23,222	461	583	880	25,146
期末手当	74,146	2,142	1,399	3,346	81,033
勤勉手当	53,021	1,599	1,029	2,203	57,852
住居手当	7,649	0	0	958	8,607
児童手当	7,020	0	120	540	7,680
管理職特別勤務手当	99	0	0	0	99
退職手当組合負担金	52,413	1,427	1,094	2,782	57,716
共済組合負担金	102,505	3,042	2,315	6,039	113,901
地方公務員災害補償基金	628	0	36	68	732
計	665,934	19,490	15,059	39,198	739,681

③比較

区分	一般会計	介護会計	下水道会計	水道会計	全会計	増減の主なもの
職員数 (定員管理人数 4/1現在)	1	△ 1	0	0	0	R3:103人(うち 正規職員 102人、再任用フルタイム 1人) ※ 再任用短時間 2人 R2:103人(うち 正規職員 101人、再任用フルタイム 2人) ※ 再任用短時間 1人
給料	△ 1,306	△ 4,055	108	348	△ 4,905	・人事院勧告 月例給改定なし ・R2:退職 3人(うち 正規職員 2人、再任用フルタイム 1人) ※ 再任用短時間 1人退職 R3:採用 3人(うち 正規職員 3人) ※ 再任用短時間 2人採用 ・育児休業職員の増(R2:2人→R3:3人) ・R3途中退職者 3人
管理職手当	△ 993	0	0	0	△ 993	対象職員数の減(R2:19人→R3:17人)
扶養手当	△ 957	0	58	48	△ 851	対象扶養数の減(R2:91人→R3:85人)
通勤手当	△ 169	0	0	△ 8	△ 177	対象職員数の減(R2:56人→R3:52人)
時間外勤務手当 (給料に係るもの)	5,655	△ 348	151	35	5,493	※ 別紙 費目毎内訳参照
期末手当	224	△ 671	△ 71	2	△ 516	育児休業職員の増、職員の途中退職による減 (支給率改定なし 2.55月)
勤勉手当	228	△ 503	△ 63	226	△ 112	育児休業職員の増、職員の途中退職による減 (支給率改定なし 1.90月)
住居手当	319	0	0	8	327	対象職員数の増(R2:28人→R3:31人)
児童手当	55	0	0	120	175	対象児童数の増(6月現況届対象児童数 R2:56人→R3:58人)
管理職員特別勤務手当	△ 59	0	0	0	△ 59	
退職手当組合負担金	506	△ 537	8	23	0	・長崎県市町村総合事務組合 第4スパン(5年間:R1~R5) ※県下市町の10年間定年退職手当見込額により算出 ・旧退職手当負担金制度の清算額 107,390千円 (10年間で支払(R1~R10))
共済組合負担金	1,220	△ 1,100	238	543	901	共済負担金率の増(短期 R2:44.04→R3:49.89)
地方公務員災害補償基金	50	0	△ 2	△ 17	31	
計	4,773	△ 7,214	427	1,328	△ 686	

1 事業内容

時間外勤務手当費目毎内訳

(単位:千円)

費目(時間外手当のある費目のみ)	給料に係るもの	令和3年度 時間外	対前年度	一般職給に対する 時間外割合	令和2年度 時間外	一般職給に対する 時間外割合
議会費	○	537	103	5.4%	434	4.5%
一般管理費	○	2,742	688	7.8%	2,054	5.3%
特別定額給付金事業費		0	△ 3,745	—	3,745	—
財政管理費	○	1,910	1,139	24.5%	771	12.2%
企画費	○	1,217	251	7.1%	966	5.7%
国勢調査費		0	△ 197	—	197	—
税務総務費	○	1,900	△ 498	8.8%	2,398	10.3%
会計管理費	○	408	△ 84	3.7%	492	4.6%
戸籍住民基本台帳費	○	1,788	949	18.9%	839	9.7%
衆議院議員選挙費		2,969	2,969	—	0	—
県知事選挙費		2,623	2,623	—	0	—
町長選挙・町議会議員一般選挙費		2,958	2,958	—	0	—
社会福祉総務費	○	3,348	296	10.9%	3,052	11.0%
児童福祉措置費		1	1	—	0	—
子育て世帯臨時特別給付金事業費		0	△ 90	—	90	—
プレミアム付商品券事業費(住民福祉課)		0	0	—	0	—
児童福祉施設費	○	1,351	276	4.4%	1,075	3.9%
低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業費		56	56	—	0	—
子育て世帯への臨時特別給付金事業費		72	72	—	0	—
住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業費		53	53	—	0	—
保健衛生総務費	○	1,715	△ 153	8.8%	1,868	8.7%
塵芥処理費	○	505	△ 125	4.7%	630	5.7%
健康相談センター施設管理費	○	1,555	△ 337	6.2%	1,892	7.8%
新型コロナウイルスワクチン接種事業費		4,293	3,418	—	875	—
農業委員会費	○	0	0	0.0%	0	0.0%
農業総務費	○	2,338	1,013	12.3%	1,325	6.7%
農地中間管理機構事業費		0	△ 118	—	118	—
商工総務費	○	1,746	1,180	36.9%	566	8.5%
祭り費		48	△ 93	—	141	—
プレミアム付商品券事業費(産業経済課)		0	△ 210	—	210	—
土木総務費	○	2,288	△ 525	7.4%	2,813	7.5%
住宅管理費	○	240	△ 17	8.0%	257	9.3%
非常備消防費		381	△ 139	—	520	—
災害対策費		1,411	△ 2,739	—	4,150	—
事務局費	○	1,045	375	9.0%	670	5.7%
佐々小学校管理費	○	0	0	0.0%	0	0.0%
社会教育総務費	○	2,244	1,124	23.0%	1,120	11.5%
勤労青少年ホーム管理費	○	0	0	0.0%	0	—
公民館費	○	0	0	0.0%	0	—
図書館費	○	0	0	0.0%	0	—
土木施設災害復旧費		98	98	—	0	—
農地等災害復旧費		66	66	—	0	—
計		43,906	10,638		33,268	
給料に係るもののみ		28,877	5,655	9.0%	23,222	7.2%

1 事業内容

会計年度任用職員に係る人件費

①令和3年度

(単位:人、千円)

区分	一般会計	国保会計	介護会計	診療会計	水道会計	全会計
職員数	208	4	10	2	1	225
報酬	120,296	5,618	19,938	746	1,343	147,941
給料	97,243					97,243
通勤手当(職員手当)	1,099					1,099
通勤手当(費用弁償)	2,011	159	89	34		2,293
時間外勤務手当	217					217
期末手当	40,560	1,001	3,234		284	45,079
社会保険料	3,162	1,006	3,621		225	8,014
共済組合負担金	4,455					4,455
計	269,043	7,784	26,882	780	1,852	306,341

②令和2年度

区分	一般会計	国保会計	介護会計	診療会計	水道会計	全会計
職員数	226	3	9	2	1	241
報酬	115,389	4,661	16,571	760	1,308	138,689
給料	98,395					98,395
通勤手当(職員手当)	1,098					1,098
通勤手当(費用弁償)	1,726	151	138	10		2,025
時間外勤務手当	321					321
期末手当	27,412	720	2,167		180	30,479
社会保険料	32,876	817	2,800		200	36,693
共済組合負担金						0
計	277,217	6,349	21,676	770	1,688	307,700

③比較

区分	一般会計	国保会計	介護会計	診療会計	水道会計	全会計	増減の主なもの
職員数	△ 18	1	1	0	0	△ 16	【一般会計】 ・R2は特別定額給付金事業を実施(△9人) ・R2は緊急雇用創出のため環境美化作業員を任用(△5人) ・R3から公民館長、図書館長、勤労ホーム館長を会計年度任用職員から再任用職員へ変更(△3人) ・R2は国勢調査を実施(△1人) 【国保会計】 R2に年度途中に会計年度任用職員が退職し、代わりの職員を任用したことによる増 【介護会計】 作業療法士の任用による増
報酬	4,907	957	3,367	△ 14	35	9,252	【一般会計】 ・ワクチン1回目、2回目接種分事務補助員等の任用による増(6,941千円) ・公民館長を会計年度任用職員から再任用職員へ変更したことによる減(△2,219千円) 【国保会計】 R2に年度途中に会計年度任用職員が退職したことによる差額 【介護会計】 作業療法士の任用による増
給料	△ 1,152	0	0	0	0	△ 1,152	R2は新型コロナウイルスによる緊急雇用創出のため環境美化作業員を任用したことによる差額 (R3は未実施)
通勤手当(職員手当)	1	0	0	0	0	1	
通勤手当(費用弁償)	285	8	△ 49	24	0	268	
時間外勤務手当	△ 104	0	0	0	0	△ 104	R3から保育所のフルタイム保育士について、時間外勤務がないようにシフトを編成したことによる減
期末手当	13,148	281	1,067	0	104	14,600	前年度から引き続き任用となった職員の6月における期末手当の在職率が増(R2.6月:30% → R3.6月:100%)となったため
社会保険料	△ 29,714	189	821	0	25	△ 28,679	R2から引き続き任用となったフルタイム会計年度任用職員は社会保険から共済組合負担金に切り替わるため
共済組合負担金	4,455	0	0	0	0	4,455	
計	△ 8,174	1,435	5,206	10	164	△ 1,359	

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和3年度においては、組織体制の見直しを行い、機能的かつ効率的な組織づくりについて検討を行いました。今後も引き続き、会計年度任用職員を含めた職員の適正配置について、検討を行っていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	3 - 4 - ◆		担当課	総務課 企画商工課	担当班	総務班 企画班
事業名	まちなか町有地活用事業					
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にするまち			会計	一般会計
	戦略目標	まちの中心にふさわしい機能の充実を図る				
法令根拠条例等	-					予算科目
個別計画	佐々町都市計画マスタープラン、佐々町公共施設等総合管理計画					
					款	
					項	
					目	

1 事業内容

【行動指針】

・旧町立診療所周辺、幼稚園跡地など、町有地の有効な活用により、まちなか活性化のための事業化に取り組みます。

【事業概要】

○まちなか町有地利活用

旧町立診療所周辺、幼稚園跡地などの、町の中心部に存在する大規模な町有地（まちなか町有地）の今後の利活用について、当面は新庁舎建設に係る駐車場として利用する方針としました。

また、新庁舎建設事業終了後の利活用方法について、サウンディング型市場調査等の検討手法の整理を行いました。



幼稚園跡地

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	50,268,420	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源	991,000		
	地方債			
	一般財源	49,277,420		

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	まちなかエリアの人口【累】	2,558人	人	目標	-	-	-	-	2,600	99.5%
				実績	2,588	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
新庁舎建設事業に合わせ、当面は駐車場としての利用となるが、それ以降の利活用のについては引き続き検討を進めるようにしたい。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
今後も旧町立診療所周辺、幼稚園跡地の有効活用を検討していただきたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	6 - 1 - 6		担当課	総務課	担当班	総務班
事業名	事務の効率化					
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款
法令根拠条例等	-			予算科目	項	1 総務管理費
個別計画	-				目	8 電子計算費

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務フローの見直しを行い、業務改善を行うとともに、プロセスを明文化し、AI・RPAなどへの活用に向けた整理を行います。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務改善を図るためのAIの導入検討（町費負担なし） 各課の業務改善を図るため、長崎県市町村行政振興協議会ほか各市町と共同で、会議録作成等に利用可能なAI機能（人工知能）を搭載した「音声文字起こしサービス」の導入検討を行いました。 ※令和4年度からサービス導入を予定 ○DX推進に向けたBPR研修の受講（町費負担なし） 庁内の業務改善に向けたBPR（業務改革）研修を受講するなど、本町のDX推進への検討を行いました。 ○「人口減少社会に適応した行政サービスの提供のあり方研究会」分科会への参加（町費用負担なし） 県市町村課主催の研究会分科会へ参加し、「地方自治体の基幹業務システムの統一・標準化」について各市町との情報交換を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	423,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	423,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
業務フローの見直しについては、年次目標を立てて、検討を行う必要があります。A I・R P Aの活用については、全庁的な研究会等を立ち上げ、業務標準化の開始時期を目途に導入の検討を行っていきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	庁舎建設室	担当班	庁舎建設班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	12 庁舎建設事業費		

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

○庁舎建設工事基本設計・実施設計の作成（決算額 71,400,000円）

新庁舎建設工事の発注に向けての詳細をまとめた実施設計図書を完成させました。

○地質調査の実施（決算額 2,702,700円）

設計に必要な地質（ボーリング）調査を行いました。

○オフィス環境整備基本設計の作成（決算額 715,000円）

新庁舎での什器類の配置などをまとめた基本レイアウト図や備品リストを作成しました。

長崎県佐々町新庁舎 外観イメージ 遠藤克彦建築研究所提供



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		24,262,700	42,552,550	75,260,500	1,513,696,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源		15,173,000	31,546,000	357,250,000
	地方債		27,200,000	43,700,000	1,156,400,000
	一般財源	24,262,700	179,550	14,500	46,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input type="checkbox"/> 効率的である	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
目標としていたラインには達したが、時間的な余裕などがない状況が多かった ので、効率的に事業が進められるよう努めていきたい。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 1		担当課	税財政課	担当班	税務班 収納班
事業名	適正な賦課徴収と納税意識の啓発					
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款
法令根拠条例等	佐々町税条例			予算 科目	項	2 徴税費
個別計画	-				目	- -

1 事業内容

【行動指針】

・様々な情報を収集し、課税客体を適正に把握します。徴収についても個々の状況を注視しながら早期の対応を図ります。また、町民に対しても、広報紙等を通じて納税への意識を啓発し、公平性の観点からも納期内納付を着実に進めます。口座振替についても引き続き推進し、確実な納付につなげます。

【事業概要】

令和3年度の町税の歳入決算は下記のとおりとなり、歳入総額に占める割合は19.46%（前年度15.61%）となりました。

<歳入決算の状況> ※収納率は、住民税・固定資産税・軽自動車税から算出。

(全体)

1,602,527,335円（前年度1,524,053,936円） 収納率98.04%（前年度97.44%）

※歳入額に還付未済金（14,500円）は含んでいません。

(現年)

1,592,144,052円（前年度1,512,805,000円） 収納率99.58%（前年度99.34%）

(滞納繰越分)

10,383,283円（前年度 11,248,936円） 収納率30.76%（前年度28.85%）

※歳入額に還付未済金（14,500円）は含んでいません。

(収入未済額)

26,397,215円（前年度 33,998,989円）

(不納欠損額（税目別）)

個人住民税：78件1,861,800円 法人住民税：2件165,200円

固定資産税：63件1,141,315円 軽自動車税：4件 35,800円

<口座振替件数の状況> ※住民税（普徴）・固定資産税・軽自動車税から算出。

全体件数 R1：31,115件 R2：31,293件 R3：31,401件

口座振替件数 R1：7,253件 R2：7,237件 R3：7,365件

口座振替率 R1：23.31% R2：23.13% R3：23.45%

税目別の構成比では、住民税が47.02%（前年度44.24%）、固定資産税が41.94%（同44.99%）、町たばこ税が7.70%（同7.41%）、軽自動車税が3.34%（同3.36%）となり、住民税と固定資産税の2税で88.96%を占めています。税目別の調定額（現年）の状況については、別添補足資料のとおりです。

徴収業務については、滞納者の実態調査や財産調査により、滞納者の担税力の把握に努めました。そして、担税力がある長期滞納者や高額滞納者を中心に分割納付による収納促進を図るとともに、財産の差押えなどに取り組みました。一方、担税力がない、または乏しいと判断される滞納事案については、滞納処分の執行停止手続きを行いました。また、新たに発生した滞納者に対しては、早期に催告等を行い、滞納額を累積させないように努めました。

口座振替の推進については、窓口等で案内はしていますが、横ばいとなっています。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	90,171,274	74,451,326	60,807,892	88,921,000	
財源	国庫支出金	0	827,000	0	192,000
	県支出金	20,778,549	21,878,350	21,298,455	21,256,000
	その他特定財源	956,200	848,600	783,200	745,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	68,436,525	50,897,376	38,726,237	66,728,000

※事業費は、徴税費から過誤納還付金（賦課徴収費）及び地籍管理費を除いた額。

1 事業内容

令和3年度 決算概要

●三税（町民税・固定資産税・軽自動車税）全体

単位：千円

		2年度		3年度		増減
		現年	過年	現年	過年	
調定	現年	1,408,843		1,474,825		65,982
	過年		38,988		33,759	△ 5,229
	計	1,447,831		1,508,584		60,753
収入	現年	1,399,578		1,468,599		69,021
	過年		11,249		10,383	△ 866
	計	1,410,827		1,478,982		68,155
収納率	現年	99.34%		99.58%		0.24%
	過年		28.85%		30.76%	1.91%
	計	97.44%		98.04%		0.60%

●その他収入

単位：円

	2年度		3年度		増減
	現年	過年	現年	過年	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金	827,000		0		△ 827,000
税務証明手数料	449,500		421,200		△ 28,300
督促手数料	399,100		356,700		△ 42,400
地籍情報システム手数料	362,900		346,000		△ 16,900
税務証明手数料（コンビニ交付）			0	5,200	5,200
県民税徴収委託金	21,878,350		21,298,455		△ 579,895
延滞金	4,837,351		2,732,216		△ 2,105,135
滞納処分費			0		0

〈各税目毎〉

①個人町民税

単位：千円

		2年度		3年度		増減
		現年	過年	現年	過年	
調定	現年	573,550		602,917		29,367
	過年		20,390		18,064	△ 2,326
	計	593,940		620,981		27,041
収入	現年	569,247		599,731		30,484
	過年		4,172		3,977	△ 195
	計	573,419		603,708		30,289
収納率	現年	99.25%		99.47%		0.22%
	過年		20.46%		22.02%	1.56%
	計	96.54%		97.22%		0.68%

～調定増減の主な要因～

均等割では、納税義務者数が72名増加（6,869名→6,941名）したことにより252千円の増となった。
所得割では、給与所得者の納税義務者が103名増加したことなどにより、全体で納税義務者数が131名増（6,070名→6,201名）、29,115千円の増となった。

◎町民税所得割の比較（※課税状況調による）

（単位：人、千円）

	2年度		3年度		増減	
	納税義務者数	算出税額	納税義務者数	算出税額	納税義務者数	算出税額
給与	5,070	470,317	5,173	480,211	103	9,894
営業	246	26,999	280	28,324	34	1,325
農業	17	1,661	13	797	△ 4	△ 864
その他	617	34,533	639	47,230	22	12,697
譲渡	49	13,546	36	15,823	△ 13	2,277
合計	5,999	547,056	6,141	572,385	142	25,329

②法人町民税

単位：千円

		2年度		3年度		増減
		現年	過年	現年	過年	
調定	現年	101,183		149,201		48,018
	過年		422		834	412
	計	101,605		150,035		48,430
収入	現年	100,567		149,151		48,584
	過年		154		619	465
	計	100,721		149,770		49,049
収納率	現年	99.39%		99.97%		0.58%
	過年		36.49%		74.22%	37.73%
	計	99.13%		99.82%		0.69%

～調定増減の主な要因～

均等割では、法人数が6法人増加（318法人→324法人）により577千円の増となった。
法人税割では、令和2年度の調定額は、一社の令和元年度の特別益の影響により確定申告時の納付額がなく減少していたことが増の大きな要因となっている。

◎法人町民税均等割納税義務者数の比較

	2年度	3年度	増減
1号法人	234	237	3
2号法人	5	5	0
3号法人	46	46	0
4号法人	1	2	1
5号法人	9	12	3
6号法人	3	2	△ 1
7号法人	17	17	0
8号法人	1	0	△ 1
9号法人	2	3	1
合計	318	324	6

③市町村たばこ税

単位：千本、千円

		2年度		3年度		増減
		現年	過年	現年	過年	
販売本数	現年	19,213		19,548		335
調定	現年	112,893		123,303		10,410
収入	現年	112,893		123,303		10,410
収納率	現年	100.00%		100.00%		0.00%

～調定増減の主な要因～

販売本数の増加及び税率の改正（6,122円/1,000本→6,552円/1,000本）による。

④固定資産税

単位：千円

		2年度	3年度	増減
調定	現年	682,844	669,168	△ 13,676
	過年	17,348	14,005	△ 3,343
	計	700,192	683,173	△ 17,019
収入	現年	678,783	666,298	△ 12,485
	過年	6,742	5,659	△ 1,083
	計	685,525	671,957	△ 13,568
収納率	現年	99.41%	99.57%	0.16%
	過年	38.86%	40.41%	1.55%
	計	97.91%	98.36%	0.45%

～調定増減の主な要因～

土地は、令和3年度から一部の地域において土地の評価方法に「市街地宅地評価法（路線価）」を導入したことにより画地計算法が適用され、路線価区域内の宅地単価が減少した宅地があった。また、新型コロナウイルス感染症による経済の変化を踏まえ、納税者の負担感に配慮するため負担調整措置等により税額が増加する土地については課税標準額を令和2年度と同額に据え置く特別な措置が講じられたことによる影響が大きく10,890千円の減となった。

家屋は、新增築家屋が63棟（木造52棟・非木造11棟）に対し、減失家屋は40棟（木造35棟・非木造5棟）と家屋棟数は増加した。しかし、評価替えの年で在来家屋の経年減価が反映されることとなり減の要因となった。また、新型コロナウイルス感染症に係る中小企業者等の事業用家屋に対する固定資産税の課税標準の特例措置に伴う軽減措置の適用の影響もあり14,701千円の減となった。

償却資産は、太陽光設備等の新規取得資産の増加により11,915千円の増となった。

【調定内訳】

	2年度	3年度	増減
土地	207,597	196,707	△ 10,890
家屋	367,450	352,749	△ 14,701
償却資産	107,797	119,712	11,915
計	682,844	669,168	△ 13,676

◎固定資産税課税対象の比較

	2年度	3年度	増減
家屋棟数	6,291	6,313	22
土地面積	23,313,317	23,300,974	△ 12,343
償却資産数	31,790	34,980	3,190

単位：棟

単位：㎡

単位：個

【国有資産等所在市町村交付金】

	2年度	3年度	増減
交付金	334	242	△ 92

⑤軽自動車税

【種別割】

単位：千円

		2年度	3年度	増減
調定	現年	49,802	51,734	1,932
	過年	828	856	28
	計	50,630	52,590	1,960
収入	現年	49,517	51,614	2,097
	過年	181	128	△ 53
	計	49,698	51,742	2,044
収納率	現年	99.43%	99.77%	0.34%
	過年	21.86%	14.95%	-6.91%
	計	98.16%	98.39%	0.23%

～調定増減の主な要因～

種別割では、所有台数が110台増加（6,597台→6,707台）したことから、1,932千円の増となった。

◎種別割課税台数の比較

車種	税率	R2課税台数	R3課税台数	増減
一種50cc	2,000	264	256	△ 8
二種 90cc以下	2,000	48	46	△ 2
二種甲125cc以下	2,400	109	107	△ 2
ミニカーB	3,700	14	14	0
軽二輪	3,600	155	169	14
貨物（自家用）	4,000	467	414	△ 53
貨物（自家用）	5,000	259	325	66
貨物（営業用）	3,000	8	9	1
貨物（営業用）	3,800	4	4	0
乗用（自家用）	7,200	2,206	1,970	△ 236
乗用（自家用）	10,800	1,149	1,393	244
乗用（自家用）	3,000	1	1	0
乗用（営業用）	6,900	1	3	2
特殊（農耕用等）	2,400	223	227	4
特殊（その他）	5,900	11	13	2
小型二輪	6,000	139	152	13
計		5,058	5,103	45
重課税率分 計		1,383	1,419	36
軽課税率分 計		156	185	29
合計		6,597	6,707	110

【重課税率分】

R2課税台数	R3課税台数	増減
貨物（自家用）（6,000円）		
519	517	△ 2
貨物（自家用）（4,500円）		
3	3	0
乗用（自家用）（12,900円）		
861	899	38
計		
1,383	1,419	36

【軽課税率分】

R2課税台数	R3課税台数	増減
貨物（自家用）（3,800円）		
7	6	△ 1
貨物（自家用）（5,400円）		
37	30	△ 7
乗用（自家用）（8,100円）		
112	149	37
計		
156	185	29

【環境性割割】

	2年度	3年度	増減
収入	1,464	1,805	341

～調定増減の主な要因～

台数の増加による。

●不納欠損について(個人町民税・法人町民税・固定資産税・軽自動車税)

※個人住民税は町県民税分で算出

1. 不納欠損状況年度毎内訳

区別	法第18条 時効		法第15条の7第4項 執行停止期間満了		法第15条の7第5項 即時消滅		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
21	5件	5,000円	0件	0円	0件	0円	5件	5,000円
22	2件	12,600円	0件	0円	0件	0円	2件	12,600円
23	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
24	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
25	3件	10,412円	0件	0円	4件	666,172円	7件	676,584円
26	0件	0円	6件	13,300円	0件	0円	6件	13,300円
27	2件	20,000円	4件	14,000円	0件	0円	6件	34,000円
28	62件	1,156,700円	7件	144,000円	1件	5,024円	70件	1,305,724円
29	0件	0円	8件	105,700円	0件	0円	8件	105,700円
30	0件	0円	20件	1,941,200円	0件	0円	20件	1,941,200円
元	0件	0円	0件	0円	2件	87,300円	2件	87,300円
2	0件	0円	0件	0円	21件	256,100円	21件	256,100円
3	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
合計	74件	1,204,712円	45件	2,218,200円	28件	1,014,596円	147件	4,437,508円
							県民税分	1,233,393円
							町民税分	3,204,115円

2. 理由別内訳

時効(法第18条)

滞納原因	実件数	構成比	実人員	構成比	金額	構成比
失業・低収入・生活保護	27件	36.5%	10人	35.7%	447,212円	37.1%
破産・競売・倒産・廃業	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
行方不明・死亡・財産等不明	47件	63.5%	18人	64.3%	757,500円	62.9%
病 気	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
債務保証・多重債務	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
その他	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
合計	74件	100.0%	28人	100.0%	1,204,712円	100.0%
					県民税分→	308,633円
					町民税分→	896,079円

執行停止期間満了(法第15条の7第4項)

滞納原因	実件数	構成比	実人員	構成比	金額	構成比
1号(財産なし)	40件	88.9%	5人	71.4%	2,157,500円	97.2%
2号(生活困窮)	1件	2.2%	1人	14.3%	6,000円	0.3%
3号(所在・財産不明)	4件	8.9%	1人	14.3%	54,700円	2.5%
合計	45件	100.0%	7人	100.0%	2,218,200円	100.0%
					県民税分→	782,707円
					町民税分→	1,435,493円

即時消滅(法第15条の7第5項)

滞納原因	実件数	構成比	実人員	構成比	金額	構成比
破産・競売・倒産・廃業	9件	32.1%	5人	45.4%	676,396円	66.7%
死 亡	3件	10.7%	2人	18.2%	89,100円	8.8%
所在不明	16件	57.2%	4人	36.4%	249,100円	24.5%
合計	28件	100.0%	11人	100.0%	1,014,596円	100.0%
					県民税分→	142,053円
					町民税分→	872,543円

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
徴収業務では、滞納額を累積させないよう適宜調査等を行った結果、収納率は前年度と同水準を維持することができた。 今後も適正な賦課と収納率の維持、向上を目指し事務に取り組んでいきたい。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-2-1 適正な賦課徴収と納税意識の啓発」に関連する収納状況(町税)(決算書P12)

款1 町税	項1 町民税	目1 個人	節1 現年度課税分
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
特別徴収	R3	2	37,955
普通徴収	R3	74	3,148,040
節計		76	3,185,995

款1 町税	項1 町民税	目1 個人	節2 滞納繰越分
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
特別徴収	H28	1	28,031
特別徴収	H29	2	153,145
特別徴収	H30	2	175,642
特別徴収	H31	1	41,023
特別徴収計		6	397,841
普通徴収	H13	1	2,406
普通徴収	H14	1	2,406
普通徴収	H15	1	601
普通徴収	H16	1	601
普通徴収	H17	3	20,531
普通徴収	H18	2	29,442
普通徴収	H19	2	40,963
普通徴収	H20	6	135,499
普通徴収	H21	6	161,680
普通徴収	H22	9	450,423
普通徴収	H23	10	547,475
普通徴収	H24	15	750,629
普通徴収	H25	12	418,040
普通徴収	H26	7	141,261
普通徴収	H27	11	382,831
普通徴収	H28	19	1,651,696
普通徴収	H29	27	1,003,705
普通徴収	H30	28	1,181,180
普通徴収	H31	36	2,803,142
普通徴収	R2	32	2,102,985
普通徴収計		229	11,827,496
節計		235	12,225,337

款1 町税	項1 町民税	目2 法人	節1 現年度課税分
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
-	R3	1	50,000

款1 町税	項1 町民税	目2 法人	節2 滞納繰越分
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
-	H29	1	50,000
節計		1	50,000

款1 町税	項2 固定資産税	目1 固定資産税	節1 現年度課税分
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
-	R3	84	2,870,400

款1 町税	項2 固定資産税	目1 固定資産税	節2 滞納繰越分
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
-	H13	1	3,392
-	H14	1	4,000
-	H15	1	4,000
-	H16	2	35,000
-	H17	3	203,000
-	H18	2	180,600
-	H19	2	188,900
-	H20	4	269,139
-	H21	5	306,400
-	H22	7	403,400
-	H23	8	429,900
-	H24	8	414,000
-	H25	5	275,600
-	H26	9	397,522
-	H27	8	273,120
-	H28	14	465,995
-	H29	25	758,533
-	H30	24	819,500
-	H31	26	820,200
-	R2	32	951,570
節計		187	7,203,771

款1 町税		項3 軽自動車税		目1 環境性能割		節1 環境性能割	
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)				
-	R3	0	0				

款1 町税		項3 軽自動車税		目2 種別割		節1 現年度課税分	
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)				
-	R3	18	120,100				

款1 町税		項3 軽自動車税		目2 種別割		節2 滞納繰越分	
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)				
-	H22	1	4,000				
-	H23	1	4,000				
-	H25	1	6,753				
-	H26	8	45,548				
-	H27	7	36,000				
-	H28	8	61,800				
-	H29	14	109,200				
-	H30	13	115,115				
-	H31	15	137,200				
-	R2	21	171,996				
節計		89	691,612				

款1 町税		項4 町たばこ税		目1 町たばこ税		節1 現年度課税分	
区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)				
-	R3	0	0				

事業番号	6 - 2 - 2		担当課	税財政課	担当班	財政班	
事業名	資金運用による歳入の確保						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	18 繰入金
法令根拠条例等	佐々町資金管理方針			項	1 基金繰入金		
個別計画	-			目			

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・佐々町資金管理方針に基づき、常に金融機関の経営状況等を把握しながら安全性を最優先としつつ流動性を確保し、効率的な資金管理を行うことにより、公金の保管及び運用に努めます。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○基金の運用</p> <p>佐々町の基金において、安全性及び流動性を確保したうえで、効率性を追求し運用収益の最大化を図るため、基金の一部により債券運用を行っています。</p> <p>3証券会社において5銘柄の取り引きを行い、運用益として年間6,550,000円の利息収入を得ました。</p> <p>◇S M B C日興証券株式会社長崎支店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県第28回20年公募公債 200,000,000円 0.941% 1,882,000円 ・第21回名古屋市20年公募公債 100,000,000円 0.568% 568,000円 ・第162回利付国債(20年) 100,000,000円 0.600% 600,000円 ・第165回利付国債(20年) 100,000,000円 0.500% 500,000円 <p>◇野村証券株式会社長崎支店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第164回利付国債(20年) 100,000,000円 0.500% 500,000円 ・第164回利付国債(20年) 200,000,000円 0.500% 1,000,000円 ・第165回利付国債(20年) 100,000,000円 0.500% 500,000円 <p>◇大和証券株式会社長崎支店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第165回利付国債(20年) 200,000,000円 0.500% 1,000,000円
--

2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費					
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>新型コロナウイルス感染症やウクライナ問題等により社会情勢は日々変化し、資金運用を行う上で難しい状況ではありますが、今後も引き続き佐々町資金管理方針に基づき適切に運用を行いたいと考えます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 3			担当課	税財政課	担当班	財政班
事業名	効果的な予算の編成及び運用						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち				会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う					
法令根拠条例等	-				予算科目	款	
個別計画	各基金条例、中期財政見通し					項	
						目	

1 事業内容

【行動指針】
 ・限られた財源を効率的に配分するため、最小の経費で最大の効果を出していくことを原則とし、優先度を考慮した計画的な予算を編成します。

【事業概要】
 各基金の運用等を検討し、当該年度に不足する財源を確保するとともに、必要最小限の経常経費を見積った上で予算を計上しました。

○地方債
 R2 : 481,100,000円
 R3 : 539,500,000円 (対前年比 : 58,400,000円、+12.1%)

○基金

	基金総額	取り崩し額	元金積立額	利子積立額
R2	5,118,118,812円	1,880,053,814円	1,169,948,097円	7,225,252円
R3	5,571,137,749円	364,290,474円	810,569,027円	6,740,384円
対前年比	453,018,937円 +8.9%	-1,515,763,340円 -80.6%	-359,379,070円 -30.7%	-484,868円 -6.7%

※基金繰入額及び充当事業名

(基金名称)	(繰入額)	(充当事業名)	(決算書ページ)
・財政調整基金	78,020,000円		
・地域福祉基金	250,658円	高齢者小規模住宅改修助成事業補助金	P 96
・下水道整備基金	183,291,000円	公共下水道事業会計補助金	P152
・体育文化振興基金	1,682,816円	体育文化振興事業補助金	P194
・公共施設整備基金	53,000,000円	ごみ処理施設修繕事業	P122
・庁舎整備基金	31,546,000円	庁舎建設事業	P 74
・ふるさと応援基金	16,000,000円	口石小学校普通教室増設事業	P172
・環境整備協力費基金	500,000円	町道美渡世越線舗装補修事業	P150

また、町の財政健全化を示す比率として、実質公債費比率(3か年平均)は、普通会計元利償還金の増があったものの、標準財政規模についても増となったことなどから、8.7%と増減はなく、その他、実質赤字比率(△1.3%)、連結実質赤字比率(△0.6%)、将来負担比率(△18.2%)、資金不足比率(水道事業会計△276.2%、公共下水道事業会計△3.7%)は、数値に赤字の要素がないため、負の値になりました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	6,743,702,303	9,370,879,466	7,873,784,264	8,218,000,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	3,239,817,000	3,264,734,000	3,354,771,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	
<p>今後、大型事業等による費用の増加が見込まれるため、税収増加等による歳入の確保に努めつつ、投資的事業の選択と集中を行うとともに、より有利な交付税措置のある起債の借入などを行い、堅実な財政運営を行うよう努めていきます。</p>	A	業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5			担当課	税財政課	担当班	財政班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う					款	2 総務費
法令根拠条例等	-				項	1 総務管理費		
個別計画	佐々町公共施設等総合管理計画				目	2 財政管理費		

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

公共施設等の老朽化対策や人口減少等による施設の利用需要の変化に対応するため、平成28年3月に策定した佐々町公共施設等総合管理計画を改訂し、総合的かつ計画的に公共施設等を管理することとしました。

今後、この計画で算出された更新等のシミュレーションに基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、適正な資産管理を実現します。

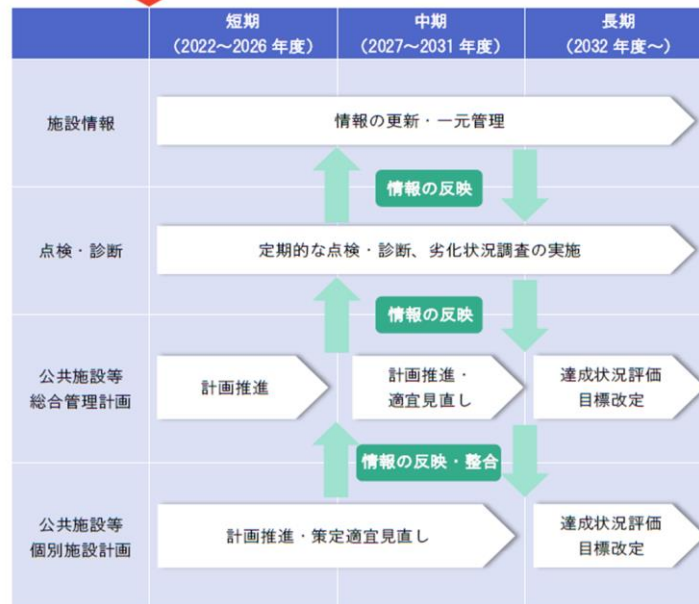
3 今後の推進スケジュール

「佐々町公共施設等総合管理計画」は、本町の公共施設等マネジメントの推進に向けた基本方針を示したものであり、今後は本計画を踏まえながら佐々町公共施設等個別施設計画の策定・改訂を行うとともに、個々の施設について具体的な取組を進めていくこととなります。

なお、今後の概略の推進スケジュールは次のとおりです。

推進スケジュール

2022年度 「佐々町公共施設等総合管理計画」改訂



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	8,580,000	0
財源	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	その他特定財源		0	
	地方債		0	
	一般財源			8,580,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>今後、老朽化等に伴う公共施設の建て替えや改修等の大型事業に取り組むこととなるため、多額の費用が必要となります。公共施設等総合管理計画に沿って、計画的な施設管理を行い、安心安全な運営ができるよう進めていきます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 4		担当課	税財政課	担当班	財政班
事業名	経常経費の削減と補助金などの見直し					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				
法令根拠条例等	-			予算科目	款	
個別計画	佐々町補助金等に関するガイドライン				項	
					目	

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・ 行政事務の効率化を進め、改善の余地があるものについては節減を図り、財政運営の柔軟化を図ります。 ・ 佐々町補助金等に関するガイドラインに基づく見直しを通じて、将来にわたって持続可能な健全財政の確立を図るため、必要性や効果を検証し、今後の適正執行に努めます。</p> <p>【事業概要】 予算編成時における各課予算査定時に、佐々町補助金等に関するガイドラインに沿って改善の余地がある補助金等の節減を図りましたが、公共下水道事業会計への補助金が増額したことにより、町単独補助の一般財源は増加する結果となりました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた11（R2も同様）のイベント関連事業のうち、6事業（R2：8事業）が中止等となり未実施となっています。</p> <p>R2：当初予算時 91事業 実績 69事業 455,637,689円 （下水道事業会計補助金を除く）112,321,689円 （公共下水道事業会計補助金）343,316,000円</p> <p>R3：当初予算時 88事業 実績 69事業 493,992,973円 対前年比：+38,355,284円（+8.4%） （下水道事業会計補助金を除く）110,701,973円 対前年比：-1,619,716円（-1.4%） （公共下水道事業会計補助金）383,291,000円 対前年比：+39,975,000円（+11.6%）</p> <p>決算における主な指標として、財政構造の弾力性を測定する経常収支比率は、補助費等（+35,876千円）や物件費（+20,159千円）などの経常経費充当一般財源は増加（+90,037千円）しましたが、地方税の増加（+78,488千円）や地方交付税の増加（+735,443千円）、各種交付税の増加（106,377千円）など歳入経常一般財源が増加（+1,050,228千円）したことから24.2ポイント減の80.3%になりました。</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	6,743,702,303	9,370,879,466	7,873,784,264	8,218,000,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	3,239,817,000	3,264,734,000	3,354,771,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>扶助費や人件費の費用抑制は困難であると考えため、物件費や補助費などの見直しに努め、経常経費の抑制に努めたいと考えます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P78】

事業番号	6 - 1 - 4		担当課	総務課 住民福祉課	担当班	総務班 住民班
事業名	行政サービスの利便性の向上					
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款
法令根拠条例等	-			予算 科目	項	1 総務管理費
個別計画	-				目	8 電子計算費

1 事業内容

【行動指針】

- ・「新しい生活様式」にも対応しつつ、市民の利便性を向上させるため、行政手続きのオンライン化や電子処理化に取り組めます。
- ・マイナンバーカードの普及に取り組めます。
- ・各種業務システムを安定的に稼働させ、国の基準に基づいたセキュリティの高いネットワーク通信環境を維持します。

【事業概要】

○行政手続きにおけるぴったりサービスの導入（決算額 導入経費1,040,600円、運用経費660,000円）

【新型コロナウイルス感染症対策事業：R2繰越】 コロナ禍における新たな生活様式を取り入れるにあたり、人と人との接触による感染を避け、住民サービスを向上するため、マイナンバーカードを利用したオンライン申請を可能になるよう、国が提供するプラットフォームである「ぴったりサービス（マイナポータルの電子申請機能）」への接続環境を構築しました。R3.6.1サービス提供開始。

- ※導入：基幹システム改修 770,000円、接続環境の構築 270,600円
- ※運用：ワンストップ支援サービス利用料 660,000円
- ※実績：手続名 児童手当の現況届、受付件数40件

○各種証明書のコンビニ交付の導入（決算額 導入経費9,594,920円、運用経費2,276,298円）

【新型コロナウイルス感染症対策事業：R2繰越】 コロナ禍における新たな生活様式を取り入れるにあたり、人と人との接触による感染を避け、住民サービスを向上するため、マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの多機能端末（キオスク端末）での住民記録・税等の各種証明書を交付が可能になるよう、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供する「広域交付システム」等への接続環境を構築しました。R3.10.4サービス提供開始。

- ※導入：基幹システム改修 9,460,000円、試験・検証 134,920円
- ※運用：コンビニ交付システム利用料 1,881,000円、地方公共団体情報システム機構運営負担金345,510円
コンビニ交付事務手数料 49,788円
- ※実績：住民票 213件（全体6,327件） 住民票記載事項証明書 12件（全体 132件）
印鑑証明書 95件（全体3,344件） 所得証明書、課税証明書 14件（全体1,440件）

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		86,742,981	96,662,705	101,276,768	109,736,000
財源	国庫支出金	4,451,000	19,341,000	19,886,600	14,134,000
	県支出金			99,000	
	その他特定財源	272,000	270,000	66,000	70,000
	地方債				
一般財源		82,019,981	77,051,705	81,225,168	95,532,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・ 対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果
<p>○びったりサービス 行政のデジタル化が進む中で、オンラインによる申請手続きは多くの業務で予定されており、今回は児童手当の現況届だけの対応となりましたが、福祉、介護といった事務手続きにも取り入れ、さらなる利便性の向上を図る必要があります。</p> <p>○各種証明書のコンビニ交付の導入 行政のデジタル化が進む中でマイナンバーカードを活用したデジタルな社会環境は急速に進んでいくもので、導入初年度でもある令和3年度の利用状況は、全体の利用者のほんの一部ではありますが、デジタル社会の環境づくりを進めることができました。</p> <p>なお、コンビニ交付が定着するように毎月の広報紙掲載を継続してPRしたいと考えます。</p>		<p>A 業務の内容は適切である</p>

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P82, 84】

事業番号	6 - 1 - 4			担当課	総務課 住民福祉課	担当班	総務班 住民班
事業名	行政サービスの利便性の向上						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算 科目	会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	3 戸籍住民基本台帳費		
個別計画	マイナンバーカード交付円滑化計画			目	1 戸籍住民基本台帳費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・「新しい生活様式」にも対応しつつ、町民の利便性を向上させるため、行政手続きのオンライン化や電子処理化に取り組めます。
- ・マイナンバーカードの普及に取り組めます。
- ・各種業務システムを安定的に稼働させ、国の基準に基づいたセキュリティの高いネットワーク通信環境を維持します。

【事業概要】

○マイナンバーカードの普及促進
 マイナンバーカード交付円滑化計画に基づき、令和4年度末までにすべての住民に取得していただける目標にして取り組みました。住民の方が申請する機会を拡大するため、企業訪問を実施したり、希望があれば個別に自宅訪問を行いました。また、月に2回休日に役場を開庁してマイナンバーカードの申請や交付を行いました。その結果、令和3年度中2,291枚交付することができ、マイナンバーカードの保険証利用登録やマイナポイントの手続きなどの対応を行いました。

※体制 職員3名、会計年度任用職員3名

※対象経費 8,104,778円
 決算書P.82 戸籍住民基本台帳費 事業費内訳

1. 報酬（会計年度任用職員分）	3,912,381円
3. 職員手当等（時間外勤務手当、会計年度任用職期末手当）	1,939,278円
4. 共済費（会計年度任用職社会保険料）	685,077円
8. 旅費（会計年度任用職通勤費用弁償）	50,400円
10. 需用費（消耗品費）	83,765円
11. 役務費（通信運搬費）	552,053円
12. 委託料	222,684円（端末のメンテナンス委託業務）
13. 使用料及び賃借料	138,600円（端末増設分リース料）
17. 備品購入費	520,540円（スマートフォン、プリンター等）

決算書P.24 個人番号カード交付事務費補助金（10/10） 8,104,000円

※実績 令和4年3月末 交付数6,262枚（令和3年3月末3,971枚）

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		439,962	5,003,594	8,104,778	16,911,285
財源	国庫支出金	439,000	5,003,000	8,104,000	16,911,000
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	962	594	778	285

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	78.9	100	-	-	-	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>○マイナンバーカードの普及促進 国は令和5年3月末までにすべての国民がマイナンバーカードを取得することとなっております。取得者を増やすうえでも、マイナンバーカードを利用できる環境づくりが必要であり、各種証明書のコンビニ交付を始め、オンライン申請を可能とするびったりサービスの接続環境構築を行いました。令和3年度末で交付率44.4%で令和4年度の普及促進が課題でもあり、より効果的な取り組みをしていく必要があります。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-1-4 行政サービスの利便性の向上」に関連する備品購入費【戸籍住民基本台帳費】(決算書P82)

節	説明	備品名称及び数量	決算額 (円)
17 備品購入費	マイナンバーカード事務用備品	マイナンバーカード申請書関係保管用鍵付き文書保管庫 1台	53,460
		マイナンバーカード券面記載用プリンター 1台	385,000
		マイナンバーカード保険証利用登録等用スマートフォン 3台	82,080
		事務机 2台	118,800
		収納ボックス(書棚) 2台	4,360
説明 計			643,700

【このページは空白です】

事業番号	7 - 2 - 1		担当課	住民福祉課	担当班	住民班	
事業名	人権を尊重し、あらゆる差別のない社会の実現						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			会計	1	一般会計
	戦略目標	すべての町民が尊重され、生きがいのある社会をつくる			款	2	総務費
法令根拠条例等	-			項	3	戸籍住民基本台帳費	
個別計画	-			目	1	戸籍住民基本台帳費	

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・人権問題の解決に向けた国・県の相談体制への支援を行います。 ・関係団体との連携を強化し、人権教室や講演会などを開催し、人権啓発活動を粘り強く継続的に取り組みます。</p> <p>【事業概要】 ○「人権の花」運動（決算額8,114円） 小学校児童がヒマワリの花を育て、花の栽培を通して、命や人と協力して育てることの大切さを学び、児童の情操をより豊かにすることを目的としています。花の栽培を通じて感じたことを作品にして、デパートや役場に掲示することで地域全体にも人権意識の高揚を図りました。 実績：佐々小学校 3年生 参加人数71名</p> ○人権標語コンクール（決算額49,497円） 人権週間に合わせ、佐々町人権標語の募集を実施しました。広報紙において広く周知・募集するほか、町内小・中学校、高校にも依頼しています。応募があった標語は人権擁護委員等で優秀作品を選定し、広報紙に掲載することで人権について考えていただく機会となりました。 実績：小中学校、高校生、一般 応募人数596人 ○特設人権相談所 6月、11月に人権擁護委員による人権相談所を開設しました。開設の際は広報紙で周知し、住民の方の人権に関する困りごとの対応をしました。 実績：6月…1人、11月…0人 ○人権啓発パレード 毎年人権週間の折に、人権意識の高揚を図るため、職員及び人権擁護委員にて町内を巡回し人権啓発を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費	54,073	51,857	57,611	65,992
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	44,000	41,000	35,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	10,073	10,857	22,611

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	人権啓発事業の実施数【累】	4事業	事業	目標	-	-	-	-	5	80%
				実績	4	-	-	-	-	
成果	男女共同参画啓発ブースの来場者数【単】	908人/年	人	目標	1,000/年	1,000/年	1,000/年	1,000/年	1,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	社会教育講座における人権講話の受講者数（1講座平均）【単】	45人	人	目標	50	50	50	50	50	50%
				実績	25	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・ 対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・ 投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	
<p>長く実施していなかった人権講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、体制が整わず実施することができませんでした。次年度は適切な時期を見極めて実施したいと考えております。</p> <p>なお、県においても長崎県人権教育・啓発基本計画に基づき、市町と連携して人権教育・啓発活動を推進されているところです。県の人権講座等もを活用しSNS等による人権侵害やLGBTなど社会の変化に伴った新たな人権課題への啓発活動が必要であると考えます。</p>		B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 5 - 2		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	障壁（バリア）の少ないまちづくり （地域生活支援事業）						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	1	一般会計
	戦略目標	障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるまちづくりを進める			款	3	民生費
法令根拠条例等	障害者総合支援法			項	1	社会福祉費	
個別計画	第2期佐々町障害者計画・第6期佐々町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画			目	1	社会福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】

・障がいのある人が利用しやすいように、各担当課が所管する施設の修繕や更新に合わせ、障壁の除去を行うように調整を行います。
 ・障がいのある人ができる限り自分の力で外出ができ、地域で自立した生活が送れるように、ソフト面やハード面の整備について、関係機関との調整を行います。

【事業概要】

障がいのある人が地域で生活するうえでの障壁（バリア）をソフト面で軽減することを目的として、次の事業を実施しました。

(実績)

		R2	R3	(R3-R2)
手話通訳者派遣回数		24回	26回	2回
手話奉仕員養成講座受講人数		未実施	未実施	
日中一時支援延べ利用人数		7回	5回	△2回
日常生活用具給付件数		364件	361件	△3件
訪問入浴支援(R1~)		0件	0件	0件
特別支援学校通学支援(R1~)		48件	57件	9件
事業費 (歳出)	P92 社会福祉総務費 委託料	2,292,340	2,960,550	668,210
	手話通訳者派遣事業	134,850	142,480	7,630
	日中一時支援事業	35,000	24,000	△11,000
	特別支援学校通学支援事業(タク)	2,122,490	2,794,070	671,580
	P94 社会福祉総務費 扶助費	7,144,711	8,572,382	1,427,671
	日常生活用具給付事業	3,341,961	3,764,681	422,720
	特別支援学校通学支援事業(ヘルパ)	3,802,750	4,807,701	1,004,951
計		9,437,051	11,532,932	2,095,881

- 手話通訳者派遣事業として、障害のため意思疎通を図ることに支障がある方の支援ために長崎県ろうあ協会に委託し、手話通訳者の派遣を行った。(利用者2名)
- 手話奉仕員養成講座は、希望者なしのため未実施。
- 日中一時支援事業として、障害福祉サービスでは支援が難しい時間帯の支援を委託により行った。(利用者1名)
- 日常生活用具給付等事業として、障害者の日常生活の便宜を図る用具の給付を行った。(利用者39名)
- 特別支援学校通学支援として、特別支援学校までの通学が困難な障害児の通学を、ジャンボタクシー運行委託及びヘルパー利用に係る給付により支援した。(利用者5名)

歳出額の増の主な要因は、特別支援学校通学支援の利用者が、令和2年度の4名から令和3年度は5名に増加したことです。

また、ハード面については、役場新庁舎建設にかかる意見聴取の場において、バリアフリー化を推進し障がいのある人に配慮した庁舎になるよう関係機関と調整を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	6,599,837	9,437,051	11,532,932	14,972,000	
財源	国庫支出金	2,547,000	3,937,000	4,611,000	8,067,000
	県支出金	1,273,000	1,968,000	2,305,000	4,033,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	2,779,837	3,532,051	4,616,932	2,872,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	共生社会啓発に係る講演会の開催回数【単】	-	回	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	地域活動への障がいのある人の参加者数（実人数）【単】	-	人	目標	10/年	10/年	10/年	10/年	10/年	30%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者数【単】	0人	人	目標	4/年	4/年	4/年	4/年	4/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	施設入所者の地域移行人数【単】	0人	人	目標	2	2	2	2	2	50%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
障がいのある人が地域で自立した生活をおくるために不可欠な支援であり、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 - ◆2			担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	高齢者地域福祉推進事業 (地域まるごとサロン事業)							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる					款	3 民生費
法令根拠条例等	社会福祉法				項	1 社会福祉費		
個別計画	佐々町地域福祉計画 佐々町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画				目	3 老人福祉費		

1 事業内容

【行動指針】

・町内会集会所を地域活動の拠点として、多世代の町民が参加、活動、交流することにより、共生社会の実現につながる「地域まるごとサロン」づくりを行います。

【事業概要】

令和3年度は佐々町老人クラブ連合会及び6支部に対し、活動補助金を支出しています。このうち2/3は県からの補助が出ています。

また、老人クラブの日帰り研修に対し、佐々町老人クラブ連合会への加入支部数の増加及び町内高齢者の加入促進を図ることを目的として、単位老人クラブあたり20,000円を上限とし、町単独で交通費の補助を行っております。令和3年度は、日帰り研修を実施した1支部へ補助を行いました。

	R1	R2	R3	(R3-R2)
単位老人クラブ数	7支部	7支部	7支部	0支部
会員数 (補助対象人数)	368人 (351人)	374人 (359人)	315人 (315人)	△59人 (△44人)
支部研修	5支部	0支部	1支部	1支部

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	970,464	780,896	842,224	1,010,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	481,000	482,000	482,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	489,464	298,896	363,224

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	地域まるごとサロン実施 町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数 【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等） 本町における老人クラブの組織状況は県内他市町と比較すると低い状況ですが、町内で7支部315名が活動しており、組織維持へ向けての活動支援ができていますと 考えます。	評価の結果	A	業務の内容は適切である
--	-------	---	-------------

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 見直し 廃止

事業番号	1 - 5 - 2		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	障壁（バリア）の少ないまちづくり （障害者医療費給付事業）						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	1	一般会計
	戦略目標	障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるまちづくりを進める			款	3	民生費
法令根拠条例等	障害者総合支援法			項	1	社会福祉費	
個別計画	第2期佐々町障害者計画・第6期佐々町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画			目	1	社会福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】

- 障がいのある人が利用しやすいように、各担当課が所管する施設の修繕や更新に合わせ、障壁の除去を行うように調整を行います。
- 障がいのある人ができる限り自分の力で外出ができ、地域で自立した生活が送れるように、ソフト面やハード面の整備について、関係機関との調整を行います。

【事業概要】

(更生医療)
身体障害者が障害を除去・軽減するための手術等の医療一部負担金について、給付を行いました。

(療養介護)
長期入院を行っている障害者で、医療と合わせて常時介護を必要とする対象者の医療一部負担金に対し、給付を行いました。

(実績)

		R2	R3	(R3-R2)
事業費 (歳出)	P94 社会福祉総務費 扶助費	9,122,602	16,379,997	7,257,395
	更生医療	5,663,903	12,922,153	7,258,250
	・更生医療延べ給付件数	92件	102件	10件
	・更生医療給付実人数	72人	69人	△ 3人
	療養介護	3,458,699	3,457,844	△ 855
	・療養介護延べ給付件数	53件	55件	2件
	・療養介護給付実人数	5人	6人	1人

じん臓機能障害による透析等の継続的な利用者の増加により、腎臓病に係る給付件数及び支出は増加傾向にあります。

また、令和3年度は、生活保護者（1名）の心臓手術の医療費全額負担のため支出が増加しました（約6,000千円）。国一律の制度であり、障害者の医療費の負担軽減が図られていると考えます。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		15,660,925	9,122,602	16,379,997	16,436,000
財源	国庫支出金	9,381,000	9,380,000	7,893,286	8,218,000
	県支出金	4,690,500	4,690,000	3,946,642	4,109,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	1,589,425	-4,947,398	4,540,069	4,109,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	共生社会啓発に係る講演会の開催回数【単】	-	回	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	地域活動への障がいのある人の参加者数（実人数）【単】	-	人	目標	10/年	10/年	10/年	10/年	10/年	30%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者数【単】	0人	人	目標	4/年	4/年	4/年	4/年	4/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	施設入所者の地域移行人数【単】	0人	人	目標	2	2	2	2	2	50%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
障がいのある人医療費の負担軽減が図られていると考えます。日常生活能力、社会生活能力等を回復または向上させることが目的とされている制度であり、継続が必要と考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 5 - 2		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班		
事業名	障壁（バリア）の少ないまちづくり （障害児通所給付事業）							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	1	一般会計	
	戦略目標	障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるまちづくりを進める			款	3	民生費	
法令根拠条例等	障害者総合支援法					項	1	社会福祉費
個別計画	第2期佐々町障害者計画・第6期佐々町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画					目	1	社会福祉総務費

1 事業内容

【行動指針】
 ・障がいのある人が利用しやすいように、各担当課が所管する施設の修繕や更新に合わせ、障壁の除去を行うように調整を行います。
 ・障がいのある人ができる限り自分の力で外出ができ、地域で自立した生活が送れるように、ソフト面やハード面の整備について、関係機関との調整を行います。

【事業概要】
 障害を持っている児童及び障害がある者と同程度と判断される児童の社会生活訓練等の利用に係る費用及び相談支援の利用に係る費用に対し、給付を行いました。

(実績)

		R2	R3	(R3-R2)		
延べ給付件数		735	841	106		
事業費 (歳出)	P100 児童福祉総務費 扶助費	55,079,921	68,917,584	13,837,663		
	通所給付	児童発達支援	件数	161	182	21
			支払額	9,468,951	15,213,838	5,744,887
		放課後デイサービス	件数	441	523	82
	支払額		43,136,979	51,077,846	7,940,867	
	保育所等訪問支援	件数	9	16	7	
		支払額	158,761	302,600	143,839	
相談支援給付		件数	124	120	△4	
		支払額	2,315,230	2,323,300	8,070	

新規申請による決定が増加しており、給付費が増となりました。
 新規対象児は、手帳は持たずとも発達障害や発達障害の疑いがある児童が多く、学校生活やコミュニケーション面での困難を抱え、サービス利用に至ることが多くなっています。発達障害が疑われる児童を早期に発見し、サービスにつなげることができていると考えます。
 国一律の制度ではありますが、近年、発達障害及び発達障害傾向の児童が増加しており、学校や保育所で専門的な療育が受けられないことから、サービス利用者が急激に増加しています。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		46,258,926	55,079,921	68,917,584	81,266,000
財源	国庫支出金	23,129,463	27,500,000	36,039,500	40,633,000
	県支出金	11,564,731	13,750,000	18,019,750	20,316,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	11,564,732	13,829,921	14,858,334	20,317,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	共生社会啓発に係る講演会の開催回数【単】	-	回	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	地域活動への障がいのある人の参加者数（実人数）【単】	-	人	目標	10/年	10/年	10/年	10/年	10/年	30%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者数【単】	0人	人	目標	4/年	4/年	4/年	4/年	4/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	施設入所者の地域移行人数【単】	0人	人	目標	2	2	2	2	2	50%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
障がいのある児童等が適切な訓練等を受けるために不可欠な支援であり、今後も事業維持が必要と判断します。給付費の増は、早期に適切な支援につながることができていると考えます。 サービス利用者は、今後も増加していくことが考えられるため、給付費の増加が見込まれます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 3 - ◆2		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班		
事業名	子育て世帯への負担軽減事業 (福祉医療助成事業)							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予 算 科 目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3	民生費
法令根拠条例等	佐々町福祉医療費に関する条例 佐々町福祉医療費の支給に関する条例施行規則					項	1	社会福祉費
個別計画	-					目	1	社会福祉総務費

1 事業内容

【行動指針】

・ 妊娠期、子育て期に係る世帯の費用負担に対し、助成を行います。

●福祉医療助成事業

乳幼児などの福祉医療に加えて、町独自で高校生までの医療費（1医療機関あたり月ごと自己負担額1日800円、2日以上1,600円を控除した額）を助成しました。

乳幼児については、長崎県内全ての医療機関を受診した場合において現物給付による助成が可能であり、町独自で実施している小・中・高校生に係る医療費の助成については、佐々町、平戸市、松浦市、小値賀町内の医療機関等を受診した場合において、現物給付による助成を行いました。現物給付以外は、償還払いにより給付を行いました。

区分	R2		R3				
	件数	決算額	件数	決算額	うち償還払い件数	うち償還払い決算額	
乳幼児	13,506件	18,139,835円	14,171件	20,079,205円	121件	895,990円	(県1/2、町1/2)
小学生	7,017件	11,053,669円	7,248件	11,985,880円	2,457件	5,171,953円	(町単)
中学生	2,037件	3,473,072円	2,382件	4,707,812円	969件	2,546,122円	(町単)
高校生	1,130件	2,472,643円	1,497件	3,488,121円	572件	2,035,449円	(町単)
母子母	1,080件	2,770,090円	1,341件	3,694,498円	1,341件	3,694,498円	(県1/2、町1/2)
母子子	1,138件	2,013,016円	1,269件	2,132,269円	1,269件	2,132,269円	(県1/2、町1/2)
父子父	7件	49,830円	4件	38,860円	4件	38,860円	(県1/2、町1/2)
父子子	20件	56,884円	57件	96,521円	57件	96,521円	(県1/2、町1/2)
計	25,935件	40,029,039円	27,969件	46,223,166円	6,790件	16,611,662円	

(参考)

区分	R2		R3		
	件数	決算額	件数	決算額	
障害(4級以外)	5,727件	21,451,887円	5,703件	22,749,217円	(県1/2、町1/2 障害3級、療育B1: 県1/3、町2/3)
障害4級	1,223件	2,449,800円	1,299件	2,540,200円	(町単)

障害者手帳をお持ちの方の医療費（1医療機関あたり月ごと自己負担額1日800円、2日以上1,600円を控除した額）を助成しました。ただし、障害者手帳の等級が4級の方の医療費については、1医療機関あたり月ごと自己負担額1日800円、2日以上1,600円を控除した額に、2分の1を乗じて得た額を助成しました。

また、障害者に対する医療費助成については、全て償還払いとなります。

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	46,671,434	40,029,039	46,223,166	48,852,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	12,196,600	11,490,307	13,009,693
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	34,474,834	28,538,732	33,213,473

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	就学前児童数（0～6歳） 【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1005	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>高校生までの医療費を助成することで、子育て世帯の負担軽減を行うことが出来ました。制度の周知もできていますと考えます。 改善が必要な点としては、佐世保市内の医療機関における小・中・高校生の現物給付化があげられます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
福祉医療助成の小・中・高校生の現物給付化について、佐世保市医師会との協議を進めていただきたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P96】

事業番号	1 - 4 - ◆1			担当課	住民福祉課	担当班	福祉班
事業名	いきいき百歳体操事業 (高齢者外出支援タクシー助成事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	3 民生費
法令根拠条例等	社会福祉法			項	1 社会福祉費		
個別計画	佐々町地域福祉計画 佐々町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画			目	3 老人福祉費		

1 事業内容

【行動指針】

・心身のフレイル対策及び地域交流を兼ねた「いきいき百歳体操」の推進を図り、個々人の健康づくり、地域活動の活性化を行います。

【事業概要】

75歳以上の在宅の高齢者を対象に1人年間48枚の外出支援タクシー券を配布しました。
また、要介護認定者及び障害者への外出支援のため、要支援2から要介護認定を受けた人は年間48枚、療育手帳A1・A2所持の知的障害者、身体障害者手帳1・2級所持で車椅子常用の身体障害者、身体障害者手帳1・2級所持の視覚障害者は年間48枚、腎臓機能障害で人工透析を受けている身体障害者手帳所持者には年間96枚の外出支援タクシー券を配布しています。

		①高齢者	②介護	③障害者	計
R2	交付者数	1,038人	25人	19人	1,082人
	使用枚数	19,742枚	472枚	608枚	20,822枚
	使用割合	41.0%	59.9%	47.8%	41.4%
	金額	11,394,580円	272,830円	366,270円	12,033,680円
R3	交付者数	1,021人	30人	18人	1,069人
	使用枚数	19,951枚	600枚	419枚	20,970枚
	使用割合	42.4%	51.5%	53.2%	42.8%
	金額	11,540,760円	342,400円	235,290円	12,118,450円
前年度比較	交付者数	△ 17人	5人	△ 1人	△ 13人
	使用枚数	209枚	128枚	△ 189枚	148枚
	使用割合	△5.0%	-8.4%	△28.8%	△5.0%
	金額	146,180円	69,570円	△ 130,980円	84,770円

※ ③心身障害者福祉タクシーについては、3.1.1社会福祉総務費（決算書P94）の支出になります。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		11,252,070	11,667,410	11,883,160	29,715,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	11,252,070	11,667,410	11,883,160	29,715,000

1 事業内容

○町内会別交付者数

R2年度				R3年度			
町内会	75歳以上人口	R2交付者数	交付者割合	町内会	75歳以上人口	R3交付者数	交付者割合
古川	40	29	72.5%	古川	41	32	78.0%
中央通	78	57	73.1%	中央通	85	53	62.4%
志方	21	14	66.7%	志方	22	13	59.1%
野寄	72	43	59.7%	野寄	67	45	67.2%
栗林	56	28	50.0%	栗林	54	32	59.3%
里	172	90	52.3%	里	176	96	54.5%
新町	93	61	65.6%	新町	95	66	69.5%
里山	58	42	72.4%	里山	61	41	67.2%
木場	71	31	43.7%	木場	67	26	38.8%
牟田原	8	3	37.5%	牟田原	8	3	37.5%
口石	125	76	60.8%	口石	133	77	57.9%
四ツ井樋	105	68	64.8%	四ツ井樋	100	71	71.0%
水道	73	42	57.5%	水道	76	43	56.6%
浜迎	32	29	90.6%	浜迎	33	20	60.6%
土手迎	46	27	58.7%	土手迎	42	23	54.8%
真申	22	10	45.5%	真申	20	7	35.0%
芳ノ浦	73	46	63.0%	芳ノ浦	70	48	68.6%
東町	55	43	78.2%	東町	50	40	80.0%
西町	36	21	58.3%	西町	34	22	64.7%
市瀬	175	76	43.4%	市瀬	179	76	42.5%
鴨川	18	14	77.8%	鴨川	18	14	77.8%
松瀬	29	12	41.4%	松瀬	29	9	31.0%
北	55	29	52.7%	北	52	30	57.7%
神田	129	71	55.0%	神田	123	62	50.4%
角山	19	11	57.9%	角山	21	12	57.1%
江里	11	6	54.5%	江里	9	5	55.6%
大茂	14	3	21.4%	大茂	13	2	15.4%
千本	27	17	63.0%	千本	26	15	57.7%
若佐	16	4	25.0%	若佐	16	6	37.5%
沖田	0	0	0.0%	沖田	0	0	0.0%
さざん花	31	15	48.4%	さざん花	34	13	38.2%
佐々南	23	20	87.0%	佐々南	21	18	85.7%
虹の里	8	0	0.0%	虹の里	6	1	16.7%
合計	1,791	1,038	58.0%	合計	1,781	1,021	57.3%

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
高齢者等の移動支援としては大きく寄与したと思われませんが、初乗り料金のみという助成形態であることから地域による差や利用者が受けられる支援面での個人差、利用回数等による課題を抱えていると考えられ、令和4年度へ向けて業務の一部見直しの検討を行いました。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

【このページは空白です】

事業番号	1 - 3 - ◆1			担当課	住民福祉課	担当班	福祉班		
事業名	育児支援事業 (放課後児童健全育成事業)								
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる					款	3	民生費
法令根拠条例等	佐々町学童保育条例 佐々町学童保育条例施行規則				予算科目	項	2	児童福祉費	
個別計画	第2期“さざっ子”育成プロジェクト					目	1	児童福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目ないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消等を図ります。

【事業概要】

- 放課後児童健全育成事業
 - ・口石学童保育館、口石小学校空き教室、佐々学童保育館、佐々小学校空き教室において、放課後等に保護者の看護を受けることができない児童の預かりを行いました。
土曜日、長期休み等については、午前7時半から、午後7時までの預かりを行いました。

	R1	R2	R3
支援単位数	5単位	5単位	5単位
実利用児童数	248人	220人	238人
平均利用児童数	195人	187人	191人

※国県補助あり（国1/3、県1/3、町1/3）
※翌年度に事業実績報告し、返還予定です。

- 放課後児童健全育成事業（母子家庭等児童助成事業）
 - ・ひとり親家庭等に対して、利用者負担金（2,500円/月）の減免を行いました。

	R1	R2	R3
対象者	38人	30人	29人
延べ児童数	397人	345人	391人

※県補助あり（県1/2、町1/2）

2 コスト （単位：円）

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	38,533,721	38,438,971	40,931,963	59,719,579
財源	国庫支出金	9,291,000	9,812,000	10,744,000
	県支出金	9,787,000	10,242,000	11,195,000
	その他特定財源	11,132,500	9,839,200	10,502,500
	地方債			
	一般財源	8,323,221	8,545,771	8,490,463

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>放課後の児童の預かりにより、働く保護者の支援ができたと考えます。障がい児童の受入については、放課後デイサービスを利用していただくことや専門の支援員がいないこともあり受入はありませんでしたが、学童と放課後デイサービスの併用を希望されている保護者が多い為、今後は、専門の支援員を配置するなど障がい児童の受入体制づくりを行ってまいります。学校の空き教室を使用している為、学校の課外活動等により空き教室の安定的な使用が出来ませんでした。また、夏休みの利用については、利用申込が多く、高学年の児童に対し人数制限をかけて運営を行いました。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
<p>・拡充も必要だが、財政面で高齢者事業などに影響が出ないように計画していただいたい。 ・子育て支援拠点（ぶくぶく）について、父兄の相談機能や勉強会実施などの検討事項について、改善に努めて、よりよいものにしてもらいたい。</p>	
委員会評価	
<p style="text-align: center;">(現状維持) ・ 見直し ・ 廃止</p>	

「1-3-◆1 育児支援事業」に関連する備品購入費【児童福祉総務費】（決算書P100）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）
17	備品購入費 学童保育施設用備品 （口石学童保育2号館 備品）	4K液晶テレビ2台	187,000
		冷凍冷蔵庫1台	183,700
		折りたたみベッド2台	34,100
		カラー座卓20台	613,800
		ミーティングテーブル1台	20,900
		ミーティングチェア4脚	48,400
		傘立て1台	16,500
説明 計			1,104,400

【このページは空白です】

事業番号	1 - 3 - ◆2			担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	子育て世帯への負担軽減事業 (誕生祝金)							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算 科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3	民生費
法令根拠条例等	佐々町子どものための教育・保育給付に関する条例施行規則 佐々町暮らしを守る子育て世帯への保育料軽減事業実施要綱			項		2	児童福祉費	
個別計画	-			目		1	児童福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】																								
・ 妊娠期、子育て期に係る世帯の費用負担に対し、助成を行います。																								
【事業概要】																								
● 誕生祝金事業																								
・ 第1子、第2子、第3子以上の誕生の際に、3万円、5万円、7万円を支給しました。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1子</td> <td>67人</td> <td>53人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>第2子</td> <td>55人</td> <td>53人</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>39人</td> <td>41人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>161人</td> <td>147人</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>誕生祝金(円)</td> <td>7,490,000</td> <td>7,110,000</td> <td>6,100,000</td> </tr> </tbody> </table>		R1	R2	R3	第1子	67人	53人	51人	第2子	55人	53人	48人	第3子以降	39人	41人	31人	合計	161人	147人	130人	誕生祝金(円)	7,490,000	7,110,000	6,100,000
	R1	R2	R3																					
第1子	67人	53人	51人																					
第2子	55人	53人	48人																					
第3子以降	39人	41人	31人																					
合計	161人	147人	130人																					
誕生祝金(円)	7,490,000	7,110,000	6,100,000																					

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	7,490,000	7,110,000	6,100,000	5,480,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	7,490,000	7,110,000	6,100,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	就学前児童数（0～6歳） 【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
誕生祝金の支給により、子育て世帯の経済的な負担の軽減となっていると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
福祉医療助成の小・中・高校生の現物給付化について、佐世保市医師会との協議を進めていただきたい。	
委員会評価	
<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	1 - 3 - ◆1		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班		
事業名	育児支援事業 (病後児保育事業)							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算 科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3	民生費
法令根拠条例等	-			項		2	児童福祉費	
個別計画	第2期“さざっ子”育成プロジェクト			目		1	児童福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目ないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消等を図ります。

【事業概要】

- 病後児保育事業
 - ・町内にある2園（さざなみ保育園、佐々青い実幼児園）に委託し、病後児の預かりを行い、働く保護者の支援を行いました。

	R1	R2	R3
委託園数	2か所	2か所	2か所
延べ利用人数	38人	39人	155人

※国県補助あり（国1/3、県1/3、町1/3）
 ※翌年度に事業実績報告し、返還予定です。

- 西九州させぼ広域都市圏連携事業（病児・病後児保育室の利用に関する連携）
 - ・令和3年度から西九州させぼ連携事業において、近隣市町の対象児童も預かることになり、保護者も預けやすい園に預けることが可能となりました。

	R3
広域延べ利用人数	56人

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		5,526,504	6,939,000	11,216,998	13,541,000
財源	国庫支出金	2,696,000	3,054,000	3,892,000	4,321,000
	県支出金	2,196,000	3,054,000	3,892,000	4,321,000
	その他特定財源			148,105	133,000
	地方債				
	一般財源	634,504	831,000	3,284,893	4,766,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	判定
今年度から広域連携により近隣市町の対象児童も預かることになり、利用者が増加しております。 子育て世帯にとって必要な支援であり、事業を継続する必要があると考えます。	A	業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
・拡充も必要だが、財政面で高齢者事業などに影響が出ないように計画していただきたい。 ・子育て支援拠点（ぶくぶく）について、父兄の相談機能や勉強会実施などの検討事項について、改善に努めて、よりよいものにしていただきたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	1 - 3 - ◆1			担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	育児支援事業 (保育所等開所時間延長促進事業)							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算 科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3	民生費
法令根拠条例等	-			項		2	児童福祉費	
個別計画	第2期“さざっ子”育成プロジェクト			目		1	児童福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目ないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消を図ります。

【事業概要】

- 開所時間延長促進事業
 - ・町内にある3園（さざなみ保育園、佐々神田保育園、佐々青い実幼児園）に補助を行い、早朝の時間帯と、夕方の時間帯の延長保育事業を行いました。

	R1	R2	R3
実施園数	3か所	3か所	3か所
延べ利用人数	18,363人	12,834人	21,971人

※国県補助あり（国1/3、県1/3、町1/3）
 ※翌年度に事業実績報告し、返還予定です。

令和2年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を控える動きは少なくなり、コロナ禍前の利用状況並となっています。利用児童数の状況から、延長保育の需要は高いと判断されます。

【参考】

- ① 延長保育事業（保育標準時間（1日11時間）を超える保育時間が補助金対象）
 - ・さざなみ保育園 18：00～19：00 1時間延長
 - ・佐々神田保育園 6：45～7：15 30分延長
 - 18：15～20：00 1時間延長
 - ・佐々青い実幼児園 17：50～20：00 2時間延長
- ② 佐々町立第2保育所 開所時間 7：30～19：00

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		4,004,268	4,791,000	6,247,000	6,247,000
財源	国庫支出金	1,724,000	1,949,000	2,082,000	2,082,000
	県支出金	1,724,000	1,949,000	2,083,000	2,082,000
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	556,268	893,000	2,082,000	2,083,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
コロナ禍の状況により、利用児童数に変動はあるものの、延長保育の需要は高いと考えられるため、事業の継続が必要と考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
・ 拡充も必要だが、財政面で高齢者事業などに影響が出ないように計画していただきたい。 ・ 子育て支援拠点（ぶくぶく）について、父兄の相談機能や勉強会実施などの検討事項について、改善に努めて、よりよいものにしていただきたい。	
委員会評価	
<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	1 - 3 - ◆1		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班		
事業名	育児支援事業 (施設型給付費(保育施設))							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予 算 科 目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3	民生費
法令根拠条例等	-					項	2	児童福祉費
個別計画	第2期“さざっ子”育成プロジェクト					目	1	児童福祉総務費

1 事業内容

【行動指針】
 ・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目ないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消等を図ります。

【事業概要】
 ●施設型給付費
 ・施設型給付は、特定教育・保育施設で行う教育・保育に対して、国が定める公定価格を基に算定され、預かり人数に応じて給付します。

令和3年度は町内保育施設の3施設(5,201人)、町外保育施設の35施設(1,042人)に施設型給付費を支給しました。

※参考
 ○第2保育所預かり人数(1,582人)
 ○令和4年3月31日時点 町内園ごとの利用定員(利用人数)
 第2保育所:131人(135人)、さざなみ:60人(71人)、佐々青い実:155人(245人)、佐々神田:170人(163人)

(実績)

	R1	R2	R3
給付を行った保育所及び認定こども園	39か所	38か所	38か所
給付対象となる児童数(延べ人数)	5,684人	5,832人	6,243人
町内施設型給付費負担金(円)	419,484,860	444,094,220	441,693,140
町外施設型給付費負担金(円)	86,762,650	112,935,680	120,068,140
計	506,247,510	557,029,900	561,761,280

※国県補助あり
 ※翌年度に事業実績報告し、返還予定です。

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	506,247,510	557,029,900	561,761,280	545,036,000	
財源	国庫支出金	226,446,457	270,485,779	273,944,801	267,182,000
	県支出金	97,139,216	113,123,384	112,031,876	110,677,000
	その他特定財源	40,045,550	28,606,090	25,057,520	33,988,000
	地方債				
	一般財源	142,616,287	144,814,647	150,727,083	133,189,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
引き続き、待機児童が発生しないよう各園と適切に入所調節を行います。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
・ 拡充も必要だが、財政面で高齢者事業などに影響が出ないように計画していただいたい。 ・ 子育て支援拠点（ぶくぶく）について、父兄の相談機能や勉強会実施などの検討事項について、改善に努めて、よりよいものにしてもらいたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

「保育料」に関連する収納状況(保育料)(決算書P18)

款12 分担金及び負担金 項1 負担金 目2 民生費負担金 節2 児童福祉費負担金

区分及び団地名	年度	収入済額 (円)	収入未済 件数	収入未済額 (円)
保育料 (現年度分)	R3	33,995,460	0	0
調定別収入済額				
町内公立保育所	R3	8,937,940		
町内私立保育所	R3	20,927,360		
町外私立保育所	R3	4,130,160		

区分	年度	収入済額 (円)	収入未済 件数	収入未済額 (円)
保育料 (滞納繰越分)	-	263,900	13	291,200
年度別収入未済額				
-	H24	-	1	4,300
-	H25	-	1	4,100
-	H28	-	1	14,000
-	H29	-	3	44,800
-	R2	-	7	224,000
-			13	291,200

「1-3-◆1 育児支援事業」に関連する備品購入費【児童福祉施設費】（決算書P104）

節	説明	備品名称及び数量	決算額（円）	
17	備品購入費	保育所備品	幼年用サッカーゴール1セット	69,800
			2人用ベビーカー1台	57,000
			乳幼児用いす10台	53,000
			マグブロック2セット	33,400
			トレーニング鉄棒1台	17,800
			多機能型フードプロセッサー	30,250
説明 計			261,250	
17	備品購入費	保育所備品（新型コロナウイルス感染症対策事業分）	サーマルカメラ1台	157,000
説明 計			157,000	

事業番号	1 - 3 - ◆2		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	子育て世帯への負担軽減事業 (保育料軽減事業)						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる			款	3	民生費
法令根拠条例等	佐々町子どものための教育・保育給付に関する条例施行規則 佐々町暮らしを守る子育て世帯への保育料軽減事業実施要綱			予算科目	項	2	児童福祉費
個別計画	-				目	1	児童福祉総務費

1 事業内容

【行動指針】

- ・妊娠期、子育て期に係る世帯の費用負担に対し、助成を行います。

【事業概要】

- 保育料軽減事業
 - ・令和元年10月から保育料無償化が実施されておりますが、子ども・子育て支援の一環として、無償化対象児童以外の保育料を国基準より低く設定し、保護者の保育料負担を軽減しました。0歳児から2歳児のひとり親や低所得世帯について、保育料を免除し、さらなる負担軽減を図りました。※歳入の減

	R1	R2	R3
国基準保育料	137,332千円	90,867千円	93,560千円
町基準保育料	101,091千円	64,384千円	59,867千円
負担軽減額	36,241千円	26,483千円	33,693千円
低所得世帯数（推定年収335万円以下）	51世帯	44世帯	52世帯
ひとり親世帯数（推定年収340万円以下）	9世帯	12世帯	7世帯

※令和3年4月から保育料の変更

- ・4-A4階層（所得割課税額57,700円以上 72,799円以下）以上の保育料は据え置き
- ・4-A4階層 22,000円→22,000円（同階層のひとり親世帯8,200円→0円）
- ・3-A2階層（均等割のみ課税される世帯）12,000円→0円
- ・3-B2階層（所得割課税額48,599円以下）17,500円→0円
（同階層のひとり親世帯8,200円→0円）
- ・4-A2階層（所得割課税額48,600円以上 57,699円以下）22,000円→0円
（同階層のひとり親世帯8,200円→0円）

- 暮らしを守る子育て世帯への保育料軽減事業
 - ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、保護者が負担した保育料分を「暮らしを守る子育て世帯への保育料軽減事業補助金」として、交付しました。

	R3
対象世帯	245世帯
事業費	48,715,520円

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	48,715,520	0
財源	国庫支出金		44,929,000	
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	0	0	3,786,520

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	就学前児童数（0～6歳） 【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	2	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input type="checkbox"/> 効率的である	2	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍における保育に係る経済的な負担軽減を図ることが出来ました。 また、事務的には、交付金を活用する関係上、保育料納付後の支給であった為、事務処理が多くなったことが反省点としてあげられます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input checked="" type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
福祉医療助成の小・中・高校生の現物給付化について、佐世保市医師会との協議を進めていただきたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	1 - 4 - 1		担当課	住民福祉課	担当班	福祉班	
事業名	介護保険事業 (介護予防ボランティアポイント事業)						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予 算 科 目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	
法令根拠条例等	介護保険法			項			
個別計画	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）			目			

1 事業内容

【行動指針】

介護を必要とする高齢者や認知症高齢者に対する介護保険サービスや各種福祉サービスの適切な提供や地域共生社会の実現に向けて、行政と地域住民、民間事業者等が協力して各種施策を進めます。

【事業概要】

介護保険制度は、町が保険者となり、国・県・町の公費負担金と40歳以上が納める保険料を財源として要介護認定者へ介護サービスの提供を行います。

○被保険者数の推移

高齢化に伴い被保険者数は増加傾向にあり、特に後期高齢者は41名増、全体でも37名増となっています。

区分	R1	R2	R3	前年比
前期高齢者	2,071人	2,142人	2,138人	△ 4人
後期高齢者	1,790人	1,788人	1,829人	41人
計	3,861人	3,930人	3,967人	37人

○認定者数の推移

認定者数・認定率ともに前年度より減となっています。

区分	R1	R2	R3	前年比
支援1	40人	26人	10人	△ 16人
支援2	38人	36人	37人	1人
介護1	110人	126人	106人	△ 20人
介護2	100人	126人	112人	△ 14人
介護3	85人	89人	116人	27人
介護4	92人	92人	93人	1人
介護5	66人	61人	59人	△ 2人
計	531人	556人	533人	△ 23人
認定率	13.8%	14.1%	13.4%	-

2 コスト

(単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,087,214,608	1,114,261,901	1,153,861,345	1,204,400,000
財源	国庫支出金	243,398,152	244,999,267	261,441,890
	県支出金	165,644,874	171,019,223	174,523,564
	その他特定財源	428,187,826	441,144,737	457,940,688
	地方債	0	0	0
	一般財源	249,983,756	257,098,674	259,955,203

1 事業内容

○保険給付費の推移						
給付費区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(R3-R2)
介護給付	居宅介護サービス	307,087,653	327,213,290	337,628,077	371,305,546	33,677,469
	地域密着型介護サービス	171,157,597	188,413,380	187,595,739	190,501,018	2,905,279
	施設介護サービス	414,429,375	431,256,030	443,458,532	452,263,244	8,804,712
	居宅介護福祉用具購入	843,183	790,942	1,415,813	1,434,060	18,247
	居宅介護住宅改修費	1,527,196	2,328,428	3,131,941	3,460,529	328,588
	居宅介護サービス計画費	29,578,400	33,117,499	35,027,300	38,950,487	3,923,187
	高額介護サービス	27,319,332	28,645,808	31,069,626	30,565,766	△ 503,860
	高額医療介護合算サービス	1,496,982	2,984,421	3,234,831	4,602,265	1,367,434
	特定入所者介護サービス	49,299,420	49,006,223	49,957,783	40,608,404	△ 9,349,379
	小計	1,002,739,138	1,063,756,021	1,092,519,642	1,133,691,319	41,171,677
介護予防	介護予防サービス	14,721,504	16,421,806	16,932,335	13,828,340	△ 3,103,995
	地域密着型介護予防サービス	1,233,990	2,065,383	50,004	2,531,592	2,481,588
	居宅介護予防福祉用具購入	277,830	394,232	269,478	183,942	△ 85,536
	居宅介護予防住宅改修費	1,283,464	992,066	817,740	441,244	△ 376,496
	居宅介護予防サービス計画費	2,438,853	2,538,880	2,570,110	2,084,680	△ 485,430
	高額介護予防サービス	0	45,997	22,280	91,816	69,536
	高額医療介護予防合算サービス	0	0	0	3,134	3,134
	特定入所者介護予防サービス	48,500	142,414	123,107	7,381	△ 115,726
	小計	20,004,141	22,600,778	20,785,054	19,172,129	△ 1,612,925
審査支払手数料	827,511	857,809	957,205	997,897	40,692	
合計	1,023,570,790	1,087,214,608	1,114,261,901	1,153,861,345	39,599,444	
対前年度比	105.59%	106.22%	102.49%	103.55%	—	

○介護保険料収納状況

年度		徴収区分	収納			未納		収納率	不納欠損		滞納繰越		
区分	調定		年度	件数	金額	過納	件数		金額	件数	金額	件数	金額
滞納繰越分	-	-	-	136	705,300	0	269	1,720,900	29.1%	156	983,500	117	737,400
現年度分	R3	R2	普徴	22	150,100	0	0	0	100%				
		R3	普徴	3,187	20,931,800	0	160	1,045,800	95.2%			160	1,045,800
		計		3,209	21,081,900	0	160	1,045,800	95.2%			160	1,045,800
		R3	特徴	22,050	229,635,300	21,100	0	0	100%			0	0
小計			25,259	250,717,200	21,100	160	1,045,800	99.6%			160	1,045,800	
合計			25,395	251,422,500	21,100	429	2,766,700	98.9%	156	983,500	277	1,783,200	

○不能欠損の状況

・不能欠損状況年度毎内訳

区別	介護保険法第200条時効	
年度	件数	金額
27	1件	700円
28	3件	12,900円
29	19件	88,500円
30	35件	223,700円
元	98件	657,700円
合計	156件	983,500円

・理由別内訳

滞納原因	実件数	構成比	実人数	構成比	金額	構成比
失業・低収入・生活保護	105件	67%	12人	63%	591,100円	60%
破産・競売・倒産・廃業	0件	0%	0人	0%	0円	0%
行方不明・死亡・財産等不明	51件	33%	7人	37%	392,400円	40%
病気	0件	0%	0人	0%	0円	0%
債務保証・多重債務	0件	0%	0人	0%	0円	0%
その他	0件	0%	0人	0%	0円	0%
合計	156件	100%	19人	100%	983,500円	100%

○財政調整基金現在高の状況

計画期	年度	積立額	取り崩し額	現在高
第6期	平成27年度	21,484,755	0	39,432,265
	平成28年度	33,757,202	0	73,189,467
	平成29年度	43,159,247	0	116,348,714
第7期	平成30年度	33,504,602	0	149,853,316
	令和元年度	12,777,971	11,000,000	151,631,287
	令和2年度	6,181,872	26,000,000	131,813,159
第8期	令和3年度	22,661,621	20,000,000	134,474,780
	令和4年度			
	令和5年度			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ばらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
被保険者数は増加しており、認定者数は微増傾向ではありますが、令和3年度の認定率は減少しています。軽度認定者が減少していることが主な要因で、介護予防の取り組みの影響が一因であると考えられます。保険給付費は居宅サービスの伸びが大きく、施設系の伸びが鈍化しています。給付費全体では増加傾向であるものの、増加率は見込みよりも少ないため、基金の取り崩し額は減少しています。収納率の向上により、安定した運営ができていると考えられます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-2-1 適正な賦課徴収と納入意識の啓発」に関連する収納状況(介護保険料)(介護特会)

款1 保険料 項1 介護保険料 目1 第1号被保険者保険料 節1 現年度分特別徴収保険料

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
特別徴収	R3	0	0
節計		0	0

款1 保険料 項1 介護保険料 目1 第1号被保険者保険料 節1 現年度分普通徴収保険料

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	R3	160	1,045,800
節計		160	1,045,800

款1 保険料 項1 介護保険料 目1 第1号被保険者保険料 節1 滞納繰越分普通徴収保険料

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
滞納繰越分保険料		117	737,400
節計		117	737,400

滞納繰越分保険料 内訳

款1 保険料 項1 介護保険料 目1 第1号被保険者保険料 節1 滞納繰越分普通徴収保険料

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	H29	3	9,500
普通徴収	H30	3	11,100
普通徴収	H31	32	182,000
普通徴収	R2	79	534,800
普通徴収計		117	737,400

事業番号	4 - 1 - 1		担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班	
事業名	緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	自然と調和した美しいまちをつくる				款	13 使用料及び手数料
法令根拠条例等	狂犬病予防法、佐々町狂犬病予防法施行取扱規則					項	2 手数料
個別計画	-					目	3 衛生手数料

1 事業内容

【行動指針】

・市街地や市街地周辺の緑を保全するとともに、花による美しいまちと生活に安らぎや潤いを与える豊かな都市環境を創出するため、町民・地域・行政が協働して、花のあふれるまちづくりを進めます。
 ・気軽に環境美化活動が行えるよう、散歩やジョギング中のごみ拾い活動等に対し、ボランティアごみ袋を支給し、環境美化を推進します。

【事業概要】

○畜犬行政関係

年 度	新規登録 (3,000円)		注射済証交付 (550円)		鑑札再交付 (1,600円)		注射済再交付 (340円)		合計 (円)
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	
R2年度 (A)	36	108,000	441	242,550	0	0	1	340	350,890
R3年度 (B)	38	114,000	420	231,000	10	16,000	2	680	361,680
比較 (B)-(A)	2	6,000	▲ 21	▲ 11,550	10	16,000	1	340	10,790

【主な増減理由】

鑑札の再交付件数が増加したことにより増額となりました。
 畜犬の登録件数は、年々減少傾向にあり、狂犬病の予防接種件数も減少しています。

※畜犬の登録頭数

年 度	R1年度	R2年度	R3年度
畜犬登録数(頭)	676	659	659

2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	清掃ボランティア活動の参加人数【単】	3,569人/年	人	目標	3,600/年	3,600/年	3,600/年	3,600/年	3,600/年	98%
				実績	3,522	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している		
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
狂犬病の予防接種の周知を図り、適切な飼育環境の推進に努めたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 2 - 1			担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班
事業名	ごみ減量化・資源化の推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	ごみの減量化・資源化を進め、環境負荷の少ないスタイルを確立する				款	4 衛生費
法令根拠条例等	佐々町資源ごみ回収補助金交付要綱・佐々町生ごみ処理機器購入補助金交付要綱			項		1 保健衛生費	
個別計画	一般廃棄物処理計画			目		3 環境衛生費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・自然界から採取する資源を最小限に抑え、5 R運動として、資源ごみの効率的な再利用をはじめ、ごみの減量化及び資源化に取り組みます。
- ・事業者から持ち込まれるごみを定期的に展開検査することで適正な処理を促します。
- ・町内会や子ども会が行う資源ごみ等の回収活動に対し補助を行い、ごみ資源化活動に対する意識の醸成を図ります。

【事業概要】

○補助金実績

項目	金額 (円)		比較 (B)-(A)
	R2年度 (A)	R3年度 (B)	
生ごみ処理機器購入補助金	115,000	96,500	▲ 18,500
資源ごみ回収補助金	151,464	106,080	▲ 45,384
火葬料補助金	6,602,000	7,262,000	660,000
合計	6,868,464	7,464,580	596,116

【主な増減理由】

生ごみ処理機は、補助対象機器の単価減により16千円の減額となりました。資源ごみ回収は、新型コロナウイルス感染症の影響で回収機会が減少したことにより45千円の減額となりました。火葬料は、死亡者が前年比で14人増加したことにより660千円増額となりました。

○広報紙等での周知 (町費負担なし)

ごみの適正な排出や分別資源化を周知するため、広報紙や町のホームページを活用した記事掲載を行いました。
※掲載回数5回
野焼きを行っている方に対し、適正なごみの出し方について啓発活動を行いました。

2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		6,914,782	6,868,464	7,464,580	7,711,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	6,914,782	6,868,464	7,464,580	7,711,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民1人1日あたりのごみの排出量【単】	1,000g/日	g	目標	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	99%
				実績	968	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している		3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
指標の達成状況については、目標値に近づいたものの達成できませんでした。令和2年度（991g/日）と比較すると減少しました。引き続きごみ減量化・資源化の推進に取り組んでいきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 2 - 2		担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班	
事業名	省エネルギー活動の推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	ごみの減量化・資源化を進め、環境負荷の少ないスタイルを確立する				款	4 衛生費
法令根拠条例等	佐々町の環境を美しくする条例			項	1 保健衛生費		
個別計画	-			目	3 環境衛生費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・町民・事業者・行政が、それぞれのライフスタイル・ビジネススタイルを見直し、省エネルギー活動に取り組みます。また、自然エネルギーの活用も併せて推進します。</p> <p>【事業概要】 ○県下一斉スマートムーブウィークの取組（町費負担なし） CO2排出量を削減する取組として、日常の移動手段である車の利用について、マイカーの利用自粛、エコドライブの実践を推進しました。 ※実績：期間中マイカー以外の方法で通勤・外出された延べ人数：136人 期間中エコドライブで通勤・外出された延べ人数：582人</p> <p>○親子でエコチャレンジ事業（決算額 19,240円） 西九州させほ広域都市圏による連携事業として、親子が簡単に取り組める省エネ行動を設定し、一定期間実施することで、地球温暖化防止に対する意識啓発を図りました。 ※参加者：72名</p> <p>○庁舎内の省エネ・節電対策（町費負担なし） クールビズの推進やエアコンの適正な温度設定を周知し、職員の庁舎内の節電や省エネルギー対策への意識啓発とCO2排出削減、地球温暖化防止対策に取り組みました。 ※クールビズ期間：5月1日から10月31日まで エアコンの運転期間：7月1日から9月30日まで</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	8,580	19,240	54,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	0	8,580	19,240

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民1人1日あたりのごみの排出量【単】	1,000g/日	g	目標	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	99%
				実績	968	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
前年度と比較し、省エネルギー活動に参加していただいた方が増加しており、地球温暖化防止対策への意識啓発ができたため、引き続き取り組んでいきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 1 - 1		担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班	
事業名	緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	自然と調和した美しいまちをつくる				款	4 衛生費
法令根拠条例等	計量法				項	1 保健衛生費	
個別計画	-				目	4 公害対策費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地や市街地周辺の緑を保全するとともに、花による美しいまちと生活に安らぎや潤いを与える豊かな都市環境を創出するため、町民・地域・行政が協働して、花のあふれるまちづくりを進めます。 ・気軽に環境美化活動が行えるよう、散歩やジョギング中のごみ拾い活動等に対し、ボランティアごみ袋を支給し、環境美化を推進します。 <p>【事業概要】</p> <p>○騒音計検定手数料（決算額 18,300円） 騒音規制法に基づき指定された騒音規制区域内で、著しい騒音が発生した際に、規制基準に該当するか測定するために騒音計を使用します。 令和3年度は、計量法施行令に基づき、騒音計の検定の有効期間が5年のため検定を受けました。</p> <p>○佐々川河川等水質調査（決算額 1,133,000円） 本町の主流河川である佐々川およびその支流河川等において、水質状況や河川周辺環境の変化に伴う河川への影響について把握し健全な自然環境を維持するため、年2回の水質調査を行いました。</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,100,000	1,122,000	1,151,300	1,342,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	1,100,000	1,122,000	1,151,300

1 事業内容

●佐々川河川等水質調査結果

(9月調査時)

項目 \ 地点名	単位	川添川	江里川	神田川	市瀬川	志方川	順手川	羽須和川	木場川	土手迎排水路	小浦排水路	佐々川本流
pH	-	8.2	8.5	7.9	7.6	7.4	8.1	8.3	7.9	9.1	8.3	8.0
BOD	mg/L	0.6	0.7	-	-	0.5	0.8	0.6	-	1.1	0.8	0.7
DO	mg/L	8.0	8.7	8.2	8.5	8.7	8.2	9.8	7.8	13.0	8.1	6.8
SS	mg/L	2	3	9	1	2	6	4	7	8	-	21
大腸菌群数	MPN/100mL	22,000	92,000	54,000	17,000	35,000	70,000	17,000	7,000	35,000	54,000	1,100
Zn	mg/L	-	-	-	-	-	0.001	0.002	-	0.004	0.002	0.006

※「-」は定量下限値未満を示す。

(2月調査時)

名項目 \ 地点	単位	川添川	江里川	神田川	市瀬川	志方川	順手川	羽須和川	木場川	土手迎排水路	小浦排水路	佐々川本流
pH	-	8.2	8.7	7.8	7.6	7.5	8.8	8.4	8.1	8.7	8.0	8.1
BOD	mg/L	0.9	1.2	1.0	0.8	1.0	1.9	2.0	1.1	1.9	1.1	1.4
DO	mg/L	10.0	14.0	11.0	11.0	11.0	14.0	14.0	13.0	18.0	8.9	9.6
SS	mg/L	-	2	2	3	1	4	4	4	5	1	13
大腸菌群数	MPN/100mL	4,600	4,600	4,900	220	790	7,900	4,900	700	7,900	4,900	7.8
Zn	mg/L	-	-	-	-	-	-	0.004	-	0.005	0.008	0.003

※「-」は定量下限値未満を示す。

項目	環境基準	調査結果
pH(水素イオン濃度)	6.5~8.5	酸性またはアルカリ性の程度を表示。藻類の繁茂による光合成の影響によりpHが高くなったと考えられる。
BOD(生物化学的酸素要求量)	2以下	河川の有機性汚濁の指標。清澄な河川ほど低い値。基準を満足している。
DO(溶存酸素量)	7.5以上	水中に溶解している酸素の量を表示。夏の高温でプランクトン等が繁殖して酸素が消費されたため、基準を満足できなかった可能性が高い。
SS(浮遊物質)	25以下	水中に浮遊または懸濁している2mm以下の粒子状物質の量を表示。清澄な河川ほど低い数値。基準を満足している。
大腸菌群数	1,000以下	人や動物の腸内に生存している大腸菌と自然界に分布している細菌を一括した数。田畑の施肥、動物の糞尿による汚染や家庭雑排水などが考えられるが、腸内細菌以外の自然界の細菌を含めるため、一概に汚染されたとは言えない。夏季は水温が高く菌類が繁殖しやすいと考えられる。
Zn(亜鉛)	0.03以下	亜鉛の自然水中の濃度。数値が大きいと水環境の汚染を通じて水生生物の生息、または生育に支障を及ぼす恐れがある。基準を満足している。

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	清掃ボランティア活動の参加人数【単】	3,569人/年	人	目標	3,600/年	3,600/年	3,600/年	3,600/年	3,600/年	98%
				実績	3,522	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
定期的を実施する必要がある業務のため、今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	4 - 1 - ◆			担当課	保険環境課 多世代包括支援センター	担当班	環境衛生班 健康相談センター	
事業名	健康推進事業【再掲】							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち				予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	自然と調和した美しいまちをつくる					款	4 衛生費
法令根拠条例等	健康増進法				項	1 保健衛生費		
個別計画	佐々町健康増進計画				目	10 健康増進事業費		

1 事業内容

【行動指針】
 ・ 町民の健康増進の意識向上につなげるとともに、まちなかと周辺の地域資源の回遊性を向上させるため、佐々川などを活かしたウォーキングコース、散策コースの周知と活用を行います。

【事業概要】
 住民一人ひとりが自分の健康に関心に向け、日常生活の中で継続的に生活習慣の改善に取り組むことができるよう、健康相談や健康教育を行い、食習慣の見直しや運動習慣の普及、生活習慣病の発症や重症化予防のための健康づくりについて支援を行いました。
 運動については、佐々川沿いを活かしたウォーキング、健康イベントなどを企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年度は中止しました。

○さざ☆さわやかウォーキング&ミニ食育フェア

- 平成30年度 <平成31年 3月10日(日)実施> 参加者：113人
【内容】 ・「みんなで延ばそう健康寿命！体幹トレーニングでいつまでも若々しく」をテーマに、町内ウォーキングと健康運動指導士による運動実技を実施した。
 ・「賢い食べ方 効率よく体脂肪を減らしたい！」をテーマに、管理栄養士による講話と管理栄養士と食生活改善推進員作成のミニ弁当配布を実施した。
- 令和元年度 <新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止>
- 令和2年度 <令和3年 3月14日(日)実施> 参加者：30人
【内容】 ・「ウォーキングで免疫力を高めよう！」をテーマに、町内ウォーキングと健康運動指導士による運動実技を実施した。
 ・「楽しく食を学んで、免疫力を高めよう！」をテーマに、管理栄養士と食生活改善推進員によるクイズ・スタンプラリーを実施した。
- 令和3年度 <新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止>

【参考 / 令和2年度】

さざ☆さわやかウォーキング&ミニ食育フェア

健康的な毎日を送るためには、適度な運動と正しい食生活が大切です。これからの心地よい季節、運動習慣のある方もない方も自分のペースで歩いてみませんか？
健康づくりやリフレッシュの機会として、佐々川の菜の花や桜並木を見ながらのウォーキングと歩きながらできる筋トレや、“食”にまつわるクイズなど、ご家族、お友だち、お子さまなど楽しく健康を学びましょう。

と き **3月14日(日)** 9時～11時30分(受付8時40分～9時)
※雨天時は中止します

と ころ **健康相談センター集合**
(各自、運動ができる服装・靴での参加、タオル・水分の準備)

内 容 **町内ウォーキング**
「ウォーキングで免疫力を高めよう!!」
 ・ウォーキング
 ・歩きながら簡単にできる筋トレ

参加費あります

ミニ食育フェア「楽しく食を学んで、免疫力を高めよう」

- ・野菜の適量ってどのくらい？
- ・1日の塩の量は??
- ・免疫力を上げる食事って？

スタンプラリーを実施します

申込み 2月24日(木)までに健康相談センターへお電話ください。(☎63-5800)

その他 参加については町内にお住まいの方に限ります。
申し込みがなくても参加できますが、できるだけ事前にお申し込みください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合がありますのでご了承ください。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	31,000	0	33,000
財源	国庫支出金			
	県支出金		20,667	22,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	0	31,000	0

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数 【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) ・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) ・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) ・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) ・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		2
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) ・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) ・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
		<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		2
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3	
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
佐々川沿いを活かしたウォーキング、健康イベントは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止しましたが、健康相談・教育の実施等、町民の健康増進・意識向上につながる事業の実施ができていますと評価し、今後も継続して実施する必要がありますと判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	4 - 1 - 1		担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班	
事業名	緑や花があふれ、ごみのないまちづくりの推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	自然と調和した美しいまちをつくる				款	4 衛生費
法令根拠条例等	佐々町の環境を美しくする条例			項	1 保健衛生費		
個別計画	-			目	11 花いっぱい運動費		

1 事業内容

【行動指針】

・市街地や市街地周辺の緑を保全するとともに、花による美しいまちと生活に安らぎや潤いを与える豊かな都市環境を創出するため、町民・地域・行政が協働して、花のあふれるまちづくりを進めます。
 ・気軽に環境美化活動が行えるよう、散歩やジョギング中のごみ拾い活動等に対し、ボランティアごみ袋を支給し、環境美化を推進します。

【事業概要】

○花いっぱい運動事業（決算額 1,245,190円）

佐々町保健環境自治連合会と合同で、年2回の花苗の植栽、桜堤や市瀬・神田間の河川沿いに菜の花を植栽し、花と緑豊かな景観づくりに取り組みました。

○町内一斉清掃事業（町費負担なし）

佐々町保健環境自治連合会と共催で、町民総参加による町内全域を対象とした一斉清掃を実施しました。町民の積極的な参加を促し環境美化に対する意識を向上させ、ごみのないまちづくりを推進しました。

※参加者：3,426名（年1回）

○皿山公園・桜つつみ清掃活動（町費負担なし）

佐々町保健環境自治連合会と共催で、環境美化を目的とした町民ボランティアによる清掃活動に取り組みました。

※参加者：96名（年1回）

令和3年度の桜つつみ清掃活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

※令和2年度実績 参加者：127名（年1回）

○ボランティア袋の配布（決算額 0円）

清潔で快適な地域環境を維持するため、地域住民等が無償で行う、公道、河川などの公共の場所における清掃活動に対して、ボランティア袋を支給しました。

※配布枚数：1,010枚

皿山公園清掃活動状況写真



2 コスト（単位：円）

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		1,296,171	1,246,617	1,245,190	1,410,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	244,000	247,000	248,000	247,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	1,052,171	999,617	997,190	1,163,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	清掃ボランティア活動の参加人数【単】	3,569人/年	人	目標	3,600/年	3,600/年	3,600/年	3,600/年	3,600/年	98%
				実績	3,522	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
指標の達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値を下回っていましたが、今後も継続して取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 2 - 4		担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班
事業名	適切な施設の維持管理					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			会計	一般会計
	戦略目標	ごみの減量化・資源化を進め、環境負荷の少ないスタイルを確立する				
法令根拠条例等	-		予算科目	款	4	衛生費
個別計画	-			項	2	清掃費
	-			目	1	清掃総務費

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化したごみ処理施設を長寿命化し、安全で安心な廃棄物処理の運営を行います。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ごみステーションの維持管理（決算額 245,729円） ごみステーションを適切に維持管理するため、定期的に不適切に排出されたごみの分別および清掃を行いました。 令和3年度決算額：248千円 令和2年度決算額：236千円 ※週1回実施 ○公衆便所の維持管理（決算額 1,736,104円） 公園や駅前等の公衆便所を清潔に維持管理するため、定期的な清掃を行いました。 令和3年度決算額：1,736千円 令和2年度決算額：1,589千円 ※管理数：20か所 ○旧処分場の管理（決算額 165,000円） 旧処分場の経過観察として、定期的な水質検査を行いました。 令和3年度決算額：165千円 令和2年度決算額：253千円 ※令和3年度は平田ため池の水質検査を1回実施しました。 <p>【主な増減理由】</p> <p>旧小坂廃棄物最終処分場の水質検査は、閉鎖後2年間は毎年、以降は覚書により隔年で実施しているため、旧小坂廃棄物最終処分場分が令和2年度と比較し減額となりました。</p>

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	8,903,780	4,377,641	3,768,857	4,541,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	8,903,780	4,377,641	3,768,857

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民1人1日あたりのごみの排出量【単】	1,000g/日	g	目標	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	99%
				実績	968	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) ・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) ・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) ・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) ・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) ・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) ・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
適切な施設の維持管理を行うことで、施設の健全性の維持が図られ、町民の生活環境に悪影響を及ぼすことはありませんでしたので、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 2 - 4			担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班
事業名	適切な施設の維持管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	ごみの減量化・資源化を進め、環境負荷の少ないスタイルを確立する				款	4 衛生費
法令根拠条例等	佐々町廃棄物の処理及び清掃に関する条例			項		2 清掃費	
個別計画	一般廃棄物処理計画・佐々町ごみ処理施設整備基本計画			目		2 塵芥処理費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・老朽化したごみ処理施設を長寿命化し、安全で安心な廃棄物処理の運営を行います。

【事業概要】
 維持管理経費
 ◆佐々クリーンセンター

節	細節	内容等	金額(円)		比較 (B)-(A)
			2年度(A)	3年度(B)	
需用費	消耗品費	指定ごみ袋作成、液化酸素、特殊消石灰等	31,522,310	23,902,735	▲ 7,619,575
需用費	燃料費	場内作業車両燃料、液化石油ガス、A重油等	10,476,528	15,953,769	5,477,241
需用費	光熱水費	電気・水道料等	24,527,271	21,839,592	▲ 2,687,679
需用費	修繕料	溶融炉耐火物補修、設備補修等	65,920,371	54,636,928	▲ 11,283,443
役務費	手数料	ごみ袋取扱手数料、汚泥引抜き手数料等	5,480,208	5,375,551	▲ 104,657
委託料	—	ごみ処理施設修繕設計業務委託、ごみ処理施設電気計装設備等点検業務委託、ダイオキシン類測定業務委託、ごみ処理施設運転補助業務委託等	68,796,639	73,782,515	4,985,876
		合計	206,723,327	195,491,090	▲ 11,232,237

【主な増減理由】
 令和3年度は、ごみ処理施設基幹的設備改良工事発注支援業務委託を実施したため増額となりました。

○佐々クリーンセンター基幹的設備改良事業（決算額14,850,000円）
 佐々クリーンセンターの施設機能を適切かつ経済的に維持するため、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、循環型社会形成推進交付金を活用し、令和4年度からの基幹的設備改良工事の発注に向け、発注仕様書の作成等の発注支援業務を実施しました。

佐々クリーンセンター基幹的設備改良事業スケジュール

項目	2019 (R元年)	2020 (R2年)	2021 (R3年)	2022 (R4年)	2023 (R5年)	2024 (R6年)	2025 (R7年)
一般廃棄物処理基本計画							
ごみ処理施設整備基本計画 (循環型社会形成推進地域計画)	→						
長寿命化総合計画		→					
発注支援業務			→				
アドバイザー(CM)業務、審査委員会				→			
施工監理業務					→	→	
基幹的設備改良工事(設計施工)						→	(供用開始)

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	134,531,073	206,723,327	210,341,090	225,824,000	
財源	国庫支出金	0	2,640,000	4,950,000	
	県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	91,493,000	93,774,000	89,693,000	25,965,000
	地方債	0	0	8,900,000	27,900,000
	一般財源	43,038,073	110,309,327	106,798,090	158,959,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民1人1日あたりのごみの排出量【単】	1,000g/日	g	目標	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	99%
				実績	968	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
適切な施設の維持管理を行うことで、施設の健全性の維持が図られ、安定的なごみの処理や排ガス等公害に関することを含め、町民の生活環境に悪影響を及ぼすことはありませんでしたので、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 2 - 4			担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班
事業名	適切な施設の維持管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	ごみの減量化・資源化を進め、環境負荷の少ないスタイルを確立する				款	4 衛生費
法令根拠条例等	-			項		2 清掃費	
個別計画	-			目		3 し尿処理費	

1 事業内容

【行動指針】
・老朽化したごみ処理施設を長寿命化し、安全で安心な廃棄物処理の運営を行います。

【事業概要】
○し尿・汚泥の適切な処理（決算額 63,470,699円）
汲取り式トイレや浄化槽から出るし尿や汚泥が、適切に処理されるように努めました。
※し尿・浄化槽汚泥分析業務委託料327千円

し尿・浄化槽汚泥処分業務委託料

年度	処理量(t)	金額(円)
2年度(A)	3,771	51,020,818
3年度(B)	4,009	54,238,658
比較 (B)-(A)	238	3,217,840

し尿・浄化槽汚泥搬送補助金

年度	運搬量(ℓ)			金額(円)
	汲み取り	浄化槽	合計	
2年度(A)	2,363,742	1,412,160	3,775,902	8,390,888
3年度(B)	2,223,378	1,783,730	4,007,108	8,904,681
比較 (B)-(A)	▲ 140,364	371,570	231,206	513,793

【主な増減理由】
角山および志方の農業集落排水施設を下水道施設へ統合した際に、各処理場の汚泥をすべて引き抜いたことにより、し尿・浄化槽汚泥処分業務委託料は3,218千円の増額となり、し尿・浄化槽汚泥の運送に係る補助金は、514千円の増額となりました。
町全体のし尿・汚泥の処理量（4,009 t）から農業集落排水施設分を差引くと（3,685 t）になります。
町全体の処理量は、令和2年度の汚泥処理量（3,771 t）と比較し減少しています。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	59,739,066	58,015,468	63,470,699	58,922,000	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	10,100	9,900	9,900	9,900
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	59,728,966	58,005,568	63,460,799	58,912,100

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民1人1日あたりのごみの排出量【単】	1,000g/日	g	目標	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	99%
				実績	968	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している		3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
適切な処理を維持することで、町民の生活環境に悪影響を及ぼすことがありませんでしたので、今後も引き続き取り組んでいきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	4 - 2 - 3		担当課	保険環境課	担当班	環境衛生班	
事業名	不法投棄対策の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「自然・環境」を守り続けるまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	ごみの減量化・資源化を進め、環境負荷の少ないスタイルを確立する				款	4 衛生費
法令根拠条例等	佐々町の環境を美しくする条例			項	1 保健衛生費		
個別計画	-			目	1 保健衛生総務費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・不法投棄を監視する体制づくり、地域や町民一斉の清掃活動など、町民一丸となった環境美化活動に取り組みます。
- ・不法投棄が発生しやすい場所や発生した場所に対しては、不法投棄を禁止する看板を設置する等の措置を行い、不法投棄が発生しづらい環境づくりに取り組みます。

【事業概要】

○不法投棄防止看板設置事業（町費負担なし）

佐々町保健環境自治連合会と合同で、不法投棄の恐れがある箇所に対し、不法投棄を警告する看板の設置を行いました。

※設置実績：6枚/箇所

○不法投棄防止パトロール（町費負担なし）

江迎警察署と県北保健所と合同で、山林等の不法投棄の恐れがある箇所のパトロールを行いました。

※実績：1回/年、5箇所

不法投棄防止パトロール状況



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民1人1日あたりのごみの排出量【単】	1,000g/日	g	目標	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	963g/日	99%
				実績	968	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
山林等で不法投棄されたごみが見られるため、引き続きパトロールを行い不法投棄の抑制・防止に取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 6 - 2		担当課	保険環境課	担当班	保険年金班	
事業名	国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率向上対策（国民健康保険）						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	国民健康保険特別会計
	戦略目標	社会保障が充実し、健康で安心した生活環境を整える				款	1 総務費
法令根拠条例等	佐々町国民健康保険税条例			項		2 徴税费	
個別計画	-			目	1 賦課徴収費		

1 事業内容

【行動指針】

・保険税・料の制度について周知し、収納率の維持・向上を図ります。また、滞納者に対しては、納税相談など様々な機会を通じて納付を促し、滞納事案の早期解決と新たな滞納の発生を抑制します。

【事業概要】

○収納率向上対策（決算額 2,579,302円）

・国保の補助事業で収納事務員を雇用しています。滞納者の実態調査や財産調査により、滞納者の払税力の把握に努めました。また、新たに発生した滞納者に対しては、早期に催告等を行い、滞納額の累積防止に努めました。なお、長期滞納者等には催告状の送付、電話催告、臨戸訪問を行い、納税相談をするなど収納率の向上に努めました。

○収納率				○収入済額			
年度	R2	R3	前年比	年度	R2	R3	前年比
現年度	97.97%	98.33%	0.36%	現年度	232,419,095円	234,625,993円	2,206,898円
滞納繰越	31.55%	22.83%	△8.72%	滞納繰越	13,820,426円	7,503,329円	△6,317,097円
合計	87.62%	89.19%	1.57%	合計	246,239,521円	242,129,322円	△4,110,199円

○不納欠損額				○収入未済額			
年度	R2	R3	前年比	年度	R2	R3	前年比
現年度	0円	152,600円	152,600円	現年度	4,814,405円	3,842,007円	△972,398円
滞納繰越	1,793,579円	1,978,940円	185,361円	滞納繰越	28,186,814円	23,377,150円	△4,809,664円
合計	1,793,579円	2,131,540円	337,961円	合計	33,001,219円	27,219,157円	△5,782,062円

○コロナ減免の状況

・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対し、国民健康保険税の減免を行いました。

減免者数 7世帯13名
減免額 1,016,400円

○被保険者所得区分 (人)

区分	R2	R3	前年比
給与所得	966	969	3
営業所得	570	564	△6
農業所得	68	48	△20
その他	1,195	1,170	△25
所得なし	140	126	△14
合計	2,939	2,877	△62

※調整交付金申請時作成資料のため、人数は各年度1月末日現在となります。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,313,509	2,436,909	2,579,302	2,721,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	968,000	1,842,000	2,179,000	2,379,000
	その他特定財源	230,700	209,800	166,700	150,000
	地方債				
	一般財源	1,114,809	385,109	233,602	192,000

1 事業内容

●不納欠損について(うち国民健康保険税)

1. 不納欠損状況年度毎内訳

区別	法第18条 時効		法第15条の7第4項 執行停止期間満了		法第15条の7第5項 即時消滅		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
22	1件	1,000円	0件	0円	0件	0円	1件	1,000円
23	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
24	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
25	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
26	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
27	8件	191,340円	0件	0円	0件	0円	8件	191,340円
28	44件	539,100円	0件	0円	0件	0円	44件	539,100円
29	0件	0円	4件	43,600円	0件	0円	4件	43,600円
30	0件	0円	17件	1,203,900円	0件	0円	17件	1,203,900円
元	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
2	0件	0円	0件	0円	0件	0円	0件	0円
3	0件	0円	0件	0円	4件	152,600円	4件	152,600円
合計	53件	731,440円	21件	1,247,500円	4件	152,600円	78件	2,131,540円

2. 理由別内訳

時効(法第18条)

滞納原因	実件数	構成比	実人員	構成比	金額	構成比
失業・低収入・生活保護	21件	39.7%	5人	41.6%	276,300円	37.8%
破産・競売・倒産・廃業	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
行方不明・死亡・財産等不明	32件	60.4%	7人	58.4%	455,140円	62.2%
病 気	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
債務保証・多重債務	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
その他	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
合計	53件	100.0%	12人	100.0%	731,440円	100.0%

執行停止期間満了(法第15条の7第4項)

滞納原因	実件数	構成比	実人員	構成比	金額	構成比
1号(財産なし)	17件	81.0%	2人	66.7%	1,223,300円	98.1%
2号(生活困窮)	0件	0.0%	0人	0.0%	0円	0.0%
3号(所在・財産不明)	4件	19.0%	1人	33.3%	24,200円	1.9%
合計	21件	100.0%	3人	100.0%	1,247,500円	100.0%

即時消滅(法第15条の7第5項)

滞納原因	実件数	構成比	実人員	構成比	金額	構成比
破産・競売・倒産・廃業	0件	0.0%	0件	0.0%	0円	0.0%
死 亡	4件	100.0%	1人	100.0%	152,600円	100.0%
合計	4件	100.0%	1人	100.0%	152,600円	100.0%

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	特定健診受診率（国民健康保険）【単】	55.4%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定保健指導受診率（国民健康保険）【単】	53.7%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定健診受診率（後期高齢者医療保険）【単】	35.1%	%	目標	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
※令和3年度の受診率は令和4年10月に実績が集計されます										
活動	国民健康保険税収納率（現年度分）【単】	95.60%	%	目標	96.56	96.56	96.56	96.56	96.56	102%
				実績	98.34	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
滞納額を累積させないよう適宜調査等を行い、収納率の向上、収入未済額の減額に取り組みました。今後も適切な賦課と収納率の維持を目指して取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率向上対策」に関する収納状況(国民健康保険税)(国保P16,18)

款1 国民健康保険税 項1 国民健康保険税 目1 一般被保険者国民健康保険税 節1 医療給付費分現年課税分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	R3	47	2,632,689
節計		47	2,632,689

款1 国民健康保険税 項1 国民健康保険税 目1 一般被保険者国民健康保険税 節2 後期高齢者支援金分現年課税分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	R3	47	721,444
節計		47	721,444

款1 国民健康保険税 項1 国民健康保険税 目1 一般被保険者国民健康保険税 節3 介護納付金分現年課税分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	R3	28	487,874
節計		28	487,874

款1 国民健康保険税 項1 国民健康保険税 目1 一般被保険者国民健康保険税 節4 医療給付費分滞納繰越分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	H17	2	488,784
普通徴収	H18	2	456,700
普通徴収	H19	4	512,602
普通徴収	H20	6	476,636
普通徴収	H21	12	713,578
普通徴収	H22	10	1,027,344
普通徴収	H23	12	1,080,500
普通徴収	H24	13	799,589
普通徴収	H25	16	685,532
普通徴収	H26	12	416,039
普通徴収	H27	20	946,489
普通徴収	H28	21	958,983
普通徴収	H29	28	1,924,656
普通徴収	H30	28	1,924,005
普通徴収	H31	27	1,690,281
普通徴収	R2	29	1,805,089
節計		242	15,906,807

款1 国民健康保険税 項1 国民健康保険税 目1 一般被保険者国民健康保険税 節5 後期高齢者支援金分滞納繰越分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	H20	6	107,001
普通徴収	H21	12	193,123
普通徴収	H22	10	277,728
普通徴収	H23	12	299,639
普通徴収	H24	13	219,912
普通徴収	H25	16	186,637
普通徴収	H26	12	108,658
普通徴収	H27	20	262,743
普通徴収	H28	21	255,307
普通徴収	H29	28	514,045
普通徴収	H30	28	514,139
普通徴収	H31	27	482,174
普通徴収	R2	29	494,880
節計		234	3,915,986

款1 国民健康保険税 項1 国民健康保険税 目1 一般被保険者国民健康保険税 節6 介護納付金分滞納繰越分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	H17	2	68,952
普通徴収	H18	1	57,000
普通徴収	H19	3	76,429
普通徴収	H20	5	144,915
普通徴収	H21	6	171,904
普通徴収	H22	6	183,192
普通徴収	H23	8	211,210
普通徴収	H24	8	179,385
普通徴収	H25	12	170,635
普通徴収	H26	10	137,324
普通徴収	H27	16	282,989
普通徴収	H28	18	246,350
普通徴収	H29	20	512,890
普通徴収	H30	21	446,356
普通徴収	H31	19	363,041
普通徴収	R2	21	301,785
節計		176	3,554,357

【このページは空白です】

事業番号	1 - 6 - 1		担当課	保険環境課	担当班	保険年金班	
事業名	医療費の適正化対策(国民健康保険)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	国民健康保険特別会計
	戦略目標	社会保障が充実し、健康で安心した生活環境を整える				款	2 保険給付費 他
法令根拠条例等	佐々町国民健康保険条例			項	1 医療諸費 他		
個別計画	-			目	1 一般被保険者医療給付費 他		

1 事業内容

【行動指針】
 ・特定健診、特定保健指導などを実施し、町民一人一人の健康維持・増進に向けた取組を進めることにより、生活習慣病等における医療費の適正化を図ります。

【事業概要】
 国民健康保険制度は、県と市町が保険者となり、県が財政運営の責任主体として決定した国保事業費納付金を市町が県に納付し、給付に必要な費用を全額、県が市町に対して交付する仕組みとなっています。

○世帯数、被保険者数の推移
 国民健康保険の世帯数は23世帯増加しているものの、被保険者数は15人の減少となっています。

区分	R1	R2	R3	前年比
国保世帯数	1,795世帯	1,765世帯	1,788世帯	23世帯
国保被保険者数	2,927人	2,804人	2,789人	△15人
人口	14,017人	14,000人	13,965人	△35人
国保被保険者の割合	20.88%	20.03%	19.97%	△0.06%

○保険給付費（決算額 1,072,819,169円）
 70歳以上被保険者の入院を中心に給付費が増加しており、外来・入院等の件数が2,090件増の52,885件、費用額が76,178,365円増の1,247,555,928円となっています。

区分	R2	R3	前年比
療養給付費(一般)	857,167,002円	914,216,003円	57,049,001円
療養費(一般)	10,807,271円	10,872,475円	65,204円
高額療養費(一般)	130,487,873円	141,015,296円	10,527,423円
合計	998,462,146円	1,066,103,774円	67,641,628円

出産育児一時金が7件減の8件、葬祭費は9件増の24件となっています。

区分	R2	R3	前年比
出産育児一時金	5,682,720円	3,344,000円	△2,338,720円
葬祭費	300,000円	480,000円	180,000円

○国民健康保険事業費納付金（決算額 351,532,446円）

区分	R2	R3	前年比
医療給付費分(一般)	280,387,266円	261,144,152円	△19,243,114円
後期高齢者支援金等分(一般)	67,704,496円	64,887,584円	△2,816,912円
介護納付金分	30,471,654円	25,500,710円	△4,970,944円
合計	378,563,416円	351,532,446円	△27,030,970円

○基金残高の状況
 繰越金、繰入金等を差し引いた単年度収支はマイナスとなっており、基金残高は減少しています。

区分	R2	R3	前年比
基金残高(千円)	122,451	121,645	△806

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,366,777,342	1,385,732,612	1,424,351,615	1,406,177,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	980,096,727	1,001,183,746	1,068,993,489
	その他特定財源	6,029,280	5,685,450	3,345,680
	地方債			
	一般財源	380,651,335	378,863,416	352,012,446

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	特定健診受診率（国民健康保険）【単】	55.4%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定保健指導受診率（国民健康保険）【単】	53.7%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定健診受診率（後期高齢者医療保険）【単】	35.1%	%	目標	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
※令和3年度の受診率は令和4年10月に実績が集計されます										
活動	国民健康保険税収納率（現年度分）【単】	95.60%	%	目標	96.56	96.56	96.56	96.56	96.56	102%
				実績	98.34	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
国民健康保険制度は他の医療保険制度に加入されていないすべての住民のかたを対象とした医療保険制度です。医療の高度化等に伴う給付費の増加に伴い、納付金の増加が見込まれます。単年度収支はマイナスとなっており、基金残高の状況や県の保険税統一に向けた動きに注視しながら、状況に応じて税率改正を検討する必要があります。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 6 - 2		担当課	保険環境課	担当班	保険年金班	
事業名	国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率向上対策（後期高齢）						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	後期高齢保険特別会計
	戦略目標	社会保障が充実し、健康で安心した生活環境を整える				款	1 総務費
法令根拠条例等	佐々町後期高齢者医療に関する条例			項	2 徴収費		
個別計画	-			目	1 徴収費		

1 事業内容

【行動指針】

・保険税・料の制度について周知し、収納率の維持・向上を図ります。また、滞納者に対しては、納税相談など様々な機会を通じて納付を促し、滞納事案の早期解決と新たな滞納の発生を抑制します。

【事業概要】

○収納率向上対策

・滞納者に対し、早期の催告、財産調査等を行い、滞納額の累積防止に努めました。なお、長期滞納者等には催告状の送付、電話催告、臨戸訪問を行い、納付相談をするなど収納率の向上に努めました。

○後期高齢者医療保険料（県内統一料）

年度	均等割	所得割
3年度	47,200円	8.98%

○収納率

年度	R2	R3	前年比
現年度	99.75%	99.71%	△0.04%
滞納繰越	85.92%	42.74%	△43.18%
合計	99.71%	99.55%	△0.16%

○収入済額

年度	R2	R3	前年比
現年度	108,283,350円	109,983,800円	1,700,450円
滞納繰越	270,525円	131,450円	△139,075円
合計	108,553,875円	110,115,250円	1,561,375円

○不納欠損額

年度	R2	R3	前年比
現年度	4,700円	0円	△4,700円
滞納繰越	1,700円	500円	△1,200円
合計	6,400円	500円	△5,900円

○収入未済額

年度	R2	R3	前年比
現年度	264,950円	316,700円	51,750円
滞納繰越	42,625円	175,625円	133,000円
合計	307,575円	492,325円	184,750円

○令和3年度不納欠損理由別内訳

即時消滅(法第15条の7第5項)	実件数	実人員	金額
死亡	1件	1名	500円

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		181,691	353,895	380,804	420,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	4,000	7,000		
	その他特定財源			11,900	20,000
	地方債				
	一般財源	177,691	346,895	368,904	400,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	特定健診受診率（国民健康保険）【単】	55.4%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定保健指導受診率（国民健康保険）【単】	53.7%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定健診受診率（後期高齢者医療保険）【単】	35.1%	%	目標	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
※令和3年度の受診率は令和4年10月に実績が集計されます										
活動	国民健康保険税収納率（現年度分）【単】	95.60%	%	目標	96.56	96.56	96.56	96.56	96.56	102%
				実績	98.34	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
滞納額を累積させないよう適宜調査等を行い、収納率、収納額の向上に努めました。今後も適切な賦課と収納率の維持を目指し事務に取り組んでいきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納率向上対策」に関連する収納状況(後期高齢者医療保険料等)(後期P8)

款1 後期高齢者医療保険料 項1 後期高齢者医療保険料 目2 普通徴収保険料 節1 現年度分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	R3	6	316,700
節計		6	316,700

款1 後期高齢者医療保険料 項1 後期高齢者医療保険料 目2 普通徴収保険料 節2 滞納繰越分

区分	年度	収入未済件数	収入未済額 (円)
普通徴収	H31	2	42,625
普通徴収	R2	4	133,000
節計		4	175,625

【このページは空白です】

事業番号	1 - 6 - 1		担当課	保険環境課	担当班	保険年金班	
事業名	医療費の適正化対策(後期高齢)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	後期高齢保険特別会計
	戦略目標	社会保障が充実し、健康で安心した生活環境を整える				款	2
法令根拠条例等	佐々町後期高齢者医療に関する条例				項	1	後期高齢者医療広域連合納付金
個別計画	-				目	1	後期高齢者医療広域連合納付金

1 事業内容

【行動指針】
 ・特定健診、特定保健指導などを実施し、町民一人一人の健康維持・増進に向けた取組を進めることにより、生活習慣病等における医療費の適正化を図ります。

【事業概要】
 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者の医療を国民全体で公平に支える制度として、平成20年4月に開始されました。長崎県後期高齢者医療広域連合が主体となり県下の市町と事務を分担して行われています。

○被保険者の推移

区分	R1	R2	R3	前年比
後期被保険者数	1,755人	1,752人	1,793人	41人
人口	14,017人	14,000人	13,965人	△35人
後期被保険者の割合	12.52%	12.51%	12.84%	0.33%

○後期高齢者医療広域連合納付金

- ・保険料負担金：保険者から徴収した保険料を広域連合へ納付する。
- ・保険基盤安定負担金：低所得者にかかる保険料軽減額を県3/4、町1/4の割合で負担し、広域連合へ納付する。
- ・保険給付に係る事務費について事務費負担金を広域連合へ納付する。

区分	R2	R3	前年比
保険料負担金	108,596,275円	109,933,150円	1,336,875円
保険基盤安定負担金	35,653,652円	35,555,299円	△98,353円
事務費負担金	6,729,546円	7,275,076円	545,530円
合計	150,979,473円	152,763,525円	1,784,052円

○後期高齢者医療療養給付費負担金【一般会計P109~112】

- ・後期高齢者医療療養給付費にかかる負担対象額の1/12を負担する。

	R2	R3	前年比
後期高齢者医療療養給付費負担金	119,918,107円	125,635,447円	5,717,340円
後期高齢者医療療養給付費	1,439,017,284円	1,507,625,364円	68,608,080円

※後期高齢者医療療養給付費は見込値(次年度確定)

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	141,559,760	150,979,473	152,763,525	174,297,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	25,363,452	26,740,239	26,666,473
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	116,196,308	124,239,234	126,097,052

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	特定健診受診率（国民健康保険）【単】	55.4%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定保健指導受診率（国民健康保険）【単】	53.7%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定健診受診率（後期高齢者医療保険）【単】	35.1%	%	目標	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
※令和3年度の受診率は令和4年10月に実績が集計されます										
活動	国民健康保険税収納率（現年度分）【単】	95.60%	%	目標	96.56	96.56	96.56	96.56	96.56	102%
				実績	98.34	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
後期高齢者医療制度は、75歳以上の方がそれまでの健康保険に代わって加入する医療保険制度です。団塊の世代の移行などによる加入者の増加、医療の高度化等に伴う給付費、納付金の増加が見込まれます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 - ◆2			担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター
事業名	地域まるごとサロン事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				会計	一般会計
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる					款
法令根拠条例等	社会福祉法				予算科目	項	1 社会福祉費
個別計画	佐々町地域福祉計画 佐々町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画					目	1 社会福祉総務費

1 事業内容

【行動指針】

・町内会集会所を地域活動の拠点として、多世代の町民が参加、活動、交流することにより、共生社会の実現につながる「地域まるごとサロン」づくりを行います。

【事業概要】

○地域まるごとサロン

町内会を単位とした高齢者の通いの場として定着している「地域デイサービス」について、世代を問わない「地域まるごとサロン」へ発展させ、介護・障がい・子ども・生活困窮等の属性や世代を超えた居場所づくりを推進しました。

区分		R2	R3
地域デイサービス	開催地区	24地区	25地区
	開催回数	168回	187回
	参加実人数	717人	720人
	参加延人数	2,400人	2,449人
地域まるごとサロン	開催地区		1地区
	開催回数		3回
	参加実人数		25人
	参加延人数		75人

○地域ネットワーク情報交換会

誰もが安心して住み良い地域を目指して、町内会単位で地域の現状について情報交換会を開催し、地域関係者間の連携のもと、地域のニーズ把握および課題解決を図りました。また、地域関係者に地域共生への取組みの必要性について普及啓発を行いました。

区分	R2	R3
地域ネットワーク情報交換会	4町内会	26町内会



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		4,939,718	2,800,000	3,000,000	5,270,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	2,635,000	2,100,000	2,250,000	3,953,000
	その他特定財源				
	地方債				
一般財源		2,304,718	700,000	750,000	1,317,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	地域まるごとサロン実施 町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数 【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
コロナ禍により地域サービスの開催頻度が減少。高齢者以外を巻き込んだ地域まるごとサロンの展開にどの町内会も躊躇している状況があります。今後、各町内会の状況に合わせながら、地域共生への取組みを進めていく必要があると判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 · <input type="radio"/> 見直し · <input type="radio"/> 廃止

事業番号	1 - 5 - 1		担当課	多世代包括支援センター	担当班	障がい相談支援センター		
事業名	共生社会の実現に向けた広報・啓発							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計	
	戦略目標	障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるまちづくりを進める				款	3	民生費
法令根拠条例等	障害者総合支援法					項	1	社会福祉費
個別計画	第2期佐々町障害者計画・第6期佐々町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画					目	1	社会福祉総務費

1 事業内容

【行動指針】

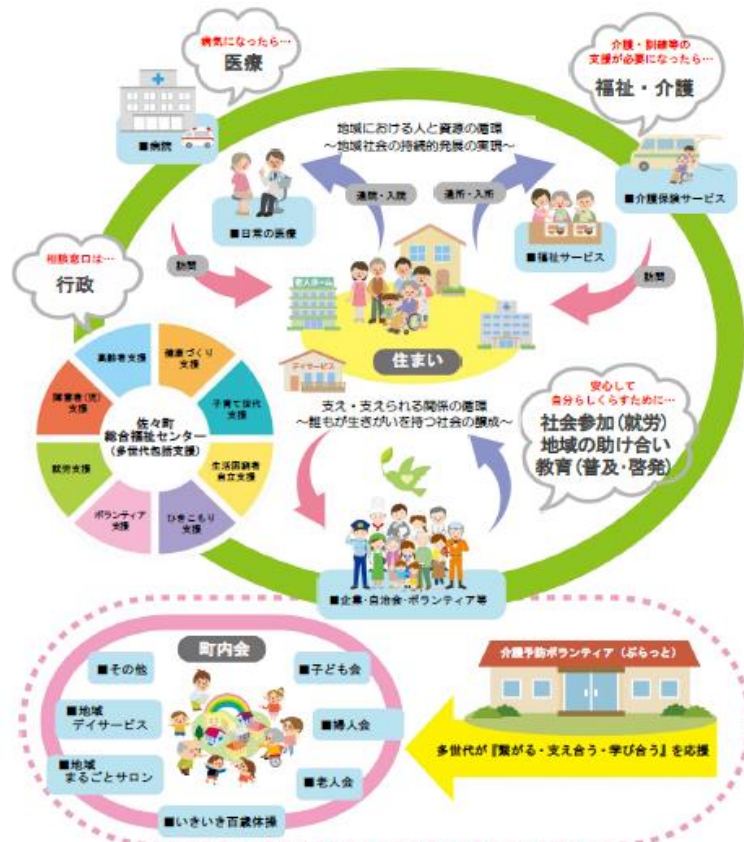
- ・講習会の開催、町内会と連携しての出前講座の開催など、地域住民への共生社会の理念及び障がいのある人への配慮などの啓発を行います。
- ・障がいのある人が適切に制度を利用できるよう、広報紙等で各種制度の定期的な周知を行います。

【事業概要】

○地域ネットワーク情報交換会

誰もが安心して住み良い地域を目指して、町内会単位で地域の現状について情報交換会を開催し、地域関係者間の連携のもと、地域のニーズ把握および課題解決を図りました。町内障害者（児）福祉サービス事業所の現状を伝え、障がい者（児）が地域とつながっていく必要性について意見交換をし、共生社会の理念及び障がいのある方への配慮などの普及啓発を行いました。

区分	R2	R3
地域ネットワーク情報交換会	4町内会	26町内会



2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	共生社会啓発に係る講演会の開催回数【単】	-	回	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	地域活動への障がいのある人の参加者数（実人数）【単】	-	人	目標	10/年	10/年	10/年	10/年	10/年	30%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者数【単】	0人	人	目標	4/年	4/年	4/年	4/年	4/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	施設入所者の地域移行人数【単】	0人	人	目標	2	2	2	2	2	50%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症対策により、講演会は開催せず、各集会所による普及啓発を行いました。今後、地域の現状に応じて課題解決を図りながら、障がいの理解を深めていきます。また、教育委員会や社協等と連携し、若い世代からの理解促進を図っていく必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 5 - 2		担当課	多世代包括支援センター	担当班	障がい相談支援センター		
事業名	障壁（バリア）の少ないまちづくり （障害者自立支援給付事業）							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるまちづくりを進める				款	3	民生費
法令根拠条例等	障害者総合支援法			項		1	社会福祉費	
個別計画	第2期佐々町障害者計画・第6期佐々町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画			目		1	社会福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・障がいのある人が利用しやすいように、各担当課が所管する施設の修繕や更新に合わせ、障壁の除去を行うように調整を行います。
- ・障がいのある人ができる限り自分の力で外出ができ、地域で自立した生活が送れるように、ソフト面やハード面の整備について、関係機関との調整を行います。

【事業概要】

障害を持つ方の居宅及び施設入所等での支援に係る費用（介護給付）、就労支援等に係る費用（訓練給付）及び相談支援の利用に係る費用に対し、次のとおり給付を行いました。

また、車いすや歩行器、補聴器等の補装具の給付を行いました。

（実績）

	R2		R3		(R3-R2)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
居宅介護	84	5,594,814	63	3,215,097	△ 21	△ 2,379,717
行動援護	9	310,370	12	451,810	3	141,440
同行援護	52	5,373,050	51	4,413,790	△ 1	△ 959,260
療養介護	51	13,449,590	60	16,739,370	9	3,289,780
生活介護	355	74,982,035	365	73,744,806	10	△ 1,237,229
短期入所	12	564,052	6	478,550	△ 6	△ 85,502
施設入所支援	216	26,471,721	215	25,951,488	△ 1	△ 520,233
共同生活援助	250	31,230,604	249	31,871,820	△ 1	641,216
宿泊型自立訓練	1	111,080	0	0	△ 1	△ 111,080
就労移行支援	3	353,150	16	1,696,223	13	1,343,073
就労継続支援A型	34	4,133,097	33	3,684,610	△ 1	△ 448,487
就労継続支援B型	604	86,880,271	648	98,543,693	44	11,663,422
計画相談支援給付	228	3,617,061	232	3,757,208	4	140,147
特定障害者特別給付	469	4,160,918	464	3,905,651	△ 5	△ 255,267
高額障害福祉サービス	2	6,248	0	0	△ 2	△ 6,248
小計①	2,370	257,238,061	2,414	268,454,116	44	11,216,055
補装具②	25	3,475,200	32	3,545,973	7	70,773
合計(①+②)	2,395	260,713,261	2,446	272,000,089	51	11,286,828

歳出額増の要因は、就労B型の実績額が前年度比11,663,422円となったことによるもので、その他の給付費は横ばいで推移しています。引き続き、障害がある人が必要とするサービスに適正につながるよう事業を継続します。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	263,384,547	260,713,261	272,000,089	289,766,000
財源	国庫支出金	134,079,113	134,559,500	136,967,000
	県支出金	67,039,556	67,279,750	68,483,500
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	62,265,878	58,874,011	66,549,589

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	共生社会啓発に係る講演会の開催回数【単】	-	回	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	地域活動への障がいのある人の参加者数（実人数）【単】	-	人	目標	10/年	10/年	10/年	10/年	10/年	30%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者数【単】	0人	人	目標	4/年	4/年	4/年	4/年	4/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	施設入所者の地域移行人数【単】	0人	人	目標	2	2	2	2	2	50%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>障がいのある人が地域で自立した生活をおくるために不可欠な支援であり、今後も事業維持が必要と判断します。</p> <p>令和3年度は、町内の事業所が一堂に会する障がい支援会議を立ち上げ、関係機関との連携や研修会等を通して質の向上を図る取組みを行いました。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 5 - 3		担当課	多世代包括支援センター	担当班	障がい相談支援センター			
事業名	社会資源の整備								
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計		
	戦略目標	障がいのある人が地域で自立した生活を送ることができるまちづくりを進める				款	3	民生費	
法令根拠条例等	障害者総合支援法					項	1	社会福祉費	
個別計画	第2期佐々町障害者計画・第6期佐々町障害福祉計画・第2期障害児福祉計画					目	1	社会福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・現在、町内で賄うことのできない障害福祉サービス事業所の町内整備の呼び掛けはもとより、地域活動やボランティアなどの障がいのある方がスタッフ、利用者どちらでも参加できるようなインフォーマルサービスの取組を推進します。

【事業概要】
 障害者（児）福祉サービス事業所と関係機関がつながって、障がい者・児のさまざまな状況に向き合い、一人ひとりの課題や地域課題の解決を図りました。
 障害者（児）福祉サービス事業所の現地視察・アンケート調査 11カ所
 障がい支援会議の立ち上げ・定例会2回開催

誰もが安心して住み良い地域を目指して、町内会単位で地域の現状について情報交換会を開催し、地域関係者間の連携のもと、地域のニーズ把握および課題解決を図りました。町内障害者（児）福祉サービス事業所の現状を伝え、障がい者（児）が地域とつながっていく必要性について意見交換を行いました。
 町内集会所 26箇所にて開催

西九州させほ広域都市圏事業において、佐世保市で開催される事業者研修等への、町内障害福祉サービス事業所の受講促進を行いました。
 R3には、障害福祉サービス事業所研修（専門講座）障害者虐待防止研修会の2回研修会が実施され、各事業所へ周知を行いました。

障がい支援会議 (R3年～)

【方針】
 地域と事業所と行政がつながって、障がい者・児のさまざまな状況に向き合い、一人ひとりの課題や地域課題の解決を図る

【主要メンバー】
 障がい者（児）関連事業所
 住民福祉課・地域包括支援センター・健康相談センター

【部会】
 就労支援部会
 子ども部会
 ＊地域移行支援については個別地域ケア会議にて対応

【開催頻度】 1回／2月



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	共生社会啓発に係る講演会の開催回数【単】	-	回	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	地域活動への障がいのある人の参加者数（実人数）【単】	-	人	目標	10/年	10/年	10/年	10/年	10/年	30%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者数【単】	0人	人	目標	4/年	4/年	4/年	4/年	4/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	施設入所者の地域移行人数【単】	0人	人	目標	2	2	2	2	2	50%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
		<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
町内全部の障がい福祉サービス事業所の現地視察をすることで、障がい者（児）関連の地域課題が浮き彫りになり、その課題解決に向けて、事業所と行政が協働して取り組む体制づくりがスタートできたと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5	担当課	多世代包括支援センター	担当班	総務班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う			款	3 民生費
法令根拠条例等	-				項	1 社会福祉費
個別計画	-				目	4 福祉センター施設管理費

1 事業内容

【行動指針】
 ・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】
 1. 維持管理経費

区分	内容等	R2	R3	比較
消耗品費	管理用消耗品費（感染症対策分含む）	357,263	189,688	▲ 167,575
燃料費	LPガス代	3,342,533	4,139,570	797,037
印刷製本費	2階入浴施設回数券	0	85,800	85,800
光熱水費	電気料、上下水道料	6,200,456	6,916,845	716,389
修繕料	施設修繕料	2,179,456	2,744,969	565,513
役務費	建物災害共済保険料等	141,939	134,273	▲ 7,666
委託料	2階管理業務委託、エレベーター保守点検業務委託、空調設備点検委託、清掃業務委託、水質検査業務委託等	4,818,814	5,542,202	723,388
使用料及び賃借料	テレビ受信料、通信カラオケ使用料	183,720	201,590	17,870
工事請負費	R2:自動水栓化、調理室空調設備 R3:外灯設置	2,344,788	792,000	▲ 1,552,788
備品購入費	R2:冷凍冷蔵庫、サーマルカメラ R3:デジタルカメラ	757,240	46,530	▲ 710,710
	合計	20,326,209	20,793,467	467,258

【主な増減理由】
 燃料費及び光熱水費の増の要因については、価格高騰及び令和2年度にコロナによる休館があったことによるものです。委託料の増については、令和3年度から自動ドア保守点検業務、空調設備点検業務を新規で委託したことによるものです。
 工事請負費の減については、令和2年度に感染症対策として自動水栓化工事を行ったことによります。

2. その他
 繰越明許 備品購入費：1,490,500円
 新型コロナウイルス感染症対策のため、空気清浄機9台を購入しました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	19,968,023	20,326,209	20,793,467	25,836,000	
財源	国庫支出金			4,717,000	
	県支出金				
	その他特定財源	9,518,608	8,395,485	9,050,921	9,809,000
	地方債				
	一般財源	10,449,415	11,930,724	11,742,546	11,310,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>現施設の管理は、安全に使用できるよう保守、点検を行っており、今後も維持管理に係る修繕、改修を実施していく必要があると判断します。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「6-2-5 公共施設等の有効活用と適正管理」に関連する備品購入費【福祉センター施設管理費】(決算書P98)

節	説明	備品名称及び数量	決算額 (円)
17 備品購入費	福祉センター備品	デジタルカメラ 1 台	46,530
説明 計			46,530
17 備品購入費	福祉センター備品 (新型コロナウイルス感染症対策事業分)	空間除菌脱臭機 9 台	1,490,500
説明 計			1,490,500

【このページは空白です】

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P100】

事業番号	1 - 3 - ◆1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	総務班		
事業名	育児支援事業 (地域子育て支援拠点事業)								
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算 科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる					款	3	民生費
法令根拠条例等	佐々町子育て支援事業実施要綱				項		2	児童福祉費	
個別計画	第2期“さざっ子”育成プロジェクト				目		1	児童福祉総務費	

1 事業内容

【行動指針】
・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目ないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消等を図ります。

【事業概要】
●地域子育て支援拠点事業
・佐々町の子育て家庭の親子が気軽にかつ自由に利用できる場として週3日（火・水・金）、福祉センター1階にて相互交流を行う場所（ぶくぶく）を開設。運営を佐々町地域婦人会へ委託し、子育ての相談や子育て世帯向けの講習会やイベントを実施しました。本来であれば、イベント等を通し、子どもを含む子育て世代と高齢者世代の交流を実施しておりますが、コロナ禍により、世代間の交流が実施できませんでした。

	R1	R2	R3
登録組数	77組	66組	70組
利用人数（親延べ）	1,113人	1,120人	1,020人
利用人数（子延べ）	1,247人	1,522人	1,181人

※国県補助あり（国1/3、県1/3、町1/3）
※翌年度に事業実績報告し、返還予定です。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,321,783	2,693,278	2,793,273	3,524,709
財源	国庫支出金	887,000	1,141,000	1,210,000	1,163,000
	県支出金	887,000	1,141,000	1,210,000	1,163,000
	その他特定財源	38,500	33,000	35,000	35,000
	地方債				
	一般財源	509,283	378,278	338,273	1,163,709

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		
<p>登録組数や利用者数は横ばいであり、一定のニーズには対応できているものと考えます。しかし、利用者から開所日を増やして欲しい等の要望があると委託事業者から報告があつているため、開所日や開所場所、開所時間の検討も必要だと考えます。また、相談拠点としての機能の充実を図ることや、子育て世帯向けの講座など、拠点の役割について改めて検討し、拡充する必要があると考えます。</p>	評価の結果	A 業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
子育て支援拠点（ぶくぶく）の勉強会実施などの検討事項について、改善に努めてもらいたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P100】

事業番号	1 - 3 - ◆1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	総務班	
事業名	育児支援事業 (乳幼児一時預かり事業)							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3	民生費
法令根拠条例等	佐々町乳幼児一時預かり事業実施要綱			項		2	児童福祉費	
個別計画	第2期“さざっ子”育成プロジェクト			目	1	児童福祉総務費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目のないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消等を図ります。

【事業概要】

- 乳幼児一時預かり事業
 - ・保育所等に在園しておらず、一時的に保育が必要な未就学児について、佐々町地域婦人会へ委託し、一時預かり（ありす）を実施しました。

	R1	R2	R3
利用人数（延べ）	90人	124人	144人
利用時間	300時間	359時間	367時間

※国県補助あり（国1/3、県1/3、町1/3）
 ※翌年度に事業実績報告し、返還予定です。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		663,124	755,666	914,840	1,071,200
財源	国庫支出金	170,000	189,000	229,000	293,000
	県支出金	170,000	189,000	229,000	293,000
	その他特定財源	150,900	187,000	227,300	192,000
	地方債				
	一般財源	172,224	190,666	229,540	293,200

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）

利用時間や利用人数が増加しており、ニーズは増加していると考えます。しかし、開所日が平日のみであることや開所時間が短いことから、土曜日の開所や開所時間の延長等の検討をしてもよいのではないかと考えます。

評価の結果

A

業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	1 - 3 - 4			担当課	多世代包括支援センター	担当班	障がい相談支援センター
事業名	障がい児通所サービスを通じた療育の促進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	3 民生費
法令根拠条例等	-			項		2 児童福祉費	
個別計画	-			目	1 児童福祉総務費		

1 事業内容

【行動指針】
 ・保護者、関係機関と連携しながら、サービスを利用した児童の療育状況について確認し、将来の自立に向けた個別支援等の定期的なフォローを行います。

【事業概要】
 障がいを持つ児童や、集団生活などに不安を持つ児童に対し、障害児通所給付費を支給し、将来的に自立して生活ができるように療育支援を行いました。

令和3年度実績

サービス名	実人数 (人)	金額 (円)
児童発達支援	182	15,213,838
放課後等デイサービス	523	51,077,846
保育所等訪問支援	16	302,600
高額障害児通所給付費	0	0
障害児相談支援	120	2,323,300
合計	841	68,917,584

令和2年度実績

サービス名	実人数 (人)	金額 (円)
児童発達支援	161	9,468,951
放課後等デイサービス	441	43,136,979
保育所等訪問支援	9	158,761
高額障害児通所給付費	0	0
障害児相談支援	124	2,315,230
合計	735	55,079,921

令和元年度実績

サービス名	実人数 (人)	金額 (円)
児童発達支援	166	11,877,934
放課後等デイサービス	301	32,324,699
保育所等訪問支援	20	392,823
高額障害児通所給付費	5	23,000
障害児相談支援	96	1,640,470
合計	588	46,258,926

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	46,258,926	55,079,921	68,917,584	81,266,000
財源	国庫支出金	23,129,000	27,539,000	34,458,000
	県支出金	11,564,000	13,769,000	17,229,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	11,565,926	13,771,921	17,230,584

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	
成果	就学前児童数（0～6歳）【総合戦略】【単】	1,089人 (令和2年3月時点)	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	
活動	妊婦訪問率【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	86%
				実績	86	-	-	-	-	
成果	療育相談事業の利用者数【単】	68人/年	人	目標	120/年	120/年	120/年	120/年	120/年	113%
				実績	136	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) ・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) ・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) ・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) ・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) ・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) ・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
障害児通所給付事業による療育支援が実施できていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 2 - 2			担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター	
事業名	医療体制の情報発信							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが安心できる医療体制を整える					款	4 衛生費
法令根拠条例等	-				項		1 保健衛生費	
個別計画	-				目	1 保健衛生総務費		

1 事業内容

【行動指針】

・休日在宅当番医などの生活に密着した医療機関情報を、広報紙等を活用して町民へ分かりやすく提供します。

【事業概要】

休日在宅当番医については、広報さざの「くらしのひろば」に毎月情報を掲載しました。また、ホームページやLINEも活用し、町民が情報をいつでも取得できるようにしました。

○休日在宅当番医実績

区分	R1	R2	R3
患者数	511人	218人	260人
小児 (小学生まで)	246人	98人	131人
大人 (中学生以上)	265人	120人	129人
町内	269人	113人	143人
町外	242人	105人	117人

○くらしのひろば

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,910,000	2,937,600	2,937,600	2,938,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	2,910,000	2,937,600	2,937,600	2,938,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	発達専門外来設置数 【総合戦略】【累】	0か所	か所	目標	-	-	-	-	1	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	もの忘れ外来平均受診者数	9.6人/日	人	目標	-	-	-	-	10/日	135%
				実績	13.5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
休日在宅当番医については、広報紙の「くらしのひろば」に毎月情報を掲載し、またホームページやラインにおける情報発信が出来ていると評価し、今後も事業維持が必要であると判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 1 - 2		担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター	
事業名	食生活改善活動への支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	一人一人が健康づくりを進められる環境をつくる				款	4 衛生費
法令根拠条例等	健康増進法			項	1 保健衛生費		
個別計画	佐々町食育推進計画			目	1 保健衛生総務費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・食生活改善推進員による地域普及（食に関する情報の提供）の実施により、各個人にあった食に関する正しい情報を発信します。
- ・食生活改善推進員のいない地区や、会員が高齢化している地区に関しては、行政と近隣地区の推進員との協働により食に関する情報を提供します。

【事業概要】

食生活改善推進員による食に関する地域普及、男性料理教室や食生活改善推進員学習会の実施により、ひとり一人にあった食に関する正しい情報発信、栄養相談・食生活改善による健康づくりに取り組みました。

R3は、新型コロナウイルスの感染防止のため普及活動を行うことができませんでしたが、学習会を通して会員自身の知識の向上につなげることができたと考えます。

推進員の高齢化もあり年々会員数も減ってきているため、新しい世代を獲得する必要があるため、今後学習会の内容の見直しや推進員募集に力をいれていく必要があると考えます。

事業	R1	R2	R3
食生活地域普及	3回 70人	3回 43人	0回 0人
食生活改善推進員学習会	6回 101人	3回 50人	3回 43人
町内会への出前講座	9地区	6か所	4か所
けんこう(一般)料理教室			3回 32人
男性料理教室	7回 133人	8回 84人	6回 63人

- 食生活改善推進員
 - ・「自分の健康は自分でつくる」を活動目標とし、ボランティア活動を通して、安全で安心して住み続けることのできる福祉のまちづくりの実現のために、生活習慣病予防、食育自立支援などの活動を行っています。
- 食生活地域普及
 - ・生活習慣病予防のためのバランス食の地域普及活動です。
- 食生活改善推進員学習会
 - ・対象：食生活改善推進員
 - ・目的：食生活改善に関する新たな知識を身につけ地域普及に活かしていくこと
- けんこう(一般)料理教室
 - ・対象：一般成人（町内在住）
 - ・目的：食生活に関する正しい知識を身につけ、生活習慣病予防、重症化予防への意識を高めること
- 男性料理教室
 - ・対象：町内在住の男性
 - ・目的：食生活に関心を持ち、作る楽しみと参加者同士の交流を通し、食と健康づくりの意識を高めること

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	500,000	263,528	350,000	350,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	500,000	263,528	350,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数 【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	運動習慣のある人の割合【単】	39.9%	%	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	98%
				実績	44.1	-	-	-	-	
成果	朝食を抜くことが週に3回以上ある人の割合【単】	12.2%	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	93%
				実績	10.7	-	-	-	-	
成果	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がある人の割合【単】	13.8% (令和2年度)	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	77%
				実績	13.0	-	-	-	-	
成果	食生活に関する情報の普及数【累】	3地区	地区	目標	-	-	-	-	10	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
食生活改善推進員による地域普及、各種教室・学習会等の実施、行政と近隣地区の推進員との協働により健康づくりが実施できていると評価でき、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 2 - 1		担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター	
事業名	安心できる医療体制づくり						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが安心できる医療体制を整える				款	4 衛生費
法令根拠条例等	-			項	1 保健衛生費		
個別計画	-			目	1 保健衛生総務費		

1 事業内容

【行動指針】

・関係団体や病院等の医療機関及び県、西九州させほ広域都市圏に係る事業に取り組む近隣自治体との協力と相互連携を強化し、医師や医療従事者の負担を軽減するため、適正受診の啓発を行い、地域医療を自ら守っていくという意識の醸成を図ります。

【事業概要】

関係団体や病院等の医療機関及び県、西九州させほ広域都市圏に係る事業に取り組む近隣自治体との協力と相互連携を強化し、医師や医療従事者の負担を軽減するため、適正受診の啓発を行いました。
また、新型コロナウイルス感染症によりひっ迫している救急医療の医療崩壊を防ぐため、西九州させほ広域都市圏の連携事業において作成した「コロナから地域医療を守るカレンダー」を全世帯に配布しました。

〇コロナから地域医療を守るカレンダー



2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	109,963	108,331	127,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源		109,963	108,331

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	発達専門外来設置数 【総合戦略】【累】	0か所	か所	目標	-	-	-	-	1	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	もの忘れ外来平均受診者数	9.6人/日	人	目標	-	-	-	-	10/日	135%
				実績	13.5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
関係機関や医療機関・県との連携による医療体制づくり、西九州させば広域都市圏との連携事業による取り組みが実施できたと評価し、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 2 - 3		担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	感染症予防の充実					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	一般会計
	戦略目標	誰もが安心できる医療体制を整える				
法令根拠条例等	予防接種法			予算科目	款	4 衛生費
個別計画	-				項	1 保健衛生費
					目	2 予防費

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に対する知識の普及を図るため、国や県の関係機関と連携し、感染症予防のための広報・啓発活動、健康教育を実施します。 ・感染症の発症や重症化を防ぐため、各種定期予防接種や結核検診を推進します。 ・コロナ禍における「新しい生活様式」（3密を避ける、マスクの着用、手洗いの励行など）を普及し、感染症予防につなげます。 <p>【事業概要】</p> <p>勸奨及び接種を行うとともに、未接種者を把握し個別に接種勸奨を実施しました。また、結核の早期発見のため、罹患率が高い65歳以上の方に対しては結核検診を実施しました。（結核検診：1,223人（1,031人））</p> <p>※ 各種接種結果については、別紙資料参照</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	54,923,743	71,336,049	50,292,471	64,513,000	
財源	国庫支出金	853,000	729,000	1,048,000	763,000
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	54,070,743	70,607,049	49,244,471	63,750,000

1. 事業内容

別紙資料 事業番号 1-2-3
 予防接種実績(R3)

単位:人

ワクチン	標準的な接種期間	回数	区分	R1	R2	R3
ロタウイルス ワクチン	1価:生後6週0日から24週0日まで	2回	対象者 (延人数)		104	240
			接種者 (延人数)		96	247
			接種率		92.3%	102.9%
	5価:生後6週0日から32週0日まで	3回	対象者 (延人数)		39	45
			接種者 (延人数)		6	7
			接種率		15.4%	15.6%
B型肝炎ワクチン	生後2月から生後9月まで ※H28年10月から開始	初回:2回 追加:1回	対象者 (延人数)	480	480	405
			接種者 (延人数)	499	434	381
			接種率	104.0%	90.4%	94.1%
ヒブワクチン	初回開始は生後2月から生後7月まで 追加は初回接種終了後7月以上 ※初回開始月により接種回数が異なる	初回:3回 追加:1回	対象者 (延人数)	640	640	540
			接種者 (延人数)	644	586	521
			接種率	100.6%	91.6%	96.5%
小児の肺炎 球菌ワクチン	初回開始は生後2月から生後7月まで 追加は生後12月から生後15月まで ※初回開始月により接種回数が異なる	初回:3回 追加:1回	対象者 (延人数)	640	640	540
			接種者 (延人数)	652	593	510
			接種率	101.9%	92.7%	94.4%
四種混合ワクチン	初回・追加:生後3月から生後90月まで	初回:3回 追加:1回	接種者 (延人数)	640	640	540
			接種者 (延人数)	642	596	530
			接種率	100.3%	93.1%	98.1%
BCGワクチン	生後5月から生後8月まで	1回	対象者	160	160	135
			接種者	152	167	123
			接種率	95.0%	104.4%	91.1%
麻疹風疹混合 I期ワクチン	生後12月から生後24月まで	1回	対象者	136	153	140
			接種者	142	160	129
			接種率	104.4%	104.6%	92.1%
麻疹風疹混合 II期ワクチン	年長児年齢相当	1回	対象者	165	140	164
			接種者	162	133	158
			接種率	98.2%	95.0%	96.3%

ワクチン	標準的な接種期間	回数	区分	R1	R2	R3
水痘ワクチン	生後12月から生後36月まで ※H26年10月から開始	2回	対象者 (延人数)	267	279	272
			接種者 (延人数)	296	300	260
			接種率	110.9%	107.5%	95.6%
日本脳炎 1期ワクチン	(標準的な接種年齢) 第1期初回:3歳から4歳まで 第1期追加:4歳から5歳まで ※標準的な接種年齢以外(生後6ヶ月から生 後90月)の月齢で接種した者	初回:2回 追加:1回	対象者 (延人数)	604	616	567
			接種者 (延人数)	581	577	351
			接種率	96.2%	93.7%	61.9%
日本脳炎 2期ワクチン	(標準的な接種年齢) 第2期:9歳から13歳まで ※特例措置対象者 平成17年度から平成21年度にかけて接種の 積極的勧奨の差し控えにより予防接種を受け る機会を逸した者	1回	対象者	192	187	161
			接種者	155	180	52
			接種率	80.7%	96.3%	32.3%
二種混合ワクチン	第2期:11歳から12歳まで	1回	対象者	139	145	132
			接種者	133	139	117
			接種率	95.7%	95.9%	88.6%
子宮頸がん 予防ワクチン	13歳となる日の属する年度 ※平成25年6月14日より接種勧奨差し控え 中。令和3年度は、個別に情報提供発送(370 人)。	3回	接種者 (延人数)	0	31	63
季節性インフルエン ザワクチン(小児)	生後6月から小学6年生まで	2回	対象者 (延人数)	3,650	3,754	3,822
			接種者 (延人数)	2,363	2,482	2,003
			接種率	64.7%	66.1%	52.4%
季節性インフルエン ザワクチン(高齢 者)	65歳以上の者 (60歳以上65歳未満の者で、心臓、腎臓又は 呼吸器の機能に日常生活活動が極度に制限 される程度の障害を有する者を含む)	1回	対象者	3,716	3,860	3,858
			接種者	2,280	2,866	2,538
			接種率	61.4%	74.2%	65.8%
高齢者の肺炎球菌 ワクチン	65歳以上の者 (60歳以上65歳未満の者で、心臓、腎臓又は 呼吸器の機能に日常生活活動が極度に制限 される程度の障害を有する者を含む)	1回	対象者	657	676	554
			接種者	226	210	142
			接種率	34.4%	31.1%	25.6%
緊急風しん抗体検査 事業	<抗体検査> S37.4.2～S54.4.1生まれの男性 ※R元年度はS47.4.2～S54.4.1生まれを対象 ※R2年度はR元年度の未受検者+S37.4.2～ S47.4.1生まれ	1回	対象者	671	1,310	1,062
			受検者	122	208	42
			受検率	18.2%	15.9%	4.0%
	<予防接種> 抗体検査において抗体価が低いとわかった者	1回	対象者	25	40	9
			接種者	16	35	10
			接種率	64.0%	87.5%	111.1%

※対象者については、当該年度の4月1日において標準的な接種年齢にある者(見込み数)とするため、それ以降の転入により接種率が100%を超える場合がある。

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	発達専門外来設置数 【総合戦略】【累】	0か所	か所	目標	-	-	-	-	1	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	もの忘れ外来平均受診者数	9.6人/日	人	目標	-	-	-	-	10/日	135%
				実績	13.5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
感染症の発症や重化を防ぐため、各種予防接種や結核検診を実施することで、感染症の発症や重症化を防ぐことに繋がっていると評価し、今後も事業維持が必要であると判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	多世代包括支援センター	担当班	総務班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	4 衛生費
法令根拠条例等	-			項	1 保健衛生費		
個別計画	-			目	6 健康相談センター管理費		

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

1. 維持管理経費（健康相談センター分）

単位：円

区分	内容等	R2	R3	比較
消耗品費	管理用消耗品費	136,124	154,841	18,717
燃料費	LPガス代	20,627	19,859	▲ 768
光熱水費	電気料、上下水道料	1,456,624	1,654,473	197,849
修繕料	施設修繕料	660,801	388,960	▲ 271,841
委託料	電気工作物保安業務委託、機械警備業務委託、消防設備法定点検業務委託 など	902,231	1,231,473	329,242
	合計	3,176,407	3,449,606	273,199

【主な増減理由】

光熱水費は新型コロナウイルスワクチン接種業務に係る電気・水道使用量の増、委託料は空調設備点検等業務の増が要因となっている。

2. その他

・ R3 公用車購入 軽自動車 2台分 2,377,045円 (H13購入車両更新)

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		3,597,963	3,176,407	3,449,606	3,339,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	17,670	11,550	3,080	10,000
	地方債				
	一般財源	3,580,293	3,164,857	3,446,526	3,329,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>現施設の管理は、安全に使用できるよう保守、点検を行っており、今後も維持管理に係る修繕、改修を実施していく必要があると判断します。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 3 - ◆1			担当課	多世代包括支援センター 住民福祉課	担当班	子育て世代支援センター 福祉班
事業名	育児支援事業						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算 科目	会計	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				款	4 衛生費
法令根拠条例等	-			項		1 保健衛生費	
個別計画	-			目		7 母子保健事業費	

1 事業内容

【行動指針】

・妊娠、出産、子育てについて、個々の希望や状況に応じた選択ができるように、切れ目ないサポート体制を構築するため、佐々町子育て世代支援センターを設置し、子育て世帯の不安解消を図ります。

【事業概要】

妊娠期からの支援として一般不妊治療及び特定不妊治療の助成を実施しました。
また、子育て世代支援センターにおいて、全妊婦訪問を実施するとともに、産後ケアを継続して実施することで関係機関との連携のもと、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供し、子育て世帯の不安解消を図りました。

事業名	R2	R3
妊産婦相談	201人	273人
妊婦健診	1,548人	1,507人
母親学級	6人	11人
新生児聴覚検査	125人	120人
不妊治療(特定・一般)	12人・7人	12人・15人
子育て健康相談	792人	585人
療育専門相談等	107人	157人
訪問指導	507人	596人
お遊び教室	68人	34人
1歳6カ月児健康診査	143/145人	140/153人
3歳児健康診査	165/177人	135/140
乳児健診(個別)	171人	127人
乳児健診(集団)	89人	123人
ペアレント・トレーニング	20人	12人
5歳児健康診査	170人	119人
視聴覚機能測定検査	9人	3人
幼児通級教室	56人	71人
産後ケア事業利用件数	-	88件

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,420,000	1,220,000	1,646,148	2,703,000
財源	国庫支出金		246,000	276,000
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	1,420,000	1,220,000	1,400,148

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
育児支援事業として、不妊治療及び産後ケアの実施により、育児支援に資することができていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	1 - 3 - 1		担当課	多世代包括支援センター	担当班	子育て世代支援センター
事業名	母と子の健康づくりに係る健診等の実施					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる				
法令根拠条例等	母子保健法			予算科目	款	4 衛生費
個別計画	-				項	1 保健衛生費
				目	7 母子保健事業費	

1 事業内容

【行動指針】

・5歳児健診は、就学前の時期で、子どもの発達に関する保護者の意識が高まっているため専門相談などの必要な支援につながりやすい状況にあり、関係機関との連携強化等により、個々にきめ細やかな育児支援を提供します。
 ・各種相談・健診を実施し、親子教室や保護者の悩み相談に対応するなど、切れ目ない支援に取り組みます。

【事業概要】

5歳児健診を含む乳幼児健診と併せ視覚機能測定を行うことで小学校入学後に、スムーズに学校生活ができるよう、新たに乳幼児期に限らず思春期までを対象とした療育専門の相談事業を行うことで、安心して子育てができる環境を整備するとともに、保護者の悩み相談に対応するなど切れ目ない支援を行いました。

○乳児健診

区分	R2	R3
回数	6回	6回
延人数	89人	127人
指導・経過観察・精密・治療が必要な者	8人	1人

○1歳6か月児健診

区分	R2	R3
回数	6回	6回
対象者	145人	153人
受診者	143人	140人
受診率	98.6%	91.5%
指導・経過観察・精密・治療が必要な者	精神面	29人
	身体面	5人
		26人
		3人

○3歳児健診

区分	R2	R3
回数	6回	6回
対象者	177人	140人
受診者	165人	135人
受診率	93.2%	96.4%
指導・経過観察・精密・治療が必要な者	精神面	20人
	身体面	3人
		33人
		1人

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	26,278,283	23,129,913	22,799,824	24,700,000
財源	国庫支出金	1,727,154	1,188,930	1,359,143
	県支出金	878,577	594,465	679,571
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	23,672,552	21,346,518	20,761,110

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	
成果	就学前児童数（0～6歳）【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	
活動	妊婦訪問率【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	86%
				実績	86	-	-	-	-	
成果	療育相談事業の利用者数【単】	68人/年	人	目標	120/年	120/年	120/年	120/年	120/年	113%
				実績	136	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
乳児期からの各種健診、相談事業を実施することで母子が安心して相談できる環境づくりが出来ていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 3 - 1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	子育て世代支援センター	
事業名	母と子の健康づくりに係る健診等の実施							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる					款	4 衛生費
法令根拠条例等	母子保健法				目	項	1 保健衛生費	
個別計画	-					目	8 歯科保健事業費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・5歳児健診は、就学前の時期で、子どもの発達に関する保護者の意識が高まっているため専門相談などの必要な支援につながりやすい状況にあり、関係機関との連携強化等により、個々にきめ細やかな育児支援を提供します。
- ・各種相談・健診を実施し、親子教室や保護者の悩み相談に対応するなど、切れ目ない支援に取り組みます。
- ・妊婦歯科健診、歯科教室や乳幼児健診におけるフッ素塗布、年中から中学生に対するフッ化物洗口を実施することで、健全な口腔環境の確保に取り組みます。
- ・特定不妊治療に加え、独自に一般不妊治療の助成を行い、治療を受ける人の経済的支援を提供します。

【事業概要】

妊婦歯科検診、歯科教室や乳幼児健診におけるフッ素塗布、年中から中学生に対するフッ化物先口を継続して実施することで健全な口腔環境の確保に取り組みました。

○1歳児歯科教室

年度	R1	R2	R3
回数	6回	6回	6回
参加者	68人	104人	85人

○幼児歯科検診

区分	R1			R2			R3		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
2歳児	149人	100人	67.1%	155人	121人	79.6%	150人	101人	67.3%
2歳半児	147人	106人	72.1%	165人	115人	70.4%	142人	110人	77.4%
3歳児	121人	83人	68.6%	187人	118人	66.2%	115人	95人	82.6%

※ 年代別のむし歯有病状況については、別紙資料参照

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,331,215	1,082,584	877,873	1,696,000
財源	国庫支出金				3,000
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	1,331,215	1,082,584	877,873	1,693,000

1 事業内容

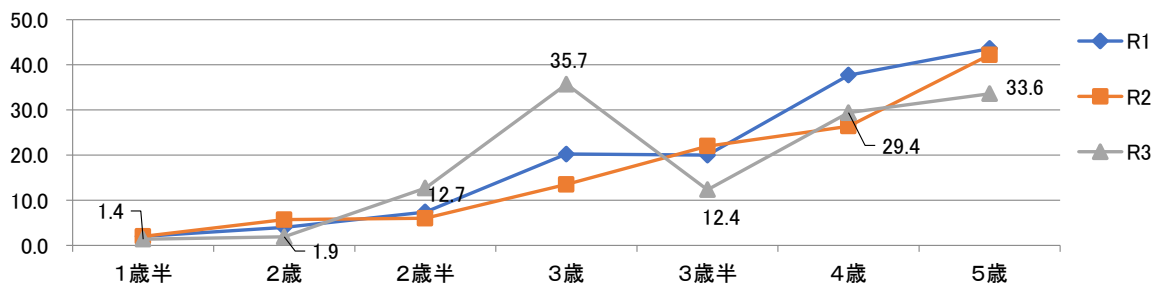
別紙資料 事業番号 1-3-1

【幼児期におけるむし歯の状況(園検診を含む)】(4歳、5歳は町内幼稚園・保育所分)

むし歯有病者率(%)

区分	R1	R2	R3
1歳半	2.0	2.0	1.4
2歳	4.0	5.7	1.9
2歳半	7.4	6.0	12.7
3歳	20.2	13.5	35.7
3歳半	20.0	22.0	12.4
4歳	37.7	26.4	29.4
5歳	43.6	42.2	33.6

幼児期におけるむし歯(乳歯)の状況

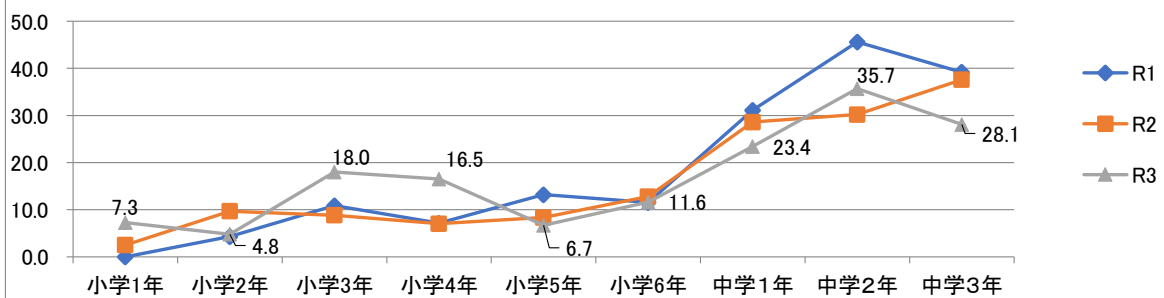


【小学校・中学校におけるむし歯の状況】

むし歯有病者率(%)

区分	R1	R2	R3
小学1年	0.0	2.5	7.3
小学2年	4.3	9.7	4.8
小学3年	10.9	8.9	18.0
小学4年	7.2	7.1	16.5
小学5年	13.2	8.4	6.7
小学6年	11.6	12.8	11.6
中学1年	31.1	28.6	23.4
中学2年	45.6	30.2	35.7
中学3年	39.2	37.6	28.1

小学校・中学校におけるむし歯(永久歯)の状況



【12歳児(中1)における一人あたりむし歯の本数(本)】

区分	R1	R2	R3
中学1年	0.8	0.6	0.5

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	
成果	就学前児童数（0～6歳）【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	
活動	妊婦訪問率【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	86%
				実績	86	-	-	-	-	
成果	療育相談事業の利用者数【単】	68人/年	人	目標	120/年	120/年	120/年	120/年	120/年	113%
				実績	136	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
妊婦歯科検診、歯科教室や乳幼児健診におけるフッ素塗布、年中から中学生に対するフッ化物先口を継続して実施することで健全な口腔環境の確保が出来ていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	1 - 3 - 2			担当課	多世代包括支援センター	担当班	子育て世代支援センター			
事業名	妊娠・出産、虐待などの相談体制の強化									
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	一般会計		
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる					款	4	衛生費	
法令根拠条例等	母子保健法				項		1	保健衛生費		
個別計画	-				目	7	母子保健事業費			

1 事業内容

【行動指針】

・妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行うため、令和2（2020）年度に設置した子育て世代支援センターにおいて、出産後の乳児家庭全戸訪問、各種健診・相談対応に加え、新たに妊娠期からの支援として全妊婦訪問を実施し、関係機関と情報共有を行い、対象者を支援していきます。
 ・子育て支援関係者（民生・児童委員、保育園など）との連携を深めることにより、妊娠、出産、育児などの不安に対する相談体制、虐待の未然防止や早期対応を行います。

【事業概要】

子育て世代支援センターにおいて、出産後の乳児家庭全戸訪問、妊婦健診等各種健診・相談に加え、新たに妊娠期からの支援として全妊婦訪問の実施及び産後ケアを導入することで関係機関と情報共有を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供し、育児不安や虐待の予防に努めました。
 また、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、町独自の助成を継続して行いました。

【母子保健健康診査業務委託料(妊婦健診)】

○妊婦健診のうち必要な健診回数14回分(国の基準回数)を補助し、妊婦の健康管理の充実及び妊娠・出産に係る経済的負担の軽減を図ることを目的とします。

	回数	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	妊婦	延受診者数	妊婦委託料合計	
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目			14回目
	単価	6,300	15,000	5,000	9,000	9,000	5,000	5,000	11,700	5,000	5,000	9,000	5,000	5,000	(人)	(円)	
R2	計	130	127	126	130	122	120	111	120	115	98	125	99	76	49	1,548	11,481,000
R3	計	122	131	99	126	129	125	80	126	116	91	122	110	81	49	1,507	12,357,480

【佐々町不妊治療費助成事業】

○不妊治療費助成事業は、子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず子どもに恵まれない夫婦の不妊治療について、高額となる治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることを目的とします。

区分	特定不妊治療	一般不妊治療
R2	実9件／延12件	実4件／延7件
	助成額 1,150,000円	助成額 70,000円
R3	実8件／延12件	実7件／延15件
	助成額 1,000,000円	助成額 150,000円

【子育て世代支援センターぽっかぽか】

活動内容	R2	R3
母子手帳交付数 (うち特定妊婦数)	131件 (25件)	128件 (14件)
妊婦訪問数	63件	111件
妊婦電話相談数	181件	26件
医療機関連携数	6件	6件
医療的ケア児訪問数	実4件 延46件	実6件 延50件

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,420,000	1,220,000	1,643,860	2,703,000
財源	国庫支出金	0	0	246,000	277,000
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	1,420,000	1,220,000	1,397,860	2,426,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	
成果	就学前児童数（0～6歳）【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	
活動	妊婦訪問率【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	86%
				実績	86	-	-	-	-	
成果	療育相談事業の利用者数【単】	68人/年	人	目標	120/年	120/年	120/年	120/年	120/年	113%
				実績	136	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
子育て世代支援センターにおける相談件数は増加傾向にある一方、全妊婦訪問率が伸び悩んでいます。今後は、全妊婦訪問の周知を徹底し、妊娠期からの支援を強化し、切れ目ない支援の提供が必要であると判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 3 - 3		担当課	多世代包括支援センター	担当班	子育て世代支援センター
事業名	子育て支援事業等の周知・広報					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	一般会計
	戦略目標	安心して出産・子育てができる環境をつくる			款	4 衛生費
法令根拠条例等	-			予算科目	項	1 保健衛生費
個別計画	-				目	7 母子保健事業費

1 事業内容

【行動指針】

・子育て支援に係る各事業等について、広報紙等を活用し、保護者や今後保護者となりえる町民を対象に、周知・広報を行います。

【事業概要】

子育て支援に係る情報について、広報紙のぼっかぽか通信に掲載するとともに、各種事業についても広報紙を活用し周知を行いました。

○広報掲載：「ぼっかぽか」通信

- ・「子育て世代支援センター“ぼっかぽか”が開設されました」（R2年8月号掲載）
- ・「子育て世代支援センター“ぼっかぽか”支援内容（妊娠期～出産後～子育て期）」（R2年10月号掲載）
- ・「“ぼっかぽか”授賞式」（R2年11月号掲載）
- ・「こんな悩みはありませんか？」（R3年1月号掲載）
- ・「妊婦訪問について」（R3年2月号掲載）
- ・「乳幼児期の遊びについて」（R3年3月号掲載）
- ・「お母さんと赤ちゃんにとって「望ましい体重増加」とは？」（R3年4月号掲載）
- ・「大切なことは「食品の種類」と「栄養バランス」」（R3年5月号掲載）
- ・「～イヤイヤ期と上手にお付き合い編～」（R4年1月号掲載）
- ・「～ほめ上手で子どもが伸びる編～」（R4年2月号掲載）

○ホームページ掲載

- ・「不妊治療費助成制度について」
- ・「佐々町立診療所に小児発達専門外来を開設しました」
- ・「佐々町産後ケア事業のご案内」

○配布物

- ・「母子保健事業日程表」
- ・「小児発達専門外来のご案内」
- ・「佐々町産後ケア事業のご案内」



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算
事業費	0	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	子育て世代支援センターにおける相談件数【総合戦略】【単】	-	件	目標	750/年	750/年	750/年	750/年	750/年	105%
				実績	788	-	-	-	-	
成果	就学前児童数（0～6歳）【総合戦略】【単】	1,089人 （令和2年3月時点）	人	目標	増加	増加	増加	増加	増加	92%
				実績	1,005	-	-	-	-	
活動	妊婦訪問率【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	86%
				実績	86	-	-	-	-	
成果	療育相談事業の利用者数【単】	68人/年	人	目標	120/年	120/年	120/年	120/年	120/年	113%
				実績	136	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
子育て支援に係る情報に関する情報発信・周知事業が実施できていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 1 - ◆ 4 - 1 - ◆	担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	健康推進事業				
総合計画上の位置づけ	基本目標 「医療・福祉」が充実したやさしいまち 戦略目標 一人一人が健康づくりを進められる環境をつくる	予算科目	会計	一般会計	
法令根拠条例等	健康増進法		款	4	衛生費
個別計画	佐々町健康増進計画		項	1	保健衛生費
			目	10	健康増進事業費

1 事業内容

【行動指針】
・ 町民の健康増進の意識向上につなげるとともに、まちなかや周辺の地域資源の回遊性を向上させるため、佐々川などを活かしたウォーキングコース、散策コースの周知と活用を行います。

【事業概要】
住民一人ひとりが自分の健康に関心に向け、日常生活の中で継続的に生活習慣の改善に取り組むことができるよう、健康相談や健康教育を行い、食習慣の見直しや運動習慣の普及、生活習慣病の発症や重症化予防のための健康づくりについて支援を行いました。
運動については、佐々川沿いを活かしたウォーキング、健康イベントなどを企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年度は中止しました。

○さざ☆さわやかウォーキング&ミニ食育フェア

●H30 <H31. 3. 10(日)実施> 参加者：113人

- 【内容】
- ・ 「みんなで延ばそう健康寿命！体幹トレーニングでいつまでも若々しく」をテーマに、町内ウォーキングと健康運動指導士による運動実技を実施しました。
 - ・ 「賢い食べ方 効率よく体脂肪を減らしたい！」をテーマに、管理栄養士による講話と管理栄養士と食生活改善推進員作成のミニ弁当配布を実施しました。

●R1 <新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止>

●R2 <R3. 3. 14(日)実施> 参加者：30人

- 【内容】
- ・ 「ウォーキングで免疫力を高めよう！」をテーマに、町内ウォーキングと健康運動指導士による運動実技を実施した。
 - ・ 「楽しく食を学んで、免疫力を高めよう！」をテーマに、管理栄養士と食生活改善推進員によるクイズ・スタンプラリーを実施した。

●R3 <新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止>

【参考 / R2】

さざ☆さわやかウォーキング&ミニ食育フェア

健康的な毎日を送るためには、適度な運動と正しい食生活が大切です。これからの心地よい季節、運動習慣のある方もない方も自分のペースで歩いてみませんか？
健康づくりやリフレッシュの機会として、佐々川の花や桜並木を見ながらのウォーキングと歩きながらできる筋トレや、「食」にまつわるクイズなど、ご家族、お友だち、お子さまなど楽しく健康を学びましょう。

と き **3月14日(日)** 9時～11時30分(受付8時40分～9時)
※雨天時は中止します

と ころ **健康相談センター集合**
(各自、運動ができる服装・靴での参加、タオル・水分の準備)

内 容 **町内ウォーキング**
「ウォーキングで免疫力を高めよう！」
・ウォーキング
・歩きながら簡単にできる筋トレ

参加費あります

ミニ食育フェア「楽しく食を学んで、免疫力を高めよう」

- ・野菜の適量ってどのくらい？
- ・1日の塩の量は??
- ・免疫力を上げる食事で??

スタンプラリーを実施します

申込み 2月24日(木)までに健康相談センターへお電話ください。(☎63-5800)

その他 参加については町内にお住まいの方に限ります。
申し込みがなくても参加できますが、できるだけ事前にお申し込みください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合がありますのでご了承ください。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	31,000	0	33,000
財源	国庫支出金			
	県支出金		20,667	22,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源		31,000	

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数 【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
佐々川沿いを活かしたウォーキング、健康イベントは、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止しましたが、健康相談・教育の実施等、町民の健康増進・意識向上につながる事業の実施ができていますと評価し、今後も継続して実施する必要がありますと判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
参加者が増えるように周知してもらいたい。
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	1 - 1 - 1		担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	子どもから高齢者に至るまでの生活習慣予防対策					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	一般会計
	戦略目標	一人一人が健康づくりを進められる環境をつくる				
法令根拠条例等	健康増進法			予算科目	款	4 衛生費
個別計画	佐々町健康増進計画				項	1 保健衛生費
					目	10 健康増進事業費

1 事業内容

【行動指針】

- ・乳幼児から高齢者に至るまでの疾病予防、病気の早期発見に資する各種健診など感染予防対策を図りながら、安心して受診できる体制で実施します。また、未受診者への受診再勧奨を充実させます。
- ・検診における受診の利便性や新たな検査方法の導入など個別検診の体制について整備します。
- ・妊娠期から子育て世代に対し、料理教室等の事業を実施し、活用しやすい食の情報を提供します。
- ・低栄養状態の高齢者を把握し、面接、訪問等で、介護予防・QOL（生活の質）の向上を目指します。

【事業概要】

生活習慣病の発症予防・重症化予防、病気の早期発見・早期治療のため、特定健康診査と各種がん検診等を一体的に実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、時間毎の事前予約制で行いました。健診受診により、受診者自身が健康状態を確認するとともに、がんの発見・治療につなげることができました。また、胃がん検診における胃内視鏡検査、子宮頸がん検診、乳がん検診の個別検診を継続し、受診しやすい環境づくりに取り組みました。精密検査未受診者に対しては受診再勧奨を行い、精検受診率向上に努め、病気の早期発見・早期治療につなげました。

※ 各種健診結果については、別紙資料参照

事後指導	R1	R2	R3
健診当日保健指導	1,006人	758人	606人
結果説明会	764人	628人	332人
骨粗鬆症検診結果説明	208人	171人	195人

将来の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために、住民が自分の健康に関心を向け、日常生活の中で継続的に生活習慣の改善に取り組むことができるよう、保健指導や健康教育などを行いました。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業において、地域包括支援センターと連携し、各種健康教室や介護予防教室の実施と、低栄養などのハイリスク者への訪問栄養指導等を実施しました。

事業	R1	R2	R3
はつらつ元気アップ教室			3回 26人
生活習慣病予防教室	2回 20人	2回 24人	1回 6人
ロコモ予防教室	1回 5人	1回 12人	1回 5人
訪問指導	0人	8人	12人

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	25,256,877	14,749,179	27,705,158	29,008,000	
財源	国庫支出金	207,000	287,000	232,000	299,000
	県支出金	1,266,000	1,013,000	1,258,000	1,117,000
	その他特定財源	241,200	146,300	159,900	261,000
	地方債				
	一般財源	23,542,677	13,302,879	26,055,258	27,331,000

1. 事業内容

別紙資料 事業番号 1-1-1 ①

生活習慣病健康診査実績

単位: 受診者数 人、受診率 %

連番	区分	R2		R3		比較		＜参考／受診率＞		
		受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	国	県	町
1	基本健診	12	7.9	19	12.9	7	5.0			
2	胃がん	841	18.5	1,055	16.6	214	▲ 1.9	7.8	10.3	22.8
3	肺がん	1,584	19.0	1,964	23.8	380	4.8	7.0	8.8	23.4
4	大腸がん	1,450	17.4	1,834	22.2	384	4.8	8.0	7.5	21.8
5	子宮頸がん	555	24.3	712	23.5	157	▲ 0.8	15.7	18.7	25.5
6	乳がん	529	33.2	717	30.6	188	▲ 2.6	17.0	15.6	37.5
7	肝炎検診(HBs)	106	3.0	129	3.0	23	0.0			
8	肝炎検診(HCV)	106	3.0	129	3.0	23	0.0			
9	腹部超音波	—	—	2,061	24.9	—	—			
10	前立腺がん	525	18.3	652	22.3	127	4.0			
11	骨密度	191	24.1	211	26.8	20	2.7			
12	歯周疾患	—	—	271	10.9	—	—			
13	若年層健診	110	8.0	95	6.9	▲ 15	▲ 1.1			
14	動脈硬化検診	—	—	1,044	25.1	—	—			
15	胃リスク	246	14.7	377	5.6	131	▲ 9.1			

※「—」 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし

※「胃がん」・「子宮頸がん検診」・「乳がん検診受診率」

$$[(前年度受診者)+(当該年度受診者)-(2年連続受診者)]/(当該年度の対象者) \times 100$$

対象者数は、年1回行うがん検診の場合と同様の考え方で算定

※ ＜参考 / 受診率＞

R1の40歳以上(胃がんは50歳以上、子宮頸がんは20歳以上)69歳までで算出

※ がん検診受診率に用いた対象者

地域保健・健康増進報告で全国統一された対象者: 40歳以上(子宮頸がん20歳以上)

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数 【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	運動習慣のある人の割合【単】	39.9%	%	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	98%
				実績	44.1	-	-	-	-	
成果	朝食を抜くことが週に3回以上ある人の割合【単】	12.2%	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	93%
				実績	10.7	-	-	-	-	
成果	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がある人の割合【単】	13.8% (令和2年度)	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	77%
				実績	13.0	-	-	-	-	
成果	食生活に関する情報の普及数【累】	3地区	地区	目標	-	-	-	-	10	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
各種健診事業等の実施により、町民の健康増進・意識向上につながっていると評価でき、今後も事業維持が必要と判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
参加者が増えるように周知してもらいたい。	
委員会評価	
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止	

【このページは空白です】

事業番号	1 - 1 - 4			担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	健康づくりの啓発						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	一人一人が健康づくりを進められる環境をつくる				款	4 衛生費
法令根拠条例等	健康増進法			項	1 保健衛生費		
個別計画	佐々町健康増進計画・佐々町食育推進計画			目	9 精神保健事業費		

1 事業内容

【行動指針】
 ・精神保健の観点から、地域で安心して暮らすことができるよう、生活や療養に関する相談を受ける体制をつくるとともに、自殺予防のために様々な分野の団体等と連携し、人材育成やネットワークを強化します。

【事業概要】
 精神保健の分野では、令和元年度に策定した佐々町自殺対策計画に基づき事業を実施しました。地域で安心して暮らすことができるよう、生活や療養に関する相談を受ける体制をつくるとともに、自殺予防のために様々な分野の団体等と連携し、人材育成やネットワークの強化を行いました。

○ゲートキーパー養成講座：R2より、年1回程度実施。
 ・R2：相談対応に関わる職員に向けて保健師の講話を実施。
 ・R3：商工会役員に向けて保健師の講話を実施。

○こころの健康づくり講演会：年1回実施。
 ・R2：保健所保健師による、ゲートキーパー養成講座を実施。
 弁護士講師による、労働・離婚・借金・消費者問題の法律の基礎知識をテーマに実施。
 ※R1・R3は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

○自殺対策協議会：R1は自殺対策計画策定協議会を実施。R2より年1回実施しています。
 ・事前に関係課に向けてヒアリングを実施し、実施内容をまとめた資料を作成。それを基に協議会を開催し、各機関の取り組み内容などを共有・実施内容の振り返りや助言をいただく機会としています。

○配布
 ・メンタルヘルスの内容を記載したリーフレット、普及啓発グッズ(ポケットティッシュ)を健診などで配布しました。

○ソーシャルクラブ：地域で暮らす精神科病院受診中の方などを対象に社会復帰を目的に実施。
 ・R1：9回 延 24人、R2：9回 延 22人、R3：10回 延 20人
 ※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止有り

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		188,671	196,817	159,058	199,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	88,000	84,000	67,000	84,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	100,671	112,817	92,058	115,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	運動習慣のある人の割合【単】	39.9%	%	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	98%
				実績	44.1	-	-	-	-	
成果	朝食を抜くことが週に3回以上ある人の割合【単】	12.2%	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	93%
				実績	10.7	-	-	-	-	
成果	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がある人の割合【単】	13.8% (令和2年度)	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	77%
				実績	13.0	-	-	-	-	
成果	食生活に関する情報の普及数【累】	3地区	地区	目標	-	-	-	-	10	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
精神保健事業において、各種講座・講演会、メンタルヘルスのリーフレットの配布などによって啓発事業が実施できていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 1 - 4			担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター	
事業名	健康づくりの啓発							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	一人一人が健康づくりを進められる環境をつくる					款	4 衛生費
法令根拠条例等	健康増進法				項	1 保健衛生費		
個別計画	佐々町健康増進計画・佐々町食育推進計画				目	10 健康増進事業費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・「佐々町健康増進計画・佐々町食育推進計画健康さざ21」に基づき、町民一人一人が自分や家族の健康に関心を向け、地域全体が健康でいきいきとなることを目指し、健康相談・健康教育を通して各自のライフステージに応じた食生活や運動に関する健康づくり活動を実践します。
- ・誰もが取り組める健康づくりを目指して、広報紙・ホームページ・SNS（LINE公式アカウント）・NBCデータ放送を活用し、全世代へ向けた食生活や運動面からの健康づくりの啓発を継続します。
- ・運動習慣が少ない世代に対して、運動の機会を提供します。

【事業概要】

町民一人ひとりが自分や家族の健康に関心を向け、地域全体が健康でいきいきとなることを目指し、健康相談・健康教育を通して各自のライフステージに応じた食生活や運動に関する健康づくり活動を実践しました。誰もが取り組める健康づくりを目指して、広報紙・ホームページを活用し、全世代へ向けた食生活や運動面からの健康づくりの啓発を行いました。

働き盛り世代健康づくりスタートプログラムでは、働き盛り世代の健康づくり支援及び運動習慣の定着化を目的として運動教室事業を実施しました。また、R3から対象年齢拡大（40歳以上～60歳未満→30歳以上～65歳未満）、期間拡大（連続した3か月→5月から3月の範囲で選択）した結果、参加者が増加し、運動の継続・運動習慣づくりにつなげることができたと考えます。

事業	R1	R2	R3
健康相談	66回 830人	46回 443人	61回 588人
健康教育	13回 200人	13回 133人	14回 132人
エクササイズ	43回 880人	46回 721人	36回 458人
町内ウォーキング	6回 30人	3回 16人	4回 14人
働き盛り世代健康づくりスタートプログラム	27人	13人	20人
その他栄養・運動保健指導等	1,907人	1,487人	1,031人

○広報掲載（R3より掲載ページの縮小のため掲載頻度を調整）

- ・体力づくりコラム：運動指導士のコラムを月1回程度掲載 ※R4年1月より偶数月に掲載。
- ・食育コラム：食育に関する内容で月1回程度掲載 ※R4年1月より偶数月に掲載。
- ・広報レシピー：毎日の食事と生活習慣病予防を目的に月1回掲載。
- ・歯科コラム：むし歯予防対策の内容で北松歯科医師会の協力により6月～12月に掲載。

○掲示物

- ・さざウォーキングコース（3コース）：コース内容を掲示するとともに健診などでの配布、公共機関へ設置しました。
- ・健康づくり通信：月ごとに掲示を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	350,000	195,000	295,000	450,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	116,000	65,000	98,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	234,000	130,000	197,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	運動習慣のある人の割合【単】	39.9%	%	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	98%
				実績	44.1	-	-	-	-	
成果	朝食を抜くことが週に3回以上ある人の割合【単】	12.2%	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	93%
				実績	10.7	-	-	-	-	
成果	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がある人の割合【単】	13.8% (令和2年度)	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	77%
				実績	13.0	-	-	-	-	
成果	食生活に関する情報の普及数【累】	3地区	地区	目標	-	-	-	-	10	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
健康づくり事業において、広報紙・ホームページ・SNS・NBCデータ放送を活用し啓発事業が実施できていると評価し、今後も事業維持が必要と判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 2 - 3		担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	感染症予防の充実					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			会計	一般会計
	戦略目標	誰もが安心できる医療体制を整える				款
法令根拠条例等	予防接種法			予算科目	項	1 保健衛生費
個別計画	-				目	13 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 " (繰越明許費)

1 事業内容

【行動指針】

・コロナ禍における「新しい生活様式」（3密を避ける、マスクの着用、手洗いの励行など）を普及し、感染症予防につなげます。

【事業概要】

新型コロナウイルスワクチン接種事業においては、新型コロナウイルスの感染予防・重症化予防のため町内医療機関の協力のもと個別接種と集団接種を併用し、ワクチン接種を実施しました。初回（1・2回目）接種については、令和4年4月下旬から高齢者施設内における接種及び町立診療所での集団接種を開始し、6月から町内医療機関での個別接種を実施しました。また、追加（3回目）接種についても町内医療機関の協力を得て、1月下旬から個別・集団接種を実施しました。接種に関する情報や接種実績については、適宜ホームページやSNS、広報紙で周知しました。また、発熱外来の対応をしている医療機関に対して不足している資材機器の提供を行いました。

新型コロナウイルス感染者の発生状況については、ホームページ・データ放送・SNSに掲載するとともに、感染状況に合わせた感染防止対策についても周知・啓発を行いました。

区分	R3
新型コロナウイルスワクチン（1回目）	10,830人
〃（2回目）	10,720人
〃（3回目）	7,043人

※ワクチン接種記録システム（VRS）：R4.4.4 時点

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	4,808,000	88,067,376	49,016,000
財源	国庫支出金	4,808,000	87,185,000	48,446,000
	県支出金			
	その他特定財源		882,255	570,000
	地方債			
	一般財源			121

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	発達専門外来設置数 【総合戦略】【累】	0か所	か所	目標	-	-	-	-	1	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	もの忘れ外来平均受診者数	9.6人/日	人	目標	-	-	-	-	10/日	135%
				実績	13.5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染防止対策として、ワクチン接種事業および感染防止周知啓発事業においては、今後も事業継続をしていく必要であると判断します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 2 - 3			担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	感染症予防の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが安心できる医療体制を整える				款	4 衛生費
法令根拠条例等	予防接種法			項		1 保健衛生費	
個別計画				目		保健衛生総務費 (繰越明許費)	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に対する知識の普及を図るため、国や県の関係機関と連携し、感染症予防のための広報・啓発活動、健康教育を実施します。 ・感染症の発症や重症化を防ぐため、各種定期予防接種や結核検診を推進します。 ・コロナ禍における「新しい生活様式」（3密を避ける、マスクの着用、手洗いの励行など）を普及し、感染症予防につなげます。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自宅待機生活支援事業 新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者として自宅待機を求められ、親族等の支援を受けることが困難な方に対して、食料品や衛生用品等を支援しました。 ・実績 20件 454,724円 ○検査費用助成事業 新型コロナウイルス感染症拡大のリスク軽減を図るため、PCR検査等の検査費用の一部を助成しました。 ・実績 137件 1,968,250円

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	2,422,974	9,129,000
財源	国庫支出金		2,122,250	8,583,000
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			300,724

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	発達専門外来設置数 【総合戦略】【累】	0か所	か所	目標	-	-	-	-	1	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	もの忘れ外来平均受診者数	9.6人/日	人	目標	-	-	-	-	10/日	135%
				実績	13.5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染防止対策として、検査費用助成事業については、今後も事業継続をしていく必要であると判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 6 - 1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	医療費の適正化対策(国民健康保険)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	国民健康保険特別会計
	戦略目標	社会保障が充実し、健康で安心した生活環境を整える				款	4 保健事業費
法令根拠条例等	佐々町国民健康保険条例			項		1 保健事業費	
個別計画	佐々町国民健康保険 第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画			目		1 特定健康診査等事業費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・特定健診、特定保健指導などを実施し、町民一人一人の健康維持・増進に向けた取組を進めることにより、生活習慣病等における医療費の適正化を図ります。

【事業概要】
 ○特定健診事業（決算額 16,597,129円）
 新型コロナウイルス感染症の影響等により、受診率が低下していることから、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため予約制とし、安全性に配慮するとともに、広報紙等で周知啓蒙を行い健診を実施しました。また、健診受診者に対し受診奨励品の交付を行い、健康行動への動機づけを図りました。
 ・若年層受診率向上対策
 自覚症状がほとんどなく進行している生活習慣病（脂質異常症・糖尿病・高血圧）などの病気に対して、早い段階で気づいてもらうため30代の国民健康保険加入者に健診の案内を送りました。
 ・高血圧重症化予防対策
 高血圧に関連した健康教育（減塩についてなど）を1回実施しました。
 ・若年層重症化疾患予防対策
 40~50歳代の要治療者に対して、個別受療勧奨事業を電話にて行いました。
 ・特定健診未受診者対策事業
 健診未受診者に対し、はがきによる受診勧奨を8月と11月に行うとともに、電話・訪問等による受診勧奨を実施しました。
 ・特定保健指導
 特定健診の受診結果をもとに、特定保健指導対象者104名の特徴に応じた行動変容を促す保健指導を実施しました。なお、水中運動教室、フィットネス教室については、新型コロナウイルス感染症の影響等により参加者はいませんでした。

○糖尿病性腎臓病重症化予防事業（決算額 3,345,728円）
 健診結果を基に糖尿病が重症化するリスクの高い方を抽出し、保健指導を行いました。

〈参考〉
 令和2年度 特定健診受診率（国民健康保険） 46.1%
 特定保健指導受診率（国民健康保険） 61.4%

2 コスト（単位：円）

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		17,829,629	17,368,040	19,942,857	22,365,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	12,644,000	13,407,000	15,155,000	16,262,000
	その他特定財源	40,850	30,000		150,000
	地方債				
	一般財源	5,144,779	3,931,040	4,787,857	5,953,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	特定健診受診率（国民健康保険）【単】	55.4%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定保健指導受診率（国民健康保険）【単】	53.7%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定健診受診率（後期高齢者医療保険）【単】	35.1%	%	目標	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
※令和3年度の受診率は令和4年10月に実績が集計されます										
活動	国民健康保険税収納率（現年度分）【単】	95.60%	%	目標	96.56	96.56	96.56	96.56	96.56	102%
				実績	98.34	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業根拠の再確認（住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性（住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性（自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか） 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・意図の達成度（評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性（意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性（意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか） 	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化（業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性（投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性（受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか） 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）

コロナ禍において予約制をとるなど、安全性に配慮しながら健診を実施することができました。次年度以降も個別保健事業（若年層における特定健診受診率向上対策、高血圧重症化予防事業、若年層における重症化予防疾病対策）に力をいれ、安全性に配慮しながら、受診率の向上に努めていきます。

評価の結果	A	業務の内容は適切である
-------	---	-------------

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 1 - 3		担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター	
事業名	糖尿病性腎臓病重症化予防事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	国民健康保険特別会計
	戦略目標	一人一人が健康づくりを進められる環境をつくる				款	4 保健事業費
法令根拠条例等	-			項	1 保健事業費		
個別計画	-			目	2 保健衛生普及費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・糖尿病が重症化するリスクの高い、未受診者や服薬中断者を住民健診の検査結果及びレセプトデータにより抽出して、医療に結びつけます。
- ・糖尿病性腎臓病で通院する患者のうち重症化するリスクの高い方に対して、医療機関と糖尿病連携手帳を活用して保健指導等を行い、人工透析など重症化への移行を防止します。

【事業概要】

糖尿病が重症化するリスクの高い、未受診者や治療中断者を住民健診の検査結果及びレセプトデータにより抽出して、医療連携に取り組みました。

また、糖尿病性腎臓病で通院する患者のうち重症化するリスクの高い方に対して、医療機関との連携のもと、糖尿病連携手帳を活用して保健指導等を行い、人工透析など重症化への移行防止に取り組みました。

R3は、指導前と指導後を比較して、全体的にHbA1cの値の改善がみられました。血圧の値については25%の人に改善がみられました。腎機能（eGFRの値）は、大幅な機能低下はなく、全体的に維持傾向でした。この結果から、保健指導の実施により、病状が大きく悪化することを防ぐことができたと考えられます。

○対象者数・指導実施回数

区分		R2		R3	
		対象者	指導回数	対象者	指導回数
国保	実	8人	26回	10人	21回
	延	13人		13人	
後期	実	7人	24回	6人	20回
	延	9人		8人	

○糖尿病性腎臓病重症化予防事業の主な実施内容

- ・指導実施予定期間を6カ月間として管理栄養士が2か月に1回程度対象者と面談し指導を実施しました。（必要に応じて電話でのサポートも実施しました。）
- ・毎回3日間の食事記録を依頼し持参してもらいました。
- ・糖尿病連携手帳に指導内容を記載し、かかりつけ医と連携・情報共有しながら指導を実施しました。
- ・評価は6カ月経過時の血液検査値のデータや次年度住民健診の結果と比較しました。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,605,993	3,101,316	3,345,728	3,602,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	2,417,300	3,040,600	3,157,000	3,556,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	188,693	60,716	188,728	46,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	健康イベント参加者数 【総合戦略】【単】	113人/年 (平成30年度)	人	目標	130	130	130	130	130	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	運動習慣のある人の割合【単】	39.9%	%	目標	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	98%
				実績	44.1	-	-	-	-	
成果	朝食を抜くことが週に3回以上ある人の割合【単】	12.2%	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	93%
				実績	10.7	-	-	-	-	
成果	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がある人の割合【単】	13.8% (令和2年度)	%	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	77%
				実績	13.0	-	-	-	-	
成果	食生活に関する情報の普及数【累】	3地区	地区	目標	-	-	-	-	10	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
糖尿病が重症化予防に係る保健指導、医療との連携が実施できたと評価し、今後も事業維持が必要と判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 6 - 1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	健康相談センター
事業名	医療費の適正化対策(後期高齢)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	後期高齢者医療特別会計
	戦略目標	社会保障が充実し、健康で安心した生活環境を整える				款	3 保健事業費
法令根拠条例等	佐々町後期高齢者医療に関する条例			項		1 保健事業費	
個別計画	-			目		1 保健事業費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・特定健診、特定保健指導などを実施し、町民一人一人の健康維持・増進に向けた取組を進めることにより、生活習慣病等における医療費の適正化を図ります。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○後期高齢者健診事業（決算額 4,511,087円） 長崎県後期高齢者医療広域連合からの受託事業として、後期高齢者に対し健診の案内を発送しました。健康診査の件数につきましては、集団447件、個別91件、合計538件となっています。</p> <p>〈参考〉 令和2年度 特定健診受診率（後期高齢者医療保険）30.6%</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		3,892,855	3,600,054	4,511,087	4,444,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	3,892,855	3,584,824	4,322,667	4,181,000
	地方債				
	一般財源	0	15,230	188,420	263,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	特定健診受診率（国民健康保険）【単】	55.4%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定保健指導受診率（国民健康保険）【単】	53.7%	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
成果	特定健診受診率（後期高齢者医療保険）【単】	35.1%	%	目標	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	-
				実績	-	-	-	-	-	
※令和3年度の受診率は令和4年10月に実績が集計されます										
活動	国民健康保険税収納率（現年度分）【単】	95.60%	%	目標	96.56	96.56	96.56	96.56	96.56	102%
				実績	98.34	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）

コロナ禍において予約制をとるなど、安全性に配慮しながら健診を実施することができました。次年度以降も安全性に配慮しながら、健診率の向上に努めていきたいと考えます。

評価の結果

A

業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 2 - ◆			担当課	多世代包括支援センター	担当班	診療所 事務班	
事業名	町立診療所サービス充実事業							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	診療所特別会計
	戦略目標	誰もが安心できる医療体制を整える					款	
法令根拠条例等	-				項			
個別計画	-				目			

1 事業内容

【行動指針】
 ・もの忘れ外来（週1回）のみとなっている町立診療所の有効活用を図るため、町民の利用ニーズや需要を勘案した専門外来を導入します。

【事業概要】
 町立診療所では、「もの忘れ外来」の診療を行い、隣接する地域包括支援センターや地域医療機関と連携し、認知症の早期発見と早期治療に努めました。広報さざR3.12月号に「診療所コラム」として、若年性認知症についての記事を掲載し、かかりつけ医または町立診療所などの専門の医療機関を早期に受診することの重要性を周知しました。
 また、住み慣れた地域で早期に療育が受けられる体制を整えるため、R4.4月から町立診療所に「小児発達専門外来」を開設するにあたり、関係機関との協議や備品等の購入を行いました。

○もの忘れ外来受診者数

区分	R1	R2	R3
診療収入	1,405千円	1,501千円	2,133千円
患者数	404人	524人	623人
うち新患	54人	57人	71人
うち再診	350人	467人	552人
開所日数	42日	46日	46日
1日あたり受診者数	9.6人	11.4人	13.5人

○広報さざ12月号 掲載コラム


診療所コラム 若年性認知症について

若年性認知症とは？
 認知症は加齢とともに発症しやすくなりますが、年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で発症した認知症を「若年性認知症」と言います。動き盛りの世代であるため、ご本人だけでなくご家族の生活への影響が大きいと考えられます。

若年性認知症の実態について
 厚生労働省が平成18年度から3年間にわたって行った調査では、全国で3.78万人と推計され、これは人口10万人あたり約48人になります。
 基礎疾患としては、脳血管性認知症が最も多く、他にアルツハイマー病、頭部外傷後遺症、アルコール性認知症など多様です。

早期発見・早期対応が大切です。
 このような状態は思い当たりませんか？
置き忘れやしまい忘れが目立つ
仕事にミスが増え、約束を忘れてしまう
期限までに処理ができなくなる
些細なことで怒りっぽくなった
仕事や家事、趣味をする意欲が減退してきた
普段使いになれた電話機やパソコン等の操作が困難になった など

認知症は脳の病気です。日常生活の中でいくつか当てはまるようでしたら、**まずはかかりつけ医に相談するか、町立診療所(物忘れ外来)や専門の医療機関の受診を検討してください。**
 ※診療日については、25ページをご覧ください。



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	8,290,203	8,614,603	12,026,562	12,250,000
財源	国庫支出金		429,000	
	県支出金		440,000	
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	8,290,203	8,614,603	11,157,562

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	発達専門外来設置数 【総合戦略】【案】	0か所	か所	目標	-	-	-	-	1	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>もの忘れ外来の受診者は年間623人（13.5人/日）と過去最多となりました。新患の予約が取りづらい日もあるため、今後は地域の医療機関との連携が課題であると考えます。 小児発達専門外来については、令和4年4月開設に向けて、長崎県こども医療福祉センターとの協議や、検査用具等の備品の購入等を行いました。県北地域の療育環境整備のため、受診前の相談体制の充実や地域住民への周知を図りたいと考えます。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
開催日等の広報周知に力を入れていただきたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	多世代包括支援センター	担当班	診療所 事務班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予 算 科 目	会計	診療所特別会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	1 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 施設管理費		
個別計画	-			目	1 一般管理費		

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

1. 維持管理経費（診療所分）

単位：円

区分	内容等	R2	R3	比較
消耗品費	管理用消耗品費	32,423	69,446	37,023
光熱水費	電気料、上下水道料	341,466	356,216	14,750
修繕料	施設修繕料	132,000	482,328	350,328
委託料	電気工作物保安業務委託、機械警備業務委託、消防設備法定点検業務委託 など	518,644	664,180	145,536
	合 計	1,024,533	1,572,170	547,637

【主な増減理由】

光熱水費は新型コロナウイルスワクチン接種業務に係る電気・水道使用量の増、委託料は空調設備点検等業務の増が要因となっている。

2. その他

- ・ R3 医事用コンピューター購入 1台 2,241,800円
- ・ R3 小児発達専門外来用備品購入（知能検査用・巧技台等）880,368円

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,032,068	1,024,533	1,572,170	2,521,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	1,032,068	1,024,533	1,572,170

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
<input type="checkbox"/> 妥当である			
<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある			
<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
		<input type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
現施設の管理は、安全に使用できるよう保守、点検を行っており、今後も維持管理に係る修繕、改修を実施していく必要があると判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (介護予防・生活支援サービス事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法			項	1	介護予防・生活支援サービス事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）			目	1	介護予防・生活支援サービス事業費	

1 事業内容

【行動指針】

要支援認定者の訪問介護と通所介護と、介護予防や生活支援を必要とする高齢者のための訪問型と通所型のサービスを行います。

【事業概要】

事業名	事業内容	R2	R3
通所型A (R2までは生きがい教室)	要支援1・2認定者及び事業対象者へ、運動器の機能向上、口腔機能の向上、認知症・閉じこもり予防等のための介護予防プログラムを実施する。	24名 延べ587名	4名 延べ204名
通所型C (個別運動教室)		19名 延べ359名	21名 278名
通所介護予防サービス (現行相当事業)	要支援1・2認定者の訪問介護予防・通所介護予防サービスが市町村の地域支援事業に移行されたことに伴う、現行相当の訪問介護予防・通所介護予防相当サービス（みなし指定事業所のサービス）を実施する。	4名 延べ19名	0名
訪問介護予防サービス (現行相当事業)		14名 延べ89名	3名 延べ3名
住民主体による介護予防・生活支援サービス事業補助金	住民主体の互助活動の促進によって高齢者の自立した日常生活を送ることを支援するボランティア団体等に対して、活動費の一部を支援する。	1団体 (佐々町元気カフェ ぶらっと) サロン利用者 延べ4,397名 生活支援利用者 実19名(延べ476回)	1団体 (佐々町元気カフェ ぶらっと) サロン利用者 延べ4,734名 生活支援利用者 実34名(延べ1,053回) 外出支援213回

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	7,235,722	5,138,928	2,028,652	4,565,000	
財源	国庫支出金	1,808,931	1,284,732	507,163	1,141,250
	県支出金	904,465	642,366	253,582	570,625
	その他特定財源	1,953,645	1,387,511	547,736	1,232,550
	地方債				
	一般財源	2,568,681	1,824,319	720,171	1,620,575

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
通所A型の利用件数は減少傾向であり、地域における受け皿（佐々町元気カフェぶらっと、いきいき百歳体操等）の体制強化によるものと判断します。地域資源と連携をしながら、サービスを必要とする方が利用できるよう体制強化を継続します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (介護予防ケアマネジメント事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法					項	1 介護予防・生活支援サービス事業費
個別計画	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）					目	2 介護予防ケアマネジメント事業費

1 事業内容

【行動指針】
 要支援認定者及び総合事業対象者へ提供されるケアマネジメントサービスを行います。高齢者の自立支援を目的として、心身の状況、そのおかれている環境、その他の状況に応じて、対象者自らの選択内容等に基づき、介護予防に向けた検討を行います。

【事業概要】

事業名	事業内容	R2	R3
要支援1・2認定者、総合事業対象者へのケアマネジメント	要支援1・2認定者、及び総合事業対象者へ、ケアプランを作成し利用後の評価を行うことで、要介護状態とならないよう支援を行う。また、要介護状態になった場合においても自立した生活が送られるよう支援する。	実82名	実79名

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	2,552,972	3,698,934	4,123,494	4,861,000	
財源	国庫支出金	638,243	924,734	1,030,874	1,215,250
	県支出金	319,122	462,367	515,437	607,625
	その他特定財源	689,302	998,712	1,113,343	1,312,470
	地方債				
	一般財源	906,305	1,313,122	1,463,840	1,725,655

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等） 要支援者・事業対象者の介護予防計画件数は微減傾向にあり、地域における受け皿（佐々町元気カフェぶらっと、いきいき百歳体操等）の体制強化によるものと判断します。今後も地域資源と連携しながら、高齢者の自立支援に向けたケアマネジメントを継続していきます。	評価の結果	A	業務の内容は適切である
---	-------	---	-------------

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (一般介護予防事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法			項	2	一般介護予防事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)			目	1	一般介護予防事業費	

1 事業内容

【行動指針】 高齢者が要介護状態等になることの予防又は要介護状態等の悪化防止を目指し、機能回復訓練等の高齢者本人へのアプローチだけでなく、地域づくり等の高齢者本人を取り巻く環境も含めたアプローチを実施します。年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進しています。令和2年度から取り組んでいる、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」とも連携し、専門職が地域へ介入できる体制を強化しながら進めています。			
【事業概要】			
事業名	事業内容	R2	R3
介護予防対象者把握事業	「地域ネットワーク情報交換会」及びもの忘れ外来等の関係機関からの情報により、要支援または要介護状態になる可能性が高い「介護予防対象者」の把握を行う。 併せて災害時の「避難行動要支援者」の把握もを行い、地区毎の避難行動要支援者名簿の整備と、対象者の個別計画を立案する。	地域ネットワーク情報交換会 4町内会 避難行動要支援者数 604名(うち、同意者数282名) 個別計画策定済の人数0名	地域ネットワーク情報交換会 26町内会 避難行動要支援者数 226名(うち、同意者数212名) 個別計画策定済の人数85名
介護予防普及啓発事業	介護予防に関する基本的な知識を普及・啓発するため、各町内会で開催されている地域デイサービスや各種団体の集まりにおいて、介護予防出前講座を開催する。	62回 延べ825名	59回 延べ333名
地域介護予防活動支援事業	週1回の活動を基本とし、介護予防効果がある体操であるいきいき百歳体操(錘を使った筋力運動)の普及・啓発を行う。 「佐々町元気カフェぷらっと」による福祉センターにおける居場所づくりの支援を行う。	いきいき百歳体操 26地区・実442名 元気カフェぷらっと 133回・延べ4,397名	いきいき百歳体操 28地区・実399名 元気カフェぷらっと 125回・延べ4,734名
介護予防ボランティアポイント事業	いきいきとしたシニア世代を目指して、ボランティア活動を通じた健康づくり、地域活動の推進を図ることを目的に、介護予防ボランティアポイントを付与する。	実39名 (通所型32名 訪問型10名)	実53名 (通所型37名 訪問型21名)
地域リハビリテーション活動支援事業	リハビリテーションに関する専門職(PT・OT・ST)等が、高齢者の有する能力を評価し改善の可能性を助言する等、地域包括支援センターと連携しながら、会議、訪問、住民運営の通いの場等の介護予防の取組を総合的に支援する。	(専門職の関与回数) 住民主体の通いの場 55回 個別訪問5回	(専門職の関与回数) 住民主体の通いの場 6回 個別訪問0回

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	7,687,294	9,022,454	1,325,072	2,773,000	
財源	国庫支出金	1,921,824	2,255,614	331,268	693,250
	県支出金	960,912	1,127,807	165,634	346,625
	その他特定財源	2,075,569	2,436,063	357,769	748,710
	地方債				
	一般財源	2,728,989	3,202,971	470,401	984,415

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>地域におけるいきいき百歳体操については、リハビリ職による地域介護予防活動の継続支援を行うことで、多様な介護予防活動の啓発を行うことで参加者の心身機能の維持向上に繋がっています。地域活動における課題としては、「後継者不足」との声も聴かれており、今後は他の事業と関連させ後継者育成における対策（リーダー会の開催、認知症施策との連携等）を検討していきます。</p> <p>佐々町元気カフェぶらっとの活動においては、生活支援のニーズが高まっており活動も広がっています。引き続き、ボランティア支援も行っていきます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 - ◆1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	いきいき百歳体操事業							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる					款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法				項	2	一般介護予防事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）				目	1	一般介護予防事業費	

1 事業内容

【行動指針】

・心身のフレイル対策及び地域交流を兼ねた「いきいき百歳体操」の推進を図り、個々人の健康づくり、地域活動の活性化を行います。

【事業概要】

福祉センターの基幹型サロンである「元気カフェ・ぶらっと」及び各地区集会所で実施する地域型サロンにより、活動を開始の際の立上げ支援や活動を継続するための運動の指導やその他の介護予防の取組みを紹介することで心身機能の維持・向上及び、社会参加を目的として実施しています。

また、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」とも連携し、令和3年度より地域包括支援センター所属の作業療法士が地域サロンをまわり、高齢者の有する能力を評価し、改善の可能性を助言するなど住民主体の通いの場等の介護予防の取組みを総合的に支援しています。

○実施団体及び参加実人数

いきいき百歳体操実施団体 28地区

いきいき百歳体操実施人数 399名

○いきいき百歳体操リーダー会

- 目的：1) 地域介護予防活動支援事業（一般介護予防事業）の一環として、各町内会の活動実施を担うリーダーが集まり、参加者の様子を共有し、活動を継続する重要性を理解する。
 2) 代表者同士が悩みや問題点を共有し、町内で一体的に行う活動として認識し問題解決に向けて考え共有する場として活用するとともに、問題解決のきっかけ作りのとなる。
 3) 今後の佐々町における介護予防活動の推進について、各町内会リーダーの意見や感想などの意見交換の場とし、介護予防活動の充実を図る。

実施内容：2回／年

(1回目) 「介護予防活動（運動・栄養・口腔・認知症予防・閉じこもり・うつ）の紹介、活動状況の意見交換」

参加者：16名

(2回目) 「介護予防のポイント説明、グループワーク（活動に関する悩み事、佐々町の介護予防の推進について）」

参加者：17名



いきいき百歳体操の様子

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	501,936	312,240	30,000	300,000
財源	国庫支出金	125,484	78,060	7,500
	県支出金	62,742	39,030	3,750
	その他特定財源	135,523	84,305	8,100
	地方債			
	一般財源	178,187	110,845	10,650

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
リハビリ職による地域介護予防活動の継続支援を行うことで、多様な介護予防活動の啓発を行うことで参加者の心身機能の維持向上に繋がっています。また、活動を運営するリーダー会を開催することで、活動継続のための課題などを抽出、地域活動を担う後継者育成が必要であるなど意見交換・共有の場となった。今後は、他の事業と関連させ後継者育成における対策（リーダー会の開催、認知症施策などの連携）を検討していきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	1 - 4 - 1			担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	介護予防ボランティアポイント事業							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる					款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法					項	2 一般介護予防事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）					目	1 一般介護予防事業費	

1 事業内容

【行動指針】

・民間事業所等と連携し、高齢者の経験を活かして、生きがいを持って働くことのできる場や子育て・生涯学習・介護等の分野で活躍できる場を発掘します。併せて、介護予防ボランティアポイント制度の活用を推進します。

【事業概要】

いきいきとしたシニア世代を目指して、ボランティア活動を通じた健康づくり、地域活動の推進を図りました。活動の場は通所型サービス（元気カフェぶらっと）、訪問型サービス（ぶらっと生活支援・外出支援）に分類され、介護予防ボランティア活動を行ったときは、介護予防ボランティア活動の時間に応じ、活動確認スタンプを介護予防ボランティア手帳に押印し、年度末の申請により評価ポイント交付金として還元しました。

○活動確認スタンプの単位
 通所型サービス 2時間1スタンプ
 訪問型サービス 30分1スタンプ
 評価ポイント交付金は、申請により評価1ポイントにつき200円に算定して交付。

○活動実績

	R2	R3
登録者数	39人	53人
活動ポイント数	2,883ポイント	4,433ポイント

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	510,000	576,000	886,600	1,488,000	
財源	国庫支出金	127,500	144,000	221,650	372,000
	県支出金	63,750	72,000	110,825	186,000
	その他特定財源	137,700	155,520	239,382	401,760
	地方債				
	一般財源	181,050	204,480	314,743	528,240

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
公的サービスのみならず住民同士の支え合い活動による通所・訪問サービスにより利用者の心身面の維持向上へと繋がっています。また、制度の狭間にある方々を支えるサービスとしては需要が高まることが予想され、担い手の充実を図る為にも事業の継続が必要であると判断します。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 - 3		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	元気カフェ・ぶらっと支援事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法					項	2 一般介護予防事業費
個別計画	第8期介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）					目	1 一般介護予防事業費

1 事業内容

【行動指針】

・地域づくり協議会のもと立ち上がった「元気カフェ・ぶらっと」におけるサロン活動や生活支援活動の発展的継続を支援します。

【事業概要】

高齢者の自立した日常生活を支援するボランティア団体「元気カフェ・ぶらっと」によるサロン活動や生活支援の発展に向けて継続的支援を行いました。また、活動の中で佐々町における介護予防の推進と住民同士の互助活動の充実を図りました。

区分		R2	R3
サロン	稼働日数	133日	125日
	利用者(延)	4,397人	4,734人
	稼働スタッフ	35人	37人
生活支援	利用者(延)	476人	1,053人
	利用者(実)	19人	34人
	稼働スタッフ	15人	21人
外出支援	総数		213回
	内訳	社会福祉協議会車両貸与による支援	83回
		ぶらっとスタッフ私用車による支援	130回

※外出支援は令和3年度～開始



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	240,000	303,900	450,000
財源	国庫支出金		60,000	75,975	112,500
	県支出金		30,000	37,988	56,250
	その他特定財源		64,800	82,053	121,500
	地方債				
	一般財源		85,200	107,884	159,750

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
「元気カフェぶらっと」による通所・訪問サービス利用者数は増加しており今後ニーズも高まる可能性があります。佐々町における介護予防の取組み及び住民同士の支え合い活動を推進し、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持って生活を送るために、団体の活動継続は必要不可欠であり、団体への支援も必要であると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (介護予防・高齢者保健事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法					項	2 一般介護予防事業費
個別計画	第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)					目	2 介護予防・高齢者保健事業費

1 事業内容

【行動指針】
 長崎県後期高齢者医療広域連合からの委託事業として実施します。
 高齢者の身体的・精神的・社会的にわたる多様な健康課題に対して包括的に介入し、保健事業と介護予防を切れ目なく一体的に取り組み、健康寿命の延伸を目指します。健康寿命の延伸には、高齢者が各々の生きがいや役割を持ち、「こうありたい」と願う生活を叶えるため、自身で健康を維持する役割を持ち自立した生活を送ることが必要であり、そのための自立支援を行います。
 大きな2つの柱として、「個別的支援(ハイリスクアプローチ)」と「通いの場等への支援(ポピュレーションアプローチ)」に取り組みます。

【事業概要】

事業名	事業内容	R2	R3
企画・調整役をコーディネーターする医療専門職の配置	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、高齢者の個別的支援と通いの場等への積極的な介入を図る。関係部署と連携しながら、事業全体の企画・調整をするために医療専門職を配置する。	正規職員 1名配置	正規職員 1名配置
専門職の個別訪問・地域活動訪問への活用	専門職(管理栄養士・薬剤師等)が、高齢者の有する能力を評価し改善の可能性を助言する等、健康相談センター・地域包括支援センターと連携しながら、個別訪問・住民主体の通いの場等の介護予防の取組を総合的に支援する。	住民主体の通いの場 4回 個別訪問16回	住民主体の通いの場 45回 個別訪問112回
介護予防講演会	介護予防に関する基本的な知識を普及・啓発するため、有識者等による講演会及び相談会を開催する。(家族介護教室と合同で実施)	2回 延べ81名	2回 延べ60名

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	0	6,633,284	9,561,736	10,603,000	
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源		6,633,284	9,561,736	10,603,000
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等） コロナ禍の影響にて、通いの場支援等において計画通りに実施できない地区もありましたが、個別支援については予定通りの実施ができました。健康相談センターの管理栄養士、地域包括支援センターの作業療法士・保健師、その他薬剤師等の専門職と連携しながらの介入を図ることができており、「一般介護予防事業」との連携のもと今後も継続して実施していきます。	評価の結果	A	業務の内容は適切である
---	-------	---	-------------

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 - 2			担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	地域づくり講演会							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち				予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる					款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法				項	2	一般介護予防事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)				目	2	介護予防・高齢者保健事業費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・地域づくりや介護予防等に関する講演会を開催することにより、地域全体における意識の向上を図り、高齢者の活躍しやすい地域づくりを行います。

【事業概要】
 地域住民・行政・専門職が地域の現状や課題を共有し学び合うことができる場として、介護予防・健康づくり・医療介護連携等をテーマとした講演会を実施しています。令和2年度から「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」や「西九州させば広域都市圏連携事業(在宅医療・介護連携推進)」等の事業と連携しながら実施しています。R3は2回開催し、延べ合計60名の参加がありました。

- ①R3. 8. 8 佐世保市総合医療センター 腎臓内科 太田 祐樹 医師 講演会
 地域交流センターにて
 「慢性腎臓病(CKD)ってどんな病気？」 参加者42名
- ②R3. 10. 17 西九州させば広域都市圏 在宅医療・介護連携推進事業
 看護師・僧侶 玉置 妙憂 氏 講演会(Web開催)
 健康相談センター 視聴覚室にて (Web講演会の視聴会場として)
 「地域で看取り看取られる ～心穏やかに生き逝くために～」 参加者18名



※①「慢性腎臓病(CKD)ってどんな病気？」講演会の様子

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	0	0	30,000	100,000	
財源	国庫支出金		0	25,000	
	県支出金		0	12,500	
	その他特定財源		30,000	27,000	
	地方債				
	一般財源			0	35,500

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【果】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぷらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【果】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
平成21年から「介護者の会」と共催で年2回開催している講演会であり、地域住民・行政・専門職が互いに学ぶことができる場として継続して取り組んでいます。介護者支援、介護予防、健康づくり、医療介護連携等のテーマで取り組んでおり、今後も様々な事業や専門職と連携しながら継続していきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (包括的支援事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法			項	3	包括的支援事業費・任意事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)			目	1	包括的支援事業費	

1 事業内容

【行動指針】

地域のケアマネジメントを総合的に行うために、介護予防ケアマネジメント・総合相談対応・権利擁護事業・在宅医療介護連携推進・認知症施策・ケアマネジメント支援等を包括的に行います。

【事業概要】

	事業名	事業内容	R2	R3
包括支援センター運営	総合相談支援業務	支援が必要な高齢者を把握し、福祉サービス等の適切な支援、継続的な見守りにつなげるために、初期段階の相談対応や継続的・専門的な相談支援を行う。 地区担当を配置し、民生委員をはじめとした地域関係者と連携した支援体制を強化する。	延べ1,650件 地区担当 8人	延べ1,658件 地区担当 8人
	権利擁護業務 (虐待対応等)	高齢者の人権や財産を守り、尊厳ある生活を維持するため、各種サービスや関係機関とのパイプ役として、成年後見制度の活用や高齢者虐待等の困難事例への対応等を行う。	ケース対応3件	ケース対応7件
	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	主治医やケアマネージャー、サービス事業所等、多職種や関係機関の連携による包括的ケアマネジメントを実現するための支援に取り組む。 初回プランの確認および利用者・介護スタッフの心配ごとや困りごとを聴き、介護サービスの質の向上につながるよう、個別支援や研修等を行う。	ケアマネジメント支援 157件	ケアマネジメント支援 159件 来所相談支援10回 施設訪問支援16回
社会保障充実分	在宅医療・介護連携の推進	地域医療および在宅支援を進めるため、関係事業所等各方面への働きかけを行い、在宅医療・介護連携の推進を図る。医療・介護関係者の定例会合として「地域支援会議」を行う。	定例会議 11回/年 研修会5回	定例会議 10回/年 研修会 4回
	生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進する。	正規職員 1名	正規職員 1名
	認知症総合支援事業	認知症の人やそのご家族が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る。 ①認知症地域支援推進員の配置 ②認知症サポーター養成講座 ③認知症の人の家族に対する支援	①会計年度任用職員 1名配置 ②講座回数0回	①会計年度任用職員 1名配置 ②講座回数3回 新規サポーター427名 ③男性介護者の集い 4回 延べ24名
	地域ケア会議推進事業	専門職を交えて保険者とサービス事業所間の合意形成を図り、個々の高齢者の状況や変化に応じた自立支援型ケアマネジメントと地域包括ケアの方向性を見出すため、地域ケア会議を開催する。	11回開催 34ケース 専門職関与延べ人数 41名	10回開催 25ケース 専門職関与延べ人数 30名

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	20,591,302	17,431,629	20,425,375	21,529,000	
財源	国庫支出金	5,147,826	4,357,907	5,106,344	5,382,250
	県支出金	2,573,913	2,178,954	2,553,172	2,691,125
	その他特定財源	5,559,652	4,706,540	5,514,851	5,812,830
	地方債				
	一般財源	7,309,912	6,188,228	7,251,008	7,642,795

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
認知症サポーター養成講座は、コロナ禍影響にて実施できなかった時期もあったが、R3年度は対策をとりながら、中学校で開催する等若年層への啓発を行いました。 また、R3年度に新設した介護サービス相談員事業では、作業療法士と主任介護支援専門員（認知症地域支援推進員を兼務）が介護事業所を巡回し、事業所との意見交換や必要時の助言を行いながら、介護事業所と利用者の架け橋となる取組を行いました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 8 - 3			担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター
事業名	避難行動要支援者の避難対策						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算 科目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	災害対策基本法			項		3 包括的支援事業費	
個別計画	佐々町地域防災計画			目		1 包括的支援事業費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・避難行動要支援者名簿の整理・作成により、高齢者、障がい者等の避難行動要支援者情報を把握し、適切な避難支援を行います。
- ・避難行動要支援者の対象基準を見直し、助けを必要とする要配慮者を把握します。
- ・要配慮者施設を地域防災計画に定め、要配慮者施設に「避難確保計画」の作成と避難訓練の実施を依頼します。

【事業概要】

- ・地域ネットワーク情報交換会
地域関係者（町内会長、民生委員、福祉協力員、老人会長、等）と地域包括支援センター・社会福祉協議会が連携し、各地区年1回の情報交換会を開催しています。介護予防の取組・支え合い活動の取組・地域の強みや課題等の確認を行うと同時に、避難行動要支援者・要配慮者の確認を行い、町内会毎の避難行動要支援者の名簿整理と対象者の個別計画作成に取り組みました。
コロナ禍の影響にてR1～R2は開催できない地区がありましたが、R3は感染予防対策をとりながら26地区で開催しました。
- ・避難行動要支援者数 226名
- ・名簿情報の提供に同意した避難行動要支援者数 212名
- ・避難行動要支援者のうち、情報提供に係る同意者率 93.8%
- ・避難行動要支援者のうち、個別計画策定済の人数 85名

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	33%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）

H23より取り組んでいる地域ネットワーク情報交換会を、R1より避難行動要支援者の把握・名簿整理・個別計画策定の場として活用しています。コロナ禍で進まなかった時期もありましたが、R3より感染予防対策をとりながら進めています。R4より、避難行動要支援者・要配慮者を地図上に落とし込むマッピング作業に取り組む予定としており、地域における見守り体制の強化につなげていきます。また、今後は防災担当部署（総務課）等との連携も図り、組織横断的な見守り体制の構築を目指します。

評価の結果

A

業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (介護予防・生活支援サービス事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予 算 科 目	会計	介護保険特別会計 (保険事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	5 地域支援事業費
法令根拠条例等	介護保険法			項	3 地域包括的支援事業費・任意事業費		
個別計画	第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)			目	2 任意事業費		

1 事業内容

【行動指針】
任意事業は、地域の実情に応じて地域支援事業の理念にかなった事業を、市町村の発想や工夫した形態にて実施しています。

【事業概要】

事業名	事業内容	R2	R3
介護給付費適正化事業	要支援・要介護認定を受けてサービスを利用している方の「給付費通知」を年4回送付し、サービス利用等の確認を行う。初回プランの全件点検を実施する。	4回通知 プラン点検 157件	4回通知 プラン点検 159件
家族介護支援事業	要介護高齢者を介護する家族等を対象とした介護教室を開催し、介護者同士が意見交換やリフレッシュできる場を設ける等、介護者支援を行う。		男性介護者の集い 4回 延べ24名
成年後見制度利用支援事業	生活保護受給者及び資産・収入の状況から生活保護受給者に準じると認められる者に対する裁判請求費用及び成年後見人等の報酬助成を行う。	2名	1名

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算	
事業費	447,000	995,934	425,200	1,549,000	
財源	国庫支出金	111,750	248,984	106,300	387,250
	県支出金	55,875	124,492	53,150	193,625
	その他特定財源	120,690	268,902	114,804	418,230
	地方債				
	一般財源	158,685	353,557	150,946	549,895

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
家族介護交流事業はコロナ禍影響にてここ数年は実施できていませんが、佐々町社協主催の「介護者の会」との連携や、R3年度より取り組んでいる「男性介護者ケアの集い」との連携にて、介護者が孤立することなく支援につながるよう啓発・取組を進めています。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	1 - 4 -		担当課	多世代包括支援センター	担当班	地域包括支援センター	
事業名	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる (介護予防ケアマネジメント事業)						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「医療・福祉」が充実したやさしいまち			予算科目	会計	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)
	戦略目標	高齢者が自立した生活を送れる仕組みをつくる				款	1 事業費
法令根拠条例等	介護保険法			項		1 包括的支援事業費	
個別計画	第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)			目		1 介護予防ケアマネジメント事業費	

1 事業内容

【行動指針】

要支援認定者へ提供されるケアマネジメントを行い、高齢者の自立支援を目的として、心身の状況、環境、その他の状況に応じて、対象者自らの選択内容等に基づき介護予防に向けた検討を行います。

【事業概要】

事業名	事業内容	R2	R3
要支援1・2認定者へのケアマネジメント	要支援1・2認定者へ、ケアプランを作成し利用後の評価を行うことで、要介護状態とならないよう支援を行う。	延べ575件	延べ456件

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		4,255,712	2,740,587	3,071,079	2,437,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	4,255,712	2,740,587	3,071,079	2,437,000
	地方債				
	一般財源	0	0	0	0

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	いきいき百歳体操に集う高齢者の割合【総合戦略】【単】	12.0%	%	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	83%
				実績	10.0	-	-	-	-	
活動	地域まるごとサロン実施町内会数【総合戦略】【累】	0地区	地区	目標	-	-	-	-	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	地域まるごとサロン参加者数【総合戦略】【単】	0人	人	目標	150	150	150	150	150	17%
				実績	25	-	-	-	-	
成果	元気カフェ・ぶらっと参加者数【単】	延5,000人/年	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	95%
				実績	4734	-	-	-	-	
成果	介護予防ボランティアポイント制度登録者数【累】	50人	人	目標	-	-	-	-	70	76%
				実績	53	-	-	-	-	
成果	介護認定率【単】	13.8%	%	目標	14.5	14.5	14.5	14.5	14.5	108%
				実績	13.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
要支援認定者の介護予防計画件数は微減傾向にあり、地域における受け皿（佐々町元気カフェぶらっと、いきいき百歳体操等）の体制強化によるものと判断します。今後も地域資源と連携しながら、高齢者の自立支援に向けたケアマネジメントを継続していきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 4 - 1		担当課	企画商工課	担当班	企画班		
事業名	まちなかにふさわしい都市機能の強化							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	まちの中心にふさわしい機能の充実を図る				款		
法令根拠条例等	-			項				
個別計画	佐々町都市計画マスタープラン、佐々町公共施設等総合管理計画			目				

1 事業内容

【行動指針】

・都市計画マスタープランや立地適正化計画、公共施設等総合管理計画に基づき、まちなかやIC周辺の適切な規制誘導や公共施設の再編等を実施し、都市機能の強化に取り組みます。

【事業概要】

○都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定事業（決算額 5,622,000円）【再掲】

今後の社会・人口構造の変化に対応した将来的なまちづくりや土地利用に関する方針を定めるため、都市計画マスタープランを策定しました。

○公共施設等総合管理計画改訂事業（決算額 8,580,000円）

策定から5年が経過し、変化してきた社会的要請へ対応するとともに、上位計画である総合計画が改訂されたことを踏まえ、公共施設等総合管理計画の改訂を行いました。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	10,240,000	14,202,000	0
財源	国庫支出金		5,120,000	1,107,000	
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源		5,120,000	13,095,000	

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	まちなかエリアの人口【累】	2,558人	人	目標	-	-	-	-	2,600	99.5%
				実績	2,588	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
都市計画マスタープランが策定されたことにより、都市づくりにおける方針、方向性がより明確になりました。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 1 - 2		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	行政情報の迅速な発信						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	情報を適切に管理し、積極的な公開・共有化を進める				款	2 企画費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	5 広報防災費		

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災、観光、教育、福祉、子育てなどの行政情報や町民生活に関する様々な情報について、広報紙・ホームページ・SNSなどの広報媒体を活用して、迅速な情報発信を行います。 ・ 防災行政無線について、難聴地区などへの戸別受信機の貸し出しや住宅地の状況を踏まえた音達エリアの拡大など、総合防災行政システムの強化を図ります。 <p>【事業概要】</p> <p>○ SNSの運用（決算額：158,400円） 令和3年度においては、前年度に引き続きLINEによる情報発信強化及び広報紙による情報発信に努めました。 ・ 広報紙によるLINE登録案内回数：4回 ・ LINEでの情報発信回数（令和3年度）：317件/年 ・ LINE登録者数（R4.3.31時点）：1,519人（R4.3.31時点） ・ YouTube登録者数：52人</p> <p>○ 広報紙の発行（決算額：6,187,928円） 広報紙作成において令和3年度に公募型プロポーザルにより、新規業者と新たに契約を締結、住民が読みやすく興味を持っていただけるよう冊子の一新に取り組みました。</p> <p>○ ホームページの運用（決算額：396,000円） 防災・観光・教育・福祉・子育てなどの行政情報や町民生活に関するさまざまな情報をホームページで発信し、必要な情報を適時入手できるように努めました。 ・ ホームページアクセス件数（令和3年度）：563,424件/年</p> <p>○ NBCデータ放送の運用（決算額：528,000円） NBC（長崎放送）のデータ放送を活用して、各種行政情報等の発信を行いました。</p> <p>○ 防災行政無線の運用（決算額：3,577,180円） 防災行政無線を活用して、さまざまな行政情報の発信を行いました。また、メール配信システムとの連動により、放送内容のメール配信を行いました。 ・ 広報紙による防災行政無線のメール配信案内回数：4回 ・ メール配信登録件数：649件（R4.3.31時点）</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	10,188,229	9,729,653	11,584,002	19,261,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	10,188,229	9,729,653	11,584,002

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町ホームページアクセス件数【単】	340,639件/年	件	目標	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	125%
				実績	563,424	-	-	-	-	
成果	SNS（LINE）フォロワー数【累】	-	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,519	-	-	-	-	
成果	メール配信登録件数【累】	464件	件	目標	-	-	-	-	700	93%
				実績	649	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか) 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか) 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか) 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか) 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか) 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか) 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか) 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
公式LINEの導入により、迅速で広範囲の人に情報発信できており、併せてホームページのアクセス数も増えてきています。しかし、LINEにおいては登録している年代層に偏りがあるため、広範囲の年代にわたって情報伝達ができる仕組みの検討が必要と考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 2 - ◆2			担当課	企画商工課	担当班	企画班
事業名	地域公共交通事業者支援事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすま			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを確保する				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項		1 総務管理費	
個別計画	松浦鉄道施設整備事業計画			目		6 企画費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・地域公共交通の基幹となる松浦鉄道の運営を支援し、移動しやすいまちの実現と地域の交通手段の確保に取り組みます。

【事業概要】
 ○松浦鉄道の安全性や利便性、サービスの向上を図るための施設整備事業に対して補助しました。
 (決算額：7,129,000円)

主な施設整備事業
 ・レール重量化
 ・マクラギ交換
 ・分岐器重量化
 ・法面保護(固定)
 ・橋梁整備
 ・重要部検査 等々

○昨年度に続き、松浦鉄道の沿線自治体において協調して新型コロナウイルス感染症の影響に対する持続化支援を行うことが決定され、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し支援しました。
 (決算額：4,390,000円)

松浦鉄道利用人数		対前年比		対前年比	
	全体利用者数 (有田駅～佐世保駅)			佐々町内利用者数 (神田駅～小浦駅)	
R元年度	5,546,686人	97.6%		499,738人	98.6%
R2年度	4,506,728人	81.3%		408,432人	81.7%
R3年度	4,700,152人	104.3%		427,586人	104.7%

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		10,798,000	16,521,000	11,519,000	7,687,000
財源	国庫支出金		4,900,000	2,738,000	
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	10,798,000	11,621,000	8,781,000	7,687,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	松浦鉄道1日乗降客数（町内4駅） 【総合戦略】【単】	1,369人/日	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	86%
				実績	1,171	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		
令和3年度においては、新型コロナウイルスの影響から鉄道利用者が減少しており、目標達成には至っていません。	評価の結果	A 業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 見直し 廃止

事業番号	5 - 4 - ◆	担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	地方回帰と産業構造の変化を捉えた 大規模人材選流プロジェクト (移住推進事業)					
総合計画 上の位置 づけ	基本目標 「産業・観光」でにぎわうまち	予算 科目	会計	一般会計		
	戦略目標 出会いから結婚、移住・定住を応援し、多くの人で賑わうまちをつくる		款	2	総務費	
法令根拠条例等	-		項	1	総務管理費	
個別計画	西九州させば広域都市圏ビジョン		目	6	企画費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・ながさき移住サポートセンターや西九州させば移住サポートプラザと連携し、豊かな自然や良好な子育て環境など佐々町の魅力を全国に情報発信するとともに、移住検討段階から佐々町への定住に至るまでの総合的な支援体制を整えます。

【事業概要】
 ①ながさき移住サポートセンターとの連携により、令和3年度も相談会の実施はされましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での相談会がなかなか開催できず、主にオンラインでの相談会となりました。

令和3年度活動実績
 オンライン移住相談会：2回 相談件数：2件
 ながさき暮らし移住相談会 in東京：1回 相談件数：2件

②西九州させば移住サポートプラザと連携して周遊型ワーケーションガイドブックの製作を行いました。また、移住促進に向けた情報発信として、YouTube番組制作へ参加し佐々町の魅力発信を行いました。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		484,295	451,950	584,463	858,000
財源	国庫支出金	134,000	114,000	112,000	149,000
	県支出金				
	その他特定財源	111,860		61,419	152,500
	地方債				
	一般財源	238,435	337,950	411,044	556,500

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ながさき移住サポートセンターを 経由した移住者数【総合戦略】 【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
今年度から相談会への参加が予約制となっており、佐々町への予約が他市町と比べ少ないので、佐々町へ興味を持っていただけるよう、PRなどの発信強化に努めたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
移住相談の武器として、空き家バンクの作成、病院の多さなどの住みやすさの情報発信を進めていただきたい。	
委員会評価	
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止	

事業番号	5 - 4 - ◆			担当課	企画商工課	担当班	企画班 商工観光班
事業名	地方回帰と産業構造の変化を捉えた大規模人材還流プロジェクト（移住推進事業）（地方創生推進交付金事業）						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	出会いから結婚、移住・定住を応援し、多くの人で賑わうまちをつくる				款	2 総務費 他
法令根拠条例等	-			項		1 総務管理費 他	
個別計画	-			目		6 企画費 他	

1 事業内容

【行動指針】
 ・ながさき移住サポートセンターや西九州させほ移住サポートプラザと連携し、豊かな自然や良好な子育て環境など佐々町の魅力を全国に情報発信するとともに、移住検討段階から佐々町への定住に至るまでの総合的な支援体制を整えます。

【事業概要】
 ●移住推進事業
 人口減少が進む長崎県への移住対策として、平成28年4月に長崎県と県内市町が協働で「ながさき移住サポートセンター」を設立。地方創生推進交付金（補助率1/2）を受け、運営負担金を支出しました。
 【歳出】令和3年度サポートセンター負担金 225,625円
 【歳入】地方創生推進交付金 112,000円

<ながさき移住サポートセンター実績>
 相談件数 4,093件（対前年比/186件増）
 移住実績 230組 456名（対前年比/7組増 26名増）
 取組内容 就職支援、移住相談会開催、「ながさき移住倶楽部」運営、情報発信など

<令和3年度佐々町活動>
 オンライン移住相談会：2回 相談件数：2件
 ながさき暮らし移住相談会 in東京：1回 相談件数：2件



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		269,375	228,950	225,625	300,000
財源	国庫支出金	134,000	114,000	112,000	149,000
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	135,375	114,950	113,625	151,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ながさき移住サポートセンターを 経由した移住者数【総合戦略】 【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
移住推進においては、引続き県と協力し、相談会や情報発信など移住促進に向けた取組を行っていく。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
移住相談の武器として、空き家バンクの作成、病院の多さなどの住みやすさの情報発信を進めていただきたい。
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	5 - 4 - 2	担当課	企画商工課	担当班	企画班
事業名	若者の出会いと交流の場の提供				
総合計画上の位置づけ	基本目標 「産業・観光」でにぎわうまち 戦略目標 出会いから結婚、移住・定住を応援し、多くの人で賑わうまちをつくる	予算科目	会計	一般会計	
法令根拠条例等	-		款	2	総務費
個別計画	西九州させほ広域都市圏ビジョン		項	1	総務管理費
			目	6	企画費

1 事業内容

【行動指針】

・長崎県婚活サポートセンターの事業活用や西九州させほ広域都市圏（婚活サポート事業）との連携を通して、若者の出会いや交流の場の提供など婚活支援に取り組みます。

【事業概要】

①令和3年度においては、西九州させほ広域都市圏連携により婚活イベントセミナーを開催しました。
参加市町：2市3町（佐世保市、西海市、波佐見町、小値賀町、佐々町）

※蕎麦打ち体験セミナー
佐々町からも1名の参加がありました。

★おいしい!★たのしい!
蕎麦打ち体験セミナー

開催日 : 2021年9月23日(木・祝) 13:30~16:30
 場所 : 山澄地区コミュニティセンター 調理室
 講師 : 山口 宗平 (元祖 天空房「山水」を経営)
 対象者・定員 : 20歳~45歳までの独身男女 各5名(計10名)
*当日は、同時にセミナー風景を撮影し、動画共有サイトYouTubeに投稿しますので、その旨了承いただける方に限ります。

参加費 : 1,000円(材料費、保険代含む)
 持ち物 : エプロン、タオル、マスク等
 協賛: 佐世保ベース
 申込方法 : 右記申込用web入力フォームから
 又は、させほ市民活動交流プラザへ
 電話による事前申し込み
 TEL/FAX : 0956-88-7849

締め切り : 9月14日(火)

<スケジュール>
 13:00 開場
 13:30~ そば打ち、会食
 16:30 解散

イベント当日は、プライバシーに配慮しお祝いニックネームで呼びかけます。その後のメールアドレス交換などは自己責任となります。

<新型コロナウイルス対策>
 ・当日の検温を実施(スタッフ、参加者)
 ・マスクの着用
 ・アルコール消毒の徹底
 ・室内の換気

講師プロフィール: 山口宗平氏
 ■ 1983年長崎県生まれ
 ■ 2002年佐世保北高等学校卒業
 ■ 海上自衛隊で15年間勤務
 現在は、元祖 天空房「山水」を経営。ミシュランガイド長崎2019「ミシュランプレート」を獲得。
 毎日自家製粉、挽き立て、打立て、茹で立てにこだわり、本来のそばの味を味わっていただくため、「つなぎは水と空気だけ」というキーンチフリーズで、まぎりはのない上流そばを打つ。その他、結婚相談、人材育成等の各種カウンセリング、執筆活動を行い佐世保市を中心に活躍中。
 画像はイメージです。

②県の婚活サポート官民連携事業に伴い、結婚の機運醸成に繋がるよう、婚活のみでなく子育てに関連した分野からサポートが行えるようなコーディネーターの検討を行い、一人打診を行いました。
また、お見合いシステムの登録者増加を促すため、広報紙での案内を行いました。

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	9,000	11,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			9,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ながさき移住サポートセンターを 経由した移住者数【総合戦略】 【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	新婚世帯数【累】	50件/年	件	目標	-	-	-	-	250/5年	15%
				実績	37	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和4年度には長崎県婚活サポートセンターと連携した婚活システム（お見合いシステム）を導入し、本町でも登録・閲覧ができるようにすることで、佐々町民の結婚機運を高めていこうと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 4 - ◆		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	まちづくり応援事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	自立した町民活動を支援し、町政への町民参画機会を広げ、協働によるまちづくりを進める				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	11 ふるさと納税事業		

1 事業内容

【行動指針】

・町内外を問わず、佐々町に思いを寄せる人たちからの応援窓口として、ふるさと納税の魅力強化、まちづくり提案箱の活用、企業版ふるさと納税の導入を実施します。

【事業概要】

○令和3年度のふるさと納税の決算額は、延べ786件、13,929,000円（対前年度比約155%）でした。そこで、さらなる新規返礼品の増加や新規事業者の参入促進に向け、運営委託業者の見直しを行いました。また、寄附者目線に立って、ユーザー心理を掴むようなポータルサイトの作り込み（リニューアル）を行いました。

（寄附実績）

平成30年度	寄附件数：3,023件	寄附額：134,885,000円	返礼品登録数：228件
令和元年度	寄附件数：663件	寄附額：23,002,500円	返礼品登録数：160件
令和2年度	寄附件数：411件	寄附額：8,990,000円	返礼品登録数：160件
令和3年度	寄附件数：786件	寄附額：13,929,000円	返礼品登録数：162件

○令和3年度に企業版ふるさと納税を導入し、令和3年12月から募集を開始しました。



佐々三茶三葉

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	31,447,329	4,952,368	6,949,052	12,131,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	31,447,329	4,952,368	6,949,052

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ふるさと納税件数【総合戦略】 【単】	663件/年	件	目標	800/年	800/年	800/年	800/年	800/年	98%
				実績	786	-	-	-	-	
成果	企業版ふるさと納税件数 【総合戦略】【単】	-	件	目標	-	2件	2件	2件	2件	0%
				実績	0	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
<input type="checkbox"/> 検討の余地がある			
<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
<input type="checkbox"/> 適切である			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
ふるさと納税の寄附額は、対前年度比150%と増加しましたが、伸び悩んでいることには変わりはないので、返礼品の新規開拓や、寄附サイトの更新、リピーター確保などの工夫を凝らし寄附額増加につなげたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	7 - 4 - 3		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	大学等との連携による協働のまちづくりの推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計、診療所特会
	戦略目標	自立した町民活動を支援し、町政への町民参画機会を広げ、協働によるまちづくりを進める				款	4 衛生費 他
法令根拠条例等				項	1 保健衛生費 他		
個別計画	西九州させぼ広域都市圏ビジョン			目	8 歯科保健事業費 他		

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市に立地する長崎県立大学佐世保校や長崎大学等の高等教育機関と連携し、地域公開講座や各種交流事業、研究事業等の企画・実践に取り組みます。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度においては、大学と5件の連携事業を行いました。 (連携事業名) <ul style="list-style-type: none"> ・動脈硬化を中心とした生活習慣病関連因子の調査・研究 ・療育相談事業 ・5歳児健診診査 ・医療専門相談 ・町立診療所への診療応援事業 ○「行政の実務と実践」として、長崎県立大学佐世保校で町職員による講義を行いました。 令和3年度講義テーマ：佐々町の防災政策について ○長崎県立大学佐世保校インターンシップ受入を行いました。 総務課：2名 議会事務局：4名 ○大学等との新たな連携協定には至っていません。
--

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費				9,540,000	11,798,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源			9,540,000	11,798,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ふるさと納税件数【総合戦略】 【単】	663件/年	件	目標	800/年	800/年	800/年	800/年	800/年	98%
				実績	786	-	-	-	-	
成果	企業版ふるさと納税件数 【総合戦略】【単】	-	件	目標	-	2件	2件	2件	2件	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	協働のまちづくり事業数【単】	0件/年	件	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
活動	大学との各種連携事業【単】	14件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	25%
				実績	5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
引き続き、4年度以降も大学との連携を行っていく予定であり、4年度には2件の新規連携を予定しています。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 4 - 2		担当課	企画商工課	担当班	企画班		
事業名	安全で快適な都市空間の創出							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	まちの中心にふさわしい機能の充実を図る				款		
法令根拠条例等	-			項				
個別計画	佐々町都市計画マスタープラン、佐々町公共施設等総合管理計画			目				

1 事業内容

【行動指針】

・横断歩道の設置や歩道の段差解消、また、公共交通機関や公共施設のバリアフリー化など、安全で快適な都市空間の創出に取り組みます。

【事業概要】

○令和3年度、2022年～2041年の20年間の計画期間における都市計画の方針を定めた都市計画マスタープランを策定しました。

○策定から5年が経過し、変化してきた社会的要請へ対応するとともに、上位計画である総合計画が改訂されたことを踏まえ、公共施設等総合管理計画の改訂を行いました。具体的な取組の検討には至っていません。



小浦駅前公園の車椅子用スロープ

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	まちなかエリアの人口【累】	2,558人	人	目標	-	-	-	-	2,600	99.5%
				実績	2,588	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
3年度は具体的な取組および検討に至っていませんが、住民ニーズを理解・把握し、住民に安全で快適な生活を提供できるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 2 - 4		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	企業誘致受入適地の確保						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	2 総務費
法令根拠条例等	-				項	1 総務管理費	
個別計画	-				目	6 企画費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致受け入れのための適地確保対策として、小浦南部地区町有地周辺の用地確保を行います。 <p>【事業概要】</p> <p>令和3年度においては、登記簿を取得し、所有者の調査等を行いました。用地買収には至りませんでした。</p> <p>※現在の状況</p> <p>購入済用地：64筆 212,238㎡</p> <p>未購入用地：14筆 45,187㎡</p>

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	6,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				6,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	起業創業相談件数【総合戦略】 【単】	11件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	15%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	創業支援融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	1件	件	目標	10	10	10	10	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	町の事業者数【総合戦略】【累】	548件	件	目標	-	-	-	-	600	93%
				実績	557	-	-	-	-	
成果	中小企業振興融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	12件	件	目標	20	20	20	20	20	10%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	空き店舗の再生事業数 【総合戦略】【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	1
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	C	課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要
<p>現在、用地買収が停滞しています。また、誘致の手段・方向性等についても検討を進めていく必要がありますが、当面は用地買収に注力したいと考えます。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 4 - 1		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	首都圏からの移住者に対する支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	出会いから結婚、移住・定住を応援し、多くの人で賑わうまちをつくる				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項		1 総務管理費	
個別計画	-			目	6 企画費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・東京圏から町内へ移住し、長崎県が指定する企業に就職された方や創業された方を対象として、移住支援金を支給します。</p> <p>【事業概要】 <地域産業雇用創出チャレンジ支援事業> ○令和3年度にはテレワークによる移住および関係人口の要件を追加し、条件拡充を行ったが、申請世帯はありませんでした。</p> <p>(要件) ① 住民票を移す直前の10年間のうち、通算5年以上東京23区内に在住または通勤者であったこと ② 住民票を移す直前に連続して1年以上、東京23区内に在住または通勤者であったこと ③ 佐々町に5年以上継続して居住する意思のある方 等々</p> <p>給付金額 (1) 2人以上世帯の場合 100万円 (2) 単身世帯の場合 60万円</p> <p><佐々町子育て世帯移住支援補助金事業> ○子育て世帯の移住・定住を促進するため、首都圏からの限定ではなく、長崎県外から佐々町へ転入される子育て世帯の方を対象に、移住支援補助金を創設しました。</p> <p>(要件) ・転入日の前日まで連続して1年以上県外に居住していた方 ・中学生以下の子どもがいる世帯であること ・交付申請日から5年以上、佐々町に継続して居住する意思があること ・就業先が、長崎県内に事業所を有する事業者であり、長崎県内に勤務していること ・転勤、出向、出張、研修等による勤務先の変更ではなく、新規の雇用であること 等々</p> <p>給付金額 (1) 一世帯につき50万円</p>

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	0	4,100,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			1,200,000
	その他特定財源			1,000,000
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ながさき移住サポートセンターを 経由した移住者数【総合戦略】 【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	新婚世帯数【累】	50件/年	件	目標	-	-	-	-	250/5年	15%
				実績	37	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和3年度から、テレワークによる移住および関係人口要件の追加により対象条件が拡充されたことで、本制度を利用する移住者の増が期待できると考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 1 - 3		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	行政評価システムの確立						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款	
法令根拠条例等	-			項			
個別計画	-			目			

1 事業内容

【行動指針】

・各課所管の施策・事業について、庁内での情報の共有化を図るとともに、PDCAサイクルに基づく行政評価システムの導入により、各施策・事業の成果検証及び進捗管理を行います。

【事業概要】

佐々町総合計画および総合戦略の適切な進捗管理を行うため、令和3年度決算から行政評価を実施します。各種取組に対する指標達成状況や計画の妥当性・有効性などの検証を行い、PDCAサイクルを回しながら業務改善意識を醸成し、目標の実現に努めます。



2021 → 2030



2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		
事業評価シートの導入により、業務進捗および課題の見える化を図りました。 事業実現に向け、PDCAを回しながら事業実現に努めます。	評価の結果	A 業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 1 - 5		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	広域連携による行政サービスの向上						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	機能的かつ効率的な行政運営を行う				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	西九州させぼ広域都市圏ビジョン			目	6 企画費		

1 事業内容

【行動指針】
 ・西九州させぼ広域都市圏（連携中枢都市圏）において、佐世保市を中心とする各市町との連携を強化し、各行政分野における効率的で効果的な行政サービスの向上に取り組みます。

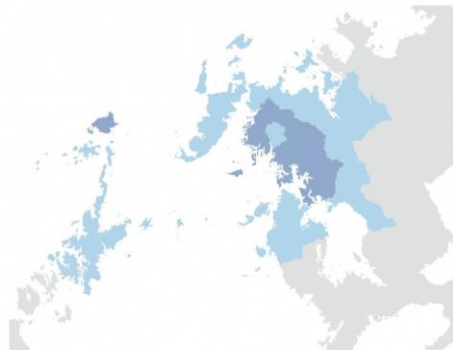
【事業概要】
 令和3年度においては、新たに島瀬美術センター特別展開催へ参画し連携の強化を図りました。

(連携事業数)
 経済成長分野：4事業／5事業
 高次都市機能分野：5事業／11事業
 生活関連機能分野：25事業／30事業

SINCE2019 



西九州させぼ
 広域都市圏ビジョン



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	808,078	1,517,901	2,227,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源		808,078	1,517,901	2,227,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	定員適正化計画達成率【累】	97.1%	%	目標	-	-	-	-	100	96%
				実績	96.2	-	-	-	-	
成果	職員研修受講率（全職員受講対象研修）【単】	72.5%	%	目標	80	80	80	80	80	103%
				実績	82	-	-	-	-	
成果	マイナンバーカードの交付率【累】	13.4%	%	目標	-	-	-	-	100	44%
				実績	44.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
広域都市圏への参入より、一市町では調整が難しいような事業への取組が可能になり、連携による一定の効果があると考えられますので、引き続き、連携により、行政サービスの向上に努めたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 1 - 3		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	広聴機会の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	情報を適切に管理し、積極的な公開・共有化を進める				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	5 広報防災費		

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・町政施策に対する町民意見を反映するため、座談会、説明会などの町民参画の機会を充実するとともに、まちづくり提案箱の活用やパブリックコメントなどを積極的に行っていきます。</p> <p>【事業概要】</p> <p>令和3年度においては4件のパブリックコメントを実施し、町民参画機会の創出に取り組みました。また、ホームページのみでなく公式LINEを活用し、周知の徹底に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パブリックコメントを実施した計画 <ul style="list-style-type: none"> ・佐々町庁舎建設工事 基本設計図書 意見数：14件 ・第三期佐々町教育振興基本計画 意見数：0件 ・都市計画マスタープラン 意見数：0件 ・公共施設等総合管理計画 意見数：0件 ●ホームページまちづくり提案箱 投稿件数：60件/3年度 ●住民説明会 <ul style="list-style-type: none"> ・ため池ハザードマップワークショップ 6回実施 参加人数：35人/6回 ・環境保全協定に基づく環境測定報告会 1回実施 参加人数：6人 ・避難所訓練 1回実施 ・防災講話（県立大、口石小学校） 各1回実施 ※佐々小学校は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 ●防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・神田町内会・さざん花町内会を対象に防災訓練を実施しました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町ホームページアクセス件数【単】	340,639件/年	件	目標	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	125%
				実績	563,424	-	-	-	-	
成果	SNS（LINE）フォロワー数【累】	-	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,519	-	-	-	-	
成果	メール配信登録件数【累】	464件	件	目標	-	-	-	-	700	93%
				実績	649	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
パブリックコメントによる町民参画の取組は実施しているものの、なかなか意見聴取にまでは至っていません。周知の方法含め住民の方々から意見をいただく仕組みを検討する必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 4 - 1		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	町政への町民参画・協働機会の確保						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	自立した町民活動を支援し、町政への町民参画機会を広げ、協働によるまちづくりを進める				款	2 企画費
法令根拠条例等	-			項	1 総務管理費		
個別計画	-			目	5 広報防災費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・町の政策形成過程における町民参画及び協働の機会を確保するため、各種審議会や計画策定段階におけるワークショップ、その他町民アンケート、パブリックコメントを実施します。</p> <p>【事業概要】 令和3年度においては、町民参画機会の創出として4件の計画のパブリックコメントを実施しました。また、各種審議会・協議会、町民アンケートの実施など、町民参画による意見創出を行いました。</p> <p>●パブリックコメントを実施した計画【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々町庁舎建設工事 基本設計図書 意見数：14件 ・第三期佐々町教育振興基本計画 意見数：0件 ・都市計画マスタープラン 意見数：0件 ・公共施設等総合管理計画 意見数：0件 <p>●各種審議会・協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会 ・都市計画審議会 ・障害者自立支援協議会 ・学校運営協議会 ・国保運営協議会 ・診療所運営協議会 ・口石小学校運営協議会 ・佐々小学校運営協議会 ・学校運営協議会 ・図書館協議会 <p>●町民アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々町男女共同参画計画 <p>●懇話会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々町男女共同参画計画懇話会 実施回数：1回

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ふるさと納税件数【総合戦略】 【単】	663件/年	件	目標	800/年	800/年	800/年	800/年	800/年	98%
				実績	786	-	-	-	-	
成果	企業版ふるさと納税件数 【総合戦略】【単】	-	件	目標	-	2件	2件	2件	2件	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	協働のまちづくり事業数【単】	0件/年	件	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
活動	大学との各種連携事業【単】	14件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	25%
				実績	5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
パブリックコメントによる町民参画の取組は実施しているものの、なかなか意見聴取にまでは至らない。周知の方法を含め住民の方々から意見をいただく仕組みを検討する必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 4 - 2		担当課	企画商工課	担当班	企画班	
事業名	町民によるまちづくり活動への支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	自立した町民活動を支援し、町政への町民参画機会を広げ、協働によるまちづくりを進める				款	2 総務費
法令根拠条例等	-			項		1 総務管理費	
個別計画	-			目	6 企画費		

1 事業内容

【行動指針】

・町民による協働活動やボランティア活動を広報紙等で情報発信を行うなど、町民活動団体やボランティア団体が活動しやすい環境づくりを進めます。
 ・町民協働による地域の活性化や地域力の向上を目指すため、町民活動団体が主体的に取り組むまちづくり活動に対して、財政的な支援等を行います。

【事業概要】

町民との協働活動として、桜づつみの清掃やサンセットロードの清掃を実施しました。
 また、協働のまちづくり提案募集において、1件の相談を受けましたが、本制度の活用までには至っていません。

【参考】

● 県の愛護・アダプト登録団体

	団体名	活動内容	活動開始日
1	社会福祉民生会	道路清掃・美化活動	H17.8.4～
2	株式会社親和テクノ	清掃・草刈・美化活動	H20.7.1～
3	NPO法人 環境を守るグリーンパーティー	清掃・草刈・美化活動	H21.4.22～
4	増山建設株式会社	清掃・美化活動	H23.11.4～
5	にこにこクリーンさざ	道路清掃・美化活動	H17.5.23～
6	藤永地建株式会社	道路清掃	H19.10.30～
7	株式会社堀内組	道路清掃	H20.6.30～
8	西海地研株式会社	清掃・美化活動	H23.8.1～
9	佐々川再生の会	河川清掃・緑化活動	H15.9.9～
10	四ツ井樋町内会	草刈・美化活動	H22.8.9～
11	市瀬町内会	道路および河川の清掃・草刈・美化	H17.9.16～
12	環境ば守らんば隊（山口組）	河川/道路の清掃・草刈	H18.8.1～

● 佐々町の愛護登録団体

	団体名	活動内容	活動開始日
1	神田・すみれ会・清掃クラブ	公共周辺施設の清掃・草刈・公園等の草刈、道路の花壇保全	R2.7.9～
2	北部グラウンド整備団体	グラウンド内の整備	R2.7.22～
3	大日山愛護団体	大日山境内の草払い・清掃	R2.8.4～
4	さざん花	さざん花町内公園の草刈	R2.8.5～
5	四ツ井樋末広会	四ツ井樋町内会町道等の除草・草刈・ごみ拾い	R2.9.23～
6	神田上宮農組合	神田町内会内町道の草刈・側溝清掃など	R2.10.23～

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	ふるさと納税件数【総合戦略】 【単】	663件/年	件	目標	800/年	800/年	800/年	800/年	800/年	98%
				実績	786	-	-	-	-	
成果	企業版ふるさと納税件数 【総合戦略】【単】	-	件	目標	-	2件	2件	2件	2件	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	協働のまちづくり事業数【単】	0件/年	件	目標	1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
活動	大学との各種連携事業【単】	14件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	25%
				実績	5	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
佐々町提案公募型活動事業においては平成29年を最後に、提案申請等がない状況で、年1回広報紙での案内を行っているが、今以上に周知を徹底させていく必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 2 - 5		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目		2 商工業振興費	

1 事業内容

【行動指針】

・新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じ、安心して経済活動を行うことができる環境整備を支援します。

【事業概要】

県内に飲食店への営業時間短縮要請が2度発令され、2月14日から3月6日にかけては「まん延防止等重点措置」も発令されたことから、飲食店を中心に大きなダメージを受けていた事業者を対象に、下記のとおり給付金事業を実施しました。

- ①令和2年度 事業継続支援給付金（繰越事業）（決算額 29,898,195円）
対象事業者 令和3年1月または2月の売上が対前年比（または対前々年比）20%以上減少した事業者（営業時間短縮要請協力金を受けた者を除く）
申請件数 148件
- ②営業時間短縮要請協力金（第一～三期）（決算額 65,461,000円）
対象事業者 常設の店舗内で飲食スペースを有し、通常から20時を超えて営業している飲食店で、要請期間（8/10～9/12）前日以前から店舗を運営し、営業時間を20時までに短縮（酒類提供は19時迄）または休業を実施していること。
申請件数 第一期65店舗 第二期65店舗 第三期65店舗
- ③佐々町新型コロナウイルス感染症対策推進の飲食店支援給付金（決算額 6,100,000円）
対象事業者 常設の店舗内で飲食スペースを有して営業していて、「ながさきコロナ対策飲食店認証制度」の申請を行っていること。
申請件数 61店舗
- ④佐々町飲食店応援給付金（決算額 2,200,000円）
対象事業者 常設の店舗内で飲食スペースを有して営業していて、営業時間短縮協力金の申請を行っていないこと（普段の営業時間が20時まで）
申請件数 11店舗
- ⑤令和3年度 事業継続支援給付金（決算額 12,113,000円）
対象事業者 令和3年8月または9月の売上が対前年比（または対前々年比）20%以上50%未満減少した事業者（営業時間短縮要請協力金を受けた者を除く）
申請件数 81件
- ⑥営業時間短縮要請協力金（第四期）（決算額 40,211,000円）
対象事業者 常設の店舗内で飲食スペースを有し、通常から20時を超えて営業している飲食店で、要請期間（8/10～9/12）前日以前から店舗を運営し、営業時間を20時までに短縮（酒類提供は19時迄）または休業を実施していること。
申請件数 66店舗
- ⑦営業時間短縮要請協力金（第五期）（決算額 45,923,104円）
対象事業者 常設の店舗内で飲食スペースを有し、通常から20時を超えて営業している飲食店で、要請期間（8/10～9/12）前日以前から店舗を運営し、営業時間を20時までに短縮（酒類提供は19時迄）または休業を実施していること。ただし、2/21以降は「ながさきコロナ対策飲食店認証制度」の認証店の場合、営業時間を21時まで延ばせる（酒類提供は20時まで）
申請件数 64店舗

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	200,968,749	201,906,299	0
財源	国庫支出金	153,543,750	43,139,126	
	県支出金	47,284,000	135,494,142	
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源		140,999	23,273,031

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	起業創業相談件数【総合戦略】 【単】	11件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	15%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	創業支援融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	1件	件	目標	10	10	10	10	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	町の事業者数【総合戦略】【累】	548件	件	目標	-	-	-	-	600	93%
				実績	557	-	-	-	-	
成果	中小企業振興融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	12件	件	目標	20	20	20	20	20	10%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	空き店舗の再生事業数 【総合戦略】【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和2年度から続く新型コロナ対策事業であります。特に3年度は県内にまん延防止等重点措置も発令されたことから、飲食店を中心に大きなダメージを受けていましたので、給付金事業の効果があつたものと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項	1 商工費		
個別計画	-			目	4 観光費他		

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

維持管理経費

◆窯体験施設

節	内容等	金額(円)		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
消耗品費	速習用消耗品費、施設消耗品	71,278	60,863	△ 10,415
燃料費	電気ガス窯用LPガス、登り窯用薪、冬季暖房用灯油	216,213	209,862	△ 6,351
光熱水費	電気使用料、水道使用料	806,479	756,180	△ 50,299
修繕料	機器・設備等修繕	382,954	335,467	△ 47,487
通信運搬費	電話使用料	32,820	33,102	282
建物災害共済保険料	建物災害共済保険料	50,089	50,089	0
委託料	指導管理業務委託料、廃棄物収集処分業務委託料	2,494,545	2,400,000	△ 94,545
	合計	4,054,378	3,845,563	△ 208,815

◆旧技能訓練校

節	内容等	金額(円)		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
光熱水費	電気使用料	67,002	57,452	△ 9,550
建物災害共済保険料	建物災害共済保険料	21,911	21,911	0
	合計	88,913	79,363	△ 9,550

◆観光情報センター

節	内容等	金額(円)		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
建物災害共済保険料	建物災害共済保険料	3,431	3,431	0
委託料	機械警備業務委託料、トイレ清掃業務委託料	235,010	247,069	12,059
	合計	238,441	250,500	12,059

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算	
事業費	4,221,529	4,381,732	4,175,426	4,472,000	
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	2,666,011	2,494,864	2,314,352	2,402,000
	地方債				
	一般財源	1,555,518	1,886,868	1,861,074	2,070,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
所管施設の管理は、安全に使用できるよう点検を行っています。今後の改修等は修繕など必要最低限とします。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 2 - ◆1		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	起業・創業支援事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-				項	1 商工費	
個別計画	-				目	3 創業支援事業費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・町内外を問わず、意欲ある人材が町内で起業・創業を希望する場合に、商工会、地元金融機関などとも連携し、相談をはじめとした様々な支援策を検討し進めます。特に女性や若者等が新たに仕事へのチャレンジをしたくなる環境を整えます。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○創業支援資金融資制度</p> <p>令和3年度利用者数・融資額 1件 3,200,000円</p> <p>預託金額 10,000,000円</p> <p>保証料補助額 20,893円</p> <p>創業支援資金融資制度とは、町内で、新たに事業を開始又は実施するために必要となる資金の円滑化を図ることにより、佐々町における創業を活性化し、町内産業の健全な発展に資することを目的とした融資制度です。</p> <p><融資条件></p> <p>(1) 融資限度額 1 創業者につき500万円以内</p> <p>(2) 融資期間 融資の期間は7年以内(うち据置期間1年以内)</p> <p>(3) 融資利率 年1.30%</p> <p>(4) 償還方法 一括または月賦償還</p> <p>(5) 信用保証 保証協会の創業関連保証を受ける</p> <p>(6) 保証人 金融機関又は保証協会の定めるところ</p> <p>(7) 担保 徴求しない</p> <p>(8) 保証料 町が全額補給</p>

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	10,022,073	10,022,792	10,020,893	10,120,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源	10,000,000	10,000,000	10,000,000
	地方債			
	一般財源	22,073	22,792	20,893

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	起業創業相談件数【総合戦略】 【単】	11件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	15%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	創業支援融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	1件	件	目標	10	10	10	10	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国的に事業者数は減少していますが、令和3年度は融資制度利用者が1件ありました。今後も商工会、地元金融機関と協力して、融資制度のPRや空き店舗情報の整理を行い、事業を進めていきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
創業をした人が集まるような仕掛けを期待したい。
委員会評価
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">現状維持</div> ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	5 - 2 - ◆2		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	地元中小企業支援事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目		2 商工業振興費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・商工会、地元金融機関と連携し、中小企業の経営指導及び経営相談の機能を強化し、各種研修、先進地視察などを支援することで、商業者の資質向上と後継者の育成、さらに団体、組織の拡充活動を行います。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○中小企業振興資金融資制度</p> <p>令和3年度利用者数・融資額 2件 6,480,000円</p> <p>令和3年度末債務残高 23件 41,117,000円</p> <p>預託金額 40,000,000円</p> <p>保証料補助額 359,895円</p> <p>佐々町中小企業振興資金融資制度とは、町内中小企業の健全な発展に資するため、中小企業者の運転資金及び設備に要する資金の融通を円滑にすることを目的とした融資制度です。</p> <p><融資条件></p> <p>(1) 融資限度額 500万円</p> <p>(2) 融資期間 10年以内(うち据置1年以内)</p> <p>(3) 融資利率 年1.40%</p> <p>(4) 償還方法 一括または月賦償還</p> <p>(5) 保証人 長崎県信用保証協会の定めるところ</p> <p>(6) 担保 長崎県信用保証協会の定めるところ</p> <p>(7) 保証料 財務その他経営に関する情報を基に、保証協会が定める9区分の保証料の基準率で行った信用保証について、以下に掲げる区分に応じた補助料率で交付する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準料率</th> <th>補助料率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>① 1.90%</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>② 1.75%</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>③ 1.55%</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>④ 1.35%</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>⑤ 1.15%</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>⑥ 1.00%</td><td>1.00%</td></tr> <tr><td>⑦ 0.80%</td><td>0.80%</td></tr> <tr><td>⑧ 0.60%</td><td>0.60%</td></tr> <tr><td>⑨ 0.45%</td><td>0.45%</td></tr> </tbody> </table>	基準料率	補助料率	① 1.90%	1.00%	② 1.75%	1.00%	③ 1.55%	1.00%	④ 1.35%	1.00%	⑤ 1.15%	1.00%	⑥ 1.00%	1.00%	⑦ 0.80%	0.80%	⑧ 0.60%	0.60%	⑨ 0.45%	0.45%
基準料率	補助料率																			
① 1.90%	1.00%																			
② 1.75%	1.00%																			
③ 1.55%	1.00%																			
④ 1.35%	1.00%																			
⑤ 1.15%	1.00%																			
⑥ 1.00%	1.00%																			
⑦ 0.80%	0.80%																			
⑧ 0.60%	0.60%																			
⑨ 0.45%	0.45%																			

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	40,428,057	40,430,854	40,359,895	45,200,000
財源	国庫支出金			1,000,000
	県支出金			2,000,000
	その他特定財源	40,000,000	40,000,000	40,000,000
	地方債			
	一般財源	428,057	430,854	359,895

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町の事業者数【総合戦略】【累】	548件	件	目標	-	-	-	-	600	93%
				実績	557	-	-	-	-	
成果	中小企業振興融資制度利用件数【総合戦略】【単】	12件	件	目標	20	20	20	20	20	10%
				実績	2	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症拡大対策事業として県が無利子・無担保の融資制度を実施したため、本町の融資制度利用は減少しましたが、県制度が終了したため、今後は利用者も増える見込みです。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	5 - 2 - 3		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	商工会との連携を強化した、 商工業の活性化						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目	2 商工業振興費		

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場のニーズに応えるために、商工会を通じて各種研修、先進地視察などを支援し、事業者の資質向上と後継者の育成、さらに団体、組織の拡充活動を行います。 ・商工会を通じて、商工業者の経営指導及び経営相談の機能を強化するとともに、金融対策を実施します。 <p>【事業概要】</p> <p>○商工会補助金（決算額 6,000,000円）</p> <p>商工業者の金融・税務・労務などの経営安定化支援、組織財政基盤強化に取り組み、また、「サザンフェスおさんぽマルシェ」や「商店おもてなしスタンプラリー」などの地域振興事業を推進しました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた商工業者へ町が実施した給付金事業の広報、申請受付、営業時間短縮要請協力金の見回り等の事務を協力して実施しました。</p> <p>① 経営改善普及事業指導事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 指導員が出席する補助金の研修、日本政策金融公庫の研修、平戸税務署の研修等の旅費 ・事務費 指導員の事務用品、通信運搬費 ・指導事業費 講習会開催時の講師謝礼、日本政策金融公庫（国金）融資の審査員日当等 ・商工会等指導環境推進費 事務局長設置費用 <p>② 経営改善普及事業対策事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営相談対策費 会議の理事の出席日当、記入機械化（ネットde記帳）ソフト利用料、珠算検定受験料の一部助成、貯蓄共済推進費等 <p>③ 地域振興事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合振興費 各地区部会費 ・商業振興費 サザンフェスおさんぽマルシェ事業費 ・観光振興費 商店おもてなしフェアスタンプラリー、シロウオ漁体験事業費

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	6,000,000	6,000,000	6,000,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	起業創業相談件数【総合戦略】 【単】	11件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	15%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	創業支援融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	1件	件	目標	10	10	10	10	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	町の事業者数【総合戦略】【累】	548件	件	目標	-	-	-	-	600	93%
				実績	557	-	-	-	-	
成果	中小企業振興融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	12件	件	目標	20	20	20	20	20	10%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	空き店舗の再生事業数 【総合戦略】【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和3年度は通常事業の他、新型コロナ対策給付金事業の広報、申請受付、営業時間短縮要請協力金の見回り等の事務を実施しました。また、観光協会の新商品開発事業にも参加しました。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 7 - 3		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	消費生活対策（消費生活相談、情報提供）の推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	犯罪や交通事故から町民を守る				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項	1 商工費		
個別計画	-			目	7 消費者行政推進費		

1 事業内容

【行動指針】

・消費者トラブルに対応するため相談窓口を設置するとともに、衣食住に関わる商品・サービスなど消費生活全般に関わる苦情や問い合わせについて問題解決のための助言や情報の提供を行います。
 ・詐欺の手口が巧妙化する情勢の中で、消費者トラブルを未然に防ぐため、チラシの配布や高齢者との座談会、中学生への授業支援などの啓発事業を実施します。

【事業概要】

○消費生活相談（決算額 2,900,573円）

相談員1名の雇用による消費生活相談窓口を設置し、年間31件の相談を処理・解決しました。
 ※主な相談内容 通信販売トラブル 7件 架空請求詐欺 4件 インターネット契約関係相談 2件

○消費生活相談員のスキルアップ（決算額 56,800円）

神奈川県相模原市にある国民生活センターでの研修は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参加できませんでしたが、県主催の研修会に加え、WEB研修を受講しました。
 県主催研修会 日帰り5回 1泊2日1回
 WEB研修 オンデマンド研修4回 リアルタイム研修1回

○全世帯への啓発パンフレット配布（決算額 195,800円）

「ネット・スマホのトラブルから身を守るために」を全世帯配布しました。

○中学生への消費生活教室の実施（決算額 35,200円）

佐々中学校2年生を対象に、中学生向けの啓発パンフレット「いいね！消費者ライフ」に配布し、県職員と相談員が共同でトラブルを未然に防ぐための授業を実施しました。



佐々中学校での消費生活教室の様子

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	2,945,415	2,989,932	3,188,373	3,361,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	583,855	110,260	140,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	2,361,560	2,879,672	3,165,273

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	町内巡回回数（年間）【単】	10回/年	回	目標	30/年	30/年	30/年	30/年	30/年	50%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	交通安全講習会参加人数【単】	20人/年	人	目標	50/年	50/年	50/年	50/年	50/年	100%
				実績	50	-	-	-	-	
活動	地域防犯点検（危険箇所調査）【単】	0回/年	回	目標	2/年	2/年	2/年	2/年	2/年	100%
				実績	2	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である	3	
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
実施予定だった各町内会での高齢者向け座談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に実施できませんでしたが、中学生への授業を実施することができ、インターネットによる契約の問題点について、啓発活動を行うことができました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 2 - 1		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	起業・創業の相談しやすい環境を整え、潜在化している希望者の掘り起こし						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目	5 祭り費		

1 事業内容

【行動指針】

・主婦の手芸品等、ニーズがある商品を作る技術を持ちながら、起業・創業するまでに至っていない人がきっかけを持てるように、出店できるイベント、場所の提供を行います。
 ・起業・創業したいが、方法が分からない方対象の創業支援塾、勉強会等アドバイスを受けられる機会を町、商工会、地元金融機関が協力して作ります。

【事業概要】

○サザンフェスおさんぽマルシェの開催（決算額 205,550円）【再掲】

商工会商業部会が主催、町は共催。

子育て中の若いファミリーをターゲットにして、雑貨や飲食店等の出店で集客し、あわせて、小物づくり等のワークショップを行い、子供と一緒に楽しめるイベントとして開催しています。

起業を検討している方が多く出店しており、町は潜在している起業者の掘り起こしを行っています。

- 1 開催日時 令和3年11月14日（日）
- 2 来場客数 約1,000名
- 3 事業概要

ハンドメイド作品を中心とした雑貨販売、飲食（テイクアウトのみ）、エステ等各種ブースに約20店舗が出展。色のついた砂を使ったサンドアートや、流木を使ったアートといった親子で楽しめる体験型ワークショップを実施。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会が中止になった地元中学校や高校の吹奏楽部によるコンサートを開催。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		190,892	158,350	205,550	285,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	95,446	79,175	102,775	142,500
	地方債				
	一般財源	95,446	79,175	102,775	142,500

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	起業創業相談件数【総合戦略】 【単】	11件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	15%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	創業支援融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	1件	件	目標	10	10	10	10	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	町の事業者数【総合戦略】【累】	548件	件	目標	-	-	-	-	600	93%
				実績	557	-	-	-	-	
成果	中小企業振興融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	12件	件	目標	20	20	20	20	20	10%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	空き店舗の再生事業数 【総合戦略】【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
起業希望者の掘り起こしも兼ねたイベントとして開催している「サザンフェスおさんぽマルシェ」も4回目となり、年々定着してきました。参加者から起業に至った事業者はまだありませんが、今後も商工会商業部会と協力して継続していきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 2 - 2		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	地域資源ネットワークを活かした商店街の活性化						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目		5 祭り費	

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・賑わいイベントや子育て・教育・介護ボランティア活動と連携した振興対策、空き店舗対策などにより、商店街やまちなかの賑わいづくりを行います。 ・商工会を通じて、商店街の魅力アップ、誘客対策の検討と実践、商業者と関係機関、地域住民との連携強化を実施します。</p> <p>【事業概要】 ○サザンフェスおさんぽマルシェの開催（決算額 205,550円【再掲】） 商工会商業部会が主催、町は共催。 子育て中の若いファミリーをターゲットにして、雑貨や飲食店等の出店で集客し、あわせて、小物づくり等のワークショップを行い、子供と一緒に楽しめるイベントとして開催しています。 起業を検討している方が多く出店しており、町は潜在している起業者の掘り起こしを行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催日時 令和3年11月14日（日） 来場客数 約1,000名 事業概要 ハンドメイド作品を中心とした雑貨販売、飲食（テイクアウトのみ）、エステ等各種ブースに約20店舗が出展。色のついた砂を使ったサンドアートや、流木を使ったアート、といった親子で楽しめる体験型ワークショップを実施。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会が中止になった地元中学校や高校の吹奏楽部によるコンサートを開催。 <p>○河津桜・シロウオまつり（決算額 608,293円） 商工会中央部会主催、町は共催。 桜つつみ遊歩道沿いに植栽された260本の河津桜の満開時期に合わせ、最盛期を迎えるシロウオ漁の体験、商工会協力のもと町内47店舗によるおもてなしフェアスタンプラリーを開催しました。 なお、例年3月上旬に開催しているステージイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。</p> <p>・シロウオ漁体験</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催日時 令和4年3月5日、3月6日、3月12日、3月13日 4日間 開催場所 佐々川下流（桜つつみ遊歩道） 漁足場2箇所 参加者 125人（32組） 体験概要 四ツ手網による漁体験（30分）。 <p>・商店おもてなしフェアスタンプラリー</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催日時 令和4年3月1日（月）～3月31日（水） 各店舗営業時間による 31日間 参加店舗 町内50店舗 事業概要 チラシを使用したスタンプラリーを実施し、3店舗以上をまわってアンケートを提出していただいた方に、抽選で参加店舗提供の商品を贈呈。 応募総数 216件
--

2 コスト （単位：円）

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	1,706,131	602,416	813,843	1,410,000	
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	757,619	301,208	406,921	705,000
	地方債				
	一般財源	948,512	301,208	406,922	705,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	起業創業相談件数【総合戦略】 【単】	11件/年	件	目標	20/年	20/年	20/年	20/年	20/年	15%
				実績	3	-	-	-	-	
成果	創業支援融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	1件	件	目標	10	10	10	10	10	10%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	町の事業者数【総合戦略】【累】	548件	件	目標	-	-	-	-	600	93%
				実績	557	-	-	-	-	
成果	中小企業振興融資制度利用件数 【総合戦略】【単】	12件	件	目標	20	20	20	20	20	10%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	空き店舗の再生事業数 【総合戦略】【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症拡大対策をしながら、できる限りのイベントを地元商工業者と実施しました。イベント開催について、自立意識が芽生えつつあり、今後も商工会と事業者との協力体制で実施していきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 3 - ◆1		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	通年型観光イベント事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	世代・地域を超えて様々な交流を育む環境をつくる				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項	1 商工費		
個別計画	-			目	5 祭り費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・町内資源を掘り起こし、新規のイベント開発、既存イベントの見直し等、行政と町民・企業が協働した地域外交流の創出に向けた取組を行います。</p> <p>【事業概要】 下記のイベントを開催しました。ただし、例年6月上旬開催の「花菖蒲うなぎまつり」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。</p> <p>①しだれ桜まつり（決算額 124,055円） 県内最多11品種60本のしだれ桜が植栽された真竹谷広場を会場に開催しました。 1 開催日時 令和3年4月1日(月)～14日(日) 14日間 2 来場客数 4/1-2:100人、4/3-4:850人、4/5-9:250人、4/13-14:800人 3 事業概要 園内自由散策による桜鑑賞。</p> <p>②サザンフェスおさんぽマルシェ（決算額 205,550円）【再掲】 子育て中の若いファミリーをターゲットにして、雑貨や飲食店等の出店で集客し、あわせて、小物づくり等のワークショップを行い、子供と一緒に楽しめるイベントとして開催しました。 1 開催日時 令和3年11月14日(日) 2 来場客数 約1,000名 3 事業概要 ハンドメイド作品を中心とした雑貨販売、飲食（テイクアウトのみ）、エステ等各種ブースに約20店舗が出展。色のついた砂を使ったサンドアートや、流木を使ったアート、といった親子で楽しめる体験型ワークショップを実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会が中止になった地元中学校や高校吹奏楽部によるコンサートを開催。</p> <p>○河津桜・シロウオまつり（決算額 608,293円）【再掲】 桜づつみ遊歩道沿いに植栽された260本の河津桜の満開時期に合わせ、最盛期を迎えるシロウオ漁の体験、商工会協力のもと町内47店舗によるおもてなしフェアスタンプラリーを開催。例年3月上旬に開催しているステージイベントについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 ・シロウオ漁体験 1 開催日時 令和4年3月5日、3月6日、3月12日、3月13日 4日間 2 開催場所 佐々川下流（桜づつみ遊歩道） 漁足場2箇所 3 参加者 125人（32組） 4 体験概要 四ツ手網による漁体験（30分）。</p> ・商店おもてなしフェアスタンプラリー 1 開催日時 令和4年3月1日(月)～3月31日(水) 各店舗営業時間による 31日間 2 参加店舗 町内50店舗 2 事業概要 チラシを使用したスタンプラリーを実施し、3店舗以上をまわってアンケートを提出していただいた方に、抽選で参加店舗提供の商品を贈呈。
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	1,808,689	602,416	937,898	2,560,000	
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	904,344	301,208	468,949	1,280,000
	地方債				
	一般財源	904,345	301,208	468,949	1,280,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	観光協会主催イベントの参加者数 【総合戦略】【単】	0人/年	人	目標	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	5%
				実績	147	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止したイベントもありましたが、対策を講じて、できる限り開催しました。イベント運営については、徐々にではありますが、商工業者が主体になりつつありますので、この流れを止めないようにしていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	5 - 3 - ◆2			担当課	企画商工課	担当班	商工観光班
事業名	観光情報発信事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	世代・地域を超えて様々な交流を育む環境をつくる				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目		4 観光費	

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・人物・自然・歴史・食・スポーツ、レクリエーションなど老若男女を問わず、みんなが楽しめる多彩なジャンルの観光コンテンツを充実させます。</p> <p>【事業概要】 ○佐々町観光協会補助金（地方創生推進交付金事業）（決算額 3,600,000円） 観光協会に企画立案等を行うコーディネーターを2名配置し、下記の事業を実施しました。</p> <p>①情報発信活動 ・ホームページやインスタグラム・フェイスブックのSNSによる情報発信を実施。 ※投稿数 令和3年度 186投稿（3日に1投稿のペース）。 ・町のPRの一環として、また伝育坊を再度知っていただくために、クリアファイルを作成。町内全世帯に配布。 ・ランチが食べられる店舗と、スイーツを販売している店舗が分かる「佐々町ランチ&おやつマップ」を作成。 ・町内の桜のスポットが分かる「佐々町さくらマップ」を作成。 ・観光協会通信の発行。4月に8号、9月に9号、12月に10号、1月に11号を発行。</p> <p>②フォトコンテストの開催 フォトライブラリーを獲得することを目的として、令和3年7月1日から令和4年6月30日までの4シーズン開催。令和3年度は夏、秋、冬のコンテストを実施。11月には役場で夏の表彰式を実施。 ※応募数 夏60点 秋38点 冬49点</p> <p>③イベント出展 ・10月30、31日の2日間で開催された西九州させほ広域都市圏主催の「かっちえてアイラブ西九州フェア」に参加し、町内の飲食店やお茶園、その他スイーツ等の事業者より商品を集めて販売。 ・11月14日に佐々町文化会館で開催された佐々町商工会商業部会主催の「サザンフェスおさんぽマルシェ」に出展。 ・12月に佐々町民体育館で開催された、県内外からの参加者が1000人を超える「拳心旗空手道大会」に出展。</p> <p>④オリジナル商品の開発 ・お茶のセット商品の開発 昨年度開発した「佐々三茶三葉」を手に取りやすい価格ながら、かわいらしさとギフト感を損なわず、ちょっとした手土産にしやすい商品にした「佐々三茶三葉2nd」を開発。 ・佐々伝育坊もなかの開発 町内の菓子店と共同で佐々町の新しい銘菓「佐々伝育坊もなか」を開発。</p>

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	500,000	2,482,543	3,600,000	4,000,000
財源	国庫支出金	1,241,000	1,800,000	2,000,000
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	500,000	12,541,543	1,800,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	観光協会SNSフォロワー数 【総合戦略】【累】	56人	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,508	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
観光協会コーディネーターも2年目となり、いろいろなところで声をかけられることが増えてきました。SNSフォロワー数も目標に達しましたが、今後も引き続き情報発信を進めていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	5 - 3 - ◆3			担当課	企画商工課	担当班	商工観光班
事業名	佐々川を中心とした観光や交流イベントの情報発信・交流拠点整備事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	世代・地域を超えて様々な交流を育む環境をつくる				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目	4 観光費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・佐々駅舎を改修し、各種イベント等に活用可能な多目的スペースを備えた観光物産・交流センターを整備します。また、観光協会が主体となった各種事業において、企画立案等を行うコーディネーターを配置し、観光協会の体制強化及び事業拡充を行います。併せて、佐々町にちなんだお茶や菓子類などの特産品の試作品製作を行い、町のPRができるオリジナル商品の開発を行います。</p> <p>【事業概要】 ○ソフト事業（佐々町観光協会補助金）（決算額 3,600,000円「再掲」） 下記の内容で、佐々観光協会が実施しました。</p> <p>①観光協会体制強化及び事業拡充 ・観光コーディネーターの配置 企画立案等を行うコーディネーターを配置（2名）。</p> <p>・情報発信活動 ホームページやインスタグラム・フェイスブックのSNSによる情報発信を実施。令和3年度186投稿。 町のPRと伝育坊を再度知っていただくために、クリアファイルを作成し、町内全世帯に配布。 ランチが食べられるお店と、スイーツ販売店が分かる「佐々町ランチ&おやつマップ」を作成。 町内の桜のスポットが分かる「佐々町さくらマップ」を作成。 観光協会通信の発行。4月に8号、9月に9号、12月に10号、1月に11号を発行。 佐々川の夏の風物詩である「ウナギ塚漁」を体験し、SNS等でPR。</p> <p>・フォトコンテストの開催 フォトライブラリーを獲得することを目的として、令和3年7月1日から令和4年6月30日までの4シーズン開催。令和3年度は夏、秋、冬のコンテストを実施。11月26日に役場で夏の表彰式を実施。 ※応募数 夏60点 秋38点 冬49点</p> <p>・イベント出展等 10月30、31日の2日間で開催された西九州させば広域都市圏主催の「かっちえてアイラブ西九州フェア」に参加し、町内の飲食店やお茶園、その他スイーツ等の事業者より商品を集めて販売。 11月14日文化会館で開催された佐々町商工会商業部会主催の「サザンフェスおさんぽマルシェ」に出展。 12月12日町民体育館で開催された、県内外からの参加者が1000人を超える「拳心旗空手道大会」に出展。 3月に開催された「河津桜・シロウオまつり」の「シロウオ漁体験」にスタッフとして協力。</p> <p>②オリジナル商品の開発 ・お茶のセット商品の開発 昨年度開発した「佐々三茶三葉」を手に取りやすい価格ながら、かわいらしさとギフト感を損なわず、ちょっとした土産にしやすい商品にした「佐々三茶三葉2nd」を開発。</p> <p>・佐々伝育坊もなかの開発 町内の菓子店と一緒に共同で佐々町の新しい銘菓「佐々伝育坊もなか」を開発。</p> <p>○ハード事業（佐々駅舎改修工事）（決算額 36,498,000円） 佐々川に近く、町の中心部にあり、交通の拠点である佐々駅舎をリノベーションし、「佐々駅舎交流センター」として情報発信・地域交流の拠点となるよう、テナントスペース・交流スペース等の整備を行いました。</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算
事業費	0	5,479,853	40,098,000	4,000,000
財源	国庫支出金		2,731,000	19,300,000
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債		1,300,000	15,700,000
	一般財源		1,448,853	5,098,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町観光物産・交流センターの利用者数【総合戦略】【単】	8,174人/年 (現センター分)	人	目標	13,174/年	13,174/年	13,174/年	13,174/年	13,174/年	34%
				実績	4,486	-	-	-	-	
成果	佐々町観光物産・交流センターの収益増加額【総合戦略】【単】	0千円/年	千円	目標	1,500/年	1,500/年	1,500/年	1,500/年	1,500/年	84%
				実績	1,255	-	-	-	-	
成果	特産品の新商品開発件数【総合戦略】【累】	0件	件	目標	-	-	-	-	9	22%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	観光協会主催イベントの参加者数【総合戦略】【単】	0人/年	人	目標	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	5%
				実績	147	-	-	-	-	
活動	観光協会事務局の民間への移行【総合戦略】	-	-	目標	-	令和4年度以降	-	-	-	-
				実績	0.0	-	-	-	-	
成果	観光協会主催イベント数【総合戦略】【累】	0件	件	目標	-	-	-	-	6	17%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
観光協会コーディネーターも2年目となり、いろいろなところで声をかけられることが増えてきました。SNSフォロワー数も目標に達しましたが、今後も引き続き情報発信を進めていきます。佐々駅舎交流センターが完成しましたが、運用については、観光情報発信、地域交流の拠点となるように運用を進めていきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	5 - 3 - 1		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	資源を活かした観光地づくり						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	世代・地域を超えて様々な交流を育む環境をつくる				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項	1 商工費		
個別計画	-			目	4 観光費		

1 事業内容

【行動指針】

・多様な知恵とアイデアを結集して、地域資源の発掘と商品化、三大花まつり等の既存イベントの磨き上げとPR強化を行います。

【事業概要】

○観光協会による地域資源の発掘、商品化（決算額 3,600,000円【再掲】）
 下記の内容を、佐々町観光協会が実施しました。

①フォトコンテストの開催

・フォトライブラリーを獲得することを目的として、令和3年7月1日から令和4年6月30日までの4シーズンで開催。令和3年度は夏、秋、冬のコンテストを実施。11月には役場3階にて、夏の表彰式を実施。

※応募数 夏60点 秋38点 冬49点

②佐々伝育坊のPR【再掲】

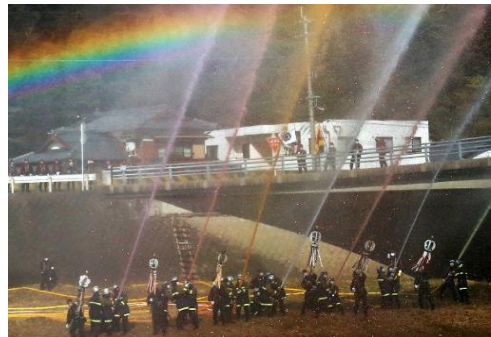
・伝育坊を再度知っていただくために、クリアファイルを作成し、町内全世帯に配布。
 ・町内の菓子店と一緒に共同で佐々町の新しい銘菓「佐々伝育坊もなか」を開発。



「フォトコンテスト夏」優秀作品



「フォトコンテスト秋」優秀作品



「フォトコンテスト冬」優秀作品



佐々伝育坊もなか

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		500,000	2,482,543	3,600,000	4,000,000
財源	国庫支出金		1,241,000	1,800,000	2,000,000
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	500,000	1,241,543	1,800,000	2,000,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	観光協会主催イベントの参加者数 【総合戦略】【単】	0人/年	人	目標	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	5%
				実績	147	-	-	-	-	
成果	観光協会SNSフォロワー数 【総合戦略】【累】	56人	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,508	-	-	-	-	
成果	佐々町観光物産・交流センターの 利用者数【総合戦略】【単】	8,174人/年 (現センター分)	人	目標	13,174/年	13,174/年	13,174/年	13,174/年	13,174/年	34%
				実績	4,486	-	-	-	-	
成果	佐々町観光物産・交流センターの 収益増加額【総合戦略】【単】	0千円/年	千円	目標	1,500/年	1,500/年	1,500/年	1,500/年	1,500/年	84%
				実績	1,255	-	-	-	-	
成果	特産品の新商品開発件数 【総合戦略】【累】	0件	件	目標	-	-	-	-	9	22%
				実績	2	-	-	-	-	
活動	観光協会事務局の民間への移行 【総合戦略】	-	-	目標	-	令和4年度以降	-	-	-	-
				実績	0.0	-	-	-	-	
成果	観光協会主催イベント数 【総合戦略】【累】	0件	件	目標	-	-	-	-	6	17%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和3年度は「佐々伝育坊」を観光資源として重点的に取り上げ、クリアファイルの作成、伝育坊を活かした菓子の新商品を作成しました。今後も現在ある資源の磨き上げ、新たな観光資源の発掘を観光協会と行っていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 3 - 2		担当課	企画商工課	担当班	商工観光班	
事業名	観光情報の発信						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	世代・地域を超えて様々な交流を育む環境をつくる				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項	1 商工費		
個別計画	-			目	4 観光費		

1 事業内容

【行動指針】

・観光協会を通して、SNSを活用した観光サイトの運用など様々な手段を駆使して、佐々町の魅力を情報発信していきます。
 ・佐々駅舎を改修し、各種イベント等に活用可能な多目的スペースを備えた観光物産・交流センターを整備し、観光・地域交流の拠点として情報発信を行います。

【事業概要】

○観光協会による情報発信活動（決算額 3,600,000円「再掲」）
 ・ホームページやInstagram・フェイスブックのSNSによる情報発信を実施しました。令和3年度は186投稿しました（3日に1投稿のペース）。
 ・町のPRの一環と、伝育坊を再度知っていただくために、クリアファイルを作成し、町内全世帯に配布しました。
 ・ランチが食べられるお店と、スイーツ販売店が分かる「佐々町ランチ&おやつマップ」を作成しました。
 ・町内の桜のスポットが分かる「佐々町さくらマップ」を作成しました。

○（佐々駅舎改修工事）（決算額 36,498,000円「再掲」）
 ・佐々川に近く、町の中心部にあり、交通の拠点である佐々駅舎をリノベーションし、「佐々駅舎交流センター」として 情報発信・地域交流の拠点となるよう、テナントスペース・交流スペース等の整備を行いました。



リノベーション後の佐々駅

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		500,000	5,462,396	40,098,000	4,000,000
財源	国庫支出金		2,731,000	19,300,000	2,000,000
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債		1,300,000	15,700,000	
	一般財源	500,000	1,431,396	5,098,000	2,000,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	観光協会主催イベントの参加者数 【総合戦略】【単】	0人/年	人	目標	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	3,000/年	5%
				実績	147	-	-	-	-	
成果	観光協会SNSフォロワー数 【総合戦略】【累】	56人	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,508	-	-	-	-	
成果	佐々町観光物産・交流センターの 利用者数【総合戦略】【単】	8,174人/年 (現センター分)	人	目標	13,174/年	13,174/年	13,174/年	13,174/年	13,174/年	34%
				実績	4,486	-	-	-	-	
成果	佐々町観光物産・交流センターの 収益増加額【総合戦略】【単】	0千円/年	千円	目標	1,500/年	1,500/年	1,500/年	1,500/年	1,500/年	84%
				実績	1,255	-	-	-	-	
成果	特産品の新商品開発件数 【総合戦略】【累】	0件	件	目標	-	-	-	-	9	22%
				実績	2	-	-	-	-	
活動	観光協会事務局の民間への移行 【総合戦略】	-	-	目標	-	令和4年度以降	-	-	-	-
				実績	0.0	-	-	-	-	
成果	観光協会主催イベント数 【総合戦略】【累】	0件	件	目標	-	-	-	-	6	17%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
観光協会SNSフォロワー数も目標に達しましたが、今後も引き続き情報発信を進めていきます。佐々町交流センターが完成したが、運用については、観光情報発信、地域交流の拠点となるように運用を進めていこうと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 2 - ◆3			担当課	企画商工課	担当班	商工観光班
事業名	空き店舗再生事業						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算 科目	会計	一般会計
	戦略目標	地域に密着した産業を創出・育成し、活力と賑わいのある商店街を形成するとともに、町産業力を強化する				款	7 商工費
法令根拠条例等	-			項		1 商工費	
個別計画	-			目		2 商工業振興費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・主婦・若者・学生等の多様な人材の柔軟な発想を取り入れ、空き店舗再生を目指します。</p> <p>【事業概要】</p> <p>商工会各部会が主催して先進地視察研修を計画していましたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できませんでした。</p> <p>空き店舗数 50店舗（商工会調べ） 令和3年度新規開業店舗数 3店舗（商工会調べ）</p>

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		28,366	0	0	60,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	28,366	0	0	60,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	空き店舗の再生事業数 【総合戦略】【累】	1件	件	目標	-	-	-	-	5	20%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業が進められませんでした。が、町内の空き店舗で開業した事業者は見られたので、今後も商工会と協力して、事業を進めていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
・空き店舗の情報があれば共有したい。 ・空き店舗の需要は多いが、家賃の額やリフォーム費用等がネックになるケースがあるので、そのギャップを埋める施策の検討を町にお願いしたい。	
委員会評価	
<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	3 - 1 - ◆		担当課	建設課	担当班	都市計画班		
事業名	身近な公園維持管理事業							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にするまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	快適な生活に必要な市街地や施設環境を整える				款	8	土木費
法令根拠条例等	佐々町愛護団体支援事業実施要綱			項		1	土木管理費	
個別計画	佐々町公園施設長寿命化計画			目		1	土木総務費	

1 事業内容

【行動指針】

・身近な公園をより地域に愛着のあるものにするため、愛護団体による活動を支援します。

【事業概要】

○愛護団体支援事業（決算額 229,217円）

愛護団体として登録された団体が、公園などの町有地を清掃活動をする際に、ごみ袋・軍手や草刈機替え刃などの消耗品、飲料品、草刈機の燃料・花苗などについて支給し、活動を援助した。

※令和3年度登録団体数(6団体)：神田・すみれ会・清掃クラブ、北部グラウンド整備団体、大日山愛護団体、さざん花、四ツ井樋末広会、神田上営農組合



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	85,622	229,217	2,075,830
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源		85,622	229,217	2,075,830

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	愛護団体登録者数【総合戦略】 【累】	0団体	団体	目標	-	-	-	-	10	60%
				実績	6	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
愛護団体の登録数については、2年目の事業として順調に登録団体が増えていることは評価できる。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 見直し 廃止

事業番号	3 - 2 - ◆1			担当課	建設課	担当班	都市計画班	
事業名	広域的道路ネットワーク構築事業							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを確保する				款	8	土木費
法令根拠条例等	-			項		1	土木管理費	
個別計画	-			目		1	土木総務費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・地域経済の発展や文化振興、生活圏拡大に不可欠で広域的な道路ネットワークを構築するものとして、西九州自動車道整備促進を進めます。

- 【事業概要】
- 西九州自動車道建設促進大会（町費負担なし）
 西九州自動車道の早期完成に向けた促進大会の開催により、促進活動を行った。また、その後国に対して、要望書の提出を行った。
 ※促進大会：令和3年12月18日、要望書提出：令和4年2月18日
 - 西九州自動車道建設促進期成会会費（決算額 63,000円）
 - 長崎県西九州自動車道建設促進期成会負担金（決算額 43,000円）
 - 東彼杵道路建設促進期成会会費（決算額 21,500円）



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費	246,560	127,500	127,500	236,700
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
一般財源	246,560	127,500	127,500	236,700

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	西九州自動車道延伸に関する 国への要望回数【総合戦略】 【単】	1回/年	回	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	1	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	
促進大会の開催、要望書の提出により早期完成にかける地元の熱意を国へ伝えることで、今後の事業予算確保につながる活動ができた。	A	業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 見直し 廃止

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P147~P150】

事業番号	3 - 2 - 1			担当課	建設課	担当班	技術担当班	
事業名	快適で確実に地域をつなぐ道づくり							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを確保する				款	8	土木費
法令根拠条例等	-			項		2	道路橋梁費	
個別計画	佐々町道路網整備計画			目		1	道路維持費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通渋滞の緩和や幹線道路ネットワークの機能強化により、町内及び町外との交流・連携が加速する道路整備を実現します。 日常生活移動や都市・生活施設へのアクセスにおける走行支障区間を改良し、便利で快適な移動が可能となる道路整備を実現します。 <p>【事業概要】</p> <p>維持管理費</p> <p>◆道路維持費</p>				
節	内容等	金額(円)		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
給料	会計年度任用職給(現業職パートタイム9名分)	12,784,456	13,012,930	228,474
職員手当等	会計年度任用職通勤手当(現業職パートタイム) 会計年度任用職期末手当(現業職パートタイム)	1,732,912	2,863,212	1,130,300
共済費	会計年度任用職通勤手当(現業職パートタイム)	2,181,290	2,371,062	189,772
消耗品費	道路維持用消耗品	1,001,569	775,794	△ 225,775
燃料費	公用車燃料費、町内会清掃分燃料費 など	755,964	750,967	△ 4,997
修繕料	町道舗装修繕、公用車修繕、道路維持補修用備品修繕 など	2,884,717	3,012,556	127,839
通信運搬費	建設課携帯電話料金	32,356	32,386	30
手数料	車検登録諸費用、維持補修用各種作業手数料、 公用車定期点検手数料	89,350	80,846	△ 8,504
自動車損害共済保険料	自動車損害共済保険料、自賠責保険料	222,170	178,570	△ 43,600
委託料	道路関係廃材処理業務委託料、町道路肩伐採草刈業務委託料 町道路面清掃業務委託料	503,413	1,093,575	590,162
使用料及び賃借料	重機借上料	991,542	585,933	△ 405,609
原材料費	町道維持補修用原材料	1,362,530	1,709,914	347,384
備品購入費	エンジンチェンソー(2台)、インバータ発電機(2台)、 エンジンプロア(2台)、オートレベル、 公用車ドライブレコーダー	0	593,428	593,428
公課費	自動車重量税	104,900	99,900	△ 5,000
合計		24,647,169	27,161,073	2,513,904
<p>【主な増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路維持費の人員費については、昨年度から継続した会計年度任用職の給与単価増により、1,548,546円となった。 委託料については、町道中央海岸線の路面清掃をオリンピック聖火リレー前に実施したことにより全体で590,162円の増となった。 備品購入費については、エンジンチェンソー、発電機、エンジンプロア、オートレベル、ドライブレコーダー購入により増となった。 				

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	33,472,477	24,647,169	27,161,073	31,534,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	33,472,477	24,647,169	27,161,073

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	西九州自動車道延伸に関する 国への要望回数【総合戦略】 【単】	1回/年	回	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	松浦鉄道1日乗降客数（町内4駅） 【総合戦略】【単】	1,369人/日	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	86%
				実績	1,171	-	-	-	-	
活動	長寿命化対策済橋梁数【累】 <small>（全98橋を対象に5年間で点検した結果に基づき長寿命化修繕計画による対策） （長寿命化対策が必要な橋梁数：40橋）※令和元年度末時点</small>	25/40橋	橋	目標	-	-	-	-	35/40	30%
				実績	28	-	-	-	-	
活動	道路ストック総点検後の補修済箇所 <small>（年次計画による補修） （補修が必要な箇所数：22箇所）</small>	11/22箇所	箇所	目標	-	-	-	-	16/22	9%
				実績	12	-	-	-	-	
活動	通学路の整備距離【累】 <small>（町が管理する道路の通学路4.50kmのうち、整備が必要な距離：2.02km） ※令和元年度時点</small>	0.97/2.02km	km	目標	-	-	-	-	2.02/2.02	17%
				実績	1.15	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
快適な道路環境維持のために十分な対応ができているとはいえないため、計画的に路肩伐採工事と事業を平行して実施していく必要がある。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 3 - 1			担当課	建設課	担当班	総務班	
事業名	安心の住まいづくり							
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にするまち			予算 科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	ライフスタイルに応じた安心の住まいの場を提供する				款	8	土木費
法令根拠条例等	佐々町住宅性能向上リフォーム支援事業補助金実施要綱、佐々町老朽危険空家等解体除却支援補助金交付要綱			項		1	土木管理費	
個別計画	-			目		1	土木総務費	

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・身体が不自由な方でも住みやすく、住宅内での事故を低減するためのバリアフリー化や安心して子どもを産み育てることができるための3世代同居等の住まいづくりを推進します。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○住宅性能向上リフォーム支援事業補助金（決算額 1,765,000円） 住宅のバリアフリー化など住宅性能の向上を伴う改修工事に対し、対象工事の30%（上限20万円）を補助する事業として、令和3年度中に11件の補助を行った。</p> <p>○老朽危険空家等解体除却支援補助金（決算額 1,200,000円） 良好な住環境の維持のため、老朽危険空家等の解体除却費に対し、対象工事の50%（上限60万円）を補助する事業として、令和3年度中に2件の補助を行った。</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		800,000	2,136,000	2,965,000	11,866,000
財源	国庫支出金	360,000	992,000	1,394,000	5,733,000
	県支出金		10,250		220,000
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	440,000	1,133,750	1,571,000	5,913,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町営住宅入居率【単】	97%	%	目標	99%	99%	99%	99%	99%	97%
				実績	96	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	
リフォーム事業、解体除却事業の件数は増えているが、3世代同居近居事業件数が減少したため、事業の周知方法を検討する必要がある。	A	業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 2 - 2			担当課	建設課	担当班	技術担当班	
事業名	災害に強い安全で安心を守る道づくり							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを確保する				款	8	土木費
法令根拠条例等	-			項		2	道路橋梁費	
個別計画	-			目		12	道路新設改良費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・高齢者や児童生徒など、交通弱者の安全を確保するとともに、迅速・安全な救急搬送が可能となる道路整備を実現します。
 ・緊急輸送道路の機能強化や市街地の延焼防止、集落の孤立可能性解消など、地域の防災力が向上する道路整備を実現します。

【事業概要】

維持管理費

◆道路新設改良費

節	内容等	金額(円)		比較 (B) - (A)
		2年度(A)	3年度(B)	
消耗品費	収入印紙代 など	25,920	28,758	2,838
印刷製本費		19,000		△ 19,000
委託料	道路台帳補正整備業務委託料	1,782,000	1,045,000	△ 737,000
使用料及び賃借料	市町橋梁維持管理システム運用使用料	145,200	145,200	0
公有財産購入費	町道改良用地費	405,900	264,300	△ 141,600
	合計	2,378,020	1,483,258	△ 894,762

【主な増減理由】

・委託料について、道路台帳補正整備業務委託料において、令和3年度中に変更した路線の加除・更新件数の減により、737,000円の減となった。

<委託料>

- 登記用地積測量図作成等業務委託料（決算額 1,466,300円）
- 町道改良工事調査測量設計業務委託料（決算額 14,408,900円）
町道中央海岸線ほか2線舗装たわみ量調査、町道平野線改良工事測量設計の業務委託を実施した。
- 橋梁長寿命化対策（古川橋他3橋補修）工事詳細設計業務委託料（決算額 15,262,500円）
平成30年度の橋梁定期点検において、Ⅱ判定であった橋梁について予防保全型の補修に先立ち詳細設計を行った。
- 道路橋定期点検業務委託料（R2繰越 決算額 7,348,000円）
町内24橋梁について、定期点検を実施した。

<工事請負費>

- 町道改良維持補修工事（決算額 90,863,300円）
- 橋梁長寿命化対策工事（R2繰越 決算額 21,485,200円）

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	146,914,412	73,088,220	152,317,458	170,657,000	
財源	国庫支出金	41,598,000	11,550,000	23,650,000	28,600,000
	県支出金				
	その他特定財源	29,867,000	3,693,800	16,121,378	5,000,000
	地方債	36,600,000	16,700,000	50,200,000	62,600,000
	一般財源	38,849,412	41,144,420	62,346,080	74,457,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	西九州自動車道延伸に関する 国への要望回数【総合戦略】 【単】	1回/年	回	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	1	-	-	-	-	
成果	松浦鉄道1日乗降客数（町内4駅） 【総合戦略】【単】	1,369人/日	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	86%
				実績	1,171	-	-	-	-	
活動	長寿命化対策済橋梁数【累】 <small>（全98橋を対象に5年間で点検した結果に基づき長寿命化修繕計画による対策） （長寿命化対策が必要な橋梁数：40橋）※令和元年度末時点</small>	25/40橋	橋	目標	-	-	-	-	35/40	30%
				実績	28	-	-	-	-	
活動	道路ストック総点検後の補修箇所【累】 <small>（年次計画による補修） （補修が必要な箇所数：22箇所）</small>	11/22箇所	箇所	目標	-	-	-	-	16/22	9%
				実績	12	-	-	-	-	
活動	通学路の整備距離【累】 <small>（町が管理する道路の通学路4.50kmのうち、整備が必要な距離：2.02km） ※令和元年度時点</small>	0.97/2.02km	km	目標	-	-	-	-	2.02/2.02	17%
				実績	1.15	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
安全で安心な道路の維持のため国庫補助事業を活用した橋梁定期点検、補修工事を今後も継続して実施していく必要がある。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-2-2 災害に強い安全で安心を守る道づくり」に関連する工事請負費【道路新設改良費】(決算書P150)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
14	工事請負費	町道改良維持補修工事	木場線舗装補修工事	舗装工A=494.0㎡	4,686,000
			小春露切橋線舗装補修工事	舗装工A=268.0㎡	2,563,000
			鴨川線舗装補修工事	舗装工A=1,150.0㎡	14,747,700
			里千本公園線舗装補修工事	舗装工A=1,330.0㎡	9,152,000
			美渡世越線舗装補修工事 (1工区)	舗装工A=770.0㎡	5,688,100
			木場線 (迎木場地区) 路肩改良工事 (3工区)	工事延長L=41.0m	9,884,600
			高陵町線防草シート設置工事	工事延長L=55.0m	1,531,200
			交通安全施設整備工事 (その1)	整備路線N=10路線	2,751,100
			交通安全施設整備工事 (その2)	整備路線N=3路線	2,032,800
			交通安全施設整備工事 (その3)	整備路線N=10路線	2,970,000
			町道舗装補修工事 (その1)	補修路線N=4路線	2,343,000
			町道舗装補修工事 (その2)	補修路線N=2路線	1,623,600
			町道側溝補修工事 (その1)	補修路線N=1路線	2,825,900
			町道側溝補修工事 (その2)	補修路線N=4路線	1,878,800
			末永線暗渠排水管・污水管移設工事	工事延長L=82.6m	19,661,400
			江里大茂線・木場線路肩伐採工事	工事延長L=652.0m	3,542,000
高野炭鉱線・栗林角山線路肩伐採工事	工事延長L=639.0m	2,982,100			
説明 計				90,863,300	

「3-2-2 災害に強い安全で安心を守る道づくり」に関連する工事請負費【道路新設改良費 (線越明許)】(決算書P150)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
14	工事請負費	橋梁長寿命化対策工事	橋梁長寿命化対策 (平田橋補修) 工事 (2工区)	橋梁補修N=1橋	10,447,800
			橋梁長寿命化対策 (石木場2号橋歩道橋ほか1橋補修) 工事	橋梁補修N=2橋	11,037,400
説明 計				21,485,200	

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - 1			担当課	建設課	担当班	技術担当班		
事業名	防災・減災対策の推進								
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち				予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる					款	11	災害復旧費
法令根拠条例等	-				項		2	公共土木施設災害復旧費	
個別計画	-				目		1	土木施設災害復旧費	

1 事業内容

- 【行動指針】
- ・ハザードマップを活用した危険個所の周知等、災害に対する知識の普及と情報発信を行います。
 - ・災害への事前の備えとして、防災備蓄品の整備、民間機関等との災害時における応援協定の充実に取り組みます。

【事業概要】
 ○河川等改良工事（決算額 6,971,800円）（R2繰越 20,759,700円）
 河川の安全管理のため、普通河川の伐採浚渫工事を行い、繰越工事では、河川断面を確保する整備工事に取り組みました。



2 コスト (単位: 円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	0	38,742,600	27,731,500	9,500,000	
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源		84,000	60,000	
	地方債		26,700,000	27,500,000	8,700,000
	一般財源		11,958,600	171,500	800,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	67%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
-			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-8-1 防災・減災対策推進事業」に関する工事請負費【河川改良費】(決算書P150)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14 工事請負費	河川等改良工事	江里川伐採浚渫工事(2工区)	工事延長L=60.0m	1,331,000
		高岩川支流伐採浚渫工事(1工区)	工事延長L=90.0m	3,082,200
		木場川伐採浚渫工事(2工区)	工事延長L=150.0m	2,423,300
		小浦排水路(水道地区)転落防護柵設置工事	工事延長L=8.0m	135,300
説明 計				6,971,800

「3-8-1 防災・減災対策推進事業」に関する工事請負費【河川改良費(繰越明許)】(決算書P152)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14 工事請負費	河川等改良工事	普通河川江里川支流護岸整備工事(7工区)	工事延長L=49.1m	13,665,300
		普通河川川添川支流(迎・葉山地区)整備工事(2-2工区)	工事延長L=69.2m	7,094,400
説明 計				20,759,700

【このページは空白です】

事業番号	3 - 1 - 1			担当課	建設課	担当班	都市計画班	
事業名	都市機能の強化							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち				会計	1	一般会計
	戦略目標	快適な生活に必要な市街地や施設環境を整える					予算科目	8
法令根拠条例等	-					項	5	都市計画費
個別計画	-					目	1	都市計画総務費

1 事業内容

【行動指針】
 ・都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、都市機能の強化に取り組みます。

【事業概要】
 ○都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定事業（決算額 5,622,000円）
 今後の社会・人口構造の変化に対応した将来的なまちづくりや土地利用に関する方針を定めるため、都市計画マスタープランを策定した。

まちづくり方針図



図 4-30 まちづくり方針図

2 コスト (単位: 円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費	0	10,240,000	5,622,000	0
財源	国庫支出金		5,120,000	1,107,000
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源		5,120,000	4,515,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	愛護団体登録者数【総合戦略】 【累】	0団体	団体	目標	-	-	-	-	10	60%
				実績	6	-	-	-	-	
活動	佐々町公園施設長寿命化計画に 位置付ける遊具の修繕・更新が 必要な公園数【累】	11公園	公園	目標	-	-	-	-	0	18%
				実績	9	-	-	-	-	
活動	公園トイレの修繕が必要な箇所数 【累】	9か所	か所	目標	-	-	-	-	0	11%
				実績	8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	
都市計画マスタープランの策定により、今後の都市機能の強化につながる指針が完成したが、今後の計画の実効性について関係課との調整が必要である。	A	業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P151～P154】

事業番号	3 - 1 - 2	担当課	建設課	担当班	都市計画班		
事業名	誰もが快適に利用しやすい公園づくり						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			会計	1	一般会計
	戦略目標	快適な生活に必要な市街地や施設環境を整える			款	8	土木費
法令根拠条例等	-			項	5	都市計画費	
個別計画	佐々町公園施設長寿命化計画			目	2	公園管理費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・多様化する町民ニーズに対応した特色のある公園の整備を進めます。また、車いす・杖利用者や高齢者、子どもなどのすべての町民が安心して公園を利用できるように、ユニバーサルデザインの導入を進めます。
 ・遊具などの公園設備の老朽化に対し、町民が安全に公園を利用できるように定期的な遊具の点検を行い、計画的な修繕・更新を行います。

【事業概要】
 維持管理費
 ◆公園管理費

節	内容等	金額(円)		比較(B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
消耗品費	公園管理用消耗品	211,688	197,871	△ 13,817
光熱水費	電気使用料、水道使用料	567,772	458,830	△ 108,942
修繕料	公園施設、遊具修繕 など	1,785,647	1,093,735	△ 691,912
種子肥料費	葛蒲園管理用農薬・肥料 など	505,640	388,047	△ 117,593
通信運搬費		27,014	0	△ 27,014
手数料	建築確認申請等手数料、蜂の巣駆除処理手数料、公園トイレ清掃等手数料	35,000	38,600	3,600
建物災害共済保険料	建物災害共済保険料	68,192	38,502	△ 29,690
委託料	公園清掃業務委託料、公園管理業務委託料、桜樹勢回復業務委託料、不法投棄物処分業務委託料 など	7,877,428	6,610,251	△ 1,267,177
使用料及び賃借料	公園管理用重機借上料	140,250	210,320	70,070
原材料	公園管理用原材料	68,512	71,878	3,366
	合計	11,287,143	9,108,034	△ 2,179,109

【主な増減理由】
 ・修繕料については、令和2年度にでんでんパークと羽須和第2公園のブランコ修繕を行ったため691,912円の減となった。
 ・委託料については、桜樹勢回復業務委託料において、治療木本数（R2年度84本→R3年度61本）の減により、1,267,177円の減となった。

<委託料>
 ○公園遊具定期点検業務委託料（決算額 767,250円）
 佐々町所管の公園に設置された遊具を、関係法令等に従って専門的な点検を行い、現在の遊具の状態を適正に管理した。
 ○小浦駅前公園公衆トイレアスベスト分析調査業務委託料（決算額 130,900円）

<工事請負費>
 ○公園施設整備工事（決算額 28,057,600円）
 ・小浦駅前公園園路整備工事（立木伐採及び植栽）（決算額 3,291,200円）
 小浦駅前公園内の植栽等が繁茂しており、公園利用に支障をきたしていることから、維持管理のために伐採・剪定を行った。
 ・小浦駅前公園公衆トイレ新築工事（決算額 23,170,400円）
 小浦駅前公園内のバリアフリー化のため、公園内に車椅子用スロープを新設した。また老朽化している男女兼用の公衆トイレを解体し、男女を区画し、多目的トイレを整備した公衆トイレを新築した。
 ・小浦中央公園防護柵設置工事（決算額 605,000円）
 公園からの飛び出し等危険防止のため防護柵を設置した。
 ・公園長寿命化（千本公園整備）工事（決算額 991,000円）
 ○公園施設長寿命化工事（R2繰越 決算額 34,000,000円）
 ・公園長寿命化（千本公園整備）工事
 公園施設長寿命化に基づき、千本公園の遊具及び四阿の改修にあわせて遠路整備を行った。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	68,060,703	43,821,182	72,063,784	55,478,000	
財源	国庫支出金	27,000,000	16,426,586	16,000,000	15,000,000
	県支出金				
	その他特定財源			2,000,000	
	地方債	24,300,000	13,500,000	16,000,000	15,000,000
	一般財源	16,760,703	13,894,596	38,063,784	25,478,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	愛護団体登録者数【総合戦略】 【累】	0団体	団体	目標	-	-	-	-	10	60%
				実績	6	-	-	-	-	
活動	佐々町公園施設長寿命化計画に 位置付ける遊具の修繕・更新が 必要な公園数【累】	11公園	公園	目標	-	-	-	-	0	18%
				実績	9	-	-	-	-	
活動	公園トイレの修繕が必要な箇所数 【累】	9か所	か所	目標	-	-	-	-	0	11%
				実績	8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	
公園維持管理事業として、住民の要望に対応しながら、公園施設長寿命化計画に沿った事業を進めることができた。	A	業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-1-2 誰もが快適に利用しやすい公園づくり」に関連する工事請負費【公園管理費】(決算書P154)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14 工事請負費	公園施設整備工事	小浦駅前公園園路整備工事 (立木伐採及び剪定)	伐採・剪定一式	3,291,200
		小浦駅前公園 (園路整備・公衆トイレ更新) 工事	トイレ新築解体工事一式、車椅子用スロープ新設	23,170,400
		小浦中央公園防護柵設置工事	工事延長L=20.0m	605,000
		公園施設長寿命化(千本公園整備)工事	既存遊具撤去大型遊具新設工事一式、園路整備一式	991,000
説明 計				28,057,600

「3-1-2 誰もが快適に利用しやすい公園づくり」に関連する工事請負費【公園管理費 (繰越明許)】(決算書P154)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14 工事請負費	公園施設長寿命化工事	公園施設長寿命化(千本公園整備)工事	既存遊具撤去大型遊具新設工事一式、園路整備一式	34,000,000
説明 計				34,000,000

【このページは空白です】

事業評価シート

(令和 3 年度)

【決算書P153~P156】

事業番号	3 - 3 - 2			担当課	建設課	担当班	総務班	
事業名	公営住宅の適正な維持管理							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	ライフスタイルに応じた安心の住まいの場を提供する				款	8	土木費
法令根拠条例等	-			項		6	住宅費	
個別計画	佐々町公営住宅等長寿命化計画			目		1	住宅管理費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・屋根の防水対策や外壁、給排水管の耐久性を高める工事を実施し、住宅の長寿命化と維持管理費の縮減に取り組むとともに、耐用年数が経過し老朽化が著しい公営住宅については、周辺地域の安全確保や生活環境改善のため、今後の需要を踏まえたうえで解体撤去を行います。

【事業概要】

維持管理費
 ◆住宅管理費

節	内容等	金額(円)		比較 (B) - (A)
		2年度(A)	3年度(B)	
消耗品費	住宅管理用消耗品	156,403	128,914	△ 27,489
印刷製本費	窓あき封筒、口座振替利用申込書	3,040	32,750	29,710
光熱水費	町営住宅上水使用料、電気使用料	1,543,599	1,514,527	△ 29,072
修繕料	住宅管理費修繕料	11,834,727	12,501,315	666,588
通信運搬費	督促等郵送料	256,000	256,000	0
手数料	口座振替手数料、コンビニ収納事務手数料、退去時清掃等手数料、公金口座手数料	1,510,594	1,672,357	161,763
建物災害共済保険料	町営住宅災害共済保険料	869,673	900,165	30,492
委託料	牧崎C・口石・末永・市瀬第2・神田団地消防設備法定点検業務委託料、町営住宅白蟻防除業務委託料、エレベーター保守点検業務委託料、市瀬第2団地高架水槽清掃業務委託料、団地内公園草刈等業務委託料	3,675,106	3,436,027	△ 239,079
原材料費	補修用原材料	38,940	25,375	△ 13,565
	合計	19,888,082	20,467,430	579,348

【主な増減理由】
 ・修繕料については、292件で29件減となったが、費用は666,588円増となった。
 ・委託料については、前年度突発的な町営住宅の白蟻被害のため防除したものがR3年度はなかったことから合計で239,079円減となった。

<委託料>
 ○牧崎団地(新C棟)アスベスト分析調査業務委託料(決算額 190,300円)
 牧崎団地新C棟の屋根外壁改修の実施設計に伴い、外壁及び軒天に使用している建築用仕上塗材のアスベスト含有の有無を確認した。
 ○牧崎団地(新C棟)屋根外壁改修工事設計業務委託料(決算額 2,860,000円)
 佐々町公営住宅等長寿命化計画に基づき、牧崎団地新C棟の屋根外壁改修工事の実施設計書の作成を委託した。
 ○市瀬第2団地アスベスト分析調査業務委託料(決算額 496,100円)
 市瀬第2団地ABCD棟の外壁改修の実施設計に伴い、外壁及び軒天に使用している建築用仕上塗材のアスベスト含有の有無を確認した。
 ○市瀬第2団地(ABCD棟)外壁改修工事設計業務委託料(決算額 6,160,000円)
 佐々町公営住宅等長寿命化計画に基づき、市瀬第2団地ABCD棟の外壁改修工事の実施設計書の作成を委託した。
 ○佐々南集会所屋根外壁改修工事設計業務委託料(決算額 1,485,000円)
 佐々町公営住宅等長寿命化計画に基づき、佐々南集会所の屋根外壁改修工事の実施設計書の作成を委託した。
 ○団地内公園遊具定期点検業務委託料(決算額 57,750円)
 団地内公園に設置された遊具を、関係法令等に従って専門的な点検を行い、現在の遊具の状態を適正に管理した。

<工事請負費>
 ○町営住宅整備改修工事(決算額 2,948,000円)

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	226,600,979	210,817,172	34,664,580	251,207,000	
財源	国庫支出金	82,569,000	75,563,890	9,213,000	79,522,000
	県支出金				
	その他特定財源		42,000		
	地方債	100,900,000	89,000,000	1,900,000	106,400,000
	一般財源	43,131,979	46,211,282	23,551,580	65,285,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町営住宅入居率【単】	97%	%	目標	99%	99%	99%	99%	99%	97%
				実績	96	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・ 意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・ 自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・ 対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・ 投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
公営住宅長寿命化計画に沿った事業を実施し、公営住宅の維持管理を適正に行うことができた。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-3-2 公営住宅の適正な維持管理」に関連する収納状況(住宅使用料等)(決算書P19)

区分及び団地名	年度	収入済額 (円)	収入未済 件数	収入未済額 (円)
住宅使用料(現年度)	R3	123,100,500	3	207,900
団地別収入済額				
牧崎団地	R3	4,310,000		
里山団地	R3	5,060,600		
里山第2団地	R3	1,681,200		
市瀬第2団地	R3	19,091,400		
松瀬団地	R3	6,258,600		
末永団地	R3	20,718,500		
口石団地	R3	38,229,300		
豎山団地	R3	6,370,800		
牧崎団地(旧県営)	R3	1,086,600		
函池団地	R3	2,480,000		
牧崎団地(C棟)	R3	7,252,100		
神田団地	R3	10,504,400		
目的外使用料(1件)	R3	57,000		

区分及び団地名	年度	収入済額 (円)
共益費(現年度)	R3	6,236,500
団地別収入済額		
市瀬第2団地	R3	765,500
末永団地	R3	1,414,700
口石団地	R3	2,065,100
豎山団地	R3	408,000
牧崎団地(C棟)	R3	792,500
神田団地	R3	785,000
目的外使用料(1件)	R3	5,700

区分及び団地名	年度	収入済額 (円)
駐車場使用料（現年度）	R3	10,707,600
団地別収入済額		
牧崎団地	R3	428,000
市瀬第2団地	R3	2,557,600
松瀬団地	R3	610,300
末永団地	R3	2,015,600
口石団地	R3	3,120,300
豎山団地	R3	570,800
牧崎団地（C棟）	R3	388,800
牧崎団地（旧県営）	R3	72,000
神田団地	R3	944,200

区分	年度	収入済額 (円)	収入未済 件数	収入未済額 (円)
住宅使用料（滞納繰越分）	-	1,297,220	116	11,429,140
年度別収入未済額				
-	H9	-	1	90,040
-	H10	-	1	76,000
-	H11	-	3	207,800
-	H12	-	3	344,100
-	H13	-	3	343,700
-	H14	-	6	599,020
-	H15	-	6	545,080
-	H16	-	5	386,200
-	H17	-	7	623,420
-	H18	-	9	1,301,880
-	H19	-	9	1,412,900
-	H20	-	7	712,100
-	H21	-	7	617,200
-	H22	-	7	632,200
-	H23	-	6	312,300
-	H24	-	5	612,500
-	H25	-	3	233,900
-	H26	-	5	611,300
-	H27	-	4	430,700
-	H28	-	3	109,000
-	H29	-	6	491,900
-	H30	-	6	464,600
-	H31	-	3	251,700
-	R2	-	1	19,600

区分	年度	収入済額 (円)	収入未済 件数	収入未済額 (円)
共益費(滞納繰越分)	-	19,100	48	499,630
年度別収入未済額				
-	H11	-	1	5,100
-	H12	-	1	18,700
-	H13	-	2	18,700
-	H14	-	3	56,260
-	H15	-	3	50,070
-	H16	-	2	11,400
-	H17	-	3	32,000
-	H18	-	3	47,800
-	H19	-	2	40,800
-	H20	-	3	37,500
-	H21	-	2	23,800
-	H22	-	4	44,700
-	H23	-	4	13,500
-	H24	-	2	13,200
-	H25	-	2	5,400
-	H26	-	2	10,100
-	H27	-	2	25,800
-	H28	-	0	0
-	H29	-	2	7,600
-	H30	-	3	20,700
-	H31	-	2	16,500
-	R2	-	0	0

区分	年度	収入済額 (円)	収入未済 件数	収入未済額 (円)
駐車場使用料 (滞納繰越分)	-	26,000	39	541,700
年度別収入未済額				
-	H11	-	1	6,000
-	H12	-	1	22,000
-	H13	-	2	22,000
-	H14	-	2	30,900
-	H15	-	2	20,400
-	H16	-	1	4,000
-	H17	-	2	32,000
-	H18	-	3	58,000
-	H19	-	2	48,000
-	H20	-	3	48,000
-	H21	-	2	28,000
-	H22	-	4	58,000
-	H23	-	3	20,700
-	H24	-	2	31,700
-	H25	-	2	26,000
-	H26	-	2	34,000
-	H27	-	1	20,000
-	H28	-	0	0
-	H29	-	1	8,000
-	H30	-	2	14,000
-	H31	-	1	10,000
-	R2	-	0	0

「3-3-2 公営住宅の適正な維持管理」に関する工事請負費【住宅管理費】(決算書P156)

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	町営住宅整備改修工事	牧崎団地(新C棟)遠隔式水道メーター更新工事	水道メーター更新工事一式 N=24個	1,353,000
		神田団地(AB棟)遠隔式水道メーター更新工事	水道メーター更新工事一式 N=36個	1,595,000
説明 計				2,948,000

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - 1			担当課	建設課	担当班	技術担当班	
事業名	防災・減災対策の推進							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	1	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる				款	11	災害復旧費
法令根拠条例等	-			項		2	公共土木施設災害復旧費	
個別計画	-			目		1	土木施設災害復旧費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・ハザードマップを活用した危険個所の周知等、災害に対する知識の普及と情報発信を行います。
 ・災害への事前の備えとして、防災備蓄品の整備、民間機関等との災害時における応援協定の充実に取り組みます。

【事業概要】
 ○土木施設災害復旧事業（決算額 現年度 13,482,260円）（R2繰越 18,943,100円）
 自然災害により発生した公共土木施設災害に対し、復旧工事に伴う測量設計業務を行い、応急復旧工事及び復旧工事に取り組みました。

【R3年度】
 ・3年災土木施設災害復旧工事測量設計業務委託料（決算額 3,762,000円）
 ・3年災公共土木施設災害応急復旧工事（決算額 9,720,260円）

【R2繰越】
 ・2年災公共土木施設災害復旧工事（決算額 18,943,100円）



2 コスト (単位: 円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		30,457,155	146,199,149	32,425,360	14,600,000
財源	国庫支出金		76,316,000	10,562,000	
	県支出金				
	その他特定財源		4,000	1,581,000	
	地方債	11,100,000	40,900,000	9,800,000	
	一般財源	19,357,155	28,979,149	10,482,360	14,600,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	67%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
-			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-8-1 防災・減災対策推進事業」に関連する工事請負費【土木施設災害復旧費】(決算書P200)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
14	工事請負費	3年災公共土木施設災害 応急復旧工事	町道野寄角山線道路災害応急工事	災害応急工事一式	62,700
			町道半白線道路災害応急工事	災害応急工事一式	85,800
			町道浄香谷線道路災害応急工事	災害応急工事一式	381,700
			町道江里大茂線支-1道路災害応急工事	災害応急工事一式	816,200
			町道迎木場線道路災害応急工事	災害応急工事一式	38,500
			町道真申美渡世越線応急工事	災害応急工事一式	24,860
			町道迎露木線道路災害応急工事	災害応急工事一式	36,300
			町道高野炭鋤線道路災害応急工事	災害応急工事一式	40,700
			町道半坂線,木場線,夜萩線,半白線道路災害 応急工事	災害応急工事一式	190,300
			町道浄香谷線道路災害応急工事 (その2)	災害応急工事一式	944,900
			町道栗林角山線道路災害応急工事	災害応急工事一式	398,200
			町道浄香谷線道路災害応急復旧工事 (その 3)	災害応急工事一式	6,700,100
			説明 計		

「3-8-1 防災・減災対策推進事業」に関連する工事請負費【土木施設災害復旧費 (繰越明許)】(決算書P202)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
14	工事請負費	2年災公共土木施設災害 復旧工事	2年災普通河川木場川支流災害復旧工事	工事延長L=48.4m	4,956,600
			2年災町道半白線道路災害・開地区農業用 施設災害復旧工事	工事延長L=17.0m	6,605,500
			2年災準用河川志方川災害復旧工事	工事延長L=13.0m	7,381,000
説明 計				18,943,100	

【このページは空白です】

事業番号	5 - 1 - ◆1		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	新規就農支援事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	農業人材力強化総合支援事業実施要綱			項	1 農業費		
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想			目	5 農業振興費		

1 事業内容

【行動指針】

・本町農業への関心、就農意欲を高める情報発信を進めるとともに、農業就農希望者が意欲を持って就農できる環境を充実させます。

【事業概要】

- 農業次世代人材投資事業費補助金の交付（決算額 3,750,000円）
 農業を始めてから経営が安定するまでの間（最長5年）、収入保障として新規就農者に対し、経営確立資金として補助金を交付しました。
 - ①畜産（単身型-4年目）125,000円×12月×1件=1,500,000円
 - ②ミニトマト（夫婦型-3年目）187,500円×12月×1件=2,250,000円

《交付基準額》

単身型：125,000円／月（1,500,000円／年）
 夫婦型：187,500円／月（2,250,000円／年）

《交付期間》

最大5年間（令和4年度以降の認定新規就農者については3年間）

《交付対象者の主な要件》

1. 独立・自営就農時の年齢が、原則49歳以下の認定新規就農者であり、次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有していること。
2. 自ら作成した青年等就農計画に即して主体的に農業経営を行う独立・自営就農であること。
3. 青年等就農計画等が独立・自営就農5年後には農業（自らの生産に係る農産物を使った関連事業で生計が成り立つ実現可能な計画であること。
4. 市町村が作成する人・農地プランに中心となる経営体として位置付けられていること、または農地中間管理機構から農地を借り受けていること。
5. 生活保護等、生活費を支給する国の他の事業と重複需給していないこと。
6. 原則として前年の世帯所得が6,000,000円以下であること。

※夫婦ともに就農する場合は夫婦合わせて1.5人分を交付する。

※交付期間終了後、交付期間と同期間以上、営農を継続しなかった場合、返還の対象となる。

2 コスト（単位：円）

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	6,000,000	4,875,000	3,750,000	5,250,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	6,000,000	4,875,000	3,750,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	0	0	0

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		2
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
経営が不安定である経営初期段階の新規就農者2件(3名)に対して農業次世代人材投資事業により助成しました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見	
後継者もおらず、新規就農者を募集しても実績が上がらない状況であるが、目標達成に向けて努力をしてもらいたい。	
委員会評価	
<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	5 - 1 - ◆2			担当課	農林水産課	担当班	農林水産班
事業名	地域集落営農推進事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、経営所得安定対策推進事業実施要綱				項	1 農業費	
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想				目	5 農業振興費 他	

1 事業内容

【行動指針】

- ・ 持続的で効率的な農業経営を図るため、集落営農組織、農地所有適格法人を拡大します。

【事業概要】

① 経営所得安定対策等推進事業費補助金の交付（決算額 934,000円） P130
 佐々町地域農業再生協議会へ事務費に係る補助金を交付し、水田における転作を奨励するため、水田フル活用ビジョンを作成し、経営所得安定対策等の農業者への直接支払交付金に係る交付金事務を実施しました。
 （予算科目：6-1-5農業振興費）

② 中山間地域等直接支払交付金の交付（決算額 19,487,361円） P134
 農業生産条件の不利な中山間地域において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための協定を締結し、農業生産活動を行う場合、面積・活動内容に応じて交付金を交付しました。
 ・ 志方集落- 428,778円、東部集落- 8,709,855円、木場集落- 10,348,728円
 （予算科目：6-1-9中山間地域等直接支払制度事業費）

③ 多面的機能支払交付金の交付（決算額 7,369,190円） P136
 農地・農業用水等の資源の保全と質の向上を図るとともに、農業が本来有する自然環境機能を維持・増進するため、地域の共同活動及び老朽化が進む農業用排水路等の補修等を行う活動組織に面積・活動内容に応じて交付金を交付しました。
 ・ 大新田地区活動組織-1,437,750円、森ノ木地区活動組織-774,900円、市瀬地区活動組織-978,860円、神田地区活動組織-891,720円、牟田原地区活動組織-231,710円、木場本陣の里活動組織-2,345,650円、野寄地区活動組織-319,800円、角山地区活動組織-231,000円、神田中山間地区活動組織-157,800円
 （予算科目：6-1-12多面的機能支払交付金事業費）

④ 環境保全型農業直接支払交付金の交付（決算額 1,374,000円） P134
 地球温暖化防止や生物多様性保全のため、環境保全効果の高い有機農業に取り組む団体を支援するため交付金を交付しました。
 （予算科目：6-1-10環境保全型農業直接支援対策事業費）

※ 木場地区において、中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能支払交付金を活用し活動していく中で、共同活動による「麦・大豆」の作付けを計画され、平成18年7月に設立されていた「木場地区機械利用組合」を、令和元年7月に規約改正を行うことにより、集落営農組織として位置付けられました。
 また、集落営農組織として「麦・大豆」を作付、収穫、販売することで、経営所得安定対策等直接支払交付金を受給できることとなりました。
 なお、令和元年度の作付面積は2.4haでしたが、令和2年度以降、木場地区内外の農地を活用し、「麦」の作付けが拡大したことにより、作付面積が13.8haと増加しています。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	30,494,607	29,107,951	29,164,551	30,840,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	23,067,949	22,053,460	23,755,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	7,426,658	7,054,491	7,057,641

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
当事業による各種補助金を組み合わせることで、集落営農組織の麦の作付面積が増加しています。ただし、作付面積増加に伴う収穫量の増加に対し、組織が持つ現時点の農業用機械では収穫時期を逸し、また、天候等の条件により、収穫作物の等級が落ちてしまう状況が発生しています。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
現状維持 見直し 廃止

事業番号	5 - 1 - 1		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	意欲ある多様な担い手の育成支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	元気ある担い手アクション支援事業実施要綱			項	1 農業費		
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想			目	5 農業振興費		

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐々町地域農業担い手育成総合支援協議会を中心に、認定農業者の確保・育成や集落営農の取組を推進します。 <p>【事業概要】</p> <p>○ 元気ある担い手アクション支援事業（決算額 56,000円） P130 次代の活力ある若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指し、認定農業者数を維持するとともに、農業に呼び込むために農業所得1,000万円以上が可能となる経営体等を育成を目指します。これらを踏まえ、担い手の支援の拠点となる行政、農業委員会、農業協同組合等の関係機関・団体に構成される担い手育成総合支援協議会を事業主体とし、認定農業者を確保・育成するため、「元気ある担い手アクション支援事業」を実施します。</p> <p>令和3年度事業としては、協議会として担当者会への参加、総会の開催、認定農業者の更新に係る農業経営改善計画作成支援（6件）を行い、また、認定農業者及び認定新規就農者に対し農業の税制についてのハンドブックの購入に係る補助金を交付しました。</p> <p>○ 農作業支援者育成・サポート体制構築事業（決算額 3,052,653円） P130 認定農業者の賛同者で組織された「さざんか農援隊」の農作業支援者を雇用することにより、農業経営の改善促進と雇用の拡大を図ります。</p> <p>令和3年度事業としては、ながさき西海農業協同組合を委託先として、雇用者1名の賃金、2名の社会保険料等の支援を行いました。</p>

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	3,308,453	2,957,388	3,108,653	3,847,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	51,000	36,000	28,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	3,257,453	2,921,388	3,080,653

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	2
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
佐々町の農業を担う経営感覚に優れ、強い経営力を持った農業経営体を育成するため、認定農業者等の経営改善のための支援に取り組みました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 1 - 4			担当課	農林水産課	担当班	農林水産班
事業名	農業生産環境の整備						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	-			項	1 農業費		
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想			目	5 農業振興費 他		

1 事業内容

【行動指針】

・耕作放棄地の抑制とともに、農地の環境保全、農業用施設の長寿命化対策の推進、イノシシやアライグマ等による農作物等の被害防止対策に取り組みます。

【事業概要】

○農林商工業振興事業費補助金（持続的生産強化対策事業）（決算額 2,575,000円） P130
製茶工場に省エネルギー機械（ボイラー等）を導入し、品質の向上と低コスト化を図ることにより、所得率を向上させ、茶生産者の安定を図りました。
※省エネルギー機械：ボイラー、蒸気・葉打機各1台

○鳥獣被害防止総合対策事業（決算額 5,875,269円） P130
イノシシやアライグマなどによる農作物などの被害防止のため、捕獲対策・防護対策・棲み分け対策の3対策に重点的に取り組むことで、年々増加する耕作放棄地の抑制に努め、農作物の安定した生産を推進しました。

有害鳥獣対策関係資料（農林水産課調）

鳥獣類による農作物への被害状況（総合計）

【イノシシ】

年 度	R 1	R2	R3
被害面積（a）	85	321	449
被害量（t）	7.50	15.74	21.58
被害額（千円）	662	3,621	5,072

イノシシ捕獲頭数（総合計）

年 度	R 1	R2	R3
捕獲頭数	401	484	366
報奨金（円）	3,007,500	3,630,000	2,745,000

※報奨金は1頭当たり7,500円

その他鳥獣類の捕獲状況

単位：頭、羽

年 度	R 1	R2	R3
アライグマ	75	80	78
アナグマ	20	40	10
カラス	8	30	4
タヌキ	25	40	9
シカ	0	4	3
合計	128	194	104
報奨金（円）	256,000	388,000	213,500

※報奨金は1頭当たり2,000円

(R3年度9月からシカのみ、1頭当たり7,500円)

○佐々町和牛振興対策事業（決算額 7,091,651円） P132
経営頭数の維持及び規模拡大のため、優良系統牛への更新・増頭を図る助成などを行いました。平戸中央家畜市場運営協議会において、生産者及び関係機関と連携し、販売の強化活動を行いました。

また、県北地域が抱える獣医師不足を解消するため、ながさき西海農協管内の市町が連携し、県北地区家畜診療所への運営補助を行い、安定した畜産経営を支援しました。

佐々町肉用牛生産奨励補助金推移

年 度	頭 数	金 額
令和元年度	360	1,080,000
令和2年度	341	1,023,000
令和3年度	387	1,161,000

2 コスト

(単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		31,327,772	36,059,173	15,541,920	40,584,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	13,692,000	16,151,000	1,595,000	16,515,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	17,635,772	19,908,173	13,946,920	24,069,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
捕獲対策・防護対策・棲み分け対策の3対策を行い、耕作放棄地の抑制に努め、農作物等の被害防止対策に取り組みました。また、製茶工場に省エネルギー機械（ボイラー等）を導入し、環境保全に努めました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 8 - 1			担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	防災・減災対策の推進							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる					款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	-				項	1 農業費		
個別計画	-				目	8 農地費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・ハザードマップを活用した危険個所の周知等、災害に対する知識の普及と情報発信を行います。
- ・災害への事前の備えとして、防災備蓄品の整備、民間機関等との災害時における応援協定の充実に取り組みます。

【事業概要】

○大新田排水機場修繕事業（決算額 現年度 145,222,000円）（R2繰越 50,450,000円） P132, 138

大新田排水機場は、県営水田農業支援排水対策特別事業により、平成6年に築造され、27年が経過しており、施設の各所で塗装の剥離や錆、部品の摩耗等が見受けられ、近年では機械の故障が多発傾向にあるため、平成30年度に排水機場の機能保全計画を作成し、令和2年度は1号排水ポンプの分解・整備、令和3年度は2号排水ポンプの分解・整備を実施し、施設の長寿命化を目的に補修を行いました。

		平成30年度			令和2年度			令和3年度			合計
項目	年度	現年	繰越	計	現年	繰越	計	現年	繰越	計	
委託料 (設計)	機能保全計画	11,720,160	0	11,720,160			0			0	11,720,160
	排水ポンプ			0	8,239,000	0	8,239,000	3,377,000	0	3,377,000	11,616,000
	水門・除塵機			0	1,650,000	0	1,650,000	2,651,000	0	2,651,000	4,301,000
	建屋			0			0			0	0
修繕料	排水ポンプ1号			0	26,121,000	50,450,000	76,571,000			0	76,571,000
	排水ポンプ2号			0			0	97,548,000	0	97,548,000	97,548,000
	排水ポンプ3号			0			0			0	0
	水門			0	3,025,000	0	3,025,000			0	3,025,000
	除塵機			0	572,000	0	572,000	20,196,000	0	20,196,000	20,768,000
	ポンプ補機設備			0			0	21,450,000	0	21,450,000	21,450,000
	電気設備			0			0			0	0
	建屋			0			0			0	0
合計		11,720,160	0	11,720,160	39,607,000	50,450,000	90,057,000	145,222,000	0	145,222,000	246,999,160
財源内訳	国・県(70%)	0	0	0	27,692,000	35,308,000	63,000,000	101,360,000	0	101,360,000	164,360,000
	起債	0	0	0	10,600,000	13,600,000	24,200,000	39,000,000	0	39,000,000	63,200,000
	一般財源	11,720,160	0	11,720,160	1,315,000	1,542,000	2,857,000	4,862,000	0	4,862,000	19,439,160

○農村地域防災減災事業（ため池整備）（決算額 現年度 1,331,000円）（R2繰越 2,076,800円） P132, 138

近年、局所的な豪雨が頻発化しており、老朽化したため池の決壊による甚大な被害が発生しているため、ため池ハザードマップの作成及びため池堤体等の劣化状況の調査を行いました。

- ・ため池ハザードマップ作成 17池(R2繰越分)
- ・ため池劣化状況評価 3池(R3現年分)

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		11,313,020	54,218,352	204,070,779	159,847,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	9,000,000	37,427,000	139,939,000	99,920,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	10,600,000	39,000,000	40,300,000
	一般財源	2,313,020	6,191,352	25,131,779	19,627,000

1 事業内容

○農地防災減災事業（ため池整備）

< 資 料 >

ため池ハザードマップ作成業務委託

番号	令和2年度	番号	令和2年度（繰）	番号	令和3年度（繰）
1	新堤	1	二段堤	1	平田第二ため池
2	丸尾ため池	2	三段堤	2	上の原第一ため池
3	大畑（上）ため池	3	上里ため池	3	越木岩第一ため池
4	大畑（下）ため池	4	大小田ため池	4	山下第一ため池
5	真竹谷ため池	5	黒岩ため池	5	持田ため池
6	神田春の池ため池	6	池田ため池	6	太田ため池
7	葉山ため池	7	夜萩第三ため池	7	本陣第一ため池
8	平田第一ため池	8	惣勘田ため池	8	横立第一ため池
9	社ノ元ため池	9	岩下第二ため池	9	稗田ため池
10	上小田ため池	10	五島田第一ため池		
11	川添ため池	11	福松田第二ため池		
12	大山口ため池	12	原中第一ため池		
		13	西女ため池		
		14	園山第二ため池		
		15	平田第三ため池		
		16	池場上ため池		
		17	帽子田ため池		
				ハザードマップ作成ため池数：38池	

※防災重点ため池の堤体が地震により決壊した場合の下流域の被害予想図を作成する業務

ため池劣化状況評価業務委託

番号	令和3年度	番号	令和3年度（繰）	番号	令和4年度
1	二段堤	1	新堤	1	大畑（上）ため池
2	三段堤	2	平田第二ため池	2	大畑（下）ため池
3	上里ため池	3	上の原第一ため池	3	山下第一ため池
		4	越木岩第一ため池	4	持田ため池
		5	大小田ため池	5	太田ため池
		6	黒岩ため池	6	池田ため池
		7	丸尾ため池	7	夜萩第三ため池
				8	惣勘田ため池
				9	岩下第二ため池
劣化評価対象外				10	五島田第一ため池
1	平田第三ため池			11	福松田第二ため池
2	池場上ため池			12	原中第一ため池
3	平田第一ため池			13	真竹谷ため池
4	帽子田ため池			14	神田春の池ため池
5	稗田ため池			15	葉山ため池
6	社ノ元ため池			16	本陣第一ため池
7	上小田ため池			17	西女ため池
8	川添ため池			18	横立第一ため池
9	大山口ため池			19	園山第二ため池
				劣化評価ため池数：29池	

※ため池の劣化状況を調査・評価し、ため池防災整備事業の必要性を判断する業務。

※劣化評価対象外は、県が整備を予定しているため、対象外となっているため池。

維持管理経費

◆大新田排水機場

節	内容等	金額(円)		比較 (B)－(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
消耗品費	管理用消耗品	100,100	38,073	△ 62,027
燃料費	A 重油他	172,040	388,560	216,520
光熱水費	電気料、水道料	1,930,260	1,910,931	△ 19,329
修繕料	施設修繕料	115,500	172,700	57,200
通信運搬費	電話料	34,906	35,289	383
手数料	トイレ汲取料	0	0	0
建物災害共済保険料	建物災害共済保険料	81,227	81,227	0
委託料	電気工作物保安管理、運転管理業務、地下タンク 法定点検、消防設備点検、産業廃棄物処分	2,376,319	2,364,199	△ 12,120
	合計	4,810,352	4,990,979	180,627

【主な増減理由】

大雨時の排水ポンプ運転時間が長時間になり燃料費が、217千円の増となった。

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	67%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
平成30年度に大新田排水機場の機能保全計画を策定し、令和2年度から4年度の3か年で大規模修繕を実施することにより、大雨時の排水ポンプの老朽化による機器面での不安を解消し、安定稼働に資することができると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する需要費【農地費】(決算書P132)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
10	需用費	修繕料	大新田排水機場2号排水ポンプ補修	2号排水ポンプ (主ポンプ・減速機・原動機) 分解整備	97,548,000
			大新田排水機場除塵設備補修	除塵機 (1号~3号) 分解整備	20,196,000
			大新田排水機場ポンプ補機設備補修	1号ポンプ補機設備 (真空ポンプ・空気圧縮機・燃料移送ポンプ・冷却水ポンプ) 更新	10,670,000
			大新田排水機場ポンプ補機設備補修 (その2)	2号ポンプ補機設備 (真空ポンプ・空気圧縮機・燃料移送ポンプ・冷却水ポンプ) 更新	10,780,000
説明 計				139,194,000	

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する委託料【農地費】(決算書P132)

節	説明	委託名	決算額 (円)	
12	委託料	大新田排水機場補修設計業務委託料	大新田排水機場ポンプ設備補修積算参考資料作成業務委託	2,365,000
			大新田排水機場ポンプ設備補修積算参考資料作成業務委託 (その2)	616,000
			大新田排水機場ポンプ設備補修積算参考資料作成業務委託 (その3)	396,000
			大新田排水機場水門補修積算参考資料作成業務委託	2,255,000
			大新田排水機場水門補修積算参考資料作成業務委託 (その2)	396,000
説明 計			6,028,000	
12	委託料	ため池劣化状況評価業務委託料	ため池劣化状況評価業務委託	1,331,000
説明 計			1,331,000	

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する工事請負費【農地費】(決算書P132)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
14	工事請負費	市瀬地区排水路改修工事	市瀬地区排水路改修工事	水路改修工 L=7.0m	2,431,000
説明 計				2,431,000	

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する需要費【農地費 (線越明許)】(決算書P138)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)	
10	需用費	修繕料	大新田排水機場1号排水ポンプ補修	1号排水ポンプ (主ポンプ・減速機・電動機) 分解整備	50,450,000
説明 計				50,450,000	

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する委託料【農地費 (線越明許)】(決算書P138)

節	説明	委託名	決算額 (円)	
12	委託料	ため池ハザードマップ作成業務委託料	佐々地区ため池ハザードマップ (その2) 作成業務委託	2,076,800
説明 計			2,076,800	

事業番号	5 - 1 - ◆4		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	農業体験施設・皿山農産物直売所 活性化事業						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	佐々町農業体験施設設置条例			項	1 農業費		
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想			目	11 農業体験施設管理費		

1 事業内容

【行動指針】

- 農業体験施設・皿山農産物直売所活性化事業農業体験施設の利用者拡大のため、農業体験施設では農地の貸し出し、野菜づくり体験、イベント開催の会場などとして利用する機会を創出します。皿山農産物直売所においては、町内で収穫された新鮮な農産物を安全・安心して購入できる拠点として農産物の供給体制を整備します。

【事業概要】

○農業体験施設管理費（決算額 17,212,699円）
町内小学生及び町内保育所・幼稚園児童が野菜づくりが体験できるよう体験農園事業を実施しました。また、農業体験施設の利用者拡大のため、町外保育所・幼稚園及び町内外希望者への体験農園の貸出を行いました。
なお、農業体験以外のスポーツ団体やキャンプ利用等の施設利用についても、受入れを行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少しています。

<農業体験施設使用状況>

①学校関係使用

年度	日帰り使用										宿泊使用		計①	
	保育所・幼稚園		小学校		中学校		高校		計		件数	人数	件数	人数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数				
R1	16	766	14	1,153	0	0	1	520	31	2,439	0	0	31	2,439
R2	16	721	5	427	0	0	0	0	21	1,148	0	0	21	1,148
R3	15	709	15	1,233	0	0	0	0	30	1,942	0	0	30	1,942

②一般使用

年度	日帰り使用		宿泊使用		計②		《合計 ①+②》			③体験農園登録数		
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	(前年比)	学校関係	一般	計
R1	25	2,193	26	626	51	2,819	82	5,258	413	9	6	15
R2	32	1,257	15	180	47	1,437	68	2,585	△ 2,673	8	6	14
R3	23	739	23	177	46	916	76	2,858	273	7	7	14

④使用料集計

年度	日帰り使用	宿泊使用	ITコン使用	体験農園	計(円)
R1	9,750	712,290	0	463,970	1,186,010
R2	13,070	186,920	34,600	408,200	642,790
R3	7,890	199,700	0	357,960	565,550

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		14,325,747	21,045,617	17,212,699	20,087,000
財源	国庫支出金	0	0	0	2,144,000
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,669,011	1,366,157	1,221,525	979,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	12,656,736	19,679,460	15,991,174	16,964,000

1 事業内容

維持管理経費

◆農業体験施設

節	内容等	金額(円)		比較 (B)－(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
消耗品費	施設消耗品、農作物育成・販売用消耗品	255,960	322,729	66,769
燃料費	施設燃料、公用車燃料	263,906	325,703	61,797
光熱水費	電気使用料、水道使用料	725,645	783,443	57,798
修繕料	施設・公用車修繕	770,616	964,766	194,150
種子肥料費	農作物種・苗・肥料	271,965	358,081	86,116
飼料費	羊用飼料	11,473	0	△ 11,473
通信運搬費	電話・インターネット使用料	174,996	169,024	△ 5,972
手数料	浄化槽点検、トイレ汲取料、大浴場水質検査、 公用車定期点検・車検諸費用、羊診療費用	189,540	132,991	△ 56,549
建物災害共済保険料	建物災害共済保険料	59,375	59,375	0
自動車損害共済保険料	公用車自動車損害共済保険料(バス、軽バン、軽トラック)	77,830	76,480	△ 1,350
自賠償保険料	公用車自賠償保険料	34,140	12,630	△ 21,510
委託料	機械警備、浄化槽維持管理、夜間当直業務、清掃業務、 消防設備点検、電気工作物保安全管理、産業廃棄物処分	1,132,229	1,307,292	175,063
使用料及び賃借料	テレビ受信料、寝具リース料、農機具借上料、 AEDリース料	1,009,737	727,363	△ 282,374
原材料費	施設補修用原材料	214,060	257,868	43,808
備品購入費	施設管理用備品	49,500	93,808	44,308
公課費	自動車重量税	71,800	63,000	△ 8,800
	合計	5,312,772	5,654,553	341,781

【主な増減理由】

農業体験施設本館の雨漏り修繕を実施したため、190千円の増となった。

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	1
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	C	課題が多くあり業務の大幅な見直しが必要
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用停止期間もあり利用者数が減少している。また、一般の利用者については、農業体験目的ではない施設利用者の割合が多く、今後の施設活用の方向性についても検討していく必要があると考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
農業体験施設ではあるが、農業をサブにして、現在流行しているキャンプ場としての利用など、人を呼び込む施策を検討して、有効活用していただきたい。
委員会評価
現状維持 ○ 見直し ○ 廃止

【このページは空白です】

事業番号	5 - 1 - ◆3			担当課	農林水産課 農業委員会	担当班	農林水産班 —		
事業名	農地確保支援事業								
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち				予 算 科 目	会計	一般会計	
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する					款	6	農林水産業費
法令根拠条例等	—				項	1	農業費		
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想				目	13	農地中間管理機構事業費		

1 事業内容

【行動指針】

・ 離農や高齢化に伴い、耕作放棄された農地を意欲ある農家に貸し出し、生産性を向上させ、農地の有効活用を進めます。

【事業概要】

○ 農地中間管理機構事業費（決算額 1,887,360円）

遊休農地の発生防止・解消および農用地の有効利用の促進・農業経営基盤の強化を図るため、

「貸し手」・「借り手」農家の掘り起こしを行い、利用権を設定しました。

農業経営基盤強化促進法による利用設定は58件ありました。

農地を貸し借りする場合の中間的受け皿である農地中間管理機構を活用した農地中間管理事業は、農業委員会が農林水産課からの事務委任を受けていますが、利用権設定はありませんでした。

<利用権設定実績>

年度	件数	新規	更新
R1	36	14	22
R2	85	5	80
R3	58	26	32

※参考

・ 農地法3条申請 7件 35,467㎡

(農地を農地として利用する場合の権利移転)

・ 農地法4条申請 7件 1,520.69㎡

(本人が所有する農地を本人が農地以外の目的に使用するための転用)

・ 農地法5条申請 10件 4,839㎡

(本人が所有する農地を第三者が農地以外の目的に使用するための転用)

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,460,442	1,877,836	1,887,360	50,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	1,460,442	1,877,835	1,887,359	50,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	0	1	1	0

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
農業委員と連携し、貸し手・借り手の掘り起こしを行い利用権の設定ができましたが、農地中間管理事業ができませんでした。今後は積極的に農地中間管理事業を行い、農地集積・集約化に取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	5 - 1 - 5		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	森林の保全						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	-			項	2 林業費		
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想			目	1 林業総務費・林業振興費		

1 事業内容

【行動指針】

・長崎県林業公社や長崎北部森林組合と連携した間伐や枝打ち等により、適正な森林の機能維持（土砂災害防止、水源涵養機能、防風機能等）を図ります。また、経営管理が行われていない森林について、森林所有者へ管理の意向を確認しながら森林の適正な整備を推進します。

【事業概要】

○ながさき森林づくり担い手対策事業（福利厚生事業）（決算額 336,000円） P138

林業の担い手の労働安全及び福利厚生など、林業労働者を安定的に確保し林業振興を図りました。

○森林環境譲与税基金積立金（決算額 4,044,032円） P204

森林の整備に関する施策や森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用促進などに関する施策に要する費用に充てるため、基金に積み立てました。

年度	①基金積立金	②基金利子積立金	③積立金計(①+②)	年度末基金残高
R 1	1,898,000	0	1,898,000	1,898,000
R 2	4,036,000	2,387	4,038,387	5,936,387
R 3	4,036,000	8,032	4,044,032	9,980,419

○林道大茂市瀬線他2路線路肩伐採工事（決算額 2,392,500円） P138

樹木が乱雑に生い茂っていたため、伐採しました。

○林道木場神田線路肩伐採工事（決算額 154,000円） P138

大雨後の見回りにより、道路上の倒れかけている樹木が危険な状態にあり、緊急的に伐採を行いました。

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算	
事業費	2,066,000	4,356,387	6,926,532	5,703,000	
財源	国庫支出金				
	県支出金	84,000	159,000	179,000	
	その他特定財源		2,387	8,032	12,000
	地方債				
	一般財源	1,982,000	4,195,000	6,750,500	5,512,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	2
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
<p>林業の担い手の安定的な確保のため、例年同様補助金を交付しました。森林経営管理制度の運用にあたり、今後、林地台帳の整備等が必要となるため、基金へ積立を行いました。なお、林道2路線において、路肩伐採を行いました。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「5-1-5 森林の保全」に関する委託料【林業振興費】(決算書P138)

節	説明	委託名	決算額 (円)
12 委託料	林道点検診断業務委託料 (林道橋)	林道点検診断業務委託	3,135,000
説明 計			3,135,000

「5-1-5 森林の保全」に関する工事請負費【林業振興費】(決算書P138)

節	説明	工事名	工事内容	決算額 (円)
14 工事請負費	林道大茂市瀬線 他2路線路肩伐採 工事	林道大茂市瀬線他2路線路肩伐採工事	路肩伐採工 L=398.4m	2,392,500
		林道木場神田線路肩伐採工事	路肩伐採工 L=50.0m	154,000
説明 計				2,546,500

【このページは空白です】

事業番号	3 - 8 - 1		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	防災・減災対策の推進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	まちの防災力を高め、被害を最小限にとどめる				款	11 災害復旧費
法令根拠条例等	-			項	1	農林水産施設災害復旧費	
個別計画	-			目	1	農地等災害復旧費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・ハザードマップを活用した危険個所の周知等、災害に対する知識の普及と情報発信を行います。
- ・災害への事前の備えとして、防災備蓄品の整備、民間機関等との災害時における応援協定の充実に取り組みます。

【事業概要】

○農地等災害復旧事業（決算額 現年度 2,838,000円）（R2繰越 5,313,000円）

自然災害により発生した農地等災害に対し、復旧工事に伴う測量設計業務を行い、被災農地及び農業用施設の復旧に取り組みました。



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	36,693,120	162,225,800	8,151,000	6,300,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	19,603,000	31,577,000	3,747,000
	その他特定財源	346,000	253,700	355,200
	地方債	12,100,000	700,000	700,000
	一般財源	4,644,120	131,095,100	4,048,800

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者率【総合戦略】【累】	43.4%	%	目標	-	-	-	-	60.0	156%
				実績	93.8	-	-	-	-	
成果	防災訓練の実施組織数【総合戦略】【累】	0組織	組織	目標	-	-	-	-	3	67%
				実績	2	-	-	-	-	
成果	消防団員充足率【累】	80%	%	目標	-	-	-	-	90	99%
				実績	89	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
-			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する委託料【災害復旧費】(決算書P200)

節	説明	委託名	決算額(円)	
12	委託料	3年災農業用施設災害復旧工事測量設計業務委託料	令和3年災 災害復旧工事測量設計業務委託	473,000
			令和3年災 農地等災害復旧工事測量設計業務委託	642,400
説明 計			1,115,400	
12	委託料	3年災:農地災害復旧工事測量設計業務委託料	令和3年災 農地等災害復旧工事測量設計業務委託	1,722,600
説明 計			1,722,600	

「3-8-1 防災・減災対策の推進」に関する工事請負費【災害復旧費(繰越明許)】(決算書P200)

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14	工事請負費	2年災農地災害復旧工事	令和2年災391-1前田地区農地災害復旧工事 災害復旧工 L=20.0m ブロック積工 A=41.6m ²	3,531,000
説明 計				3,531,000
14	工事請負費	2年災農業用施設災害復旧工事	令和2年災 査定第1019号・391-101町道半 白線・開地区農業用施設災害復旧工事 災害復旧工 L=7.0m 水路改修工 L=7.0m	1,782,000
説明 計				1,782,000

【このページは空白です】

事業番号	5 - 1 - 2		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	消費者・市場に対応した農産物のブランド化と販路拡大						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	6 農林水産業費
法令根拠条例等	佐々町農産物販売促進支援事業費補助金交付要綱					項	1 農業費
個別計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想					目	5 農業振興費

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <p>・農産物品目のブランド化（農産品における振興作物の選定と産地化）や安定した販売ツール、流通経路の拡大を図ります。</p> <p>【事業概要】</p> <p>○農産物販売促進支援事業費補助金（決算額 なし）</p> <p>佐々町で生産される農作物や農産加工品を販売し、新商品開発・販路拡大や認証取得による高付加価値化に寄与する取組により、佐々町の農業を活性化し、農業者の所得向上を図ることを目的とする補助金であります。令和3年度の実績はありませんでしたが、今後、活用していただけるように推進します。</p> <p>西九州させば広域都市圏の農水産物の販路拡大に向けた取り組みを推進し、圏域の一次産業の生産額向上、並びに担い手育成に繋がる効果的な事業を実施していきます。</p>

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		218,000	0	0	545,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	218,000	0	0	545,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	2
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
<input type="checkbox"/> 妥当である			
<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある			
<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い			
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
<input type="checkbox"/> 適切である			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である	2
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
<input type="checkbox"/> 適切である			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある			
<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い			

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
西九州させば広域都市圏連携事業として、町単独では導入人員面で実現が困難な産地ツアー、展示会への出店など、連携事業であることの強みを生かし、販路拡大に向けた取り組みを行います。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	5 - 1 - 3		担当課	農林水産課	担当班	農林水産班	
事業名	農産品を通じた交流の拡大						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「産業・観光」でにぎわうまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	消費者ニーズに対応した魅力ある農産物を生産・供給する				款	
法令根拠条例等	-			項			
個別計画	-			目			

1 事業内容

【行動指針】
 ・「農」と「食」のPR、地産地消・食育の推進や2次・3次産業との連携に取り組みます。

【事業概要】
 ○農産品を通じた交流の拡大（決算額 なし）
 今後、「農」と「食」のPR、地産地消・食育の推進や2次・3次産業との連携に佐世保広域連携中枢の中で、取り組みを行いたいと考えているため、異業種交流会に参加したいと思います。
 ※R3年度事業実績なし

○お茶PRイベント「いい葉は急須day」の開催について（決算額 なし）
 県北地域農業振興協議会の茶部会が主催。
 （協議会構成：JAながさき西海、県北振興局、佐世保市、松浦市、平戸市、佐々町）
 急須で淹れたお茶とペットボトル茶の飲み比べを実施しました。

- 開催日時 令和3年11月8日（月）～9日（火）10:00～16:00
- 開催場所 島瀬公園（佐世保市）
- 来場客数 1,000人



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	0	0
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	認定農業者数【総合戦略】【累】	31人	人	目標	-	-	-	-	現状維持	90%
				実績	28	-	-	-	-	
成果	集落営農組織、農地所有適格法人の作付面積【総合戦略】【累】	2.4ha	ha	目標	-	-	-	-	6.0	230%
				実績	13.8	-	-	-	-	
活動	貸出農地面積【総合戦略】【累】	77ha	ha	目標	-	-	-	-	90	120%
				実績	108	-	-	-	-	
成果	農業体験施設年間利用者数【総合戦略】【単】	5,258人/年	人	目標	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	6,000/年	48%
				実績	2,858	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地が多い	1
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	1
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	1
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	D	統合、休・廃止を含む抜本的な見直しが必要
事業実績なし			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 6 - 2		担当課	水道課	担当班	上水道班	
事業名	水道施設の強靱化						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予 算 科 目	会計	水道事業会計
	戦略目標	おいしく安全な水を供給する				款	1 水道事業費用
法令根拠条例等	-			項		1 営業費用	
個別計画	佐々町水道事業新水道ビジョン、佐々町水道事業更新計画			目	1 原水及び浄水費		

1 事業内容

【行動指針】

・近年頻発している異常気象（台風、大雨、地震）にも耐えうる施設の強化を進めながら、災害時においても安定した水を供給できるようにします。

【事業概要】

○施設等の強化

近年頻発する異常気象に備え、風水害等による停電発生を想定し、水道施設の電気設備等の早期復旧を図るため、町内に事業所を有する電気工事業者と協定を締結しました。

<協定名>災害時における水道施設電気設備等の復旧等に関する協定 (R3. 6. 1締結)

※以降、双方申し出がない場合自動更新。

○非常用発電機の設置及び業務支援（決算額 賃借料/2,432,430円、業務支援/314,600円）

台風期に向け、浄水場の停電発生による施設機能停止を回避するため、仮設非常用発電機を設置しました。

・設置発電機 600KVA 1台

・設置期間 80日間 (R3. 8. 13~R3. 10. 31)



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		0	0	2,747,030	4,340,000
財源	国庫支出金			0	0
	県支出金			0	0
	その他特定財源			0	0
	地方債			0	0
	一般財源			2,747,030	4,340,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	水道普及率【累】	99.9%	%	目標	-	-	-	-	100.0%	99%
				実績	99.9	-	-	-	-	
活動	水道有収率【累】	85.7%	%	目標	-	-	-	-	90.0	98%
				実績	88.0	-	-	-	-	
活動	有形固定資産減価償却率【累】	51.3%	%	目標	-	-	-	-	50.0%	95%
				実績	52.9	-	-	-	-	
活動	水道料金収納率【単】	99.3%	%	目標	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	100%
				実績	99.3	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
近年異常気象による災害が多発しており、非常時に対応した対策をとることができました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	水道課	担当班	上水道班
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	水道事業
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款
法令根拠条例等	-			項	1 営業費用	
個別計画	佐々町公共施設等総合管理計画			目	1 原水及び浄水費 他	

1 事業内容

【行動指針】
 ・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

維持管理経費(水道事業)

◆浄水場

節	内容等	金額(円) ※税込み		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
備用品費	管理用消耗品費	303,633	932,170	628,537
光熱水費	公共下水道使用料	17,330	17,160	▲ 170
委託料	浄水場汚泥処理及び清掃業務委託、浄水場水質検査業務委託、浄水場内水質監視機器分解整備業務委託、浄水場維持管理業務委託 など	33,360,274	36,752,994	3,392,720
修繕料	浄水場施設修繕料	838,530	3,842,630	3,004,100
動力費	浄水場動力費	21,507,817	23,273,541	1,765,724
薬品費	薬品費(ポリ塩化アルミニウム、次亜塩素酸ソーダ、希硫酸)	4,996,859	5,684,656	687,797
材料費	浄水場諸材料	216,689	679,539	462,850
合計		61,241,132	71,182,690	9,941,558

【主な増減理由】

浄水場汚泥処理及び清掃業務委託について、処理量の増加により1,603千円の増となった。比較的大きな修繕(浄水場内1号沈殿池No.1及びNo.3フロキュレータ減速機修繕、中央配水池向けNo.3送水ポンプ用電動弁取替修繕)があったため増となった。

◆配水池・ポンプ所等

節	内容等	金額(円) ※税込み		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
備用品費	残留塩素測定試薬、工事関係消耗品費	198,041	465,227	267,186
委託料	水道量水器取替業務委託、漏水調査業務委託、配水池・ポンプ所清掃業務委託、配水施設草刈り業務委託	8,728,588	8,799,980	71,392
賃借料	配水池及び配水管用地借上料 ※非課税	1,383,750	250,750	▲ 1,133,000
修繕料	配水管及び機械器具修繕	10,856,200	8,639,620	▲ 2,216,580
動力費	配水池・ポンプ所動力費	10,829,781	10,731,914	▲ 97,867
材料費	管材料費等	712,004	762,165	50,161
合計		32,708,364	29,649,656	▲ 3,058,708

【主な増減理由】

令和2年度は比較的大きな修繕(神田ポンプ所No.2送水ポンプ取替修繕、町道正福寺線・町道新開中央線消火栓取替修繕)があったため減となった。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	83,480,102	93,949,496	100,832,346	109,573,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	83,480,102	93,949,496	100,832,346

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>現施設の管理は、安全に使用できるよう保守、点検、修繕を行っています。今後も必要な改修、修繕を実施していく必要があります。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 6 - 1		担当課	水道課	担当班	上水道班	
事業名	水の安定供給						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予 算 科 目	会計	水道事業会計
	戦略目標	おいしく安全な水を供給する				款	1 資本的支出
法令根拠条例等	-			項	1 建設改良費		
個別計画	佐々町水道事業新水道ビジョン、佐々町水道事業更新計画			目	2 施設改良費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・今後の水道施設資産管理を行う新水道ビジョン及び経年劣化に伴う施設の状況把握、計画的な整備を進める更新計画を基に、水道施設の更新強化に取り組みます。 ・漏水等があった際にも迅速な修繕を行うことで安定供給を維持するとともに、有収率の向上に努めます。</p> <p>【事業概要】 ○計画的な施設の更新 浄水場、配水池の整備を行いました。【5件】 ・1号ろ過池設備（7・8池）更新工事（決算額 30,690,000円）※R2からの繰越事業 ・2号ろ過池捨水用バタフライ弁（7・8池）更新工事（決算額 1,315,600円） ・新平野配水池築造工事（その1）（決算額 24,169,200円） なお、下記2事業についてはR4への繰越事業となりました。 ・1号ろ過池設備更新工事（決算額 0円） ・中央配水池進入道路築造工事（その3）（決算額 41,000,000円）</p> <p>配水管の更新を行いました。【7件】 ・中央配水池送配水管分離更新工事（1工区）（決算額 13,196,700円） ・平野地区送配水管更新工事（1工区）（決算額 29,122,500円） ・平野地区送配水管更新工事（2工区）（決算額 22,994,400円） ・一般国道204号交通安全施設等整備工事に伴う配水管更新工事（2工区）（決算額 21,476,400円） ・町道栗林線支-2配水管更新工事（決算額 1,958,000円） なお、下記2事業についてはR4への繰越事業となりました。 ・平野地区送配水管更新工事（3工区）（決算額 9,328,000円） ・一般国道204号交通安全施設等整備工事に伴う配水管更新工事（1工区）（決算額 0円）</p> <p>その他、舗装復旧工事及び配水管更新設計委託業務を行いました。【3件】 ・県道佐世保鹿町線（栄橋）舗装復旧工事（決算額 2,615,800円） ・町道中央海岸線配水管更新設計業務委託（決算額 7,920,000円） なお、下記1事業についてはR4への繰越事業となりました。 ・平野・木場・角山地区配水管更新設計業務委託（決算額 8,010,000円）</p> <p>【参考】 有収率 87.52% (R2) → 88.03% (R3) 0.51ポイント増 現在給水人口 13,984人 (R2) → 13,949人 (R3) 35人減 給水件数 6,326戸 (R2) → 6,396戸 (R3) 70戸増 配水管延長 95,489m (R2) → 96,123m (R3) 634m増</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	264,880,276	326,461,300	240,286,800	505,020,000	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	2,142,641	0	0	
	その他特定財源	14,304,400	393,000	882,000	1,100,000
	地方債	63,900,000	153,100,000	121,600,000	372,600,000
	一般財源	184,533,235	172,968,300	117,804,800	131,320,000

1 事業内容

業 務 実 績 表

区 分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	比較(対前年度)		比較(対H30年度)	
					増 減	比 率	増 減	比 率
	人	人	人	人		%		%
総 人 口	13,951	14,017	14,000	13,965	△ 35	99.75	14	100.10
計 画 人 口	13,500	13,500	13,500	13,500	0	100.00	0	100.00
現 在 給 水 人 口	13,933	14,000	13,984	13,949	△ 35	99.75	16	100.11
	%	%	%	%		%		%
普 及 率	99.9	99.9	99.9	99.9	0	100.00	0	100.00
	戸	戸	戸	戸		%		%
給 水 件 数	6,207	6,242	6,326	6,396	70	101.11	189	103.04
	m ³	m ³	m ³	m ³		%		%
配 水 量	2,484,042	2,494,888	2,374,469	2,398,924	24,455	101.03	△ 85,118	96.57
有 収 水 量	2,118,310	2,137,941	2,078,246	2,111,858	33,612	101.62	△ 6,452	99.70
	%	%	%	%		%		%
有 収 率	85.28	85.69	87.52	88.03	0.51	100.57	2.75	103.23
$\frac{\text{有収水量}}{\text{配水量}} \times 100$								
	m	m	m	m		%		%
配 水 管 延 長	92,949	94,357	95,489	96,123	634	100.66	3,174	103.41
	人	人	人	人		%		%
職 員 数	6	6	6	6	0	100.00	0	100.00
	円/m ³	円/m ³	円/m ³	円/m ³		%		%
供 給 単 価	158.16	158.26	158.09	158.39	0.30	100.19	0.23	100.15
$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}}$								
	円/m ³	円/m ³	円/m ³	円/m ³		%		%
給 水 原 価	107.48	111.27	114.95	116.76	1.81	101.57	9.28	108.63
$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)-長期前受金戻入}}{\text{有収水量}}$								

【用語の解説】

用 語	内 容	備 考
計 画 人 口	事業計画上の給水を行う人口のことを言います。	
現 在 給 水 人 口	実際に給水を行っている人口を言います。	
普 及 率	給水区域内人口のうち、実際に給水している人口の割合のことを言います。	13,949人/13,965人
配 水 量	浄水場から送り出した水量のことを言います。	
有 収 水 量	浄水場から出た水量(配水量)のうち、実際に使用され水道料金収入につながった水量のことを言います。	
有 収 率	年間配水量のうち、水道料金収入のあった水量の割合のことを言います。直接水道事業の経営に影響するため、高い値に維持することが求められます。	2,111,858m ³ /2,398,924m ³
供 給 単 価	水道水1m ³ の平均販売単価を表します。給水収益を年間有収水量で除して求めます。この値が低いほど、水道利用者へのサービスが良好であることを示しています。	
給 水 原 価	水道水1m ³ を生産するのにかかる原価を表しています。この値が低いほど、生産性が高いことを示しています。	

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	水道普及率【累】	99.9%	%	目標	-	-	-	-	100.0%	99%
				実績	99.9	-	-	-	-	
活動	水道有収率【累】	85.7%	%	目標	-	-	-	-	90.0	98%
				実績	88.0	-	-	-	-	
活動	有形固定資産減価償却率【累】	51.3%	%	目標	-	-	-	-	50.0%	95%
				実績	52.9	-	-	-	-	
活動	水道料金収納率【単】	99.3%	%	目標	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	100%
				実績	99.3	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
日本水道協会から、現場で使用材料（铸铁管）の使用を見合わせるよう指示があったことから、繰り越さざるを得ない事業がありましたが、概ね計画どおり実施することができました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	3 - 6 - 3			担当課	水道課	担当班	上水道班	
事業名	健全な経営の確立							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち				予算科目	会計	水道事業会計
	戦略目標	おいしく安全な水を供給する					款	
法令根拠条例等	-				項			
個別計画	佐々町水道事業新水道ビジョン、佐々町水道事業更新計画				目			

1 事業内容

【行動指針】
 ・中長期的視点に立った水道事業の経営基盤の強化と財政安定化に取り組みます。
 ・想定される人口減少を踏まえた中で、将来を見据えた小型化（ダウンサイジング）や性能見直し（スペックダウン）も更新計画の中で見直しを行うことでコスト削減を検討し、対策に取り組みます。

【事業概要】
 ○中長期的な水道事業計画
 R2に議会（委員会）において、2通りの財政収支計画を示しましたが、企業債の借入について現状と借入率を引き上げた場合と比較し、料金の改定を含んだ計画は作成していません。
 借入を現行のままとした場合、令和7年度には残高不足に陥ることとなり、借入率の引き上げを行った場合でも令和2年度の期末資金残高744,561千円が、10年後の令和12年度には約200,000千円まで減少する見込みとなっています。
 人口減少に伴う施設の小型化（ダウンサイジング）等の対策も必要となってきますが、一方で料金収入も減少することとなるため、料金改定を含めた収支計画の策定が必要です。

○資金不足比率の状況
 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。
 資金不足比率：▲276.21% 【経営健全化基準：20.0%】 ※黒字の場合は▲で表示されます。

令和3年度 上水道料金収納状況

令和4年3月31日現在

年 度	前年度繰越額 (3年度は調定額)		3年度収納額		未 納 額		収納率	不 納 欠 損		次年度滞納繰越額		
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額		件数	金 額	件数	金 額	
過 年 度 分	H27	13	55,870	7	34,440	6	21,430	61.64%	2	8,880	4	12,550
	H28	41	97,440	0	0	41	97,440	0.00%	31	62,440	10	35,000
	H29	48	67,690	3	2,740	45	64,950	4.05%	0	0	45	64,950
	H30	34	56,950	1	3,130	33	53,820	5.50%	0	0	33	53,820
	R1	42	63,890	15	25,680	27	38,210	40.19%	0	0	27	38,210
	R2	970	2,610,200	929	2,533,200	41	77,000	97.05%	0	0	41	77,000
	小計	1,148	2,952,040	955	2,599,190	193	352,850	88.05%	33	71,320	160	281,530
R3	76,528	367,739,380	75,541	365,150,020	987	2,589,360	99.30%	0	0	987	2,589,360	
合 計	77,676	370,691,420	76,496	367,749,210	1,180	2,942,210	99.21%	33	71,320	1,147	2,870,890	

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	0	0
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源			

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	水道普及率【累】	99.9%	%	目標	-	-	-	-	100.0%	99%
				実績	99.9	-	-	-	-	
活動	水道有収率【累】	85.7%	%	目標	-	-	-	-	90.0	98%
				実績	88.0	-	-	-	-	
活動	有形固定資産減価償却率【累】	51.3%	%	目標	-	-	-	-	50.0%	95%
				実績	52.9	-	-	-	-	
活動	水道料金収納率【単】	99.3%	%	目標	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	99.5%	100%
				実績	99.3	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
料金改定を含めた具体的な収支計画が作成できていないことから、施設の老朽化更新対策等の投資的事業の計画的な実施と合わせて、財政基盤の安定化を目指していくこととします。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 5		担当課	水道課	担当班	下水道班		
事業名	公共施設等の有効活用と適正管理							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			予算科目	会計	公共下水道事業・農業集落排水事業特別会計	
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款	1	下水道事業費用
法令根拠条例等	-					項	1	営業費用
個別計画	佐々町公共施設等総合管理計画					目	2	汚水ポンプ場費 他

1 事業内容

【行動指針】

・町が保有する公共施設等について、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を決定し、堅実な資産管理を実現します。

【事業概要】

維持管理経費(公共下水道事業)

◆浄化管理センター

節	内容等	金額(円) ※税込み		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
備用品費	浄化管理センター備用品費	1,505,338	1,275,600	▲ 229,738
燃料費	浄化管理センター燃料費	33,818	10,250	▲ 23,568
光熱水費	浄化管理センター水道料等	30,130	52,094	21,964
委託料	浄化管理センター運転維持管理業務委託、浄化管理センター汚泥処理業務委託、浄化管理センター水質汚泥及び環境調査業務委託 など	116,995,641	124,968,513	7,972,872
修繕料	浄化管理センター修繕費	9,499,270	31,460,462	21,961,192
動力費	浄化管理センター電気料	16,372,593	18,178,050	1,805,457
合計		144,436,790	175,944,969	31,508,179

【主な増減理由】

農業集落排水施設の統合により、公共下水道事業会計で8月以降の支出(汚泥収集運搬業務委託等)をしたことにより4,525千円の増となった。

◆大新田中継ポンプ場・マンホールポンプ所

節	内容等	金額(円) ※税込み		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
備用品費	大新田中継ポンプ場等備用品費	59,400	244,112	184,712
光熱水費	大新田中継ポンプ場水道料	13,200	13,200	0
委託料	大新田中継ポンプ場等清掃業務委託、大新田中継ポンプ場電気工作物保安管理業務委託 など	14,589,580	1,880,780	▲ 12,708,800
修繕料	大新田中継ポンプ場等施設修繕料	3,525,500	1,977,998	▲ 1,547,502
動力費	大新田中継ポンプ場等電気料	4,684,192	5,215,284	531,092
合計		22,871,872	9,331,374	▲ 13,540,498

【主な増減理由】

令和2年度は大新田中継マンホールポンプ場耐震調査業務委託を実施したため12,700千円の減となった。

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	149,564,489	183,769,845	193,805,074	190,288,000
財源	国庫支出金	0	6,350,000	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	149,564,489	177,419,845	193,805,074

1 事業内容

◆旧農業集落排水施設

節	内容等	金額(円)		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
需用費	燃料費、光熱水費、修繕料	2,278,040	223,487	▲ 2,054,553
役務費	通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、建物災害共済保険料	334,728	47,186	▲ 287,542
委託料	保守点検管理業務委託、重点機器点検業務委託、電気工作物 保安管理業務委託	3,063,522	0	▲ 3,063,522
使用料及 び賃借料	中継マンホールポンプ電柱敷地賃借料	3,600	0	▲ 3,600
合計		5,679,890	270,673	▲ 5,409,217

【主な増減理由】

志方農業集落排水施設の統合(令和3年8月から統合)により、令和3年度は4月～7月の支出であったため減となった。

◆小浦雨水ポンプ場・大新田第2排水ポンプ場

節	内容等	金額(円) ※税込み		比較 (B)-(A)
		2年度(A)	3年度(B)	
備用品費	小浦雨水ポンプ場備用品費、大新田第2排水ポンプ場備用品費	156,038	167,039	11,001
燃料費	小浦雨水ポンプ場燃料費、大新田第2排水ポンプ場燃料費	1,279,205	894,773	▲ 384,432
光熱水費	小浦雨水ポンプ場水道料、大新田第2排水ポンプ場水道料、干 拓ポンプ場電気料	41,650	41,338	▲ 312
委託料	小浦雨水ポンプ場運転管理業務委託、大新田第2排水ポンプ場 運転管理業務委託、大新田第2排水ポンプ場エンジン設備点検 業務委託 など	6,937,480	5,652,680	▲ 1,284,800
修繕料	小浦雨水ポンプ場電気機械設備修繕料、大新田第2排水ポンプ 場電気機械設備修繕料	1,404,480	567,820	▲ 836,660
動力費	大新田第2排水ポンプ場電気料	962,440	934,408	▲ 28,032
合計		10,781,293	8,258,058	▲ 2,523,235

【主な増減理由】

令和2年度は小浦雨水ポンプ場エンジン設備点検業務を実施したため900千円の減となった。

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>現施設の管理は、安全に使用できるよう保守、点検、修繕を行っています。今後も必要な改修、修繕を実施していく必要があります。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	3 - 5 - 2		担当課	水道課	担当班	下水道班	
事業名	健全な経営の確立						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			予算科目	会計	公共下水道事業会計
	戦略目標	水環境を守り、育てる				款	1 資本的支出
法令根拠条例等	-			項	1 建設改良費		
個別計画	佐々町一般廃棄物処理基本計画、佐々町公共下水道事業計画、ストックマネジメント計画（第1期）			目	3 汚水処理場建設改良費		

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的視点に立った公共下水道事業の経営基盤の強化と財政安定化に取り組みます。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○変更認可申請書作成業務委託（決算額 6,800,000円） 事業計画年度を令和10年度末まで延伸し、それに伴う計画諸元の変更を行いました。なお、令和4年度において県との協議を行うこととしています。 ①事業計画年度の延伸 事業計画年度を令和4年度末から令和10年度末に変更します。 変更前：平成3年9月10日～令和 5年3月31日 変更後：平成3年9月10日～令和11年3月31日 ②計画諸元の変更 事業計画年度の延伸に伴い、計画諸元の変更を行います。 計画処理人口：12,400人→12,700人（300人増） 計画汚水量 日平均：5,500m³/日→5,600m³/日（100m³/日増） 日最大：6,400m³/日→6,500m³/日（100m³/日増） 時間最大：10,200m³/日→10,300m³/日（100m³/日増） ○中長期的な下水道事業計画 令和4年1月に議会（委員会）において、料金の改定を含んだ計画案を提出しています。 「独立採算」が原則であるため、基準外繰入の解消のためには料金の改定が必須ですが、現下のコロナ禍の中では引き上げるのは難しい状況となっています。 今後の収入見込みや投資的事業の精査を行い、引き続き検討が必要です。 ○資金不足比率の状況 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。 資金不足比率：▲3.7% 【経営健全化基準：20.0%】 ※黒字の場合は▲で表示されます。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	0	0	6,800,000	0
財源	国庫支出金		3,400,000	
	県支出金		0	
	その他特定財源		0	
	地方債		0	
	一般財源			3,400,000

1 事業内容

令和3年度 下水道使用料収納状況

令和4年3月31日現在

年度	前年度繰越額 (3年度は調定額)		3年度収納額		未納額		収納率	不納欠損		次年度滞納繰越額			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		件数	金額	延人数	件数	金額	
過年度分	H27	12	56,150	6	34,040	6	22,110	60.62%	2	9,060	1	4	13,050
	H28	25	73,040			25	73,040		19	42,360	3	6	30,680
	H29	30	48,210	3	2,840	27	45,370	5.89%			10	27	45,370
	H30	27	38,810	1	1,080	26	37,730	2.78%			9	26	37,730
	R1	40	61,140	14	23,700	26	37,440	38.76%			11	26	37,440
	R2	696	1,803,050	666	1,750,830	30	52,220	97.10%			13	30	52,220
	小計	830	2,080,400	690	1,812,490	140	267,910	87.12%	21	51,420	47	119	216,490
R3	58,498	289,387,480	57,751	287,501,170	747	1,886,310	99.35%			549	747	1,886,310	
合計	59,328	291,467,880	58,441	289,313,660	887	2,154,220	99.26%	21	51,420	596	866	2,102,800	

令和3年度 公共下水道事業受益者加入金収納状況

令和4年3月31日現在

年度	前年度繰越額 (3年度は調定額)		3年度収納額		未納額		収納率	不納欠損		次年度滞納繰越額			
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		件数	金額	延人数	件数	金額	
過年度分	R1	8	10,300	4	5,600	4	4,700	54.37%			2	4	4,700
	R2	63	64,600	36	38,800	27	25,800	60.06%			4	27	25,800
	小計	71	74,900	40	44,400	31	30,500	59.28%			6	31	30,500
R3	1,060	3,224,720	1,018	3,181,420	42	43,300	98.66%			8	42	43,300	
合計	1,131	3,299,620	1,058	3,225,820	73	73,800	97.76%			14	73	73,800	

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	公共下水道水洗化率【累】 （公共下水道接続人口/公共下水道整備地区人口）	85.7%	%	目標	-	-	-	-	88.0%	99%
				実績	86.7	-	-	-	-	
成果	生活排水処理率【累】 （公共下水道・農集排・浄化槽整備人口/行政人口）	85.7%	%	目標	-	-	-	-	88.0%	97%
				実績	85.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
下水道事業において、基準外繰入の解消のためには料金改定が必要であることを議会（委員会）に説明できたことから、今後は収入見込みや投資的事業の精査を行い、引き続き理解を求めていきたいと考えています。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	3 - 5 - 3		担当課	水道課	担当班	下水道班
事業名	し尿等前処理施設の整備稼働					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち			会計	公共下水道事業会計
	戦略目標	水環境を守り、育てる				款
法令根拠条例等	-			予算科目	項	1 建設改良費
個別計画	佐々町一般廃棄物処理基本計画、佐々町公共下水道事業計画				目	3 汚水処理場建設改良費

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> し尿や浄化槽汚泥の適正な処理のため、し尿等前処理施設を建設し、計画的で円滑な施設整備に取り組みます。 <p>【事業概要】</p> <p>○し尿等前処理施設の整備</p> <p>し尿等前処理施設の建設に向けて、基本設計等の業務委託を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> し尿等前処理施設建設基本設計業務委託料（決算額 14,740,000円）【令和2年度からの繰越事業】 し尿等前処理施設整備に伴う発注仕様書作成業務委託料（決算額 12,034,000円） <p>※発注仕様書作成業務委託については、契約方式を性能発注（設計施工一括）方式に切り替えたことにより委託したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事を発注するにあたり、事業者を「総合評価方式」で選定するため高度な専門的知識を必要とすることから、発注までの一連の流れについてアドバイザー（CM=Construction Management）業務を委託します。（令和4年度） <p>～総合評価方式とは～</p> <p>一般競争入札のひとつで、事業費だけでなく事業者の技術提案の質も評価項目に加え選定を行う方法です。</p> <p>～CMとは～</p> <p>「建設生産・管理システム」のひとつで、専門的知識を有する者が、技術的な中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注の各段階において設計の検討や工事発注の検討など多様な業務に関する代行者・補助者として、各種マネジメント業務を行うものです。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <p>令和4年 6月～令和4年11月末 建設工事発注事務に係るアドバイザー（CM）業務 令和4年12月～令和6年11月末 建設工事（設計施工） 令和6年12月 供用開始（予定）</p>

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		2,165,000	5,230,000	26,774,000	303,800,000
財源	国庫支出金	0	0	16,002,000	150,500,000
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	138,000,000
	一般財源	2,165,000	5,230,000	10,772,000	15,300,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	公共下水道水洗化率【累】 （公共下水道接続人口/公共下水道整備地区人口）	85.7%	%	目標	-	-	-	-	88.0%	99%
				実績	86.7	-	-	-	-	
成果	生活排水処理率【累】 （公共下水道・農集排・浄化槽整備人口/行政人口）	85.7%	%	目標	-	-	-	-	88.0%	97%
				実績	85.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>契約方式の切り替えを行い、事業費の抑制について見直しをつけることができました。また、契約方式の切り替えに伴う発注仕様書作成業務を委託し、建設に向けた準備を進めることができました。今後は事業者の選定業務と1日でも早い供用開始に向け取り組んでいきたいと考えます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	3 - 5 - 1			担当課	水道課	担当班	下水道班	
事業名	公共下水道・水洗化の推進							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「生活・安全」を大切にすまち				予算科目	会計	公共下水道事業会計
	戦略目標	水環境を守り、育てる					款	1 資本的支出
法令根拠条例等	-						項	1 建設改良費
個別計画	佐々町一般廃棄物処理基本計画、佐々町公共下水道事業計画、ストックマネジメント計画(第1期)						目	2 汚水処理場建設改良費

1 事業内容

【行動指針】
 ・地域特性に応じ、効率的で経済的な公共下水道を整備します。とりわけ、老朽施設・設備の更新・長寿命化や自然災害に耐えうる施設の強靱化に取り組みます。
 ・下水道への加入促進や合併処理浄化槽の設置の啓発・普及に広報紙等を活用して取り組みます。

【事業概要】
 <公共下水道事業会計>
 ○大新田中継ポンプ場の実施設計の作成委託に関する協定【繰越事業】(決算額 0円)
 供用開始後20年以上が経過し、建物や機器等の老朽化が進んでいることから「ストックマネジメント計画」に基づき、施設内の設備更新工事に向けた実施設計を行います。
 ※新型コロナウイルスの影響による業務進捗遅延のため繰越事業(R3→R4)となりました。
 ～ストックマネジメント計画とは～
 持続可能な下水道事業の実施を図るため、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する計画のことです。
 本町では平成29年8月に策定し、令和3年4月に第1回の変更を行っています。
 ○汚水管路建設改良費(工事請負費)(決算額 56,353,000円)
 新築家屋への取付管の布設や志方地区の農業集落排水施設を公共下水道に接続するための汚水管接続工事を行いました。
 ○汚水ポンプ場建設改良費(機械購入費)(決算額 1,826,000円)
 小浦マンホールポンプのポンプ購入を実施しました。
 ○汚水処理場建設改良費(委託料)(決算額 1,857,900円)
 農業集落排水施設を公共下水道に接続したことに伴い、施設内に設置してある機器の撤去設計業務委託を実施しました。
 ○汚水処理場建設改良費(工事請負費)(決算額 3,795,000円)
 浄化管理センターNo.3-1曝気機について、設置から15年が経過し、故障が検知される症状が発生したことから、劣化により運転できなくなることが想定されるためインバータの更新を行いました。

<農業集落排水事業特別会計>
 ○農業集落排水の統合
 令和3年4月1日から角山地区、令和3年8月1日から志方地区の農業集落排水を公共下水道に接続したことにより、効率的な維持管理、経費の削減につながりました。
【参考】 令和2年度 施設管理費決算額/5,679,800円 令和3年度 施設管理費決算額/270,673円
 ※水洗化率 86.22%(R2)→86.66%(R3) 0.44ポイント増
 水洗化戸数 4,676戸(R2)→4,800戸(R3) 124戸増
 汚水処理普及率《人口ベース》97.88%(R2)→97.90%(R3) 0.02ポイント増
 《世帯ベース》97.50%(R2)→97.56%(R3) 0.06ポイント増

<一般会計>
 ○合併浄化槽設置整備事業費補助金(決算額 6,240,000円)
 ※4款 衛生費/1項 保健衛生費/12目 合併浄化槽設置整備事業費
 新たに合併浄化槽を設置する方に対し、補助金を交付しました。
 ・5人槽:9基 7人槽:1基 20人槽:1基
 ○合併処理浄化槽維持管理費補助金(決算額 6,620,749円)
 ※4款 衛生費/1項 保健衛生費/12目 合併浄化槽設置整備事業費
 浄化槽の維持管理費の一部について補助を行いました。
 ・延べ220件

2 コスト (単位:円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	109,219,232	91,489,330	76,963,322	75,672,000	
財源	国庫支出金	10,911,000	1,243,000	1,243,000	18,743,000
	県支出金	844,000	870,000	1,302,000	1,118,000
	その他特定財源	93,600	66,100	17,800	0
	地方債	0	0	3,600,000	18,500,000
	一般財源	97,370,632	89,310,230	70,800,522	37,311,000

1 事業内容

業務実績表

区 分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	比較(対前年度)		比較(対H30年度)	
					増 減	比 率	増 減	比 率
	人	人	人	人		%		%
総 人 口	13,951	14,017	14,000	13,965	△ 35	99.75	14	100.10
供用開始人口	12,765	12,839	12,831	12,962 (195)	131	101.02	197	101.54
現在水洗化人口	10,874	11,002	11,063	11,233 (162)	170	101.54	359	103.30
	%	%	%	%		%		%
水 洗 化 率	85.19	85.69	86.22	86.66	0.44	100.51	1.47	101.73
	戸	戸	戸	戸		%		%
水 洗 化 戸 数	4,480	4,556	4,676	4,800 (84)	124	102.65	320	107.14
	m ³	m ³	m ³	m ³		%		%
排 水 量	1,773,592	1,798,189	1,773,699	1,796,974	23,275	101.31	23,382	101.32
有 収 水 量	1,599,749	1,642,483	1,642,946	1,682,053	39,107	102.38	82,304	105.14
	%	%	%	%		%		%
有 収 率	90.20	91.34	92.63	93.60	0.97	101.05	3.40	103.77
$\frac{\text{有収水量}}{\text{排水量}} \times 100$								
	人	人	人	人		%		%
職 員 数	4	4	2	2	0	100.00	△ 2	50.00

※令和3年度に農業集落排水施設を公共下水道に接続したため、令和3年度の()内は、旧農業集落排水区域の数を記載している。

【用語の解説】

用 語	内 容	備 考
供 用 開 始 人 口	公共下水道整備が終了し公共下水道の利用が可能になった人口のことを言います。	
現 在 水 洗 化 人 口	公共下水道を実際に使用している人口を言います。	
水 洗 化 率	供用開始人口に対する水洗化人口の割合のことを言います。	11,233人/12,962人
排 水 量	佐々町では使った水道水の水量を污水排水量とみなしています。(水道水の使用水量と污水排水量にはわずかな誤差がありますが、排水量を測定するとした場合、システムの構築や検針にかかる経費が膨大になるため、合理的な算出方法として多くの自治体で採用されています。)	
有 収 水 量	下水処理場で処理した全汚水量のうち、下水道使用料の徴収の対象となる水量を言います。	
有 収 率	処理した汚水のうち、下水道使用料徴収の対象となる有収水の割合を示します。有収率が高いほど下水道使用料徴収の対象とすることができない不明水が少なく、効率的であるということが言えます。	1,682,053m ³ /1,796,974m ³

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	公共下水道水洗化率【累】 （公共下水道接続人口/公共下水道整備地区人口）	85.7%	%	目標	-	-	-	-	88.0%	99%
				実績	86.7	-	-	-	-	
成果	生活排水処理率【累】 （公共下水道・農集排・浄化槽整備人口/行政人口）	85.7%	%	目標	-	-	-	-	88.0%	97%
				実績	85.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
公共下水道事業において、新型コロナウイルスの影響により、実施スケジュールに遅延が生じたため繰越事業となりましたが、令和4年度には完了見込みです。農業集落施設を統合し、施設の効率的な運用を図ることができました。また、合併処理浄化槽設置に係る補助金を交付することで、生活排水の適正な処理に寄与することができました。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

【このページは空白です】

事業番号	6 - 2 - 2		担当課	出納室	担当班	出納班
事業名	資金運用による歳入の確保					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款
法令根拠条例等	佐々町資金管理方針			予算科目	項	1 基金繰入金
個別計画	-				目	

1 事業内容

【行動指針】

・佐々町資金管理方針に基づき、常に金融機関の経営状況等を把握しながら安全性を最優先としつつ流動性を確保し、効率的な資金管理を行うことにより、公金の保管及び運用に努めます。

【事業概要】

○定期預金実績

・佐々町資金管理方針に基づき、公金の保管及び運用に努めました。

	年度末定期金額	割合	年利率	利息額
十八親和銀行	4,006,716,076円	78.92%	(0.002%)	76,006円
ながさき西海農業協同組合	1,010,000,000円	0.98%	(0.012%)	117,960円
西海みずぎ信用組合	50,000,000円	0.20%	(0.070%)	34,047円
九州労働金庫	10,000,000円	19.89%	(0.012%)	1,163円
合計	5,076,716,076円	100.00%		229,176円

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費					
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				

1 事業内容

令和3年度決算 普通徴収に係る収納方法別収納状況

全体収納 (普通徴収)				
税目等	件数	還付	金額	
	A	B	C	
住民税	5,830	21	192,080,075	
固定資産税	18,873	14	666,297,500	
軽自動車税	6,698	10	51,614,000	
保育料	1,489	0	33,995,460	
住宅使用料	6,090	3	123,043,500	
国民健康保険税	13,132	298	199,556,393	
介護保険料	3,183	26	21,081,900	
後期高齢者医療保険料	2,443	65	35,702,800	
上下水道料	上水道	75,659	39	365,239,720
	下水道	57,809	27	287,515,200
	農集排	214	0	551,840
	小計	75,659	66	653,306,760
計	133,397	503	1,976,678,388	

※件数は、納付書の件数

※住宅使用料の件数は、公営住宅使用料の件数

※水道使用料の件数は、上水道使用料の件数

※上下水道料については3/31現在

うち口座振替				うちコンビニ収納						うち役場・金融機関窓口収納			
件数 D	全体率 D/A	金額 E	全体率 E/C	件数 F	全体率 F/A	納付書率 F/(F+H)	金額 G	全体率 G/C	納付書率 G/(G+I)	件数 H	全体率 H/A	金額 I	全体率 I/C
5,784	30.6%	182,956,300	27.5%	3,348	17.7%	25.6%	50,410,700	7.6%	10.4%	9,741	51.6%	432,930,500	65.0%
503	7.5%	3,638,600	7.0%	2,099	31.3%	33.9%	16,722,300	32.4%	34.9%	4,096	61.2%	31,253,100	60.6%
1,037	69.6%	24,893,560	73.2%	192	12.9%	42.5%	4,621,140	13.6%	50.8%	260	17.5%	4,480,760	13.2%
4,373	71.8%	91,785,500	74.6%	262	4.3%	15.3%	6,111,000	5.0%	19.6%	1,455	23.9%	25,147,000	20.4%
5,650	43.0%	89,058,400	44.6%	1,770	13.5%	23.7%	28,065,900	14.1%	25.4%	5,712	43.5%	82,432,093	41.3%
1,098	34.5%	7,837,400	37.2%	421	13.2%	20.2%	3,206,700	15.2%	24.2%	1,664	52.3%	10,037,800	47.6%
1,620	66.3%	26,537,300	74.3%	188	7.7%	22.8%	2,080,600	5.8%	22.7%	635	26.0%	7,084,900	19.8%
61,780	81.7%	191,180,780	52.3%	4,775	6.3%	34.4%	10,765,390	2.9%	6.2%	9,104	12.0%	163,293,550	44.7%
48,048	83.1%	144,673,200	50.3%	3,739	6.5%	38.3%	8,846,280	3.1%	6.2%	6,022	10.4%	133,995,720	46.6%
178	83.2%	435,430	78.9%	24	11.2%	66.7%	89,370	16.2%	76.8%	12	5.6%	27,040	4.9%
61,780	81.7%	336,289,410	51.5%	4,775	6.3%	34.4%	19,701,040	3.0%	6.2%	9,104	12.0%	297,316,310	45.5%
82,923	62.2%	814,389,172	41.2%	14,367	10.8%	28.5%	164,172,780	8.3%	14.1%	36,107	27.1%	998,116,436	50.5%

1 事業内容

口座振替件数及び割合の推移

科目	R 1			R 2			R 3		
	全体 件数	口座振替 収納件数	口座振替 収納割合	全体 件数	口座振替 収納件数	口座振替 収納割合	全体 件数	口座振替 収納件数	口座振替 収納割合
住民税	5,871	1,069	18.2%	5,880	1,068	18.2%	5,830	1,078	18.5%
固定資産税	18,683	5,688	30.4%	18,831	5,689	30.2%	18,873	5,784	30.6%
軽自動車税	6,561	496	7.6%	6,582	480	7.3%	6,698	503	7.5%
保育料	3,083	2,362	76.6%	1,831	1,240	67.7%	1,489	1,037	69.6%
住宅使用料	6,303	4,045	64.2%	6,205	4,381	70.6%	6,090	4,373	71.8%
国民健康保険税	13,100	5,763	44.0%	12,764	5,528	43.3%	13,132	5,650	43.0%
介護保険料	2,777	608	21.9%	3,001	939	31.3%	3,183	1,098	34.5%
後期高齢者医療保険料	2,279	1,413	62.0%	2,467	1,531	62.1%	2,443	1,620	66.3%
上下水道料	73,726	60,499	82.1%	74,558	61,287	82.2%	75,659	61,780	81.7%
計	132,383	81,943	61.9%	132,119	82,143	62.2%	133,397	82,923	62.2%

科目	R 3 - R 1			R 3 - R 2		
	口座振替 件数増減	口座振替 件数 増減率	口座振替 割合増減	口座振替 件数増減	口座振替 件数 増減率	口座振替 割合増減
住民税	9	0.8%	0.3%	10	0.9%	0.3%
固定資産税	96	1.7%	0.2%	95	1.7%	0.4%
軽自動車税	7	1.4%	-0.1%	23	4.8%	0.2%
保育料	-1,325	-56.1%	-7.0%	-203	-16.4%	1.9%
住宅使用料	328	8.1%	7.6%	-8	-0.2%	1.2%
国民健康保険税	-113	-2.0%	-1.0%	122	2.2%	-0.3%
介護保険料	490	80.6%	12.6%	159	16.9%	3.2%
後期高齢者医療保険料	207	14.6%	4.3%	89	5.8%	4.3%
上下水道料	1,281	2.1%	-0.4%	493	0.8%	-0.5%
計	980	1.2%	0.3%	780	0.9%	0.0%

コンビニ収納件数及び割合の推移

科目	R 1			R 2			R 3		
	全体 件数	コンビニ 収納件数	コンビニ 収納割合	全体 件数	コンビニ 収納件数	コンビニ 収納割合	全体 件数	コンビニ 収納件数	コンビニ 収納割合
住民税	5,871	970	16.5%	5,880	1,161	19.7%	5,830	1,312	22.5%
固定資産税	18,683	2,241	12.0%	18,831	2,493	13.2%	18,873	3,348	17.7%
軽自動車税	6,561	1,536	23.4%	6,582	1,698	25.8%	6,698	2,099	31.3%
保育料	3,083	204	6.6%	1,831	277	15.1%	1,489	192	12.9%
住宅使用料	6,303	150	2.4%	6,205	206	3.3%	6,090	262	4.3%
国民健康保険税	13,100	998	7.6%	12,764	1,349	10.6%	13,132	1,770	13.5%
介護保険料	2,777	294	10.6%	3,001	358	11.9%	3,183	421	13.2%
後期高齢者医療保険料	2,279	70	3.1%	2,467	127	5.1%	2,443	188	7.7%
上下水道料	73,726	2,699	3.7%	74,558	3,851	5.2%	75,659	4,775	6.3%
計	132,383	9,162	6.9%	132,119	11,520	8.7%	133,397	14,367	10.8%

科目	R 3 - R 1			R 3 - R 2		
	コンビニ 件数増減	コンビニ 件数 増減率	コンビニ 割合増減	コンビニ 件数増減	コンビニ 件数 増減率	コンビニ 割合増減
住民税	342	35.3%	6.0%	151	13.0%	2.8%
固定資産税	1,107	49.4%	5.7%	855	34.3%	4.5%
軽自動車税	563	36.7%	7.9%	401	23.6%	5.5%
保育料	-12	-5.9%	6.3%	-85	-30.7%	-2.2%
住宅使用料	112	74.7%	1.9%	56	27.2%	1.0%
国民健康保険税	772	77.4%	5.9%	421	31.2%	2.9%
介護保険料	127	43.2%	2.6%	63	17.6%	1.3%
後期高齢者医療保険料	118	168.6%	4.6%	61	48.0%	2.5%
上下水道料	2,076	76.9%	2.7%	924	24.0%	1.1%
計	5,205	56.8%	3.8%	2,847	24.7%	2.1%

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症やウクライナ問題等により社会情勢は日々変化し、資金運用を行う上で難しい状況ではありますが、今後も引き続き佐々町資金管理方針に基づき適切に運用を行いたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 4		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	特別支援教育の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	佐々町教育支援委員会規則					項	1・2・3 教育総務費・小学校費・中学校費
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画					目	2・1・3 事務局費・学校管理費

1 事業内容

【行動指針】

・特別な支援を要する児童・生徒の教育的ニーズを的確に把握し、その児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援できるよう、特別支援教育を充実します。

【事業概要】

○特別支援教育支援員の配置（決算額 9,563,410円）

特別支援学級に在籍する児童生徒の学校における日常生活上の介助や学習支援、児童生徒の安全確保などのサポートを行う職員として、各学校2名ずつ配置しました。
通常学級においても年々、発達障害（学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症スペクトラム症等）を持つ児童生徒が増えており、学校内における日常生活上の介助や見守り、学習支援、安全確保など、校内生活上の支援を行いました。

○教育支援委員会の開催（決算額 27,000円）

就学児及び町内に在籍する特別の配慮を要する児童生徒に対し、それぞれの能力に応じたきめ細かな教育が受けられるよう、学校医、民生児童委員、住民福祉課、健康相談センター保健師、学校関係者などで構成する教育支援委員会で意見聴取をし、通常学校または、特別支援学校などの就学先の決定や特別支援学級への措置変更等を行いました。

○就学相談の実施（決算額 なし）

小学校入学を次年度に控えている就学児に関して、障がいを持つ子どもや、発達が気になる子どものいる家庭に対して、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室等の特別支援教育について説明を行い、保護者が就学先を選択するうえでの助言や情報を発信する面談を実施しました。
就学児に関しては、健康相談センターが所管している療育事業等で特に気になる児童の把握ができることから、保護者に対して就学相談実施を紹介することができ、行政機関内での連携を図りました。

※特別支援学級在籍児童生徒数（令和3年5月1日現在）

障がい	佐々小学校	口石小学校	佐々中学校
情緒障害	4名	10名	10名
知的障害	1名	6名	1名
肢体不自由	—	1名	—
病弱	1名	—	—
計	6名	17名	11名

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	7,175,499	9,124,838	9,590,410	10,393,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	7,175,499	9,124,838	9,590,410

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
町内3校とも特別支援教育に関しては大きな課題であるが、支援員の配置については、他自治体にはない人員として特別支援教育の充実に寄与しています。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 1		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	学習内容や生徒指導の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-					項	1・2・2・3 教育総務費・小学校費・中学校費
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画					目	2・1・3・1 事務局費他

1 事業内容

<p>【行動指針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力、体力の向上に必要なICT機器を活用した個別指導の方法、授業改善についてICT支援員を活用して行います。 ・教師の指導力の向上に資するため、研修機会の充実を図ります。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT支援員の配置（決算額 3,981,120円） ・委託期間中、各校年間48回（原則月4回）訪問を実施し、授業支援、研修支援、障害対応支援を行いました。 <p>【授業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前のICT機器などの設定、動作確認及び設置等の授業準備支援、授業で使用するワークシート、教材等の作成支援、授業中のICT機器等の操作支援等を行った。授業で使うICT教材教具の効果的な活用の仕方を教職員へ提案することで効果的な学習につながっています。 <p>【研修支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用促進に向けたハード・ソフトウェアの研修会の企画、準備、実施支援等を行いました。 <p>【障害対応支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の障害が発生した場合の障害対応支援等を行いました。 <p>※ICT支援員…学校における教員のICTの活用（授業、校務、教員研修等）をサポートすることにより、ICTを活用した授業等を教員がスムーズに行うための支援を行う人材。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持ち帰り学習用インターネット通信料（決算額 1,157,878円） ・タブレット端末持ち帰り学習に関して、インターネット環境が整っていない児童生徒世帯に対してルーターを貸与し、通信料を負担しました。〔貸与実績（延べ人数）：佐々小学校37人、口石小学校57人、佐々中学校20人〕 ○フィルタリングソフト使用料（決算額 1,238,094円） ・タブレット端末持ち帰り学習に関して、児童生徒が安全にインターネットを活用できるようフィルタリングソフトを導入しました。 ○佐々町3校共同研究の取り組み（決算額 121,000円） ・児童生徒の学力向上と基本的な生活習慣の定着を図ることを目的とした「佐々町3校共同研究」において、学習・生活・健康の3分野に分かれたそれぞれの取り組みを啓発する「佐々っ子ゆめプラン（リーフレット）」の一部改訂を行い発行しました。 ・また、小中学校連携、学力向上、指導力向上の視点から、公開授業研修会を各校年間1回実施しました。 ○各種研修会の充実（決算額 なし） ・教務研修会…教育課程、学力向上、指導力改善を目的として、年2回実施しました。 ・研究主任会…校内研修の進め方、授業改善、指導力向上、3校共同研究を目的として、年2回実施しました。 ・生活指導主任会…生徒指導の充実を目的として、年2回実施しました。 ・小中教科研修会…小中の授業の連携を目的として、年1回実施しました。
--

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	3,924,000	3,981,120	6,498,092	5,855,000
財源	国庫支出金		2,351,000	
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	3,924,000	3,981,120	4,147,092

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
ICT機器を活用した授業支援を行うことにより、児童生徒の「主体的・対話的」で「深い学び」に繋がる授業づくりの支援ができました。また、生徒指導についても佐々町3校共同研究の取り組みによって充実を図ることができました。今後も継続して関係機関と連携して生徒指導の充実を図っていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 2		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	ふるさと教育の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-			項	1 教育総務費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	2 事務局費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・町の産業、地勢、気候などをテーマとした社会科副読本「佐々町博士」を継続的に活用します。
- ・地域を学習教材とした体験的学習を進め、授業改善につなぐとともに、ふるさと「佐々町」に愛着を持つ子どもたちを育てます。

【事業概要】

- 社会科副読本「佐々町博士」の活用によるふるさとに愛着を持つ子どもたちの育み（決算額 89,100円）
 小学3、4年生を対象として、社会科の授業で本町が発行した社会科副読本「佐々町博士」を活用しました。
 3年生では①私たちの大好きなまち ②働く人とわたしたちの暮らし ③変わるわたしたちの暮らし
 4年生では④安全な暮らしとまちづくり ⑤健康な暮らしとまちづくり ⑥昔から今へと続くまちづくり
 ⑦わたしたちの県のまちづくり についてふるさと教育の充実を図った。
 また、児童数の変動により副読本の部数に不足が生じたため、30部をさらに発行しました。

- 地域を学習教材とした体験学習（決算額 なし）

地域の人材を活用して田植え体験、歴史探訪、佐々川を学習教材とした生物観察・水質調査等を実施しました。



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	330,000	0	89,100	242,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	330,000	0	89,100

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
佐々町博士は地域学習用教材として非常に使いやすいと好評でした。今後は佐々町に愛着を持つ工夫を図ります。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 3		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	児童・生徒の心のケア体制の整備						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-					項	1・2・2・3 教育総務費・小学校費・中学校費
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画					目	2・1・3・1 事務局費他

1 事業内容

【行動指針】
 ・スクールカウンセラーや心の教室相談員を中心に、いじめや不登校をはじめとした心の支援を必要とする児童・生徒に対する相談・サポート体制を整備し、学校と関係機関等が連携を密にして、予防や早期解消を図ります。

【事業概要】
 ○児童生徒理解支援事業（決算額 1,255,800円）
 小・中学校全児童・生徒に対し、ハイパーQ Uテスト（心理テスト）を実施しました。本テストを実施することにより、学級満足度や学校生活意欲、学級集団の状況を推し量ることができ、教職員が学級、学年経営への対応を考える一助となりました。また、不登校傾向の児童生徒の早期発見においても効果をあげることができました。

学校名	人数	実施日
佐々小学校	397	令和3年4月15日・令和4年2月2日
口石小学校	558	令和3年6月21日～25日・令和3年12月6日～10日
佐々中学校	400	令和3年5月21日・令和3年11月2日

○心の教室相談員・スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置（決算額 1,429,552円）
 心の教室相談員は教室内外での児童生徒の悩み相談・話し相手等、ストレスを和らげることができる第三者的存在となり得る職員として、町内小中学校に4名配置しました。県派遣のスクールカウンセラーとの連携を図り、不登校傾向や悩み事を抱えている児童生徒、学級内での人間関係がうまく築けない児童生徒の居場所づくりとして活用し、学校に不応気味の児童生徒に対する相談相手となっています。
 家庭的支援が必要な児童生徒に関しては、県派遣のスクールソーシャルワーカーが保護者との面談等を通じて、対象保護者の支援として関係機関との連携を行いました。（町内小中学校支援対象児童生徒数：63名）

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	2,505,750	2,662,415	2,685,352	3,177,000
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	2,505,750	2,662,415	2,685,352

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
心のケア体制の整備は進めているが、不登校児童生徒数がなかなか減少していませんが、学校以外の家庭の問題もあるため、家庭との連携をさらに図っていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 6			担当課	教育委員会	担当班	総務班
事業名	保護者の経済的負担軽減						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	佐々町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱 ほか				項	1・2・3	教育総務費・小学校費・中学校費
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画				目	2・4	事務局費・教育振興費

1 事業内容

【行動指針】

・要保護・準要保護世帯への就学援助費、特別支援教育就学奨励費、学校給食費負担軽減事業補助金などを支給し、保護者の経済的負担軽減に引き続き取り組みます。

【事業概要】

○要保護及び準要保護児童生徒就学援助費（決算額 15,835,071円）

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、要保護及び準要保護児童生徒就学援助費を支給を行いました。

- ・補助対象経費 学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費、通学費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校給食費、医療費、卒業アルバム代等
- ・対象者数および認定者数と援助の金額

学校名	要保護者		準要保護者	
	対象者数	金額	認定者数	金額
佐々小学校	2名(0名)	0円	57名	4,044,969円
口石小学校	3名(0名)	0円	75名	5,123,578円
佐々中学校	6名(3名)	78,600円	62名	6,587,924円

※要保護者の対象者数の()書きは、実際に支援を受けた人数(修学旅行費分)

○特別支援教育就学奨励費（決算額 798,321円）

特別支援学級に通う児童生徒の保護者の方に対し、特別支援教育就学奨励費として給食費や学用品費等の一部を支給することで保護者の負担を軽減しました。

- ・補助対象経費 学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費、学校給食費、修学旅行費
- ・対象者数と援助の金額

学校名	支給対象者数	支給金額
佐々小学校	4名	119,030円
口石小学校	11名	353,810円
佐々中学校	8名	325,481円

○学校給食費負担軽減事業補助金（決算額 16,068,200円）

小中学生を持つ家庭の子育て支援として、町内の小中学校に在籍する児童生徒の給食費について、学校給食費負担軽減事業として第1子20%、第2子40%に加え、第3子以降を80%の補助を行いました。

○羽ばたけ若者人材育成奨学金事業（決算額 900,000円）

佐々町から将来を担う有用な人材の育成・支援を目的として、申請者の中から成績などを勘案し、1名につき30万円の奨学金を3名へ給付しました。

○学生応援給付金事業（決算額 29,700,000円）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、就学に係る費用の確保や就学の継続が困難となっている佐々町在住及び佐々町出身の未来ある大学生等の学資を支援するため、1人につき10万円を297名へ給付しました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	31,406,731	31,991,588	63,301,592	44,348,000
財源	国庫支出金	315,000	355,000	28,339,000
	県支出金			802,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	31,091,731	31,636,588	34,962,592

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
それぞれの事業に関して保護者負担軽減を図ることができています。 就学援助費については、周知徹底をさらに図り、受給者数を増やしていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 7		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	特色ある学校づくり						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	佐々町学校運営協議会規則			項	2・3	小学校費・中学校費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1・3	学校管理費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・学校運営協議会を充実させ、学校運営に地域の声を積極的に活かし、学校と地域が一体となって、特色ある学校づくりを進めます。

【事業概要】
 ○学校運営協議会の開催（決算額 82,500円）
 社会に開かれた教育課程を実現するために各学校で学校運営協議会を年2～3回実施し、学校経営方針、学校運営にかかわる職員組織や学校設備、教育課程等を説明し、地域や保護者の様々な意見を聴きながら学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを推進しました。

(佐々川生物観察)



(佐々町婦人会を招いての梅干しづくり)



(あいさつ運動)



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		107,500	122,500	82,500	150,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	107,500	122,500	82,500	150,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
学校運営協議会により各学校が地域と一体となった特色ある学校づくりを行うことが出来ました。今後も引き続き実施していきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - 8		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	保育所等、小学校、中学校の連携						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-			項	2・3	小学校費・中学校費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1・3	学校管理費	

1 事業内容

【行動指針】
 ・保育所等、小学校、中学校が連携を図り、相互交流を通して、子どもが安心して進級できる体制を整えます。
 ・教職員等が連携し、小1プロブレム、中1ギャップの解消に取り組みます。

【事業概要】
 ○保育所・小学校の連携（決算額 なし）
 年度末の2月に町内の保育所と各小学校の教職員同士が配慮を要する児童に関する情報交換を行い、年長園児の小学校生活がスムーズに行くような手立てを講じました。
 また、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができませんでしたが、例年は、町内の保育所の年長園児を小学校に招いて小学校1年生との交流会を実施し、年長園児にとっては、一日入学の体験を通しながら小1プロブレムの解消に役立てています。この交流会の代用として、学校生活の様子を撮影したDVDを町内保育所に配布しました。


○小学校・中学校の連携（決算額 なし）
 入学説明会の実施により、中学校生活や授業、部活動、生徒会の様子などを小学6年生に体験させることで中1ギャップの解消に取り組みました。教職員についても指導方法の連携を意識した授業交流会等を開催したり年度末に小中連絡会を実施し、子どもたちがスムーズに中学校生活に移行できるような手立てを講じました。

○学習・生活支援員の配置（決算額 4,755,968円）
 通常学級で落ち着いて授業を受けることが困難な児童や、発達障害（学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症スペクトラム症等）傾向の児童が年々増加傾向にあります。そうした児童に対する学習・生活支援を行う職員として佐々小学校1名、口石小学校2名配置しました。この職員の配置により、教職員の支援にもなり、通常学級全体の授業や校内生活を円滑にするためのサポートを行うことができています。

※小1プロブレム…小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中に座ってられないなど、小学校の生活になかなかなじめない状況になること。

※中1ギャップ…児童が、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活になじめずに、不登校になったりする問題。

(学習・生活支援員の支援状況)



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	3,597,624	4,568,393	4,755,968	5,147,694
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	3,597,624	4,568,393	4,755,968

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
保育所等、小学校、中学校が連携を図ることができました。今後さらに教職員等が連携し、小1プロブレム、中1ギャップの解消に取り組んでいきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 1 - ◆1		担当課	教育委員会	担当班	総務班	
事業名	さざっ子学力アップ事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-			項	1・2・3	教育総務費・小学校費・中学校費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	2・1・3・4	事務局費他	

1 事業内容

【行動指針】

・21世紀を担う子どもたちの時代のニーズに応じた学力の定着・向上を図ります。また、ALT（外国語指導助手）を活用し、グローバル人材の育成を目指した英語教育を推進します。

【事業概要】

○ALT配置（決算額 9,900,000円）

2名のALTを配置（委託）し、小・中学校において教職員と連携して授業に取り組みました。小学校の外国語教科化により、児童が英語に親しむための一助になりました。また、小中学校のALTも含めた小中の連携を意識した研修会を開催したことによって小中のスムーズな教科指導連携が構築しつつあります。その結果、中学校の英語力向上に効果を上げています。

○学力向上対策事業（決算額 1,948,260円）

小・中学校全児童・生徒に対し、標準学力調査を実施しました。小1から中2までの児童・生徒個人個人の累年比較を行うなど、調査結果を各校で分析し、課題を洗い出しながら教職員が授業の工夫をする取組も出てきています。また、意識調査も同時に行っており、児童生徒個人の内面的な把握を行ったことで、学習意欲向上のきっかけにもなりました。今後も継続することによって、全国学力調査での目標達成につなげていきたいと考えています。

学校名	人数	実施日
佐々小学校	375	令和4年1月20日・21日
口石小学校	526	令和4年1月19日・20日
佐々中学校	261	令和4年1月12日・13日（1・2年生）

○学力向上支援員の配置（決算額 5,142,683円）

・各校1名ずつ配置し、算数、数学、国語を中心として授業の中で担任とのTT指導等に活用したことで、個別指導等やきめ細かな指導の一助となりました。また、練習問題等に日常的な丸付け及び評価を行うなどの学習支援も行いました。
・教材・教具の作成支援や、学習内容の習熟を図るための資料作成等の校務支援を行いました。

○サポートティーチャーによる学力向上支援（決算額 58,000円）

・新型コロナウイルス感染症の影響により、外部人材の活用が難しい状況でしたが、できる限り退職校長会や地域住民等を活用して、放課後や夏季休業中を活用して学習支援を行いました。また、長崎県立大学生のサポートティーチャーについても、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣することが出来ませんでした。
・学習の到達度が低い児童に対して個別指導を行いました。
・算数科や国語科において、T・Tの形で学習支援を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	16,408,675	16,857,794	17,048,943	18,216,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	698,000	363,000	325,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	15,710,675	16,494,794	16,695,943

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較 【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
全国的には平均以上となっていますが、教科によっては平均を下回っている現状にあるため、タブレット端末等のICT機器を活用するなどしてさらなる学力向上を図っていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
英語力向上も必要だが、国語力不足で数学やその他の科目の問題の内容が理解できずに解けないといった問題もあると聞くので、国語力向上のフォローアップもお願いしたい。
委員会評価
現状維持 ・ 見直し ・ 廃止

事業番号	2 - 1 - 5			担当課	教育委員会	担当班	総務班
事業名	適切な学校施設の維持・管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-			項	2・3	小学校費・中学校費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1他・1他	学校管理費他	

1 事業内容

【行動指針】
 ・老朽化した学校施設の適切な維持・管理を図ります。
 ・老朽化した学校給食施設を給食センター化し、より安全で安心な給食の提供を行います。

【事業概要】
 ○学校施設の適切な維持・管理【委託・工事】（決算額 31,626,100円）

【口石小学校】
 (1) 校舎外庇等設置工事
 ・体育館やグラウンド利用者が校内運動場側の既設トイレを利用しやすいようにトイレ入口に庇を設置しました。
 (2) 校内樹木剪定・伐採工事
 ・校内の環境改善を図るため、学校敷地内の樹木の剪定・伐採を行いました。
 (3) 教室増設(多目的室改修)工事
 ・令和4年度の学級数増加に伴い教室数が不足するため、3階の多目的室を改修し普通教室を増設しました。

【佐々中学校】
 (1) 放送設備改修工事（実施設計業務委託料含む）
 ・放送設備が老朽化し不具合が生じていたため、設備機器の更新を行いました。
 (2) トイレ改修工事（学校施設環境改善交付金事業）
 ・職員トイレおよび多目的トイレが老朽化していたため、洋式化等の改修を行いました。

○学校施設の適切な維持・管理【備品購入】（決算額 14,357,174円）
 各学校に必要な管理用備品・給食用備品・教材備品・図書・プラスバンド備品をそれぞれ購入しました。

○学校施設の新型コロナウイルス感染症対策【消耗品・備品購入】（決算額 13,118,110円）
 (1) 学校保健特別対策事業補助金事業
 ・小中学校が感染症対策等を徹底しながら、学校教育活動の円滑な運営ができるよう、新型コロナウイルス感染症対策の消耗品、備品の購入を行いました。
 (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
 ・小中学校の新型コロナウイルス感染症対策として、町立学校の全教室（特別教室含む）に低濃度オゾン発生器を設置しました。

○給食センター整備（決算額 なし）
 給食センターの候補地について、敷地の状況、周辺環境の状況、配送距離・時間等を勘案し、検討を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算	
事業費	317,505,720	329,303,339	149,970,452	178,490,000	
財源	国庫支出金	39,009,000	120,735,795	13,772,250	
	県支出金				
	その他特定財源			16,000,000	
	地方債	118,700,000	47,800,000	3,900,000	45,300,000
	一般財源	159,796,720	160,767,544	116,298,202	115,690,000

1 事業内容

【事業概要】

○学校施設の適切な維持・管理【経常的経費】（決算額 90,869,068円）

(1) 佐々小学校管理費【P164～168】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 ほか	10,482,598	12,197,002	1,714,404
11 役務費	通信運搬費、クリーニング料、各種手数料、建物 災害共済保険料 ほか	1,984,773	2,123,329	138,556
12 委託料	電気工作物保安管理業務、機械警備業務、消防設 備法定点検業務 ほか	2,018,197	1,378,386	-639,811
13 使用料及 び賃借料	校内情報ネットワークシステムリース料、電子黒 板リース料、校務支援システム使用料 ほか	11,483,937	11,326,847	-157,090
15 原材料費	補修用原材料	66,990	46,422	-20,568
計		26,036,495	27,071,986	1,035,491

【主な増減理由】給食用の消耗品費が年次計画による給食用食器の種類の違いによって増額した。また、給食用の修繕料についても例年よりも給食用備品（ガス回転釜、野菜裁断機 等）の修繕や施設営繕が多く発生したため増額した。

(2) 口石小学校管理費【P170～174】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 ほか	13,850,682	15,330,453	1,479,771
11 役務費	通信運搬費、クリーニング料、各種手数料、建物 災害共済保険料 ほか	1,892,848	2,316,175	423,327
12 委託料	電気工作物保安管理業務、機械警備業務、消防設 備法定点検業務 ほか	1,938,202	1,642,543	-295,659
13 使用料及 び賃借料	校内情報ネットワークシステムリース料、電子黒 板リース料、校務支援システム使用料 ほか	13,152,399	13,086,155	-66,244
15 原材料費	補修用原材料	51,198	0	-51,198
計		30,885,329	32,375,326	1,489,997

【主な増減理由】修繕料の中で、プールろ過機修繕1,017千円、雨漏り修繕228千円、下足室天井裏サッシアンカー等復旧修繕276千円、南運動場砂場枠補修715千円などの高額な修繕が例年よりも多く発生したため増額した。

(3) 学校管理費（佐々中学校）【P176～180】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 ほか	12,518,526	13,852,602	1,334,076
11 役務費	通信運搬費、各種手数料、建物災害共済保険料 ほか	1,972,485	2,281,320	308,835
12 委託料	電気工作物保安管理業務、機械警備業務、消防設 備法定点検業務 ほか	2,600,744	2,101,493	-499,251
13 使用料及 び賃借料	校内情報ネットワークシステムリース料、電子黒 板リース料、校務支援システム使用料 ほか	13,442,361	13,163,241	-279,120
15 原材料費	補修用原材料	89,000	23,100	-65,900
計		30,623,116	31,421,756	798,640

【主な増減理由】修繕料の中で、プールろ過機ポンプモーター交換修繕434千円、校舎（A棟）外壁剥落箇所ハツリ撤去562千円などの高額な修繕が例年よりも多く発生したため増額した。

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	学力テスト全国平均比較【総合戦略】【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以上	-	-	-	-	
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	
成果	体力テスト全国平均比較【単】	全国平均以下	-	目標	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	全国平均以上	
				実績	全国平均以下	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
年度内に予定の工事をすべて執行することができました。今後も引き続き学校環境の維持に努めていきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関する備品購入費【佐々小学校管理費】(決算書P168)

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品	冷蔵庫 1台	56,100
		オートフィードシュレッダー 1台	49,280
		硬貨選別計数機 1台	43,820
		組立式掃除用具入れ 3台	99,060
		児童用机 20台 椅子 20脚	532,400
		折りたたみテーブル 10台	146,300
		タイムレコーダー 1台	109,780
説明 計			1,036,740
17 備品購入費	給食用備品	球根皮剥機 1台	269,500
		ガス回転釜 1台	374,000
		移動台 1台	39,600
説明 計			683,100

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関する備品購入費【佐々小学校教育振興費】（決算書P170）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	教材備品	ラミネーター 1台	53,000
		コンパクト型PH計 1個	15,274
		プロジェクター 1台	79,200
		テント 3張	283,800
		ブックトラック 6台	455,400
		バトミントン支柱 3組	99,750
		得点板 2台	51,600
		逆上がり補助器 2台	98,600
		ミシン 2台	78,000
		デジタル身長計 1台	65,400
		一輪車 3台	41,400
		デジタルdeムービーシアター8 1個	11,800
		【特別支援用】	
		パーテーション 2台	79,860
カラーインクジェット複合機 1台	40,700		
ジャンピングシェイプ 2台	35,933		
説明 計			1,489,717
17 備品購入費	図書購入費	図書 466冊	899,524
説明 計			899,524

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する工事請負費【口石小学校管理費】(決算書P172)

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	校舎外庇等設置工事	校舎外庇等設置工事	N=1か所	52,800
説明 計				52,800
14 工事請負費	校内樹木剪定・伐採工事	校内樹木剪定・伐採工事	N=21か所	3,786,200
説明 計				3,786,200
14 工事請負費	教室増設(多目的室改修)工事	教室増設(多目的室改修)工事	A=264.0㎡	17,215,000
説明 計				17,215,000

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する備品購入費【口石小学校管理費】(決算書P174)

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品	耐火金庫 1台	99,800
		乾熱滅菌器 1台	264,000
		ユニット3段両面書架 1台	275,000
		児童用机 10台椅子 10脚	266,200
		タイムレコーダー 1台	109,780
		片袖事務机 4台	139,040
		長机 3台	132,000
		キャスター付きワゴン 3台	158,400
		デスクターナー 4台	56,980
		事務用イス 7脚	92,400
		書庫 3台	161,700
		教卓 3台	88,110
		掃除用具入れ 3台	97,020
		板書補助ステップ 3台	80,850
		配膳台 5台	349,250
キッチンワゴン 1台	48,950		
説明 計			2,419,480
17 備品購入費	管理用備品(新型コロナウイルス感染症対策事業分)	低濃度オゾン発生器 3台	297,000
説明 計			297,000

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関する備品購入費【口石小学校教育振興費】（決算書P174）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	教材備品	オルガン 4台	655,600
		まな板・包丁殺菌保管庫 1台	271,700
		ライブ配信用AVミキサー 1台	58,300
		スピーカー付きマイク 1台	25,000
		デジタルカメラ 1台	38,000
		インクジェットプリンタ 1台	67,000
		ワイヤレススピーカー 1台	9,218
		カラー大玉 3個	82,500
		フットサルゴール・ゴールネット・ゴールウエイト 1セット	257,400
		一輪車 6台	84,000
		【特別支援用】	
		スタンディングバッグ 1台	28,000
		かさねていくら 1セット	35,930
		ひらがなつみき2種セット 1セット	23,360
		マグホーマークリエイティブ セット 2セット	19,800
		ロッキンボール 1台	25,168
		グループ発表ボード 3台	97,680
説明 計			1,778,656
17 備品購入費	図書購入費	図書 611冊	1,299,892
説明 計			1,299,892

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する備品購入費【佐々小学校管理費（繰越明許）】（決算書P176）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品 (新型コロナウイルス 感染症対策 事業分)	パーティションホワイトボード 13台	572,000
		低濃度オゾン発生器 23台	1,998,700
		パルスオキシメーター 1台	15,700
説明 計			2,586,400

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する備品購入費【口石小学校管理費（繰越明許）】（決算書P176）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品 (新型コロナウイルス 感染症対策 事業分)	衝立 2台	74,580
		スタンド収納扇 2台	40,000
		低濃度オゾン発生器 31台	2,693,900
		パルスオキシメーター 1台	27,500
		ライブ配信用AVミキサー 1台	58,300
		ビデオカメラ 1台	35,000
		加湿器 1台	23,000
		ノートパソコン(タブレット) 4台	195,800
		パーティションホワイトボード 3台	263,340
説明 計			3,411,420

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する工事請負費【佐々中学校管理費】(決算書P178)

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	放送設備改修工事	放送設備改修工事	N= 1 基	1,749,000
説明 計				1,749,000
14 工事請負費	トイレ改修工事	トイレ改修工事	N= 2 か所	8,377,600
説明 計				8,377,600

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する備品購入費【佐々中学校管理費】(決算書P180)

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品	生徒用机 30台	952,050
		椅子 45脚	
		教卓 1台	32,450
		タイムレコーダー 1台	109,780
説明 計			1,094,280
17 備品購入費	給食用備品	スポットエアコン 1台	105,600
		エアコン (控室用) 1台	90,400
説明 計			196,000

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関する備品購入費【佐々中学校教育振興費】（決算書P180）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	教材備品	小型強力電磁石 1台	22,260
		上皿はかり 1台	11,600
		デジタルはかり 5台	57,000
		直流電流計 8台	104,520
		真空落下実験器 1台	28,980
		小型真空ポンプ 1台	33,940
		Wi-Fi対応顕微鏡デジタルカメラシステム 1式	56,100
		電源装置 5台	158,440
		絶縁台 1台	21,300
		電気分解装置 4台	31,940
		放電式記録タイマー 4台	46,500
		アーテックロボ 9セット	253,440
		静電高圧発生装置 1台	125,400
		アクリルケース 2台	113,000
		クラッシュシンバル 1組	82,000
		ウォーキングメジャー 1台	11,700
		拡声器 3台	66,000
		デジタイマー 1台	83,500
		ポータブルワイヤレスアンプ 1台	129,800
		【特別支援用】	
	ワークテーブル 1台	75,020	
	固綿軽量ユニット畳 2枚	21,600	
説明 計			1,534,040
17 備品購入費	図書購入費	図書 652冊	1,399,945
説明 計			1,399,945
17 備品購入費	グラスバンド備品	テナーバストロンボーン 1台	228,800
説明 計			228,800

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する備品購入費【佐々中学校管理費（繰越明許）】（決算書P182）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品 (新型コロナウイルス 感染症対策 事業分)	飛沫飛散防止パネル 51台	438,680
		低濃度オゾン発生器 32台	2,792,900
		パルスオキシメーター 1台	14,200
説明 計			3,245,780

「2-1-5適切な学校施設の維持・管理」に関連する備品購入費【佐々中学校教育振興費（繰越明許）】（決算書P182）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	デジタル教科書購入費	デジタル教科書 一式	2,037,860
説明 計			2,037,860

【このページは空白です】

事業番号	2 - 1 - ◆2			担当課	教育委員会	担当班	総務班
事業名	小中学校キャリア教育推進事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	「生きる力」を育む学校教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	-			項		2 小学校費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目		2・4 教育振興費	

1 事業内容

【行動指針】

・総合的な学習の時間を活用し、地元の職場見学や職場体験を行います。また、中学生を対象とした、町内に居住する就業者等を校内へ招へいた「生き方講座」を実施します。

【事業概要】

○職場見学・職場体験（決算額 なし）

社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質・能力を育むこと目的として、小学校では町内の公共機関やスーパーマーケット等の見学を行いました。中学校では町内の各事業所で職場体験学習を実施しました。

○講話の実施（決算額 60,000円）

佐々小学校ではクラブ活動での地元陶芸家を招いての授業を行いました。口石小学校では地元農家の協力を得ながら田植え活動や稲刈りなどの農業体験学習を通し、農業に対するキャリア教育を実施しました。また、佐々町婦人会を招いての梅干しづくり体験等も行いました。

佐々中学校ではコロナ禍の影響もあり、「生き方講座」は実施できませんでしたが、以前は、町内に居住する就業者等を招いての講演会を開催し、キャリア教育を行っております。このような活動を通して、児童生徒に将来の職業について考える機会を与えることができています。

※キャリア教育…望ましい職業観・勤労観、職業に関する知識や技能を身に付けさせ、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		70,000	60,000	60,000	90,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	70,000	60,000	60,000	90,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町に愛着を持つ児童生徒の割合【総合戦略】【単】	-	%	目標	100	100	100	100	100	94%
				実績	94	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業根拠の再確認（住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） 意図の適切性（住民のニーズに対して、意図が適切であるか） 自治体関与の必要性（自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか） 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 意図の達成度（評価指標や意図をどの程度達成しているか） 対象の適切性（意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） 手段の適切性（意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか） 	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率化（業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） 投入コストの適切性（投入するコストは適正か、削減の余地はないか） 財源確保の適切性（受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか） 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
中学校は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、実施できなかったが、小学校では、児童生徒に将来の職業について考える機会を与えることができました。 地元出身者による講話は、子どもたちの目標や夢に向けて励みとなっており、キャリア教育の推進が図られており、引き続き実施していきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	2 - 2 - 3			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	青少年健全育成活動の支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	学校・家庭・地域が連携協力し子どもの教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目		2 10 少年健全育成事業費 佐々っ子応援団推進費	

1 事業内容

【行動指針】

・佐々町青少年健全育成会による活動の支援や、県民運動「ココロねっこ運動」、佐々っ子応援団の活動を通して、子ども・青少年を健全に育成する活動を支援します。

【事業概要】

○青少年健全育成会の活動

- <4月>
 - ・白ポスト有害図書類回収 参加 3名
 - <6月>
 - ・「少年の主張」佐々大会 参加約50名
 - ・危険箇所標識作成（13本作製） 参加 13名
 - <7月>
 - ・「少年の日」の広報・啓発
 - ・町非行防止対策協議会 参加 34名
 - ・「家庭の日」の広報・啓発
 - ・白ポスト有害図書類回収 参加 4名
 - <8月>
 - ・夏休み夜間パトロール 参加 PTA
 - <9月>
 - ・「少年の主張」長崎県大会

県下122校から9,600編もの応募の中から、下記のとおり入賞しました。

 - 優秀賞（長崎新聞社賞） 「明日の保障」 佐々中学校2年
 - 努力賞 「螺旋階段のように」 佐々中学校3年
 - <11月>
 - ・「少年の日」の広報・啓発
 - ・クップ講習会
 - ・遊びの広場 中止
 - ・「家庭の日」の広報・啓発
 - ・白ポスト有害図書類回収 参加 4名
 - <2月>
 - ・白ポスト有害図書類回収 参加 4名
- ※年間、約380点を回収しました。

○佐々っ子応援団の実施（決算額 440,689円）【再掲】
 佐々っ子応援団（ボランティアスタッフ）の協力により、登校時の見守り活動を実施し、地域ぐるみで子どもたちの育成を図りました。

少年健全育成事業費 769,395円
 佐々っ子応援団推進費 440,689円（報償費除く）



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,399,095	1,165,458	1,210,084	1,823,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	37,000	37,000	37,000	37,000
	その他特定財源				1,000
	地方債				
	一般財源	1,362,095	1,128,458	1,173,084	1,785,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	地域子ども教室参加児童数【総合戦略】【単】	674人/年	人	目標	700/年	700/年	700/年	700/年	700/年	57%
				実績	397	-	-	-	-	
成果	佐々っ子応援団見守り活動参加者数【総合戦略】【単】	70人程度	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	70	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業もありましたが、成果指標の実績は達成でき、佐々っ子応援団及び佐々町青少年健全育成会を中心に、子どもたち・青少年の健全育成活動に取り組むことができました。今後も引き続き実施していきたいと考えます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 3 - 1		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	生涯学習機会や大学などと連携した内容の充実と支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	生涯にわたって学ぶことができる機会をつくる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1 4 社会教育総務費 公民館費		

1 事業内容

【行動指針】

・町民のそれぞれのライフステージに応じた学習機会の提供と学習内容を充実するため、公民館、地域交流センター、図書館などを活用した各種講座を開催します。
 ・社会人や高齢者の学習ニーズに対応し、専門的な講座内容を提供するため、県立大学等と連携した学習機会を充実します。

【事業概要】

○教育委員会主催講座の開催（決算額 437,409円）

明生大学、さざんか教室、あひるの学級とそれぞれのライフステージに応じた学習機会の提供に努めました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、半分以上の講座が中止となりました。

また、「さざ歴史学」として、3回予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2回（42名参加）開催し郷土学習の機会の提供に努めました。

○公民館主催講座の開催（決算額 23,500円）

令和3年度は料理講座を5回予定していましたが、3回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

実施した2回の講座では、累計24人の参加がありました。また、家庭菜園体験教室を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

○県立大学と連携した学習機会の創造（決算額 なし）【再掲】

「すぐに使えるカンタン日常英会話」と題して、長崎県立大学地域創造学部 教授 山崎祐一氏を講師に招き講座を開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となり実施できませんでした。

各種学級講座講師謝礼金 他 437,409円

公民館講座講師謝礼金 他 23,500円



2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	665,482	534,075	460,909	958,400
財源	国庫支出金			
	県支出金			
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	665,482	534,075	460,909

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	各種講座参加者数【総合戦略】 【単】	573人/年	人	目標	600/年	600/年	600/年	600/年	600/年	54%
				実績	324	-	-	-	-	
成果	町立図書館1人あたりの貸出冊数 【単】	10.4冊/年	冊	目標	増加	増加	増加	増加	増加	100%
				実績	10.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により中止した学級・講座もあり、成果指標の実績は大きく下回りましたが、町民のライフステージに応じた学習機会の提供に取り組むことができました。 今後も引き続き実施していきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 3 - 2		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	各種講座を通じた指導者・ティーチャーの養成						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	生涯にわたって学ぶことができる機会をつくる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1 社会教育総務費		

1 事業内容

【行動指針】

・各種講座の開催を通じて、受講者が親近感をもてる町民の指導者を養成します。

【事業概要】

○教育委員会主催講座における地域住民の活用推進【再掲】

明生大学において2回、さざんか教室において1回、あひる学級において2回、さざ歴史学において1回、本町住民の方による学級・講座の講師を務めていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の開催となりました。

<明生大学>一般男女を対象とした講座

講座内容	講師等	実施状況	満足度
月のお話	町内ボランティア	中止	—
町制80周年記念「佐々町今昔物語（町の移り変わり）」	町内ボランティア（郷土史家）	中止	—

<さざんか教室>一般女性を対象とした講座

講座内容	講師等	実施状況	満足度
お茶を楽しもう～美味しいお茶 淹れ方～	有限会社北村製茶	参加14名	100%

<あひる学級>未就学児を持つ親と子を対象とした講座

講座内容	講師等	実施状況	満足度
簡単！手作りおやつを作ろう	クッキング教室 えん	中止	—
子どもの受診の基準や対処法・予防接種について	やまぐち小児科医院長	中止	—

<さざ歴史学>一般男女を対象とした講座

講座内容	講師等	実施状況	満足度
平戸藩内独特の肥前型鳥居	歴史愛好家プロガー	中止	—



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		287,000	250,000	223,000	560,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	287,000	250,000	223,000	560,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	各種講座参加者数【総合戦略】 【単】	573人/年	人	目標	600/年	600/年	600/年	600/年	600/年	54%
				実績	324	-	-	-	-	
成果	町立図書館1人あたりの貸出冊数 【単】	10.4冊/年	冊	目標	増加	増加	増加	増加	増加	100%
				実績	10.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>各講座において、町民の方に講師を務めていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の開催となりました。 今後とも、地域人材を活用した指導者、ティーチャーの育成に努めます。</p>				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 5 - 1		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	郷土史学習講座の開催						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	歴史や文化財、伝統文化を守り、育てる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1 社会教育総務費		

1 事業内容

【行動指針】

・明生大学（高齢者講座）やさざんか教室（女性講座）、特別講座（佐々歴史悠学など）において、郷土史をテーマに取り入れた講座を開催していきます。

【事業概要】

・郷土史学習講座の開催については新型コロナウイルス感染症の影響により、教育委員会主催特別講座の中で4回予定していましたが規模を縮小して2回（42名参加）開催し、郷土学習の機会の提供に努めました。

<さざ歴史学>

	講座内容	講師等	実施状況
1	平戸藩内独特の肥前型鳥居	歴史愛好家プロガー	中止
2	大岩岩陰遺跡	佐世保地区連合史跡保存会	参加22名
3	縄文時代後期文化「狸山支石墓（經節型大珠）」	埋蔵文化財調査士 日本考古学協会員	参加20名
		計	参加42名



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		24,000	22,000	28,000	90,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	24,000	22,000	28,000	90,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	社会教育講座における郷土史学習の受講者数（各回平均）【単】	26人/回	人	目標	30/回	30/回	30/回	30/回	30/回	70%
				実績	21	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止や規模を縮小して実施したため、成果指標の受講者数は達成できませんでしたが、受講者は本町の歴史について、理解を深めることができました。今後も引き続き本町の歴史の学習機会を作っていきます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 5 - 2			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	文化財の保存と活用						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	歴史や文化財、伝統文化を守り、育てる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	3 文化財費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・文化財が次世代に引き継がれるように、環境整備を行うなど適切に保存していきます。
- ・文化財について、ホームページなどを活用して周知・広報を行います。
- ・前佐々町郷土資料館の収蔵品は、検討委員会で示された答申に基づいて適切に保存していきます。

【事業概要】

- ・文化財の保存環境を適正に保つため、県指定文化財の「市の瀬血山窯跡、狸山支石墓群」及び町指定文化財の「旧正興寺古井戸、大日山城墓石群」について、除草、清掃等を行い文化財の環境保全に努めました。(決算額 83,170円)
- ・鏗節形大珠(かつおぶしがたたいしゅ)について、遺物の重要度を確認するため化学分析を実施し、県文化財の指定に向けた準備作業を行いました。(決算額 13,440円)
 ※鏗節形大珠とは、本町の史跡である狸山支石墓群から出土した副葬品で、ヒスイ輝石岩製(硬玉)の大珠であり、縄文時代中期から後期、晩期の装身具です。
- ・佐々町無形文化財指定の神田雅楽への活動補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができなかったため、補助実績はありません。



2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		456,323	214,162	96,610	393,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	1,000	4,000	4,000	4,000
	その他特定財源	2,500	0	7,100	7,000
	地方債				
	一般財源	452,823	210,162	85,510	382,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	社会教育講座における郷土史学習の受講者数（各回平均）【単】	26人/回	人	目標	30/回	30/回	30/回	30/回	30/回	70%
				実績	21	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している		
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
本町の史跡について、適正な維持管理に努めました。前佐々町郷土資料館の収蔵品の保存は、保存場所の変更を検討します。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 6 - 1		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	町民主体の文化芸術活動への支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	多彩な芸術・文化の充実を図る				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1 社会教育総務費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・ 伝統行事や文化的事業をはじめ、町民や地域が主体的に行う芸術・文化活動に補助を行うなどの支援を行います。

【事業概要】

- ・ 佐々町文化協会への補助金交付（R3年度決算額147,577円）
文化芸術活動を行っている、23団体、約300名で構成される佐々町文化協会に、活動を支援するため助成を行いました。が、新型コロナウイルス感染症の影響により町民文化祭をはじめ、各団体の活動が縮小、中止となりました。
- ・ 神田雅楽への補助金の交付（R3年度決算額 なし）【再掲】
佐々町無形文化財指定の神田雅楽への活動補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができなかったため、補助実績はありません。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		618,000	135,977	147,577	618,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	618,000	135,977	147,577	618,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民文化祭の参加者数【単】	2,486人/年	人	目標	2,500/年	2,500/年	2,500/年	2,500/年	2,500/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	文化会館年間利用者数【単】	32,807人/年	人	目標	32,900/年	32,900/年	32,900/年	32,900/年	32,900/年	54%
				実績	17,883	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が中止や縮小となり、成果指標は達成できませんでした。文化的事業を行う中心的な団体である「佐々町文化協会」と伝統行事である「神田雅楽」をこれからも支援していきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 2 - 3			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	人権教育の推進							
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち				予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	すべての町民が尊重され、生きがいのある社会をつくる					款	10
法令根拠条例等	社会教育法				項	5	社会教育費	
個別計画	佐々町人権教育・啓発基本指針				目	1	社会教育総務費	

1 事業内容

【行動指針】

・自分の大切さとともに、他人の大切さを認めることができる人権感覚を養うためには、児童生徒に他人の気持ちが分かる想像力、共感性、適切かつ豊かな表現力、コミュニケーション能力などを育む必要があります。確かな人権感覚を育むため、学校全体の取組を推進します。
 ・温もりと心の豊かさが実感できる人権尊重社会の実現に向けて、社会教育講座で人権をテーマにした講話を開催するなど、人権教育の推進に取り組みます。

【事業概要】

10.5.1.7社会教育総務費報償費の一部 51,000円

・学校の取組

学校の全ての教育活動を通して、人権の意義や重要性について理解させるとともに、8月9日の平和集会に向けた取組や人権週間への取組など、人権や平和について深く考え学ぶ機会を作りました。

令和3年度人権・同和教育指導者活動活性化・養成講座の後援（令和3年度決算額0円）

8月19日に佐世保にて開催された、「令和3年度人権・同和教育指導者活動活性化・養成講座」や11月19日に開催された「第36回平戸・松浦地区人権教育研究会」の後援をし、関係団体との関係強化に努めました。

・人権講話の実施（令和3年度決算額51,000円）【10.5.1.7.】の一部

教育委員会主催講座である明生大学講座とさざんか教室の合同講座として、12月2日に「人権講話 気づきから学びへ」を開催し、人権啓発活動に取り組みました。参加人数は合計39名でした。

また、「あひる学級」において、12月2日に「親子のきずな「愛着形成について）」と題し人権に関連する講座を開催しました。参加人数は11人でした。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		15,000	55,000	51,000	45,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	15,000	55,000	51,000	45,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	人権啓発事業の実施数【累】	4事業	事業	目標	-	-	-	-	5	80%
				実績	4	-	-	-	-	
成果	男女共同参画啓発ブースの来場者数【単】	908人/年	人	目標	1,000/年	1,000/年	1,000/年	1,000/年	1,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	社会教育講座における人権講話の受講者数（1講座平均）【単】	45人	人	目標	50	50	50	50	50	50%
				実績	25	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
人権・同和問題に対して、理解を図るべく今年度も活動してきました。関係団体との連携強化を図り、後援や研修への参加を行いました。また、教育委員会主催講座では年度を通して必ず一度は人権関係の講話や講座を開講するようにしています。来年度も同様に活動を継続していきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	7 - 3 - 4			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	地域コミュニティ団体への支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	身近な課題を解決する地域コミュニティを育てる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目		1・2 社会教育総務費他	

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・町内会における地域コミュニティ活動の活性化を推進するため、各町内会の公民館・婦人会・子ども会育成会へ助成を行い、活発な地域づくりへの支援を行います。</p> <p>【事業概要】 10.5.4.18公民館費補助金、10.5.1.18社会総務費補助金、10.5.2.18少年健全育成事業費補助金 計1,979,740円</p> <p>○各町内会公民館運営に対する助成（令和3年度決算額1,266,620円）【10.5.4.18】の一部 31町内会（牟田原町内会を除く）に対して、人口や活動状況に応じた助成を行い活動の活性化を推進しました。また、四ツ井樋町内会公民館においては増改築助成金の交付を行い活動の活性化を推進しました。</p> <p>○各町内会婦人会に対する助成（令和3年度決算額272,000円）【10.5.1.18】の一部 15町内会の婦人会に対して、活動状況に応じた助成を行い活動の活性化を推進しました。</p> <p>○各町内会子ども会に対する助成（令和3年度決算額441,120円）【10.5.2.18】の一部 23町内会（内、合同活動3町内会含む）に対して、全国子ども会連合会への加入に対する助成や活動状況に応じた助成を行い活動の活性化を推進しました。</p>
--

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,855,815	1,634,445	1,979,740	1,857,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	1,855,815	1,634,445	1,979,740	1,857,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町内会加入率【単】	73%	%	目標	78	78	78	78	78	91%
				実績	71	-	-	-	-	
成果	子ども会加入率（小学生）【単】	90%	%	目標	95	95	95	95	95	89%
				実績	85	-	-	-	-	
成果	ボランティア団体数【累】	15団体	団体	目標	-	-	-	-	20	75%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	町内会公民館活動の取組種類（各町内会平均）【単】	10種類	種類	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	80%
				実績	8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		
<p>地域コミュニティへの助成は、佐々町の子どもを育み、婦人会、公民館活動を支援するものです。成果指標の子ども会加入率が下がった理由は定かではありませんが、生活スタイルや価値観が多様化するなか、子ども会の魅力が感じられないと思っている家庭が増加してきていることが要因ではないかと思えます。これからも地域コミュニティに対して支援を行い活発な地域づくりに努めます。</p>	評価の結果	A 業務の内容は適切である

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 3 - ◆			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	生涯現役講座運営事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	生涯にわたって学ぶことができる機会をつくる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目		1 社会教育総務費	

1 事業内容

【行動指針】

・長崎県立大学等の高等教育機関等と連携し、高齢者の生きがいがづくり・仲間づくりを目的に、各種講座プログラムを運営します。

【事業概要】

○教育委員会主催講座における長崎県立大学との連携

「すぐに使えるカンタン日常英会話」と題して、長崎県立大学地域創造学部 教授 山崎祐一氏を講師に招き講座を開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となり実施できませんでした。

○高齢者の生きがいがづくり・仲間づくり（決算額 188,395円）

＜明生大学＞一般男女を対象とした講座

公証役場や移動学習、人権講話、体操など計10回の講座を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により5回の実施となり、合計133名の参加がありました。

＜さざんか教室＞一般女性を対象とした講座

英会話講座やお茶の淹れ方、繭玉作りなど、計10回の講座を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により3回の実施となり、合計38名の参加がありました。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		290,420	218,005	188,395	442,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	290,420	218,005	188,395	442,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	各種講座参加者数【総合戦略】 【単】	573人/年	人	目標	600/年	600/年	600/年	600/年	600/年	54%
				実績	324	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により中止した学級・講座もあり、成果指標の実績は達成できませんでしたが、高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを目的としたプログラムに取り組むことができました。 今後も引き続き実施していきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	2 - 3 - 3			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	施設機能の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	生涯にわたって学ぶことができる機会をつくる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画、佐々町こども読書活動推進計画、西九州ささば広域都市圏ビジョン			目	4 8	公民館費 図書館費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・公民館は、町民に最も身近な生涯学習の拠点として講座や教室などの拡充を行い、多世代交流の場としても魅力ある施設にします。
- ・図書館は、適切な選書、県立図書館や西九州ささば広域都市圏との連携により、町民が気軽に読書に親しむことができる場として機能を充実させます。

【事業概要】

- 公民館主催講座の開催（決算額 23,500円）【再掲】

令和3年度は料理講座を5回予定をしていましたが、3回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。実施した2回の講座では、累計24人の参加がありました。また、家庭菜園体験教室を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

 - ＜公民館講座／料理講座「簡単で美味しくできる料理」＞一般男女を対象とした講座
 - ・5回計画中、2回実施し、計24名の参加
 - ＜公民館講座／家庭菜園体験教室「家庭菜園を楽しみましょう」＞一般男女を対象とした講座
 - ・農業体験施設において、土づくり～追肥・除草～収穫の3回を計画中、実施0回
- 公民館機能の充実（決算額 1,529,000円）

公民館調理実習室の空調が不具合を生じていましたので、施設の機能改善のためエアコンの取替工事を実施しました。
- 図書館事業（決算額 96,000円）【再掲】

図書ボランティアによる読み聞かせや各種イベントを開催し、読書に親しむ活動を行いました。

 - ＜学校読み聞かせ＞
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して中止となりました。
 - ＜図書館読み聞かせ＞
 - ・通年～82回開催 参加732名
 - ＜図書館イベント＞
 - ・4月～開館記念行事 参加462名
 - ・5月～としょかんこどもまつり 中止
 - ・8月～としょかん夏まつり 中止
 - ・10月～石川文代講演会 中止
 - ・11月～としょかん文化まつり 参加24名（縮小開催）
 - ・11月～山形昌也講演会 参加51人
 - ・12月～岡野雄一講演会 参加112名

(3年度決算額) 10.5.4. 公民館費 22,040,750円 10.5.8. 図書館費 40,088,708円 計62,129,458円
 (うち繰越分 1,898,050円)

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		55,020,713	59,884,523	62,129,458	71,683,000
財源	国庫支出金	0	2,907,071	461,450	5,529,000
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	3,430,071	2,428,232	2,811,684	2,721,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	51,590,642	54,549,220	58,856,324	63,433,000

1 事業内容

維持管理費（社会教育施設）

「2-3-3施設機能の充実」に関連する経常的経費

(1) 公民館【P185～187】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 修繕料ほか	3,402,652	3,649,181	246,529
11 役務費	通信運搬費、各種手数料、建物災害共済保険料 ほか	421,646	410,230	-11,416
12 委託料	管理委託業務、清掃業務、電気工作物保安全管理業務、消防設備法定点検業務 ほか	3,782,135	3,651,090	-131,045
13 使用料及び賃借料	公共施設予約システム使用料、AEDリース料、デジタル複合機リース料 ほか	1,292,611	1,262,508	-30,103
計		8,899,044	8,973,009	73,965

【主な増減理由】修繕料の中で、外壁ひび割れ修繕及び引き違い戸の戸車修繕450千円により例年よりも修繕が多く発生したため増額となった。委託料については、3年に1回行う特定建築物定期調査報告業務がなかったため減額となった。

(2) 地域交流センター【P187～188】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 ほか	1,188,516	1,142,877	-45,639
11 役務費	ピアノ調律手数料、エアコンフィルター清掃手数料、建物災害共済保険料 ほか	82,784	188,714	105,930
12 委託料	エレベータ保守点検業務、清掃業務、機械警備業務、消防設備法定点検業務 ほか	1,669,940	1,531,720	-138,220
13 使用料及び賃借料	AEDリース料、玄関マット・モップリース料 ほか	412,805	400,961	-11,844
計		3,354,045	3,264,272	-89,773

【主な増減理由】役務費において、エアコンフィルターの清掃を行ったため増額となった。委託料については、3年に1回行う特定建築物定期調査報告業務がなかったため減額となった。

(3) 文化会館【P187～190】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 ほか	5,464,044	2,733,889	-2,730,155
11 役務費	通信運搬費、ピアノ調律手数料、建物災害共済保険料 ほか	206,152	187,723	-18,429
12 委託料	管理委託業務、清掃業務、音響照明捜査等業務、空調機器保守点検業務、電気工作物保安全管理業務、機械警備業務、消防設備法定点検業務 ほか	5,283,597	4,889,682	-393,915
計		10,953,793	7,811,294	-3,142,499

【主な増減理由】令和2年度は比較の大きな修繕（大ホール映写スクリーン取替修繕1,925千円、ミラーボール取替修繕516千円）があったため減額となった。委託料については、イベントの開催が減少したため、音響・舞台操作等業務委託料が減額となった。

(4) 図書館【P189～192】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 ほか	5,772,660	5,259,691	-512,969
11 役務費	通信運搬費、エアコンフィルター清掃手数料、館内ワックス清掃手数料、建物災害共済保険料 ほか	1,061,134	1,222,940	161,806
12 委託料	図書館支援システム等業務、電気工作物保安全管理業務、機械警備業務、消防設備法定点検業務 ほか	1,965,084	1,728,733	-236,351
13 使用料及び賃借料	図書館支援システムリース料、複写機リース料、玄関マット・モップリース料 ほか	1,554,571	1,976,666	422,095
計		10,353,449	10,188,030	-165,419

【主な増減理由】令和2年度に新型コロナウイルス関連の消耗品の購入を行ったこと、図書館利用者カードの増刷を行ったため減額となった。

図書館利用 状況	貸出人数	貸出冊数	うちAV 貸出本数	登録者	入館者数
令和3年度	32,966	144,570	2,414	427	75,223
令和2年度	31,798	136,390	2,255	369	77,395
対前年比	1,168	8,180	159	58	△ 2,172

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	各種講座参加者数【総合戦略】 【単】	573人/年	人	目標	600/年	600/年	600/年	600/年	600/年	54%
				実績	324	-	-	-	-	
成果	町立図書館1人あたりの貸出冊数 【単】	10.4冊/年	冊	目標	増加	増加	増加	増加	増加	100%
				実績	10.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により中止した講座等もあり、成果指標の各種講座参加者数の実績は達成できませんでしたが、町立図書館1人あたりの貸し出し冊数はほぼ目標を達成できました。今後とも、生涯学習の拠点として公民館、図書館の事業に取り組み、機能の充実を図っていきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「2-3-3 施設機能の充実」に関連する工事請負費【公民館費（10.5.4）】（決算書P188）

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	調理実習室エアコン 取替工事	調理実習室エアコン 取替工事	N=1基	1,529,000
説明 計				1,529,000

「2-3-3 施設機能の充実」に関連する工事請負費【公民館費（10.5.4）】（決算書P194）

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	公民館外壁補修工事	公民館外壁補修工事	スパンドレルの補修 および塗装 A=73.8㎡	1,436,600
説明 計				1,436,600

「2-4-3 体育施設の適切な維持管理」に関連する工事請負費【体育施設費（10.6.2）】（決算書P200）

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	サン・ビレッジさざ 屋根補修工事	サン・ビレッジさざ 屋根補修工事	A=34.8㎡	1,650,000
説明 計				1,650,000
14 工事請負費	南部地区体育館屋根 補修工事	南部地区体育館屋根 補修工事	L=16.5m	308,000
説明 計				308,000

「2-3-3 施設機能の充実」に関連する備品購入費【公民館費（10.5.4）】（決算書P188）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品	ガス高速オーブン 1台	135,300
		掃除機 2台	48,400
		ノートパソコン 2台	213,400
		ドライブレコーダー 1台	37,114
説明 計			434,214

「2-3-3 施設機能の充実」に関連する備品購入費【図書館費（10.5.8）】（決算書P192）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品	図書（3,618冊）	6,526,213
		AV資料（48点）	469,045
		パンフレットスタンド 1台	31,790
説明 計			7,027,048

「2-3-3 施設機能の充実」に関連する備品購入費【公民館費（10.5.4）】（決算書P194）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品（新型コロナウイルス感染症対策事業分）	加湿空気清浄機 9台	461,450
説明 計			461,450

「2-3-3 施設機能の充実」に関連する備品購入費【地域交流センター費（10.5.5）】（決算書P194）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品（新型コロナウイルス感染症対策事業分）	テレビモニター 1台	270,600
		加湿空気清浄機 5台	259,050
説明 計			529,650

【このページは空白です】

事業番号	7 - 3 - 3		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	地域コミュニティ活性化に伴う研修機会の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	身近な課題を解決する地域コミュニティを育てる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目		4 公民館費	

1 事業内容

【行動指針】

- ・町内会公民館連絡協議会の各種研修や相互の意見交換を行い、地域の課題解決や地域コミュニティの活性化に対する研修機会の充実を行います。
- ・町内会子ども会育成会を対象とした研修を通して、地域ぐるみでの子育て支援の体制づくりを行います。
- ・地域コミュニティの活性化をテーマとした研修会やワークショップを開催するなど、ボランティア団体の育成支援に取り組みます。

【事業概要】

10.5.4.7公民館費報償費の一部 0円

○公民館連絡協議会研修会（令和3年度決算額 0円）
 例年、町内公民館連絡協議会研修会を年3回行い、それぞれ講師をお呼びして研修会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度はいずれも中止となりました。

○町内会子ども会事業説明会の実施（決算額 0円）
 4月16日に子ども会育成連絡会を開催し、子ども会の意義や活動目的について研修するとともに事業について説明を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		0	0	0	30,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源				30,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町内会加入率【単】	73%	%	目標	78	78	78	78	78	91%
				実績	71	-	-	-	-	
成果	子ども会加入率（小学生）【単】	90%	%	目標	95	95	95	95	95	89%
				実績	85	-	-	-	-	
成果	ボランティア団体数【累】	15団体	団体	目標	-	-	-	-	20	75%
				実績	15	-	-	-	-	
成果	町内会公民館活動の取組種類（各町内会平均）【単】	10種類	種類	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	80%
				実績	8	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も研修会は中止となってしまいました。令和4年度は十分に感染症予防対策を行い実施していきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 3 - 4			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	地域交流センターの利用促進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	生涯にわたって学ぶことができる機会をつくる				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目		5 地域交流センター費	

1 事業内容

【行動指針】

・多世代間の交流、憩い、健康づくりなど、町内外から多くの人たちが集い活動する多目的施設として、ホームページなどを活用して周知を図り、利用者を増やします。

【事業概要】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により来館者が減少していますが、空気清浄機を5台導入し、新型コロナウイルス感染拡大防止とともに、施設環境の整備を行いました。
- ・教育委員会主催講座や社会教育関係団体研修会等で施設を積極的に活用し、町民の生涯学習の拠点として充実に図りました。

地域交流センターの利用状況

	R1	R2	R3
利用回数	962	932	752
利用者数	19,008	16,637	15,731



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		3,173,336	3,627,942	3,793,922	5,718,000
財源	国庫支出金		309,119	529,650	1,329,000
	県支出金				
	その他特定財源	660,430	553,480	502,430	590,000
	地方債				900,000
	一般財源	2,512,906	3,074,462	2,761,842	2,899,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	各種講座参加者数【総合戦略】 【単】	573人/年	人	目標	600/年	600/年	600/年	600/年	600/年	54%
				実績	324	-	-	-	-	
成果	町立図書館1人あたりの貸出冊数 【単】	10.4冊/年	冊	目標	増加	増加	増加	増加	増加	100%
				実績	10.4	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・ 事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・ 意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・ 自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・ 意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・ 対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・ 業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・ 投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・ 財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルスの影響により、活動が自粛されたことで昨年よりも利用者数が減少しました。 利用者が安全で快適に利用できるよう、令和4年度以降に1階多目的室に空調設備の設置を検討し、環境整備・利用拡大を図ります。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 6 - 3		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	文化会館の利用促進						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	多彩な芸術・文化の充実を図る				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	6 7 文化会館費 芸術文化事業費		

1 事業内容

【行動指針】

- ・ 町民文化祭や文化公演など、芸術文化の発信拠点としての文化会館の機能を充実し、適切な維持管理を行います。

【事業概要】

文化会館費7,898,694円及び芸術文化事業費454,356円 計8,353,050円

- ・ 自主文化事業の実施（令和3年度決算額 なし）
 - 町制80周年記念事業の一環として、ファミリーコンサートを企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。
- ・ 文化会館の維持管理（令和3年度決算額7,898,694円）

主な内容として、施設の維持管理の為、清掃業務、管理業務、照明・音響等の保守点検業務を委託しました。なお、利用人数は令和元年度から令和2年度には新型コロナウイルス感染症の影響により、1/3以下に減少しましたが令和3年度は、感染対策をしっかり行い、例年の利用人数の半分ほどになりました。また、非常発電装置の不調が分かり、取り換えを行おうとしましたが、部品等の調達ができず、令和4年度に繰り越しとなりました。装置が納入され次第、交換を行います。
- ・ 長崎県青少年劇場の開催（令和3年度決算額454,356円）【再掲】

令和3年度は人数を制限し佐々中学校の1, 2年生を対象に11月11日に文化会館にて長崎県青少年劇場による「世界に誇れる日本の音色「ワヨウセイヨウ！」」を公演し、合計290名の生徒、教職員が鑑賞しました。新型コロナウイルス感染症が流行していた中で、縮小した開催でしたが、文化芸術の発信拠点としての文化会館の役割を果たすことができました。

<佐々町文化会館利用者数等>

	R1	R2	R3
利用回数	748	423	511
年間利用者数	32,807	10,867	17,883

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	13,129,923	11,776,952	8,353,050	14,974,000
財源	国庫支出金	0	947,377	0
	県支出金	299,000	0	222,000
	その他特定財源	3,662,055	1,429,712	1,827,742
	地方債			
	一般財源	9,168,868	9,399,863	6,303,308

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民文化祭の参加者数【単】	2,486人/年	人	目標	2,500/年	2,500/年	2,500/年	2,500/年	2,500/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	文化会館年間利用者数【単】	32,807人/年	人	目標	32,900/年	32,900/年	32,900/年	32,900/年	32,900/年	54%
				実績	17,883	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、急激に利用者数の減少が見られましたが、令和3年度は感染症予防対策を十分に行い、利用者の増加に努めました。昨年度行えなかった長崎県青少年劇場は人数を制限して実施しました。来年度は新型コロナウイルス感染症の状況に適切に対応しながら文化会館の利用者増に努めます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 2 - 1			担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	読書活動の充実						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	学校・家庭・地域が連携協力し子どもの教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項		5 社会教育費	
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画、佐々町子ども読書活動推進計画			目	8 11	図書館費 地域子ども教室推進事業費	

1 事業内容

【行動指針】

・「佐々町子ども読書活動推進計画」に基づいて、図書ボランティアによる学校での読み聞かせなど、町立図書館と学校や保育所などとの連携を高め、子どもの成長段階に応じて、読書に親しむ機会を創出します。

【事業概要】

○図書館事業（決算額 96,000円）

図書ボランティアによる読み聞かせや各種イベントを開催し、読書に親しむ活動を行いました。

<学校読み聞かせ>

・新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通して中止となりました。

<図書館読み聞かせ>

・通年～82回開催 参加732名

<図書館イベント>

・4月～開館記念行事 参加462名

・5月～としょかんこどもまつり 中止

・8月～としょかん夏まつり 中止

・10月～石川文代講演会 中止

・11月～としょかん文化まつり 参加24名（縮小開催）

・11月～山形昌也講演会 参加51人

・12月～岡野雄一講演会 参加112名

○土曜学習プログラムの開催（決算額 50,000円）【再掲】

町内のボランティアへ委託し、子どもたちの豊かな社会性・創造性を培い、また、学習意欲の向上を目指すため、土曜日や夏休みなどの学校休業日に、読み聞かせ活動を行いました。

<読み聞かせ> ボランティアスタッフ延べ20名

・5月～2月 よっといで お話の世界へ 5回開催 参加82名

・その他7回の読み聞かせが中止となりました。

図書館費 図書館講座講師謝礼金

96,000円

地域子ども教室推進事業費 佐々つ子土曜学習プログラム謝礼金

50,000円



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		539,000	115,000	146,000	350,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	77,000	66,000	33,000	69,000
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	462,000	49,000	113,000	281,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	地域子ども教室参加児童数【総合戦略】【単】	674人/年	人	目標	700/年	700/年	700/年	700/年	700/年	57%
				実績	397	-	-	-	-	
成果	佐々っ子応援団見守り活動参加者数【総合戦略】【単】	70人程度	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	70	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
	<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により中止した活動・イベントもあり、成果指標の実績は達成できませんでしたが、図書ボランティアをはじめ、地域のボランティアの協力による読み聞かせ活動やイベントをとおして、読書に親しむ機会を創出できました。 今後も引き続き実施していきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 6 - 2		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	子どもたちが芸術文化にふれあう 機会の提供						
総合計画 上の位置 づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予 算 科 目	会計	一般会計
	戦略目標	多彩な芸術・文化の充実を図る				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	7 芸術文化事業費		

1 事業内容

【行動指針】

・次世代を担う子どもたちに対し、小中学生を対象に舞台芸術の鑑賞や文化体験の場を設け、数多くの芸術・文化にふれあう機会を提供します。

【事業概要】

・長崎県青少年劇場の開催（令和3年度決算額454,356円）
令和3年度は人数を制限し佐々中学校の1,2年生を対象に11月11日に文化会館にて長崎県青少年劇場による「世界に誇れる日本の音色「ワヨウセイヨウ！」」を公演し、合計290名の生徒、教職員が鑑賞しました。新型コロナウイルス感染症が流行していた中で、縮小した開催でしたが、文化芸術の発信拠点としての文化会館の役割を果たすことができました。



・自主文化事業の開催（令和3年度決算額 なし）
例年、文化会館にて文化公演を行っており、今年度はファミリーコンサートを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

・西九州させば広域都市圏における連携事業
子供のための音楽鑑賞体験教室を6月29日にアルカスSASEB0で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。
また、7月17日～8月29日に島瀬美術センターで美術展覧会が開催され、中学生へ無料招待券の配布を行いました。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		3,282,437	0	454,356	3,074,000
財源	国庫支出金				
	県支出金	299,000		222,000	305,000
	その他特定財源	546,000			840,000
	地方債				
	一般財源	2,437,437		232,356	1,929,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	町民文化祭の参加者数【単】	2,486人/年	人	目標	2,500/年	2,500/年	2,500/年	2,500/年	2,500/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	文化会館年間利用者数【単】	32,807人/年	人	目標	32,900/年	32,900/年	32,900/年	32,900/年	32,900/年	54%
				実績	17,883	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
次世代を担う小中学生に対して芸術鑑賞の機会を設けることができました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、自主文化事業は開催することができませんでした。今後、感染対策を十分に取っながら、多くの子どもや町民の方々に芸術に触れる場を提供できるよう努めます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 2 - 2		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	地域教育力を担う人材の育成						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	学校・家庭・地域が連携協力し子どもの教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	10 11 佐々っ子応援団推進費 地域子ども教室推進事業費		

1 事業内容

【行動指針】

・学校・家庭・地域が連携・協力した多様な教育活動に取り組み、学校教育の充実及びPTA活動の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を行います。
 ・学校支援活動の推進を通して、社会教育関係団体やボランティア団体、子育て・教育経験者、保護者など、地域教育力の向上を図る人材の育成を行います。

【事業概要】

○佐々小放課後子ども教室の開催（決算額 0円）【再掲】

佐々小PTAが主体となり、保護者や地域の方による毎週木曜日、放課後の学習教室を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止としました。

○口石小木曜教室の開催（決算額 17,000円）【再掲】

退職校長会による毎週木曜日、放課後の学習教室を開催しました。
 例年全20回ほど開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全3回の開催となりました。

○土曜学習プログラムの開催（決算額 350,000円）【再掲】

町内のボランティアへ委託し、子どもたちの豊かな社会性・創造性を培い、また、学習意欲の向上を目指すため、土曜日や夏休みなどの学校休業日に、様々な体験活動や交流活動を行いました。
 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、計17回を実施し計15回を中止しました。

○佐々っ子応援団の実施（決算額 440,689円）【再掲】

佐々っ子応援団（ボランティアスタッフ）の協力により、登校時の見守り活動を実施し、地域ぐるみで子どもたちの育成を図りました。

佐々っ子応援団推進費 457,689円
 地域子ども教室推進事業費（一部） 350,000円



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		1,525,483	907,541	807,689	2,191,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	421,000	267,000	233,000	337,000
	その他特定財源	0	0	0	1,000
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	1,104,483	640,541	574,689	1,853,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	地域子ども教室参加児童数【総合戦略】【単】	674人/年	人	目標	700/年	700/年	700/年	700/年	700/年	57%
				実績	397	-	-	-	-	
成果	佐々っ子応援団見守り活動参加者数【総合戦略】【単】	70人程度	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	70	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定	
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか） ・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか） ・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取り組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか） ・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか） ・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である		3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある		
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い		
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか） ・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか） ・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3	
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った		
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である		3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い		

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業もありましたが、成果指標の実績は達成でき、学校・家庭・地域が連携した活動に取り組むことができました。 今後も引き続き実施していきたいと考えます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 4 - 2		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	総合型地域スポーツクラブの育成						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	11 地域子ども教室推進事業費		

1 事業内容

【行動指針】
 ・総合型地域スポーツクラブの子どもから大人までを対象としたスポーツ・レクリエーション活動を支援します。

【事業概要】
 ・町内の総合型地域スポーツクラブである、さざ俱樂部に佐々っ子土曜プログラム「佐々っ子スポーツ塾」の実施を委託し、事業を実施しました。(決算額 150,000円)

<総合型地域スポーツクラブ>
 子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人たちが地域住民により自主的、主体的に運営されるスポーツクラブで、本町においては、8クラブ(テニス、バドミントン、ジュニア陸上&ニュースポーツ、バレエエクササイズ、ピラティス、エアロビクス、ポールピラティス、書き方教室)が1~4回/月のペースで活動を行っています。

<佐々っ子スポーツ塾> ボランティアスタッフ18名 参加者計132名【再掲】
 ・5月 ~基本運動、サーキット活動、短距離走 参加17名
 ・6月 ~陸上教室(講師:田端健児氏/元リビック陸上選手) 参加21名
 ・7月 ~ポールレクリエーション 参加20名
 ・10月~体力テスト、レクリエーション 参加15名
 ・10月~ゲーム活動(ドッチビー等) 参加18名
 ・11月~レクリエーション(鬼ごっこ等) 参加17名
 ・12月~ゲーム活動(バドミントン) 参加15名
 ・1月 ~ニュースポーツ等(フライングディスク、ホッチャ、ストラックアウト) 参加 9名
 ・その他に予定していた2回のスポーツ塾が中止となりました。

<サマーキャンプ>
 ・8月7日に日帰りDAYキャンプを農業体験施設にて計画していましたが、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

<InBody・体力測定>
 ・スポーツ推進委員の主催により、10月9日に町民体育館において町民を対象とした体力測定と体の筋肉量や脂肪量などの分析が測定できる機械(InBody)を使って身体の総合評価を行いました。参加50名

<各種大会の運営スタッフ>
 ・町民運動会、町内駅伝大会、わかあゆ駅伝大会、ジョギングフェスティバルなどの運営スタッフとして毎年協力をいただいています。令和3年度については新型コロナウイルスの影響により、上記イベントは全て中止となりました。



2 コスト (単位:円)

区分		R元決算	R 2 決算	R 3 決算	R 4 予算
事業費		150,000	150,000	150,000	150,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	150,000	150,000	150,000	150,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	総合型地域スポーツクラブ会員数【総合戦略】【累】	195人	人	目標	-	-	-	-	200	46%
				実績	91	-	-	-	-	
成果	スポーツイベントの参加者数【総合戦略】【単】	908人/年	人	目標	920/年	920/年	920/年	920/年	920/年	117%
				実績	1077	-	-	-	-	
成果	ジョギングフェスティバルの参加者数（平成30年度）【単】	1,809人/年	人	目標	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	体育施設の利用者数【単】	117,428人/年	人	目標	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	75%
				実績	89,677	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
総合型スポーツクラブの会員数は91人と目標値を下回りましたが、総合型地域スポーツクラブに委託した、地域子ども教室推進事業等では、運動が苦手な子どもも楽しく運動することができました。また、町民を対象とした体力測定を行い、健康、運動に対する認識を深めることができました。今後とも総合型スポーツクラブの活動を充実を図っていきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 4 - 4		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	体育文化振興基金の活用						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	9 社会教育振興事業費		

1 事業内容

【行動指針】

・体育文化の振興に寄与するため、体育文化振興基金を活用し、スポーツ・文化の各種大会に出場する選手への派遣費や町民が企画するスポーツ・文化イベントの開催に対して、助成を行います。

【事業概要】

・体育振興補助金

小学生～高校生以上を対象に、60件、498名に対し派遣費の助成を行い、県や全国の大会等での町民の方々の活躍を支援することができました。

- 小学生 28件、196名 724,563円
- 中学生 27件、297名 782,260円
- 高校生以上 5件、5名 22,622円 計60件 1,529,445円

・文化振興補助金については、補助実績がありませんでした。



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,636,537	378,000	1,529,445	3,000,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源	2,636,537	378,000	1,529,445	3,000,000
	地方債				
	一般財源				

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	総合型地域スポーツクラブ会員数 【総合戦略】【累】	195人	人	目標	-	-	-	-	200	46%
				実績	91	-	-	-	-	
成果	スポーツイベントの参加者数 【総合戦略】【単】	908人/年	人	目標	920/年	920/年	920/年	920/年	920/年	117%
				実績	1077	-	-	-	-	
成果	ジョギングフェスティバルの参加者数（平成30年度）【単】	1,809人/年	人	目標	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	体育施設の利用者数【単】	117,428人/年	人	目標	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	75%
				実績	89,677	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
3年度においても多数の補助を行い、本町住民のスポーツ・文化の各種大会参加のための経済的な負担の軽減を図ることができました。引き続き体育・文化振興のため助成を続け、基金を有効に活用していきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 2 - ◆		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	佐々っ子応援団推進事業						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	学校・家庭・地域が連携協力し子どもの教育を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	5 社会教育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	10 11 佐々っ子応援団推進費 地域子ども教室推進事業費		

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・高齢者や様々な技能・経験をもつ地域住民の協力により、子どもたちに体験活動や交流活動の機会を提供します。また、登校時の見守り活動を実施し、地域ぐるみで子どもたちの育成を図ります。</p> <p>【事業概要】 ○佐々小放課後子ども教室の開催（決算額 なし） 佐々小PTAが主体となり、保護者や地域の方による毎週木曜日、放課後の学習教室を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止としました。</p> <p>○口石小木曜教室の開催（決算額 17,000円） 退職校長会による毎週木曜日、放課後の学習教室を開催しました。 例年全20回ほど開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全3回の開催となりました。</p> <p>○さざっ子ワクワクまなびタイムの開催（決算額 59,490円）参加者計50名 子どもたちの知識・見識を広めるため、小学生を対象に体験学習を開催しました。 年間3回計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回を中止としました。 ・7月～食品サンプル作り 定員20名 参加20名 ・11月～スノードーム作り 定員32名 参加30名 ・2月～調理実習 定員20名 中止</p> <p>○土曜学習プログラムの開催（決算額 350,000円） 町内のボランティアへ委託し、子どもたちの豊かな社会性・創造性を培い、また、学習意欲の向上を目指すため、土曜日や夏休みなどの学校休業日に、様々な体験活動や交流活動を行いました。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、計17回を実施し計15回を中止しました。 <さざ自然・生物学習教室> ボランティアスタッフ18名 参加者計133名 ・生物観察や清掃活動、野鳥観察会など、7月～12月にかけて4回実施し、合計133名の参加がありました。 ・その他6回の体験活動は中止となりました。 <読み聞かせ> ボランティアスタッフ延べ20名 ・5月～2月 よっといで お話の世界へ 5回開催 参加82名 ・その他7回の読み聞かせが中止となりました。 <佐々っ子スポーツ塾> ボランティアスタッフ18名 参加者計132名 ・陸上教室や体カテスト、ニュースポーツ（フライングディスク、ホッチャなど）など、5月～1月にかけて8回実施し、合計132名の参加がありました。 ・その他2回のスポーツ塾が中止となりました。</p> <p>○佐々っ子応援団の実施（決算額 440,689円） 佐々っ子応援団（ボランティアスタッフ）の協力により、登校時の見守り活動を実施し、地域ぐるみで子どもたちの育成を図りました。</p> <p>佐々っ子応援団推進費 457,689円 地域子ども教室推進事業費 409,490円</p>

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	1,645,483	970,521	867,179	2,331,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	426,000	289,000	259,000
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	1,219,483	681,521	608,179

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	地域子ども教室参加児童数【総合戦略】【単】	674人/年	人	目標	700/年	700/年	700/年	700/年	700/年	57%
				実績	397	-	-	-	-	
成果	佐々つ子応援団見守り活動参加者数【総合戦略】【単】	70人程度	人	目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	100%
				実績	70	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止した活動もあり、地域子ども教室参加児童数の成果指標の実績は達成できませんでしたが、子どもたちの体験活動や地域ボランティアの見守り活動など、地域ぐるみによる子どもたちの育成を図ることができました。</p> <p>今後も引き続き実施していきたいと考えます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	2 - 4 - ◆		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班
事業名	総合スポーツまちづくり振興事業					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			会計	一般会計
	戦略目標	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実する				
法令根拠条例等	社会教育法			予算科目	款	10 教育費
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画				項	5 社会教育費 6 保健体育費
				目	11 地域子ども教室推進事業費 1 保健体育総務費	

1 事業内容

<p>【行動指針】 ・スポーツに親しむ習慣や意欲・能力の向上を図るため、スポーツ推進委員を中心とした魅力的なスポーツイベントを充実させます。</p> <p>【事業概要】 ○各世代に応じた各種スポーツ大会の支援 保健体育費総務費 416,848円 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、「佐々町内駅伝」や「佐々町内バドミントン大会」等については開催することができませんでしたが、「佐々町少年スポーツ大会」、「郡民体育大会」、「佐々町スポーツ大会」等については、延期して開催しました。また、例年3月に開催している「ジョギングフェスティバルinさざ」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催することができませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北松浦郡体育協会負担金（構成町：佐々町・小値賀町）213,000円 2町で行う郡民体育大会や県民体育大会に係る費用を補助し、体育協会の活動の充実を図りました。 ・佐々町スポーツ大会開催補助金 37,183円 本町の体育協会に加盟している競技部の競技力向上と底辺拡大を目指すとともにスポーツを通じて町民の親睦と融和を図ることを目的として佐々町スポーツ大会の開催を予定しました。 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により本来の活動ができず、弓道、サッカー部のみでの大会となりました。 ・佐々町婦人バレーボール大会開催補助金 618円 町内会の親睦、交流を目的として大会開催を予定しました。 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催直前に中止することとなったため、開催案内文に係る印刷代などの補助となりました。 ・町内ナイターソフトボール大会開催補助金 66,000円 町内各種団体の親睦、交流を目的として大会開催をしました。 今年度は7～10月にかけて開催し、9チーム36試合の参加実績となりました。 ・サンビレッジ・さざソフトテニス大会開催補助金 43,047円 ソフトテニス愛好者の底辺拡大並びに親睦を図るとともに、技術の向上を目的として大会を開催しました。 ・佐々町少年スポーツ大会開催補助金 57,000円 スポーツを通して少年の健全育成と体力増進を図ること及び大会を通して、本町のスポーツ少年団に加盟している他の競技部との相互交流を促進することを目的とし、大会を開催しました。 今年度は、8競技について開催できました。（空手道、テコンドー、ソフトテニス、剣道、ミニバスケットボール、サッカー、ソフトボール、バレーボール） <p>○総合型地域スポーツクラブの育成 地域子ども教室推進費 150,000円 <佐々っ子スポーツ塾> ボランティアスタッフ18名 参加者計132名 ・陸上教室や体力テスト、ニュースポーツ（フライングディスク、ホッチャなど）など、5月～1月にかけて8回実施し、合計132名の参加がありました。 ・その他2回のスポーツ塾が中止となりました。</p>

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	2,414,645	498,530	566,848	5,473,000
財源	国庫支出金			
	県支出金	150,000	150,000	150,000
	その他特定財源			
	地方債			
	一般財源	2,264,645	348,530	416,848

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	総合型地域スポーツクラブ会員数 【総合戦略】【累】	195人	人	目標	-	-	-	-	200	46%
				実績	91	-	-	-	-	
成果	スポーツイベントの参加者数 【総合戦略】【単】	908人/年	人	目標	920/年	920/年	920/年	920/年	920/年	117%
				実績	1077	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	3
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	3
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルスの影響で、大会の中止や、活動の縮小があり、成果指標のジョギングフェスティバルの参加者数と体育施設利用者数は達成できませんでした。今後も、感染症対策を図りながら、各団体と協力しながら事業を進めていきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

委員会意見
特記事項なし
委員会評価
<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 廃止

事業番号	2 - 4 - 1		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	スポーツ少年団・体育協会活動の育成・支援						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	6 保健体育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画			目	1 保健体育総務費		

1 事業内容

【行動指針】

・子どもの頃から健やかな心身を育成し、スポーツを通じた町民の健康増進とまちの活力を創出するため、スポーツ少年団や体育協会など各種スポーツ団体に対する支援を行います。

【事業概要】

・体育協会に加入している13競技部（306名分）に対して活動実績に応じて補助金を交付しました。各部における活動や、各種大会に要する経費に活用され、活動の充実が図られました。（軟式野球、ソフトテニス、バレーボール、卓球、剣道、弓道、ソフトボール、バドミントン、サッカー、硬式テニス、太極拳、空手道、バスケットボール）
1,216,251円

・スポーツ少年団に加入している13競技部（241名分）に対して活動実績に応じて補助金を交付し、各部における活動や、各種大会に要する経費に活用され、活動の充実が図られました。（少年空手道、少年剣道、わしおバレーボール、大岳バレーボール、口石フットボール、佐々サッカー、NSBCミニバスケ（男・女）、口石小ソフトボール、佐々小ソフトボール、サンボーイズ（軟式野球）、佐々ジュニアソフトテニス、佐々テコンドー） 581,053円



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,606,606	1,886,748	1,797,304	2,769,000
財源	国庫支出金				
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債				
	一般財源	2,606,606	1,886,748	1,797,304	2,769,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	総合型地域スポーツクラブ会員数 【総合戦略】【累】	195人	人	目標	-	-	-	-	200	46%
				実績	91	-	-	-	-	
成果	スポーツイベントの参加者数 【総合戦略】【単】	908人/年	人	目標	920/年	920/年	920/年	920/年	920/年	117%
				実績	1077	-	-	-	-	
成果	ジョギングフェスティバルの 参加者数（平成30年度）【単】	1,809人/年	人	目標	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	体育施設の利用者数【単】	117,428人/年	人	目標	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	75%
				実績	89,677	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）		評価の結果	A	業務の内容は適切である
新型コロナウイルスの影響により、活動を自粛した競技部もあり、例年よりも縮小した活動実績となった部もありました。活動意欲を持続するためにも、今後も連携を図りながら育成、支援に力をを入れていきます。				

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	2 - 4 - 3		担当課	教育委員会	担当班	社会教育班	
事業名	体育施設の適切な維持管理						
総合計画上の位置づけ	基本目標	「教育・文化」で輝くまち			予算科目	会計	一般会計
	戦略目標	誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を充実する				款	10 教育費
法令根拠条例等	社会教育法			項	6 保健体育費		
個別計画	第二期 佐々町教育振興基本計画、佐々町公共施設等総合管理計画			目	2 体育施設費		

1 事業内容

【行動指針】

・サン・ビレッジさざ、体育館などにおけるサービス内容や維持管理コスト等を踏まえ、公共施設等総合管理計画等に沿った適切な維持管理、運営手法の検討を進めます。

【事業概要】

- ・ 町民体育館外壁改修工事実施設計業務委託料 2,398,000円
- ・ 町民体育館アスベスト分析調査業務委託料 489,500円
- ・ サンビレッジ・さざ屋根補修工事 1,650,000円

令和2年に発生した台風被害により、サンビレッジ・さざの屋内テニスコートの屋根材が飛散し、補修及び防水加工処理を行いました。 A=34.8㎡

- ・ 南部地区体育館屋根補修工事 308,000円

令和2年に発生した台風被害により、南部地区体育館の屋根（棟包み）が剥がれたため、補修を行いました。 L=16.5m

○令和3年度 体育施設利用実績

場 所		回 数	人 数
町民体育館		1,357	21,425
北部地区体育館		485	5,454
南部地区体育館		326	3,211
北部グラウンド		56	442
千本公園グラウンド		648	9,208
サンビレッジさざ	グラウンド	604	18,367
	テニスコート（屋内）	2,994	17,922
	テニスコート（屋外）	1,156	5,410
佐々中学校	グラウンド	119	2,295
	体育館	239	3,030
佐々小学校 体育館		75	1,181
口石小学校 体育館		130	1,732
合計		8,189	89,677



2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		31,933,000	75,142,139	4,845,500	131,000,000
財源	国庫支出金		5,778,672		
	県支出金				
	その他特定財源				
	地方債		33,700,000		116,800,000
	一般財源	31,933,000	35,663,467	4,845,500	14,200,000

1 事業内容

維持管理費（社会体育施設）

「2-3-3体育施設の適切な維持管理」に関連する経常的経費

(1) 体育施設（町民・北部・南部体育館、北部・千本グラウンド、サンビレッジ等）【P195～200】

節	内容等	決算額		比較 (B-A)
		R2 (A)	R3 (B)	
10 需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 修繕料ほか	9,124,600	9,405,791	281,191
11 役務費	通信運搬費、各種手数料、建物災害共済保険料ほか	808,698	593,784	-214,914
12 委託料	管理委託業務、清掃業務、電気工作物保安全管理業務、消防設備法定点検業務ほか	2,480,175	3,542,979	1,062,804
13 使用料及び賃借料	公共施設予約システム使用料、AEDリース料、デジタル複合機リース料ほか	280,825	152,631	-128,194
	計	12,694,298	13,695,185	1,000,887

【主な増減理由】 消耗品費について、北部体育館の暗幕カーテンの取替を行ったため増額となった。役務費については、令和2年度に施設整備に係る手数料の支出があったため減額となった。委託料については、令和2年度に千本公園プールを開設しなかったため、清掃委託業務、循環器保守点検業務等の増額となった。

体育施設利用実績

施設名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
町民体育館	1,372	26,483	938	15,430	1,357	21,425	
北部地区体育館	487	5,893	627	7,104	485	5,454	
南部地区体育館	492	5,026	578	5,729	326	3,211	
北部グラウンド	44	537	81	739	56	442	
千本公園グラウンド	1,004	17,930	986	13,699	648	9,208	
サンビレッジ さざ	グラウンド	691	22,678	592	19,744	522	17,902
	テニスコート(屋内)	2,664	16,636	3,266	20,032	3,076	18,387
	テニスコート(屋外)	1,138	5,124	1,522	6,710	1,156	5,410
佐々中学校	グラウンド	112	1,954	112	1,633	119	2,295
	体育館	384	5,754	334	4,195	239	3,030
佐々小学校 体育館	70	1,160	78	1,388	75	1,181	
口石小学校 体育館	139	2,025	139	2,007	130	1,732	
合計	8,597	111,200	9,253	98,410	8,189	89,677	

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	総合型地域スポーツクラブ会員数 【総合戦略】【累】	195人	人	目標	-	-	-	-	200	46%
				実績	91	-	-	-	-	
成果	スポーツイベントの参加者数 【総合戦略】【単】	908人/年	人	目標	920/年	920/年	920/年	920/年	920/年	117%
				実績	1077	-	-	-	-	
成果	ジョギングフェスティバルの参加者数（平成30年度）【単】	1,809人/年	人	目標	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	2,000/年	0%
				実績	0	-	-	-	-	
成果	体育施設の利用者数【単】	117,428人/年	人	目標	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	119,000人/年	75%
				実績	89,677	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令等など事業継続の必要性はあるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
妥当性	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	3
		<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成している	3
		<input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	
		<input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	
有効性	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
有効性	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	3
		<input type="checkbox"/> 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	A	業務の内容は適切である
施設の適正な維持管理を図ることができ、住民が安全に利用することができました。今後も、計画に沿って施設の長寿命化、維持管理に努めていきます。			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

「2-4-3 体育施設の適切な維持管理」に関する委託料【体育施設費（10.6.2）】（決算書P198）

節	説明	委託名	決算額(円)
12 委託料	町民体育館外壁改修工 事実施設計業務委託	町民体育館外壁改修工 事実施設計 業務委託	2,398,000
説明 計			2,398,000
12 委託料	町民体育館アスベスト 分析調査業務委託	町民体育館外壁改修工 事実施設計 業務委託	489,500
説明 計			489,500

「2-4-3 体育施設の適切な維持管理」に関する工事請負費【体育施設費（10.6.2）】（決算書P200）

節	説明	工事名	工事内容	決算額(円)
14 工事請負費	サン・ビレッジさざ屋 根補修工事	サン・ビレッジさざ屋 根補修工事	A=34.8㎡	1,650,000
説明 計				1,650,000
14 工事請負費	南部地区体育館屋根補 修工事	南部地区体育館屋根補修	L=16.5m	308,000
説明 計				308,000

「2-4-3 体育施設の適切な維持管理」に関する備品購入費【体育施設費（10.6.2）】（決算書P200）

節	説明	備品名称及び数量	決算額(円)
17 備品購入費	管理用備品	掃除機 1台	28,600
		プリンター 1台	39,800
		折り畳み式テーブル 4台	36,168
		コートベンチ 1台	27,291
		台車 1台	25,696
		ブロワー 1台	15,268
		サンドバッグ 1台	41,800
説明 計			214,623

事業番号	7 - 1 - 4			担当課	議会事務局	担当班			
事業名	町民に開かれた議会								
総合計画上の位置づけ	基本目標	「情報共有・協働」のみんなのまち				予算科目	会計	一般会計	
	戦略目標	情報を適切に管理し、積極的な公開・共有化を進める					款	1	議会費
法令根拠条例等	-				項	1	議会費		
個別計画	-				目	1	議会費		

1 事業内容

【行動指針】

・議会だよりや公式ホームページ等を利用し、多くの町民に町議会を身近に感じていただける、読みやすい、わかりやすい記事となるよう、効果的な情報発信を行います。
 ・多くの町民に町議会に関心を持っていただけるよう、本会議の傍聴機会を増やし、新型コロナウイルス感染症防止対策もあわせ、傍聴しやすい議場等の環境を整備します。

【事業概要】

○議会だよりの発行（決算額 498,960円）
 議会の内容（本会議、委員会活動等）を分かりやすく効果的に伝えるため、年4回定例会毎に発行しました。
 ※発行部数：4,500部×4回＝18,000部（5月、9月、12月、2月）
 令和3年度発行分から次の2点を追加しました。
 ・町民の声を聴取するため、町民の声募集（チラシ）の折り込み（受付件数：3件）※掲載は令和4年度発行分・発行毎にLINEによる通知
 町民の関心がある情報として、町の新型コロナ対策についてを特集記事として掲載し、そのほか、ローマ字表記の用語や行政、議会用語の解説を加えるなど、紙面の工夫を行いました。
 また、若者に議会へ興味をもっていただけるよう、県立大学生や高校生のインターンシップを積極的に受け入れ、体験した感想を議会だよりへ掲載しました。

○ホームページ、SNSの活用
 本会議の内容（開催、結果）を効果的に伝えるため、ホームページへの掲載とあわせて、LINEによる通知を行いました。

○NBCデータ放送の活用
 本会議の開催情報を効果的に伝えるため、データ放送を活用しました。

○防災行政無線の活用
 本会議の開催情報を効果的に伝えるため、防災行政無線を活用しました。

○傍聴人
 年間延べ70人の方が本会議を傍聴されました。
 傍聴席入り口に「佐々町議会アンケート」を設置し、意見や感想などを聴取しました。議会運営に関する意見や要望、一般質問に対する意見や感想など5件の提出があり、要望があった「傍聴席への行政報告資料の配置や行政用語がわかる本の設置」については、次の議会から取り入れました。また、一般質問に対する感想1件を議会だよりへ「町民の声」として掲載しました。

【傍聴人内訳】

- R3. 7月臨時会：7人
- R3. 7月定例会：21人
- R3. 9月臨時会：4人
- R3. 9月定例会：11人
- R3. 12月定例会：12人
- R4. 3月定例会：15人

◆ 目次 ◆

- 7月臨時会……………2～3
- 7月定例会(補正予算・条例改正など)……………4
- 令和3年7月臨時会・定例会 嵐巻旗……………5
- 一般質問 7人が町政を問う……………6～13
- 議員会報告(保健衛生委員会・産業建設文化委員会)……………14
- 西九州自動車道建設促進協議会総会・議会日誌……………15
- インターンシップ感想・町民の声・議員挨拶……………16

発行日/2021年(令和3年)7月1日 発行/佐々町議会 編集/議会だより編集委員会 佐々町〒866-8602 0852-2101

2 コスト (単位：円)

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費	924,600	456,192	498,960	1,074,000
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	地方債	0	0	0
	一般財源	924,600	456,192	498,960

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
成果	佐々町ホームページアクセス件数【単】	340,639件/年	件	目標	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	450,000/年	125%
				実績	563,424	-	-	-	-	
成果	SNS（LINE）フォロワー数【累】	-	人	目標	-	-	-	-	1,500	101%
				実績	1,519	-	-	-	-	
成果	メール配信登録件数【累】	464件	件	目標	-	-	-	-	700	93%
				実績	649	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 （住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 （住民のニーズに対して、意図が適切であるか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 （自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか）	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 （評価指標や意図をどの程度達成しているか）	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 （意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 （意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか）	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 （業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか）	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 （投入するコストは適正か、削減の余地はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 （受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか）	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要
<p>年4回発行し、特集記事の掲載や住民から要望のあった用語解説を掲載するなど工夫した紙面づくりが行われました。</p> <p>そして、より多くの方に町議会に興味を持っていただけるよう、令和4年度発行分から町内施設（金融機関、町内スーパー、コンビニエンスストアなど）への設置を依頼、そのほか、マチイロアプリへの登録を行いました。今後は、一般質問（個人ごと）のページにQRコードを付け、動画配信サイトで一般質問の動画が視聴できるように検討しています。</p>		

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止

事業番号	6 - 2 - 3		担当課	監査	担当班	監査
事業名	効果的な予算の編成及び運用					
総合計画上の位置づけ	基本目標	「行政・財政」が持続可能なまち			会計	一般会計
	戦略目標	健全な財政運営を行う				款
法令根拠条例等	佐々町監査基準			予算科目	項	6 監査委員費
個別計画	-				目	1 監査委員費

1 事業内容

【行動指針】

・限られた財源を効率的に配分するため、最小の経費で最大の効果を出していくことを原則とし、優先度を考慮した計画的な予算を編成します。

【事業概要】

○監査の実績

年間計画に基づき以下の監査等を実施しました。

(1) 例月現金出納検査：12回

(2) 財務監査：①中間・完成工事監査

②新型コロナウイルス感染症対策事業について

- ・PCR検査等の費用助成事業
- ・自宅待機生活支援事業
- ・佐々町学生等臨時応援給付金
- ・佐々町低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯）支給事業
- ・佐々町新型コロナウイルス感染症対策推進の飲食店支援給付金
- ・佐々町飲食店応援給付金
- ・営業時間短縮要請協力金

(3) 行政監査：町立小中学校における備品・消耗品の管理、運用状況等について

(4) 財政援助団体等監査：①令和2年度の指摘事項及び検討事項等の改善状況

- ・多面的機能支払交付金
- ・新構造改善加速化支援事業費補助金
- ・各種選手派遣事業

②令和2年度に交付された補助金について

- ・農業次世代人材投資事業費補助金
- ・体育文化振興事業補助金

(5) 一般会計及び特別会計の決算審査・基金運用審査・健全化判断比率等審査

(6) 公営企業会計の決算審査・健全化判断比率等審査

(7) 財務書類4表について（担当課からの報告）：令和元年度分の報告、令和2年度分の進捗状況の報告

以上の監査等を行い、(2)から(6)については、告示板、町ホームページへ監査結果を公表しました。

2 コスト (単位：円)

区分		R元決算	R2決算	R3決算	R4予算
事業費		2,500,601	2,094,044	2,085,970	2,536,000
財源	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	一般財源	2,500,601	2,094,044	2,085,970	2,536,000

3 指標達成状況

指標名		現状値（令和元年度）	単位		R3	R4	R5	R6	R7	達成率
活動	経常収支比率【単】	80.7% (H30:90.7%)	%	目標	95未満	95未満	95未満	95未満	95未満	118%
				実績	80.3	-	-	-	-	
活動	実質公債費比率【単】	8.9%	%	目標	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	172%
				実績	8.7	-	-	-	-	

4 評価及び全体総括

評価の視点		項目	判定
妥当性	・事業根拠の再確認 (住民のニーズ、法令など事業継続の必要性はあるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	2
	・意図の適切性 (住民のニーズに対して、意図が適切であるか)	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
	・自治体関与の必要性 (自治体が主体で取組むべき事業か、住民参画の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地が多い	
有効性	・意図の達成度 (評価指標や意図をどの程度達成しているか)	<input type="checkbox"/> 目標を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った	2
	・対象の適切性 (意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有効な対象設定はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の手段が最も有効か、他に有効な手段はないか)	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
効率性	・業務の効率化 (業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	3
	・投入コストの適切性 (投入するコストは適正か、削減の余地はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	
	・財源確保の適切性 (受益者負担は適正か、国、県等の補助等はないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 改善の余地がややある <input type="checkbox"/> 改善の余地が多い	

今年度の振り返り（全体総括／成果・評価・今後の方向性・反省点等）	評価の結果	B	課題が少しあり業務の一部見直しが必要
<p>年間計画に基づき、代表監査委員及び議選監査委員それぞれの視点で効果的に監査が行われました。全庁的に事務事業の改善につながるよう、必要に応じて指摘等がなされていきました。今後も年間計画に基づき、監査手法について、改善すべき点がないか検討しながら、各監査を実施していきます。</p>			

5 今後の方向性

<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用拡大
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業拡大・費用縮小
<input checked="" type="checkbox"/> 事業維持・費用維持
<input type="checkbox"/> 事業維持・費用縮小
<input type="checkbox"/> 事業縮小・費用縮小
<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了廃止